

ちば

平成 30 年度

第 56 回

県政に関する世論調査

報 告 書

平成 31 年 1 月

千 葉 県

は し が き

この調査は、県民の皆さまの生活意識や、県政に対してどのような関心や、期待などを持っておられるかを把握し、県政推進の基礎資料とするため、昭和50年度から実施しています。

平成18年度からは年2回実施しており、今回は平成30年度第1回目の調査で、県内在住の満18歳以上の男女3,000名を対象に、昨年9月から10月にかけて郵送法・オンライン調査法で実施しました。

具体的内容としては、環境と生活、健康、福祉、観光、千葉県の農林水産物、防災に関する取り組み、地方分権、広報・広聴活動について意識調査を行い、さらに、「県政への要望」について調査を実施しました。

この報告書が、県の施策立案や諸事業の推進などに活用されるだけでなく、広く県民の生活意識や県政に関心を寄せる方々にご活用いただければ幸いです。

終わりに、この調査にご協力いただきました県民の皆さまを始め、関係の方々に厚くお礼申し上げます。

平成31年1月

千葉県総合企画部長 今泉 光幸

目 次

調査の概要	1
調査の結果 調査結果の解説	11
1 環境と生活について	11
(1) 今後の居住意向	11
(1-1) 住み続けたい理由	17
(1-2) 移りたい理由	19
(2) 現在の生活の満足度	21
(3) 生活必需品への不安	31
(4) 消費生活全般の満足度	33
(5) 住生活全般の満足度	35
(6) 普段の生活で行っている環境保全の取組	37
(7) 環境に配慮した行動	44
(8) 環境保全に関する講演やセミナー、 環境ボランティアへの参加状況	46
(9) 市民活動団体やボランティア活動の関心度	48
(10) 市民活動団体の活動への参加経験	50
(11) ボランティア活動経験	52
(12) この1年間の文化芸術に触れた頻度	54
2 健康について	56
(1) 健康づくりに取り組むことができる環境	56
(2) 健康づくりのための運動	58
(3) 安心して受診できる医療体制	60
(4) かかりつけ医の有無	62
3 福祉について	66
(1) 安心して子育てできる環境	66
(2) お年寄りが安心して暮らせる高齢者施策について	68
(3) 介護が必要になっても、現在の自宅や地域で暮らし続けられるか	70
(4) 高齢者の社会参加について	72
(5) 安心して暮らせる地域社会づくりについて	74
(6) 「共生社会」の認知度	76
(7) 男女共同参画社会を実現するための取組	78
4 観光について	80
(1) 千葉県の魅力	80
(2) 県内で旅行に行きたいエリア	82

(3) 県内を観光する際に事前に知りたい情報 -----	84
(4) この1年間に県内を観光した際の不満 -----	86
(5) 県産品をお土産や贈答品として使う場合、贈るもの -----	88
5 千葉県農林水産物について -----	90
(1) 千葉県産農林水産物の購入意向 -----	90
(1 - 1) 千葉県産農林水産物を購入したいと思う理由 -----	92
(1 - 2) 千葉県産農林水産物を購入したいと思わない理由 -----	94
(2) 環境にやさしい農産物や制度の認知度 -----	96
(3) 「千葉ブランド水産物」の認知度 -----	98
6 防災に関する取り組みについて -----	100
(1) 大地震や風水害への不安 -----	100
(2) 「避難勧告」「避難指示」の意味や違いの認知度 -----	102
(3) 飲料水や食料の備蓄状況 -----	104
(4) 災害伝言板・災害用伝言ダイヤルの認知度 -----	106
(5) 地震の被害を防ぐための対策 -----	108
7 地方分権について -----	110
(1) 地方分権改革を進めることについて -----	110
(2) 地方分権改革で期待する主な効果 -----	112
8 広報・広聴活動について -----	114
(1) 関心のある県政分野 -----	114
(2) 県政に関する情報を得る手段 -----	126
(3) 県広報紙「ちば県民だより」の閲読状況 -----	128
(3 - 1) 「ちば県民だより」の入手場所について -----	130
(3 - 2) 「ちば県民だより」の内容について -----	132
(4) 千葉県ホームページの利用頻度 -----	134
(4 - 1) 千葉県ホームページの見やすさ・使いやすさ -----	136
(5) 県の広報・魅力発信番組の視聴状況 -----	138
(6) 情報の入手媒体 -----	142
(6 - 1) SNSの種類 -----	144
(7) 県政への意見を述べる方法 -----	146
9 県政への要望 -----	148
(1) 県政への要望 -----	148
(1 - 1) 各政策への具体的な要望 -----	155
10 自由回答 -----	167
(付) 調査票および単純集計結果 -----	171

調 査 の 概 要

1．調査の目的

この調査は、県民の生活と県政の主要分野にわたる県民の関心、要望、意向などをとらえ、県政推進の基礎資料とすることを目的とする。

2．調査の項目

（1）県民意識調査

- 環境と生活について
- 健康について
- 福祉について
- 観光について
- 千葉県の農林水産物について
- 防災に関する取り組みについて
- 地方分権について
- 広報・広聴活動について

（2）県政への要望

3．調査の設計

- （1）調査地域 千葉県全域
- （2）調査対象 満18歳以上の男女個人
- （3）標本数 3,000人
- （4）抽出方法 層化二段無作為抽出法

層化二段無作為抽出法とは、行政単位と地域によって県内をブロックごとに分類し（層化）、各層に調査地点を人口に応じて比例配分し、国勢調査における調査区域及び住民基本台帳を利用して（二段）、各地点ごとに一定数のサンプル抽出を行うものである。

- （5）調査方法 郵送法・オンライン調査法の併用
（郵送配付 - 郵送・オンライン回収）
- （6）調査時期 平成30年9月21日～平成30年10月12日

4．調査機関 株式会社 エスピー研

5．回収結果

標本数	（ A ）	3,000件
総回収数	（ B ）	1,334件
	有効回収数（ C ）	1,334件
	うちネット回収数	148件
	無効回収数	0件
	うちネット回収数	0件
回収率	（ B / A ）	44.47%
有効回収率	（ C / A ）	44.47%

標本抽出方法

調査対象：千葉県内の市町村に居住する満18歳以上の男女個人

標本数：3,000人

地点数：市部 193地点

郡部 7地点

計 200地点

抽出法：層化二段無作為抽出法

[層化]

1. 県内を、次の11地域に分類した。

地域名	該当市郡名
千葉地域	千葉市、市原市
葛南地域	市川市、船橋市、習志野市、八千代市、浦安市
東葛飾地域	松戸市、野田市、柏市、流山市、我孫子市、鎌ヶ谷市
印旛地域	成田市、佐倉市、四街道市、八街市、印西市、白井市、富里市、印旛郡
香取地域	香取市、香取郡
海匝地域	銚子市、旭市、匝瑳市
山武地域	東金市、山武市、大網白里市、山武郡
長生地域	茂原市、長生郡
夷隅地域	勝浦市、いすみ市、夷隅郡
安房地域	館山市、鴨川市、南房総市、安房郡
君津地域	木更津市、君津市、富津市、袖ヶ浦市

2. 各地域内においては、
さらに市部、郡部に分け、層とした。

(注) ここでいう市とは、
平成30年4月1日現在市制施行の
地域をさす。



[標本数の配分]

各地域・市郡規模別の層における満18歳以上の人口(平成30年4月1日現在の推定数)に対して、3,000の標本数を比例配分した。

[抽 出]

1. 平成27年国勢調査時に設定された調査区を、第1次抽出単位となる調査単位として使用した。
 2. 調査地点の抽出は、調査地点が2地点以上に割り当てられた層については、

$$\left(\frac{\text{層における調査区数の合計}}{\text{層で算出された調査地点数}} = \text{抽出間隔} \right)$$
 を算出し、等間隔抽出法によって抽出した。
 3. 抽出に際しての各層内における市町村の配列順序は、平成27年国勢調査時の「標準地域コード一覧」に従った。
 4. 調査地点における対象者の抽出は、調査地点の範囲内(町・丁目・番地等を指定)を、住民基本台帳から等間隔抽出法によって抽出した。
- 以上の結果、各地域・市郡別(層別)の標本数・調査地点数は、次のとおりである。

地域 \ 市郡	市部	郡部	計
千葉地域	1,056,779	0	1,056,779
	600	0	600
	40	0	40
葛南地域	1,400,851	0	1,400,851
	780	0	780
	52	0	52
東葛飾地域	1,265,983	0	1,265,983
	705	0	705
	47	0	47
印旛地域	578,246	36,631	614,877
	330	15	345
	22	1	23
香取地域	67,995	31,030	99,025
	45	15	60
	3	1	4
海匝地域	144,225	0	144,225
	75	0	75
	5	0	5
山武地域	140,067	41,976	182,043
	75	30	105
	5	2	7
長生地域	78,112	53,242	131,354
	45	30	75
	3	2	5
夷隅地域	50,291	15,179	65,470
	30	15	45
	2	1	3
安房地域	104,709	7,265	111,974
	60	0	60
	4	0	4
君津地域	279,720	0	279,720
	150	0	150
	10	0	10
計	5,166,978	185,323	5,352,301
	2,895	105	3,000
	193	7	200

(注) 上段は満18歳以上の人口(平成30年4月1日現在)、中段は標本数、下段は調査地点数である。

調査地点一覧

地域	調査地点名	標本数	地域	調査地点名	標本数
千葉地域	千葉市中央区神明町	15	千葉地域	市原市君塚4丁目	15
	千葉市中央区千葉寺町	15		市原市菊間	15
	千葉市中央区新千葉2丁目	15		市原市ちはら台東1丁目	15
	千葉市中央区東千葉1丁目	15		市原市姉崎	15
	千葉市中央区宮崎町	15		市原市皆吉	15
	千葉市中央区赤井町	15		市川市鬼高4丁目	15
	千葉市中央区蘇我5丁目	15		市川市平田3丁目	15
	千葉市花見川区南花園1丁目	15		市川市北方3丁目	15
	千葉市花見川区幕張町1丁目	15		市川市稲荷木2丁目	15
	千葉市花見川区宮野木台1丁目	15		市川市菅野5丁目	15
	千葉市花見川区長作台1丁目	15		市川市二俣2丁目	15
	千葉市花見川区花見川	15		市川市市川南1丁目	15
	千葉市花見川区横戸台	15		市川市真間2丁目	15
	千葉市稲毛区緑町1丁目	15		市川市南大野2丁目	15
	千葉市稲毛区小仲台4丁目	15		市川市下新宿	15
	千葉市稲毛区千草台1丁目	15	市川市大野町3丁目	15	
	千葉市稲毛区小仲台9丁目	15	市川市富浜2丁目	15	
	千葉市稲毛区山王町	15	市川市入船	15	
	千葉市若葉区西都賀4丁目	15	市川市湊新田2丁目	15	
	千葉市若葉区加曽利町	15	市川市福栄1丁目	15	
	千葉市若葉区みつわ台1丁目	15	市川市塩浜4丁目	15	
	千葉市若葉区千城台東2丁目	15	船橋市湊町2丁目	15	
	千葉市緑区おゆみ野3丁目	15	船橋市東町	15	
	千葉市緑区おゆみ野中央2丁目	15	船橋市宮本8丁目	15	
	千葉市緑区誉田町2丁目	15	船橋市海神町南1丁目	15	
	千葉市緑区大椎町	15	船橋市本中山3丁目	15	
	千葉市美浜区真砂3丁目	15	船橋市海神5丁目	15	
	千葉市美浜区打瀬3丁目	15	船橋市北本町2丁目	15	
	千葉市美浜区磯辺1丁目	15	船橋市旭町1丁目	15	
	千葉市美浜区高浜3丁目	15	船橋市印内3丁目	15	
	千葉市美浜区新港	15	船橋市丸山4丁目	15	
	市原市荻作	15	船橋市咲が丘3丁目	15	
	市原市若宮6丁目	15	船橋市小室町	15	
	市原市光風台2丁目	15	船橋市松が丘2丁目	15	
	市原市大字青柳	15	船橋市緑台2丁目	15	

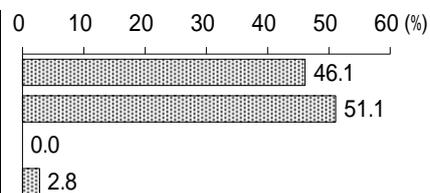
地域	調査地点名	標本数	地域	調査地点名	標本数
葛南地域	船橋市高根台4丁目	15	東葛飾地域	松戸市五香西3丁目	15
	船橋市習志野台4丁目	15		松戸市横須賀1丁目	15
	船橋市飯山満町1丁目	15		松戸市小金	15
	船橋市習志野1丁目	15		野田市大殿井	15
	船橋市田喜野井4丁目	15		野田市山崎	15
	習志野市袖ヶ浦4丁目	15		野田市上花輪	15
	習志野市鷺沼台1丁目	15		野田市谷津	15
	習志野市谷津3丁目	15		野田市木間ヶ瀬	15
	習志野市藤崎3丁目	15		柏市緑ヶ丘	15
	習志野市花咲1丁目	15		柏市あけぼの5丁目	15
	習志野市東習志野5丁目	15		柏市弥生町	15
	八千代市大和田新田	15		柏市新富町1丁目	15
	八千代市島田台	15		柏市篠籠田	15
	八千代市上高野	15		柏市宿連寺	15
	八千代市勝田台南2丁目	15		柏市大字藤心	15
	八千代市八千代台南1丁目	15		柏市酒井根5丁目	15
	浦安市猫実2丁目	15		柏市増尾台2丁目	15
	浦安市北栄1丁目	15		柏市みどり台2丁目	15
	浦安市東野3丁目	15		柏市花野井	15
	浦安市堀江1丁目	15		柏市大津ヶ丘1丁目	15
浦安市入船4丁目	15	流山市松ヶ丘5丁目	15		
浦安市明海3丁目	15	流山市鱒ヶ崎	15		
東葛飾地域	松戸市吉井町	15	流山市流山2丁目	15	
	松戸市岩瀬	15	流山市東初石2丁目	15	
	松戸市樋野口	15	流山市美原1丁目	15	
	松戸市千駄堀	15	我孫子市大字我孫子	15	
	松戸市和名ヶ谷	15	我孫子市船戸1丁目	15	
	松戸市下矢切	15	我孫子市泉	15	
	松戸市新作	15	我孫子市湖北台10丁目	15	
	松戸市金ヶ作	15	我孫子市大字布佐	15	
	松戸市大字牧の原	15	鎌ヶ谷市道野辺本町1丁目	15	
	松戸市秋山	15	鎌ヶ谷市初富	15	
	松戸市新松戸7丁目	15	鎌ヶ谷市南鎌ヶ谷1丁目	15	
	松戸市幸谷	15	印旛地域	成田市大字囲護台	15
	松戸市八ヶ崎1丁目	15		成田市土屋	15
	松戸市八ヶ崎4丁目	15		成田市東和田	15

地域	調査地点名	標本数	地域	調査地点名	標本数	
印旛地域	成田市久住中央4丁目	15	山武地域	東金市台方	15	
	佐倉市鍋山町	15		東金市求名	15	
	佐倉市石川	15		山武市井之内	15	
	佐倉市藤治台	15		山武市松尾町田越	15	
	佐倉市稻荷台2丁目	15		大網白里市季美の森南4丁目	15	
	佐倉市井野	15		山武郡芝山町岩山	15	
	佐倉市西志津7丁目	15		山武郡横芝光町栗山	15	
	四街道市美しが丘3丁目	15		長生地域	茂原市茂原	15
	四街道市大日	15	茂原市中の島町		15	
	四街道市めいわ2丁目	15	茂原市三ヶ谷		15	
	八街市朝日	15	長生郡長生村本郷		15	
	八街市八街い	15	長生郡長柄町山之郷		15	
	印旛地域	印西市牧の原5丁目	15	夷隅地域	勝浦市新官	15
		印西市小倉台1丁目	15		いすみ市新田	15
		印西市戸神台2丁目	15		夷隅郡御宿町御宿台	15
		白井市富士	15	安房地域	館山市塩見	15
		白井市清水口3丁目	15		鴨川市宮	15
		富里市七栄	15		南房総市富浦町大津	15
		富里市立沢	15		南房総市千倉町川合	15
		印旛郡栄町興津	15		君津地域	木更津市清見台東3丁目
香取地域	香取市佐原イ	15	木更津市東太田4丁目	15		
	香取市九美上	15	木更津市大久保3丁目	15		
	香取市五郷内	15	木更津市金田東5丁目	15		
	香取郡東庄町石出	15	君津市南子安4丁目	15		
海匝地域	銚子市幸町2丁目	15	君津市内箕輪1丁目	15		
	銚子市春日町	15	君津市大戸見	15		
	旭市二	15	富津市大堀1丁目	15		
	旭市後草	15	袖ヶ浦市大字神納	15		
	匝瑳市上谷中	15	袖ヶ浦市のぞみ野	15		

回答者の属性

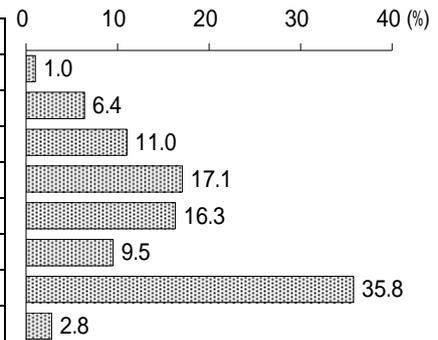
1. 性

	基数	構成比
1 男性	615	46.1
2 女性	682	51.1
3 その他 (無回答)	0 37	0.0 2.8
全体	1,334	100.0



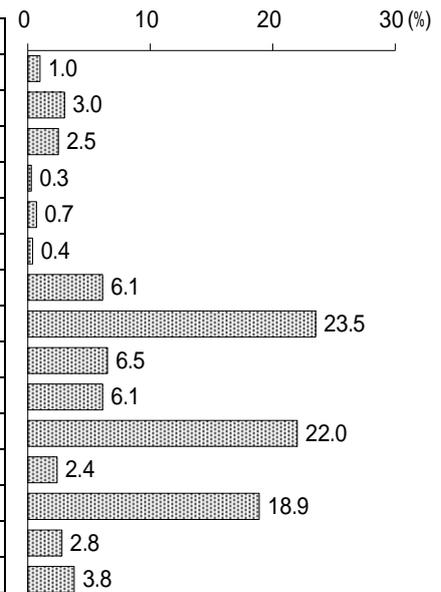
2. 年 代

	基数	構成比
1 18～19歳	14	1.0
2 20代	86	6.4
3 30代	147	11.0
4 40代	228	17.1
5 50代	217	16.3
6 60～64歳	127	9.5
7 65歳以上	478	35.8
(無回答)	37	2.8
全 体	1,334	100.0



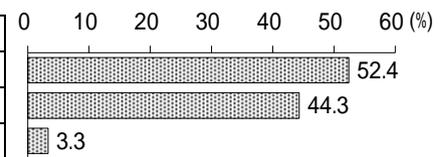
3. 本人職業

	基数	構成比	
自営業	1 農林漁業	13	1.0
	2 商工サービス業	40	3.0
	3 自由業	33	2.5
従業者 家族	4 農林漁業	4	0.3
	5 商工サービス業	9	0.7
	6 自由業	6	0.4
勤め人	7 管理職	81	6.1
	8 専門技術・事務職	314	23.5
	9 販売・サービス職	87	6.5
	10 労務職	81	6.1
無職	11 主婦・主夫	294	22.0
	12 学生	32	2.4
	13 無職	252	18.9
	14 その他	37	2.8
(無回答)	51	3.8	
全 体	1,334	100.0	



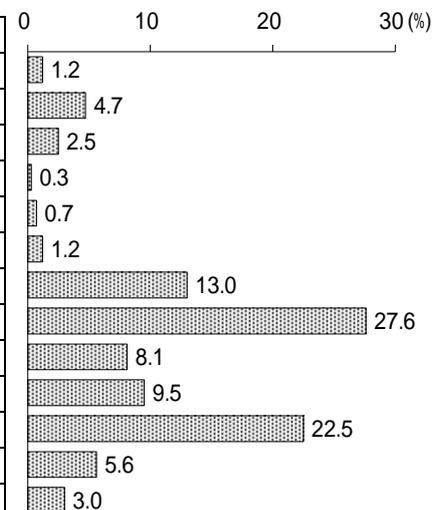
4. 世帯内の地位

	基数	構成比
1 主として家計を支えている	699	52.4
2 家計を支えていない	591	44.3
(無回答)	44	3.3
全 体	1,334	100.0



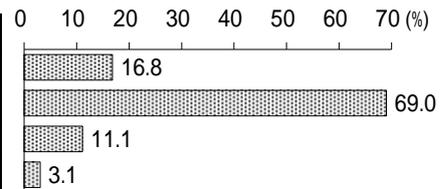
5. 世帯主職業

	基数	構成比	
自営業	1 農林漁業	7	1.2
	2 商工サービス業	28	4.7
	3 自由業	15	2.5
従業者 家族	4 農林漁業	2	0.3
	5 商工サービス業	4	0.7
	6 自由業	7	1.2
勤め人	7 管理職	77	13.0
	8 専門技術職・事務職	163	27.6
	9 販売・サービス職	48	8.1
	10 労務職	56	9.5
11 無職	133	22.5	
12 その他	33	5.6	
(無回答)	18	3.0	
全 体	591	100.0	



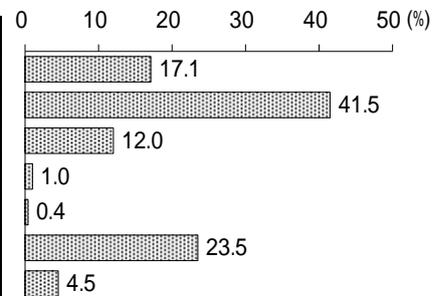
6. 未既婚

	基数	構成比
1 未婚	224	16.8
2 既婚（配偶者有）	921	69.0
3 既婚（配偶者離死別）	148	11.1
（無回答）	41	3.1
全体	1,334	100.0



7. 子どもの人数

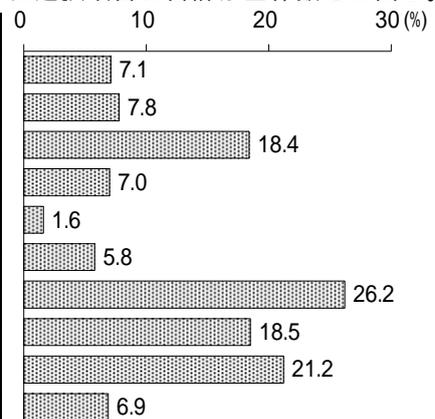
	基数	構成比
1 1人	228	17.1
2 2人	554	41.5
3 3人	160	12.0
4 4人	14	1.0
5 5人以上	5	0.4
6 子どもはいない	313	23.5
（無回答）	60	4.5
全体	1,334	100.0



8. 子どもの成長段階

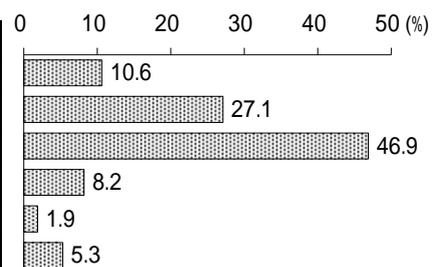
1人の回答者が複数回答で行う設問であるため、基数・構成比とも選択項目の合計が全体数を上回る。

	基数	構成比
1 0～2歳の子ども	68	7.1
2 3歳以上の未就学の子ども	75	7.8
3 小学校・中学校在学中の子ども	177	18.4
4 高校在学中の子ども	67	7.0
5 短大・高専・各種学校・専修学校在学中の子ども	15	1.6
6 大学・大学院在学中の子ども	56	5.8
7 学校を終えた未婚の子ども	252	26.2
8 結婚した子ども	178	18.5
9 同居している子どもはいない	204	21.2
（無回答）	66	6.9
全体（上記「7.子どもの人数」の1から5の計）	961	-



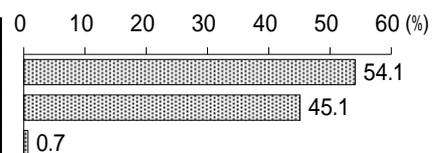
9. 家族構成

	基数	構成比
1 単身	142	10.6
2 夫婦のみ	361	27.1
3 二世帯世帯（親と子）	625	46.9
4 三世帯世帯（親と子と孫）	109	8.2
5 その他	26	1.9
（無回答）	71	5.3
全体	1,334	100.0



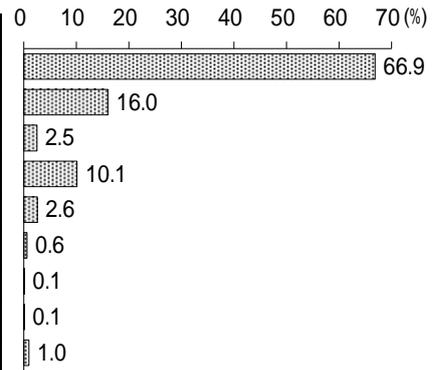
10. 高齢者の同居の有無

	基数	構成比
1 いる（対象者本人を含む）	722	54.1
2 いない	602	45.1
（無回答）	10	0.7
全体	1,334	100.0



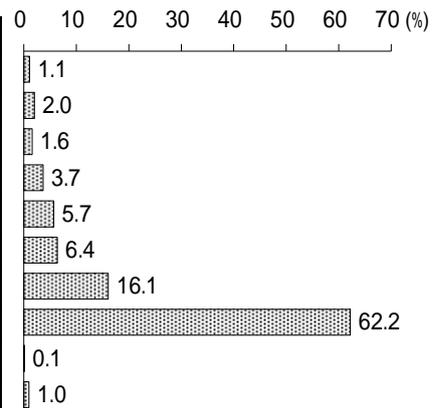
11. 住 宅

		基数	構成比
持家	1 持家（一戸建）	893	66.9
	2 分譲マンション	213	16.0
持家以外	3 民間の借家（一戸建）	33	2.5
	4 賃貸のアパート・マンション	135	10.1
	5 公社・UR都市機構・県市町村営住宅	35	2.6
	6 社宅などの給与住宅	8	0.6
	7 住み込み・寮・寄宿舍	2	0.1
	8 その他	1	0.1
（無回答）		14	1.0
全 体		1,334	100.0



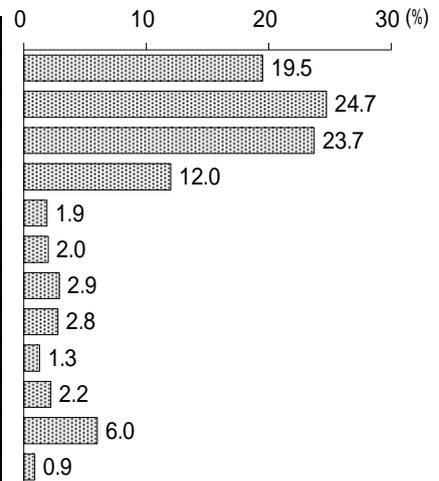
12. 県内居住年数

		基数	構成比
1	1年未満	15	1.1
2	1年～3年未満	27	2.0
3	3年～5年未満	22	1.6
4	5年～10年未満	49	3.7
5	10年～15年未満	76	5.7
6	15年～20年未満	85	6.4
7	20年～30年未満	215	16.1
8	30年以上	830	62.2
9	わからない	2	0.1
（無回答）		13	1.0
全 体		1,334	100.0



13. 地 域

		基数	構成比
1	千葉地域	260	19.5
2	葛南地域	329	24.7
3	東葛飾地域	316	23.7
4	印旛地域	160	12.0
5	香取地域	26	1.9
6	海匝地域	27	2.0
7	山武地域	39	2.9
8	長生地域	38	2.8
9	夷隅地域	17	1.3
10	安房地域	30	2.2
11	君津地域	80	6.0
（無回答）		12	0.9
全 体		1,334	100.0



（報告書の見方）

本報告書を読む際に、次の点に留意してください。

- （1）比率はすべて百分比で表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出した。このために、百分比の合計が100%にならないことがある。
- （2）基数となるべき実数はnとして掲載した。その比率は件数を100%として算出した。
- （3）1人の回答者が複数回答で行う設問では、その比率の合計が100%を上回ることがある。
- （4）選択肢を合わせた表記の回答割合は、選択肢の回答者人数を合わせた値を、全回答者で割った値を採用しているため、選択肢の回答割合を単純に足した値と異なることがある。
- （5）分かりやすく実態に合わせた設問にするため、前回調査の設問から表現等を変更したものがある。
- （6）地域別、性・年齢別の分析において、サンプル数の少ない属性の分析については、グラフ上で数値が高いものでも有意差がなく、分析で触れていない場合がある。
- （7）この調査の標本誤差は次の式によって得られる。但し、信頼度を95%とする。

$$b = \sqrt{2 \frac{N - n}{N - 1} \times \frac{P(1 - P)}{n}}$$

b = 標本誤差
 N = 母集団数
 n = 比率算出の基数（サンプル数）
 P = 回答比率

次に、本調査の標本誤差の早見表をあげる。

回答比率（P） 基数（n）		回答比率（P）				
		10%または 90%前後	20%または 80%前後	30%または 70%前後	40%または 60%前後	50%前後
総数	1,334人	± 2.32%	± 3.10%	± 3.55%	± 3.79%	± 3.87%
千葉地域	260	± 5.26%	± 7.02%	± 8.04%	± 8.59%	± 8.77%
葛南地域	329	± 4.68%	± 6.24%	± 7.15%	± 7.64%	± 7.80%
東葛飾地域	316	± 4.77%	± 6.36%	± 7.29%	± 7.79%	± 7.96%
印旛地域	160	± 6.71%	± 8.94%	± 10.25%	± 10.95%	± 11.18%
香取地域	26	± 16.64%	± 22.19%	± 25.42%	± 27.17%	± 27.74%
海匝地域	27	± 16.33%	± 21.77%	± 24.94%	± 26.67%	± 27.22%
山武地域	39	± 13.59%	± 18.12%	± 20.75%	± 22.19%	± 22.65%
長生地域	38	± 13.76%	± 18.35%	± 21.03%	± 22.48%	± 22.94%
夷隅地域	17	± 20.58%	± 27.44%	± 31.44%	± 33.61%	± 34.30%
安房地域	30	± 15.49%	± 20.66%	± 23.66%	± 25.30%	± 25.82%
君津地域	80	± 9.49%	± 12.65%	± 14.49%	± 15.49%	± 15.81%
男性	615	± 3.42%	± 4.56%	± 5.23%	± 5.59%	± 5.70%
女性	682	± 3.25%	± 4.33%	± 4.96%	± 5.31%	± 5.42%

調査の結果 調査結果の解説

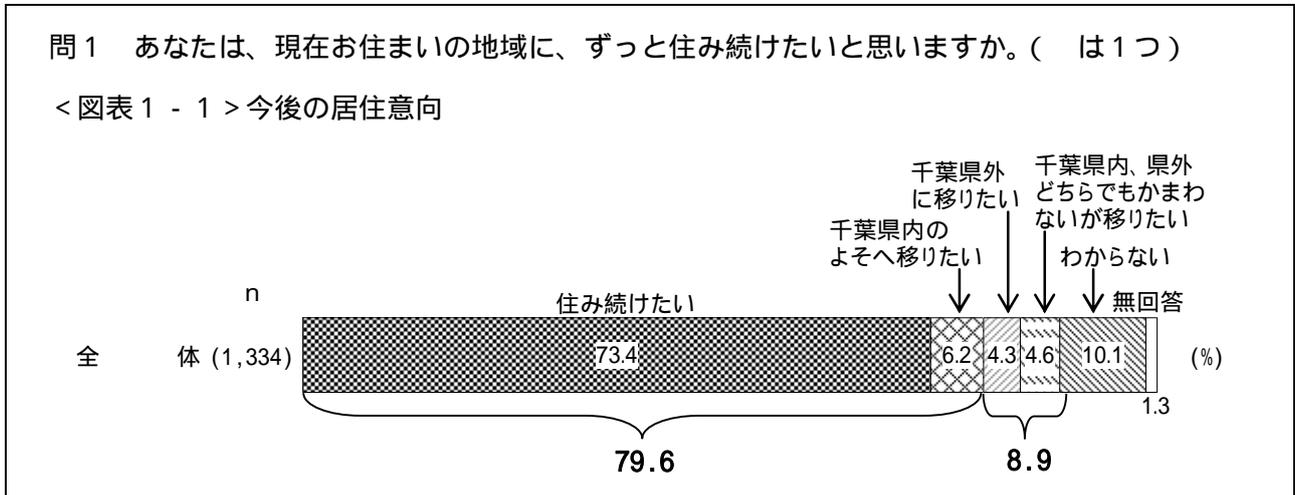
1 環境と生活について

(1) 今後の居住意向

『千葉県内に住み続けたい(計)』が約8割

問1 あなたは、現在お住まいの地域に、ずっと住み続けたいと思いますか。(は1つ)

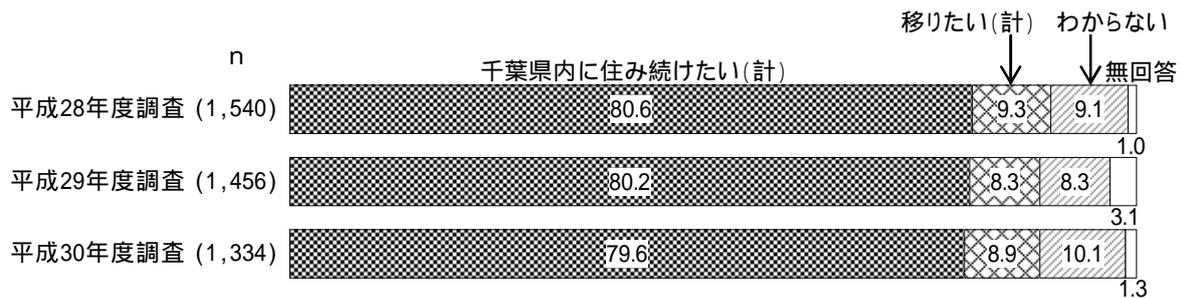
<図表1-1> 今後の居住意向



現在お住まいの地域の今後の居住意向を聞いたところ、「住み続けたい」(73.4%)が7割を超え、これと「千葉県内のよそへ移りたい」(6.2%)を合わせた『千葉県内に住み続けたい(計)』(79.6%)が約8割で高くなっている。

一方、「千葉県外に移りたい」(4.3%)と「千葉県内、県外どちらでもかまわないが移りたい」(4.6%)を合わせた『移りたい(計)』(8.9%)は約1割である。(図表1-1)

〔参考〕平成28年度・平成29年度の同様の項目による調査結果との比較(単位:%)



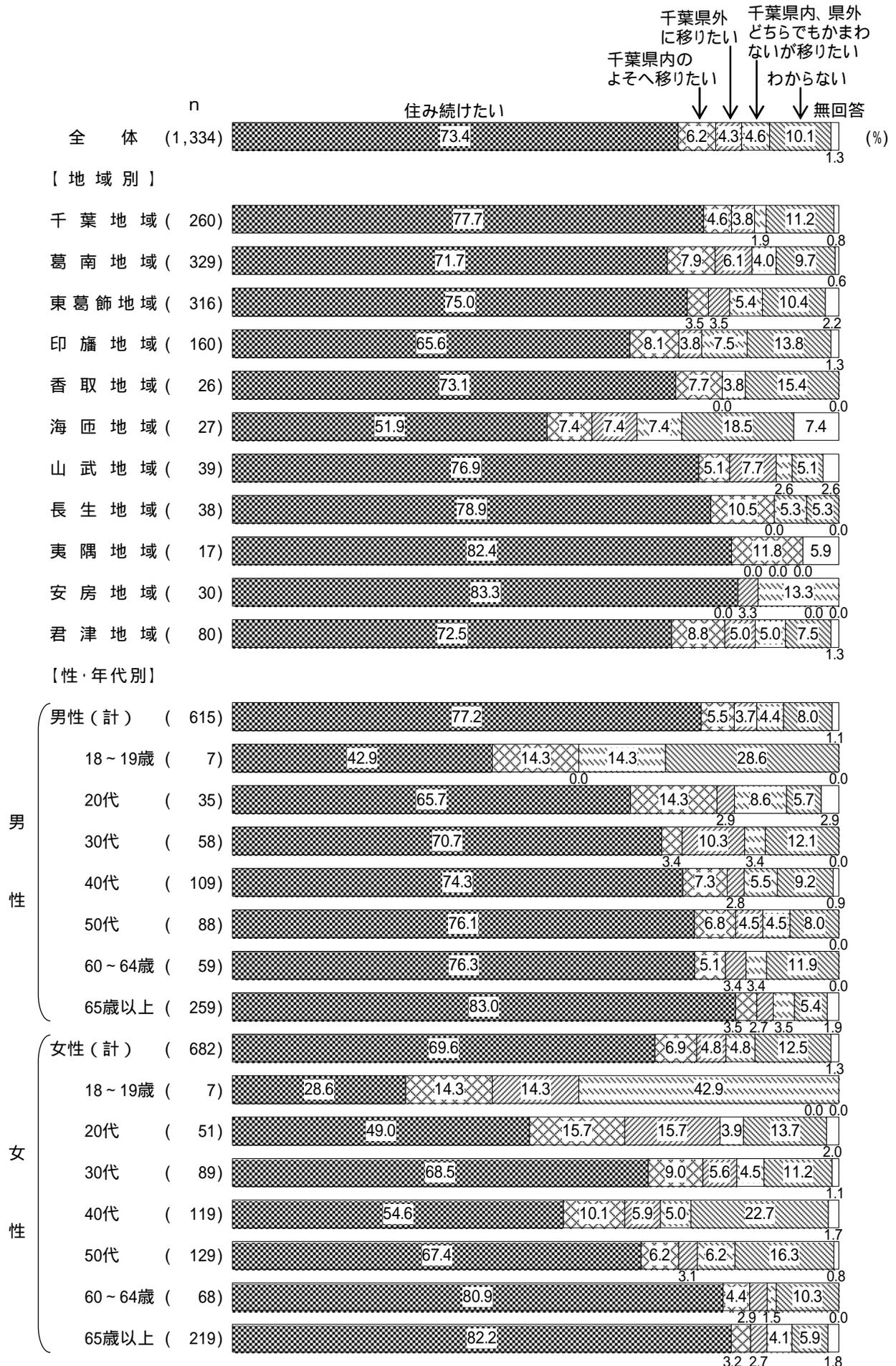
【地域別】

地域別にみると、大きな傾向の違いはみられない。(図表1-2)

【性・年代別】

性・年代別にみると、『千葉県内に住み続けたい(計)』は男性の65歳以上(86.5%)と女性の65歳以上(85.4%)が8割台半ばで高くなっている。(図表1-2)

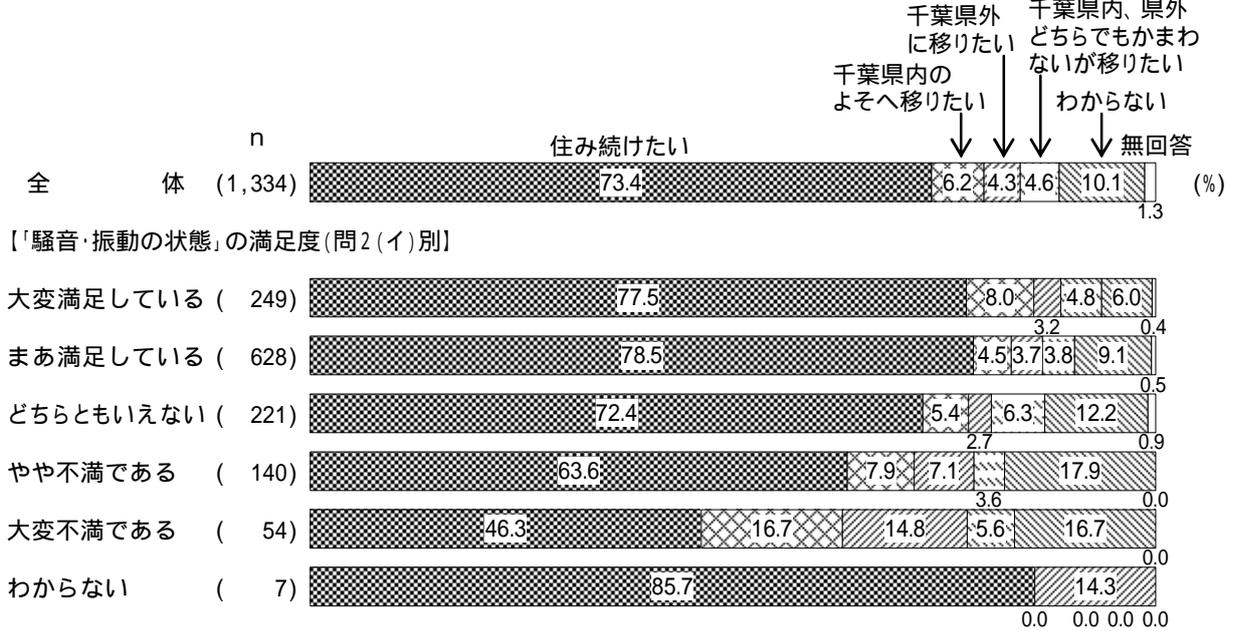
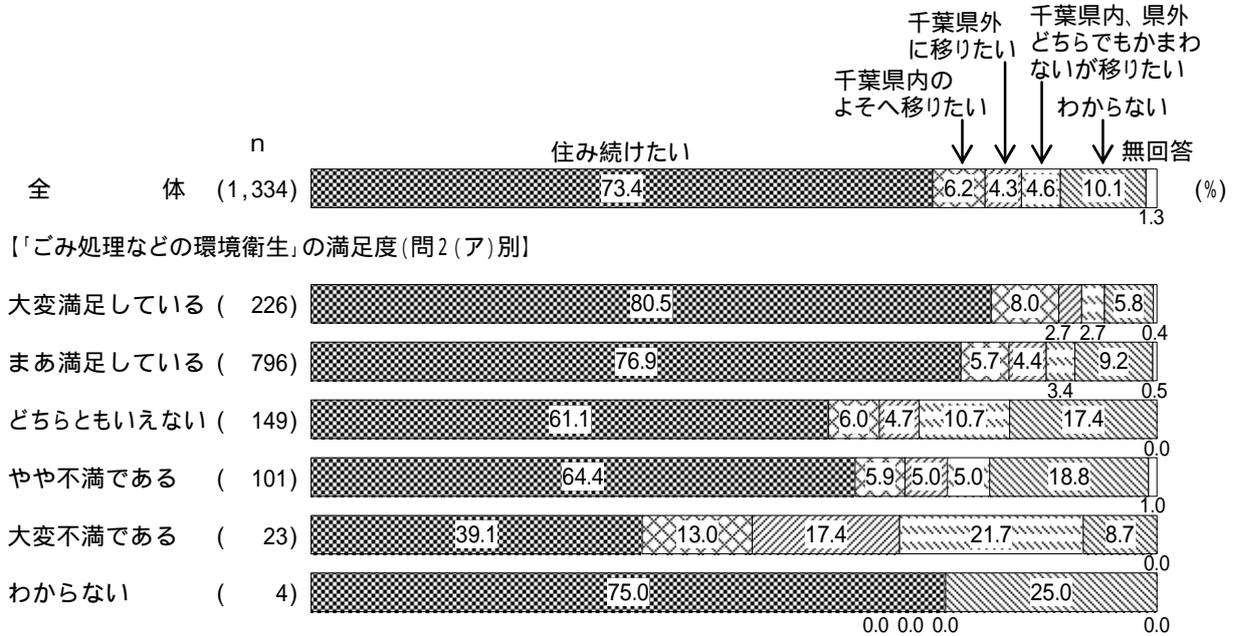
<図表1 - 2> 今後の居留意向 / 地域別、性・年代別



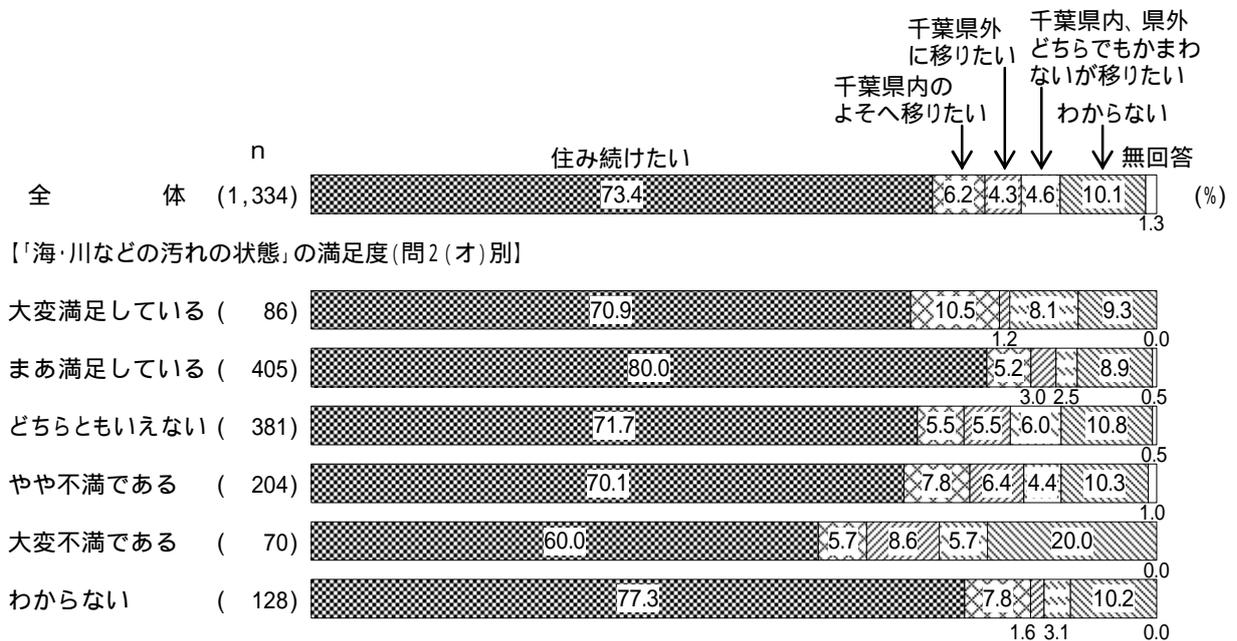
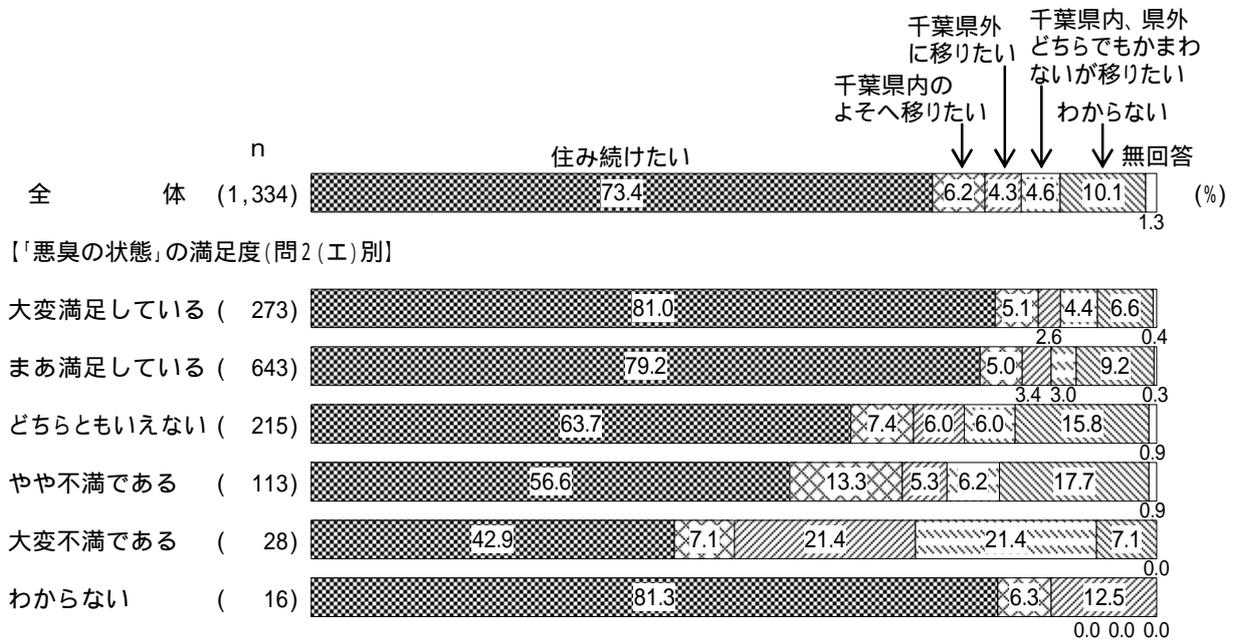
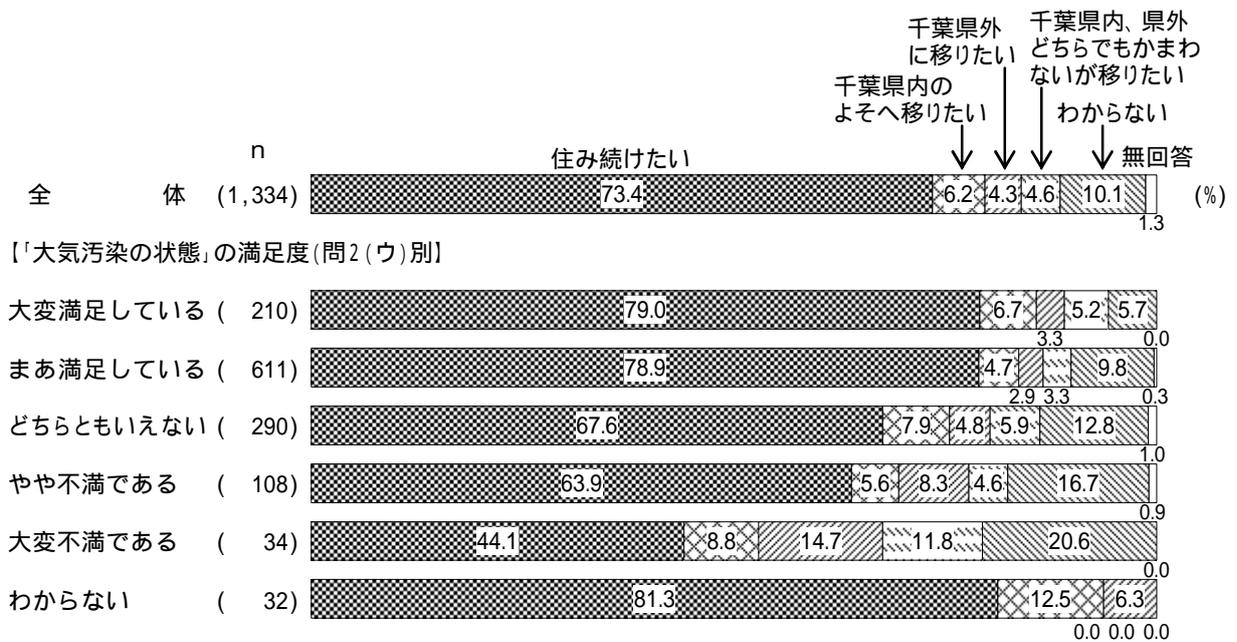
<今後の居留意向と現在の生活の満足度>

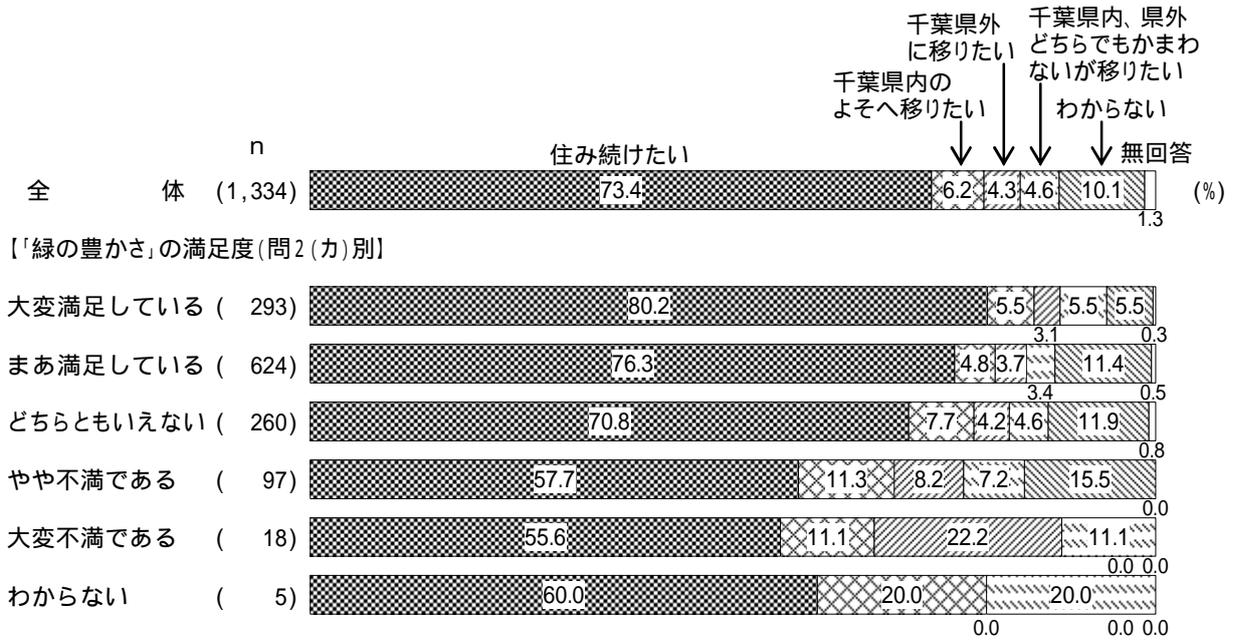
居留意向について、今回の調査における、問2「現在の生活の満足度」の設問間のクロス集計を行ったところ、現在の生活の満足度が高いほど、「住み続けたい」という回答の割合が高くなる傾向にある。（図表1-3）

<図表1-3> 今後の居留意向と現在の生活の満足度

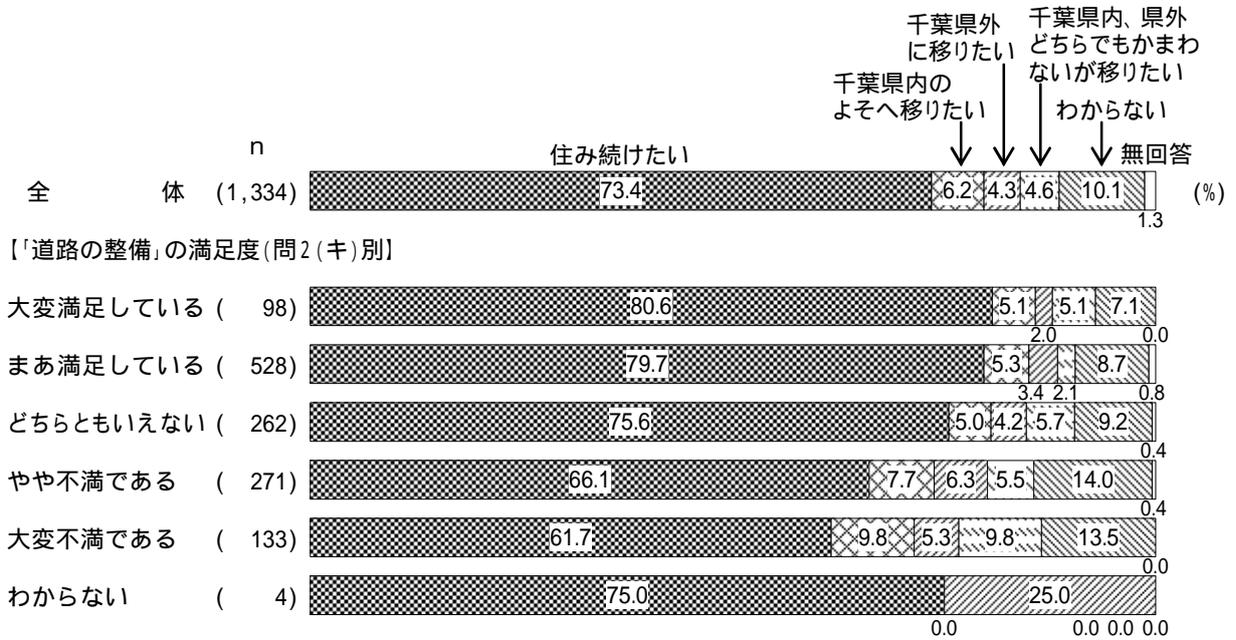


第56回県政に関する世論調査（H30年度）

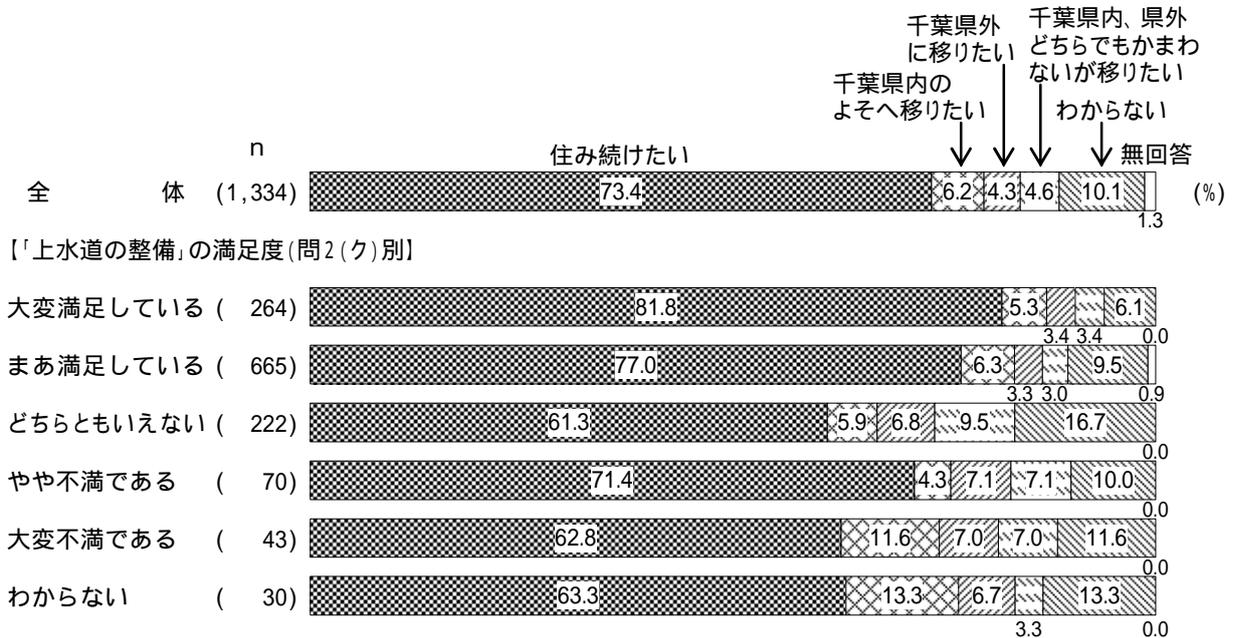




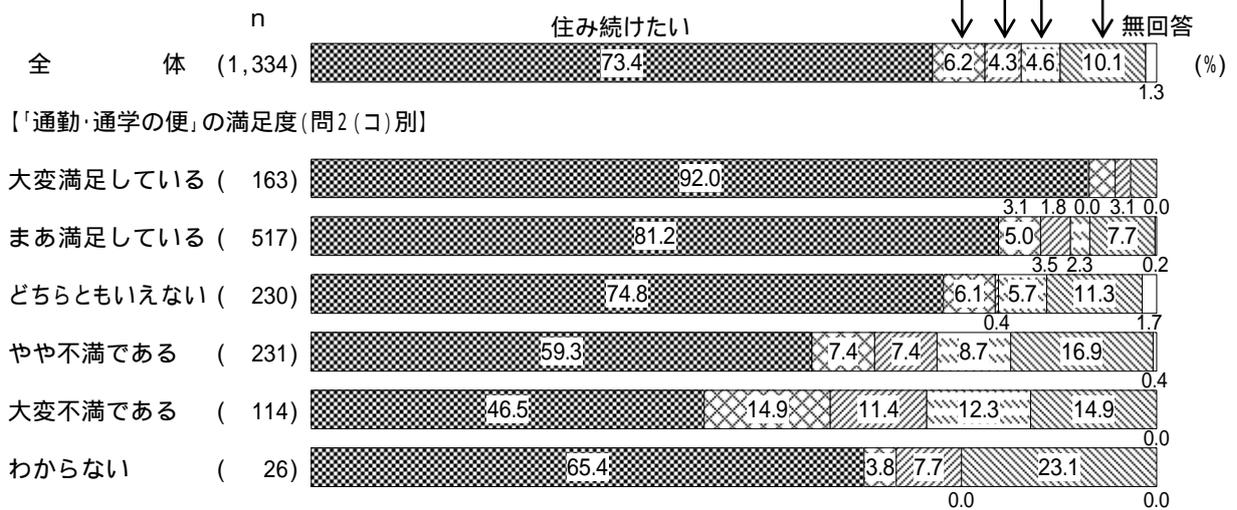
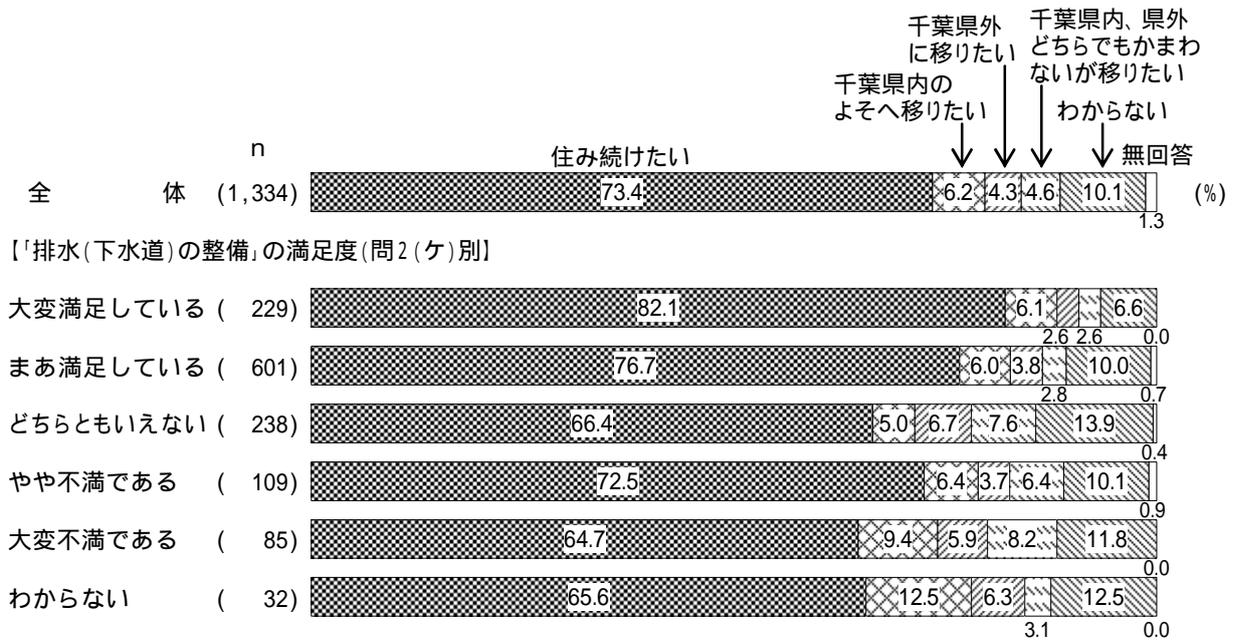
【「道の整備」の満足度(問2(キ)別)



【「上水道の整備」の満足度(問2(ク)別)



第56回県政に関する世論調査（H30年度）



（1 - 1）住み続けたい理由

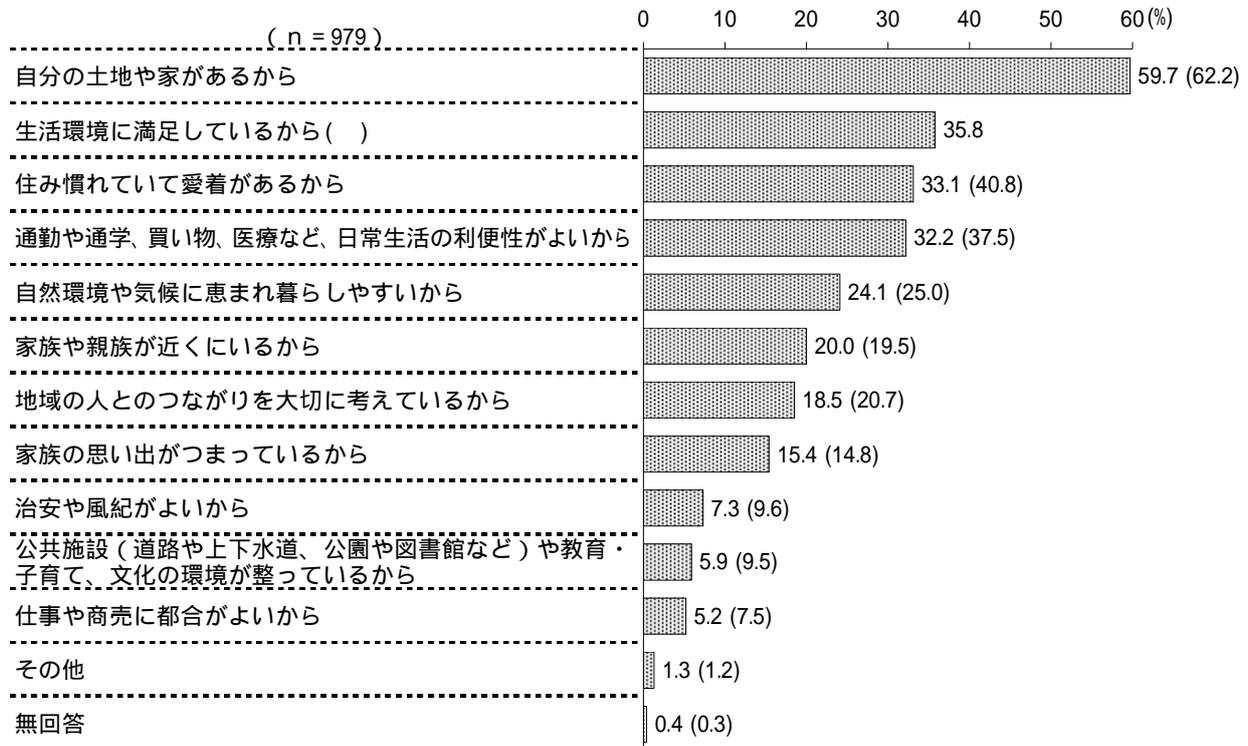
「自分の土地や家があるから」が約6割

（問1で「住み続けたい」とお答えの方に）

問1 - 1 あなたが現在お住まいの地域に、ずっと住み続けたいと思う理由は何ですか。

（は3つまで）

<図表1 - 4> 住み続けたい理由（3つまでの複数回答）



注) () の数字は平成29年度の同様の項目による調査結果 n = 1,100

() 平成29年度調査では、「生活環境に満足しているから」の選択肢は設けていない。

「住み続けたい」と回答した979人を対象に、住み続けたい理由を3つまで選んでもらったところ、「自分の土地や家があるから」(59.7%)が約6割で最も高く、以下、「生活環境に満足しているから」(35.8%)、「住み慣れていて愛着があるから」(33.1%)が続く。(図表1 - 4)

【地域別】

地域別にみると、「生活環境に満足しているから」は“葛南地域”(46.6%)が4割台半ばで高くなっている。

「住み慣れていて愛着があるから」は“安房地域”(52.0%)が5割を超えて高くなっている。

「自然環境や気候に恵まれ暮らしやすいから」は“夷隅地域”(64.3%)と“安房地域”(64.0%)が6割台半ば、“海匠地域”(50.0%)と“山武地域”(50.0%)が5割で高くなっている。

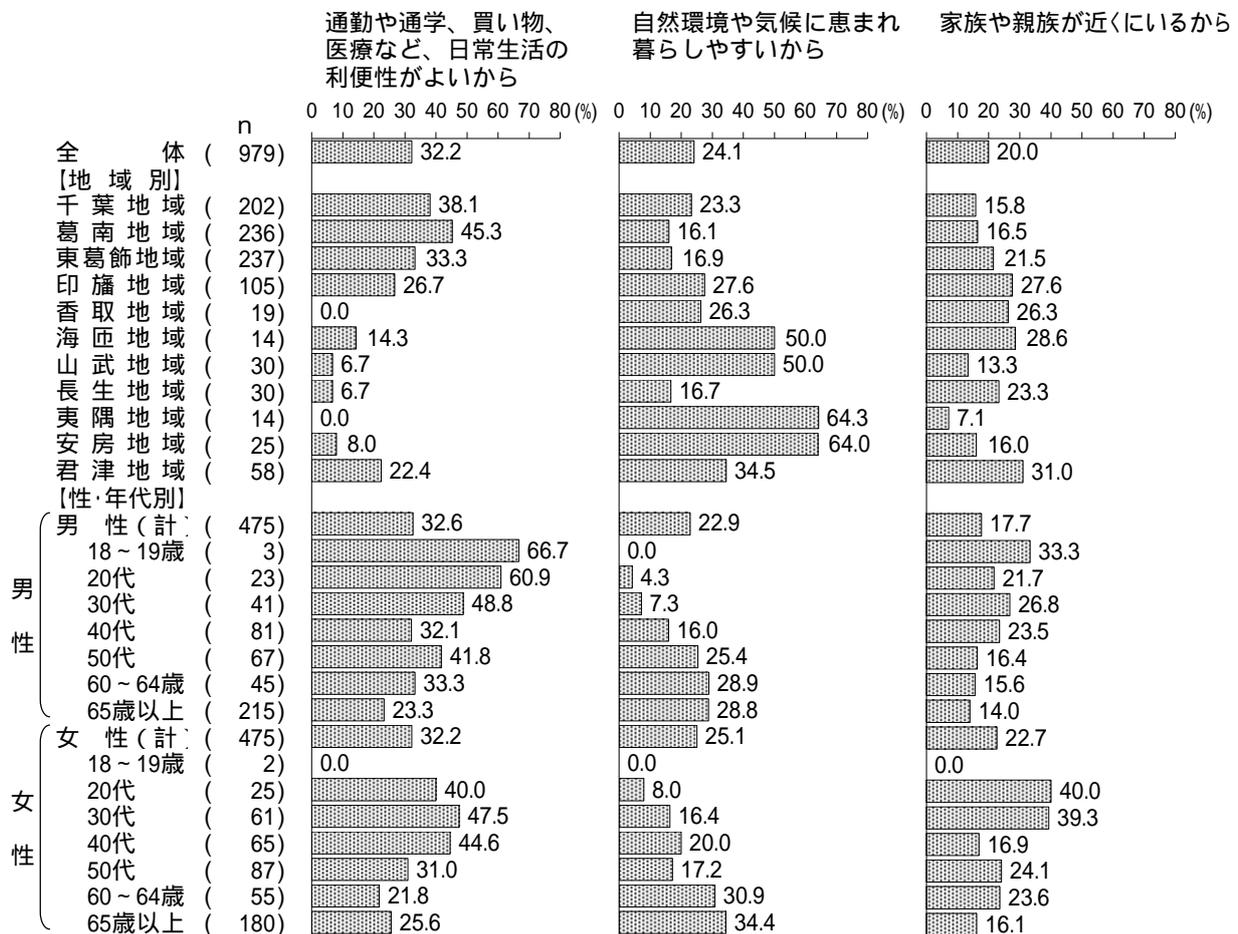
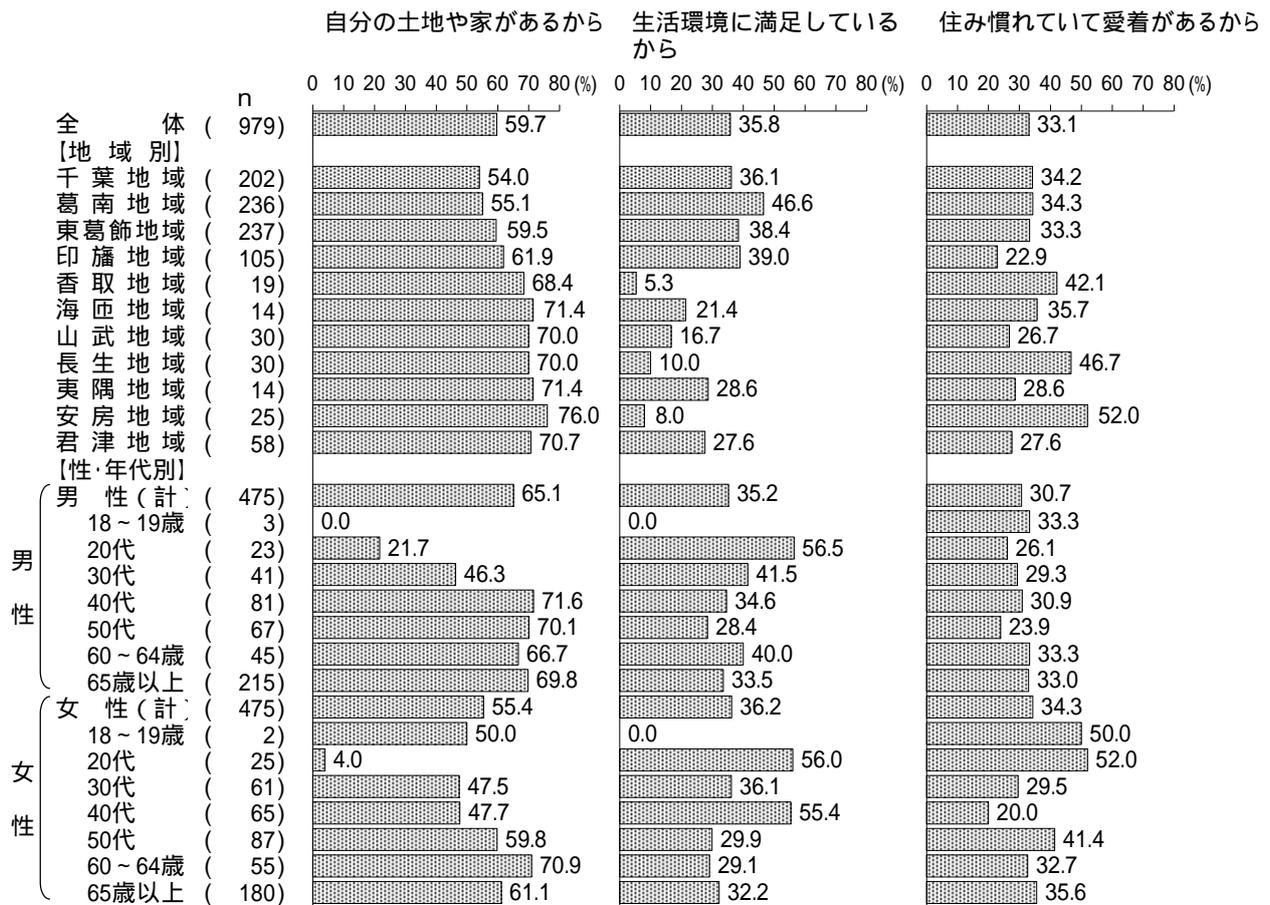
(図表1 - 5)

【性・年代別】

性・年代別にみると、「自分の土地や家があるから」は男性の40代(71.6%)が7割を超え、男性の65歳以上(69.8%)が約7割で高くなっている。

「通勤や通学、買い物、医療など、日常生活の利便性がよいから」は男性の20代(60.9%)が6割で高くなっている。(図表1 - 5)

<図表1 - 5> 住み続けたい理由（3つまでの複数回答）/ 地域別、性・年代別（上位6項目）



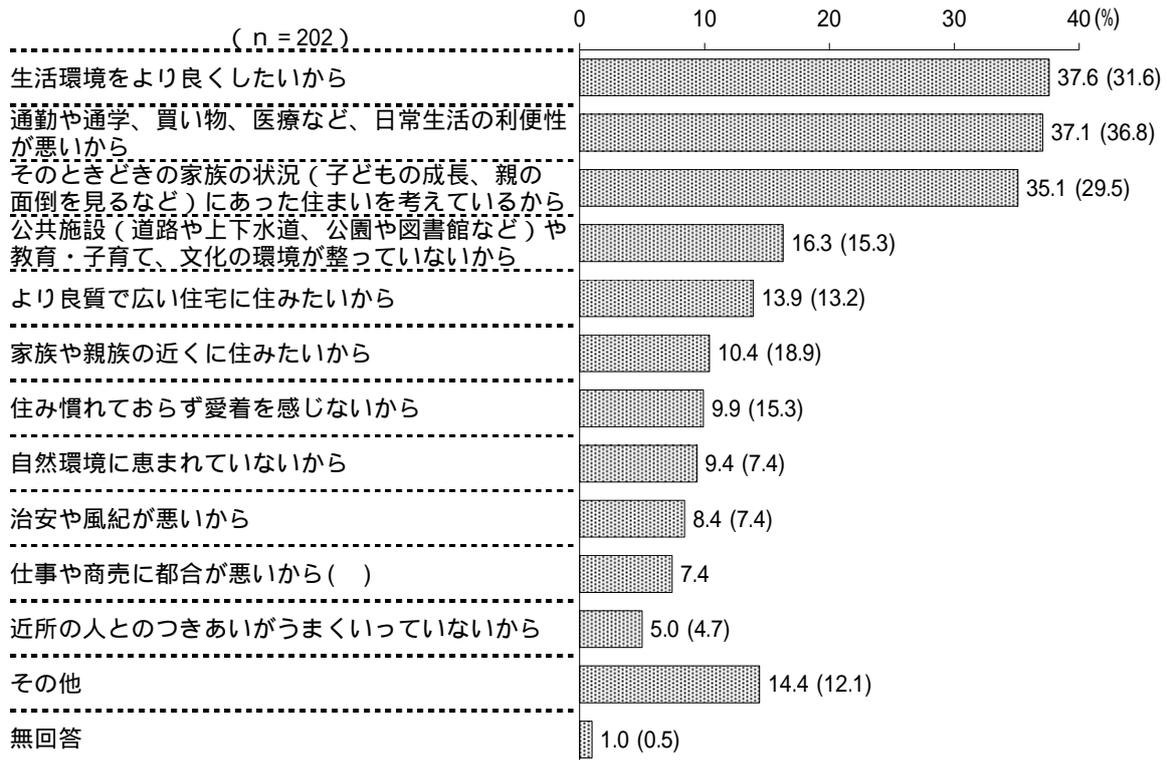
（1 - 2）移りたい理由

「生活環境をより良くしたいから」と「通勤や通学、買い物、医療など、日常生活の利便性が悪いから」が約4割

（問1で「千葉県内のよそへ移りたい」、「千葉県外に移りたい」、「千葉県内、県外どちらでもかまわないが移りたい」のいずれかをお答えの方に）

問1 - 2 あなたが現在お住まいの地域から移りたいと思う理由は何ですか。（は3つまで）

<図表1 - 6> 移りたい理由（3つまでの複数回答）



注) () の数字は平成29年度の同様の項目による調査結果 n = 190

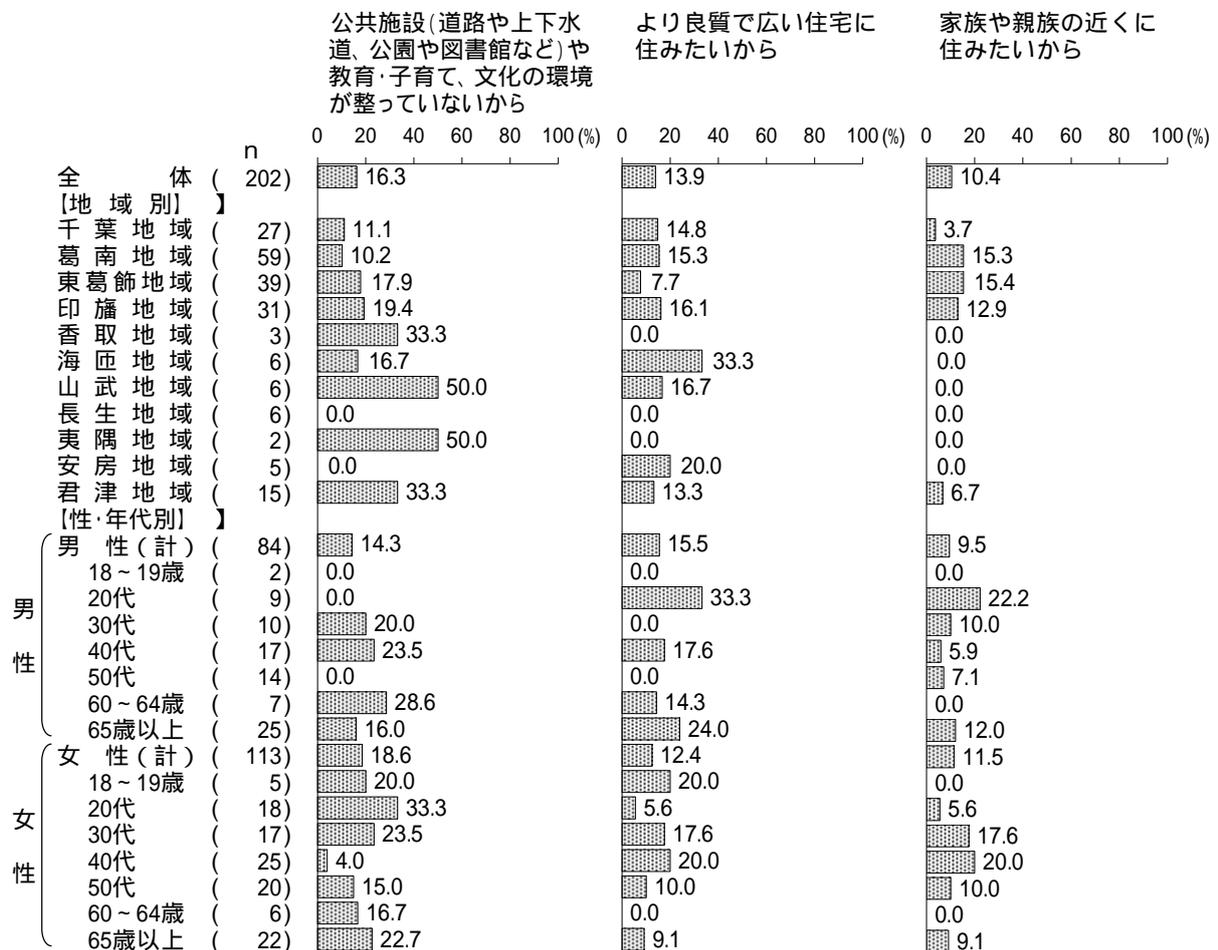
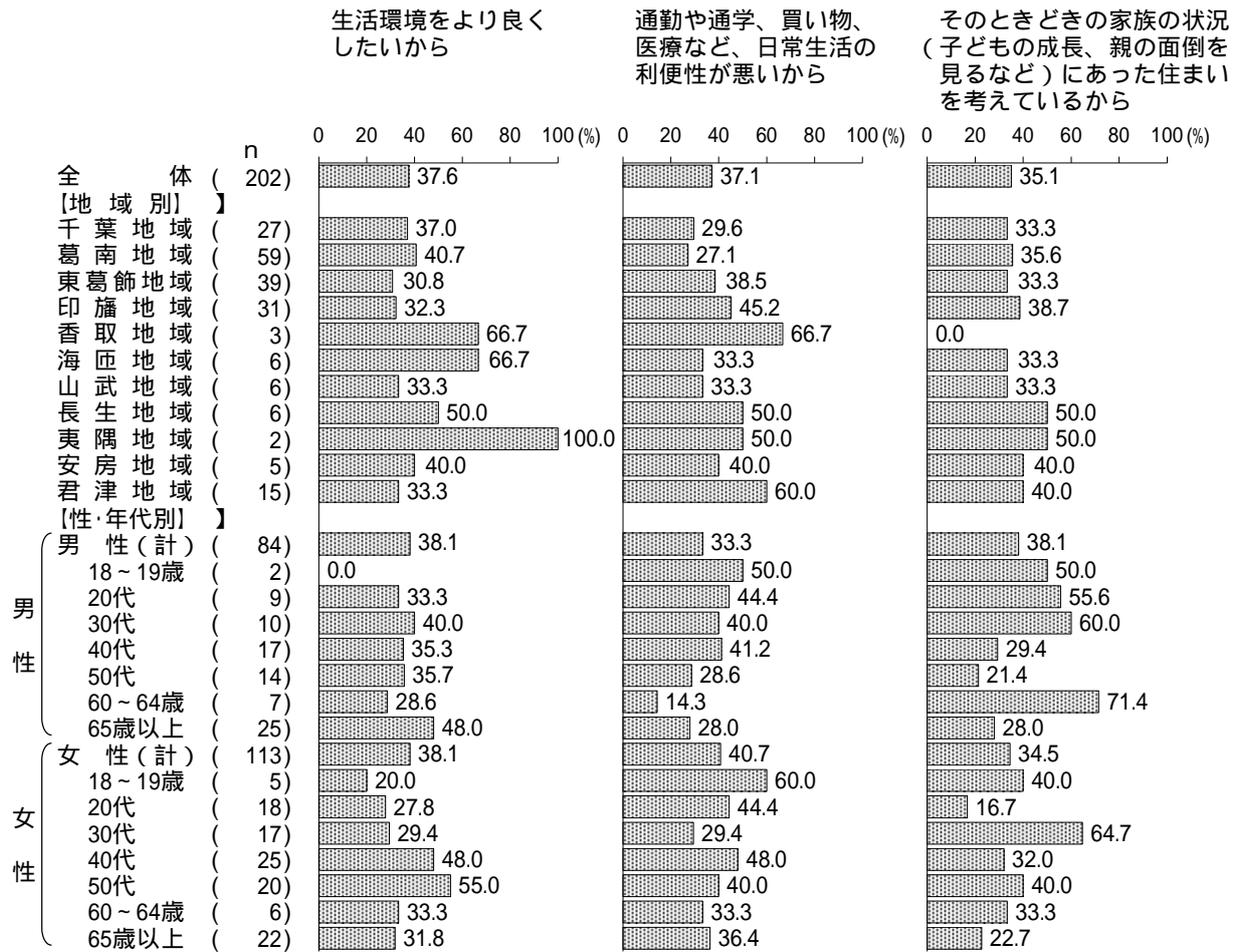
() 平成29年度調査では、「仕事や商売に都合が悪いから」の選択肢は設けていない。

「千葉県内のよそへ移りたい」、「千葉県外に移りたい」、「千葉県内、県外どちらでもかまわないが移りたい」と回答した202人を対象に、移りたい理由を3つまで選んでもらったところ、「生活環境をより良くしたいから」(37.6%)と「通勤や通学、買い物、医療など、日常生活の利便性が悪いから」(37.1%)が約4割で最も高く、以下、「そのときどきの家族の状況（子どもの成長、親の面倒を見るなど）にあった住まいを考えているから」(35.1%)、「公共施設（道路や上下水道、公園や図書館など）や教育・子育て、文化の環境が整っていないから」(16.3%)が続く。

（図表1 - 6）

サンプル数が少ない（有意差がない）ため、【地域別】と【性・年代別】における属性の分析は触れていない。（10ページ「報告書の見方（6）」を参照）

<図表1 - 7> 移りたい理由（3つまでの複数回答） / 地域別、性・年代別（上位6項目）



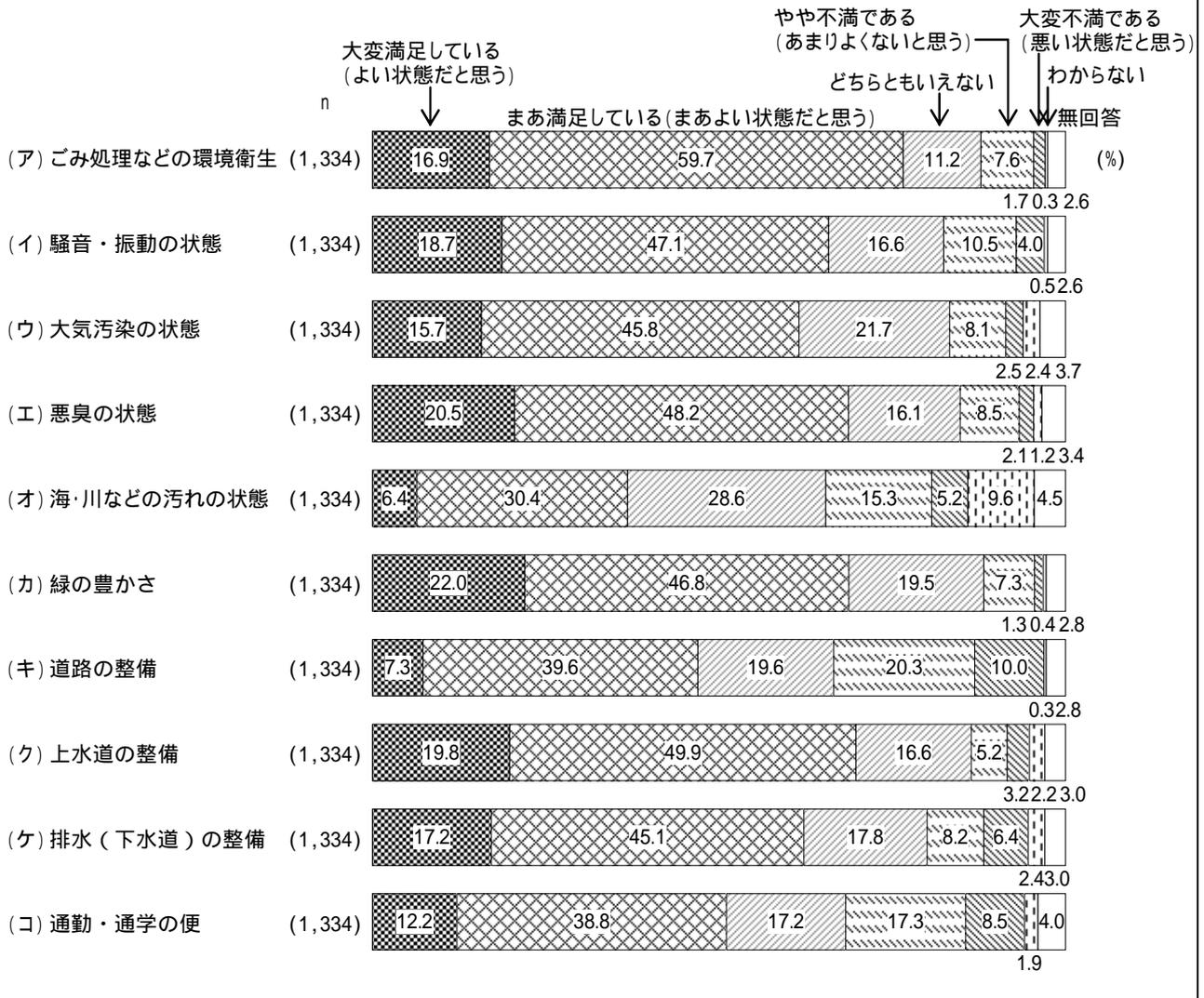
（２）現在の生活の満足度

『満足している（計）』が最も高いのは ごみ処理などの環境衛生 で7割台半ば

問2 あなたは、現在お住まいの地域の生活についてどの程度満足していますか。

（ はそれぞれ1つずつ）

<図表1-8> 現在の生活の満足度



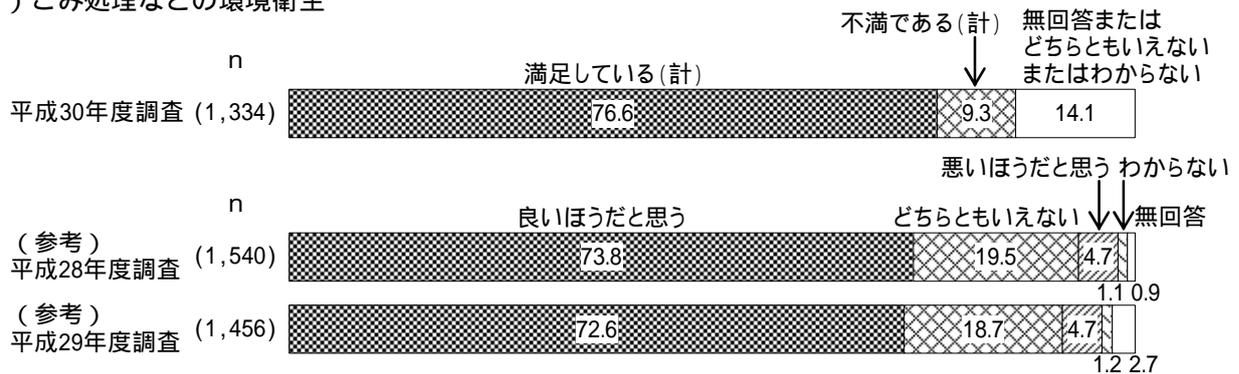
現在の生活に関する10個の項目について、それぞれの満足度を聞いたところ、「大変満足している（よい状態だと思う）」と「まあ満足している（まあよい状態だと思う）」を合わせた『満足している（計）』が最も高いのは、「(ア) ごみ処理などの環境衛生」(76.6%)で7割台半ばとなっており、以下、「(ク) 上水道の整備」(69.6%)、「(エ) 悪臭の状態」(68.7%)、「(カ) 緑の豊かさ」(68.7%)が約7割で続く。

一方、「やや不満である（あまりよくないと思う）」と「大変不満である（悪い状態だと思う）」を合わせた『不満である（計）』が最も高いのは、「(キ) 道路の整備」(30.3%)で3割となっており、以下、「(コ) 通勤・通学の便」(25.9%)が2割台半ば、「(オ) 海・川などの汚れの状態」(20.5%)が2割で続く。(図表1-8)

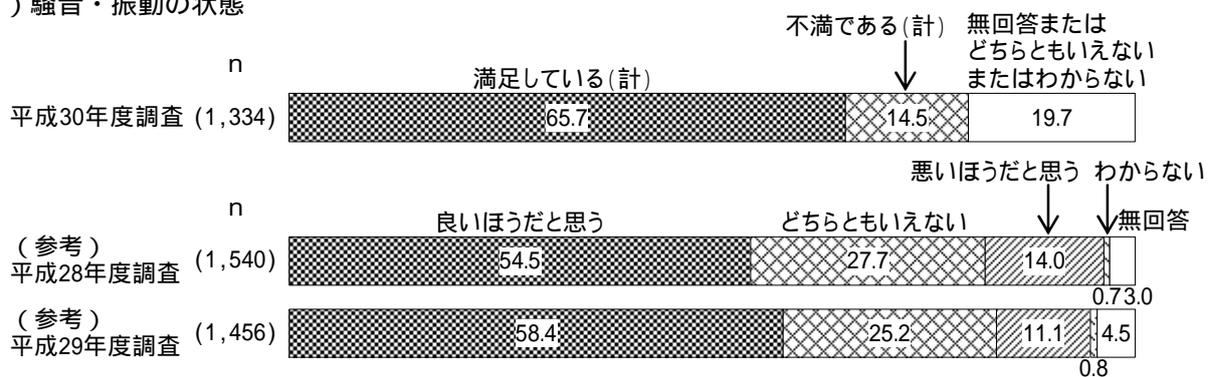
第56回県政に関する世論調査（H30年度）

〔参考〕平成28年度・平成29年度の同様の項目による調査結果との比較（単位：％）

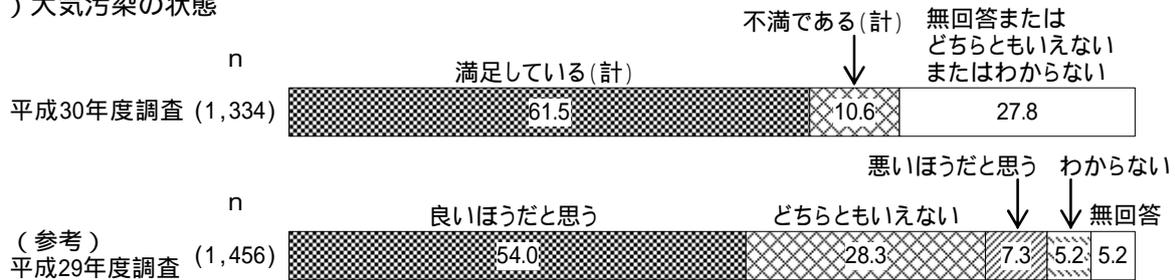
（ア）ごみ処理などの環境衛生



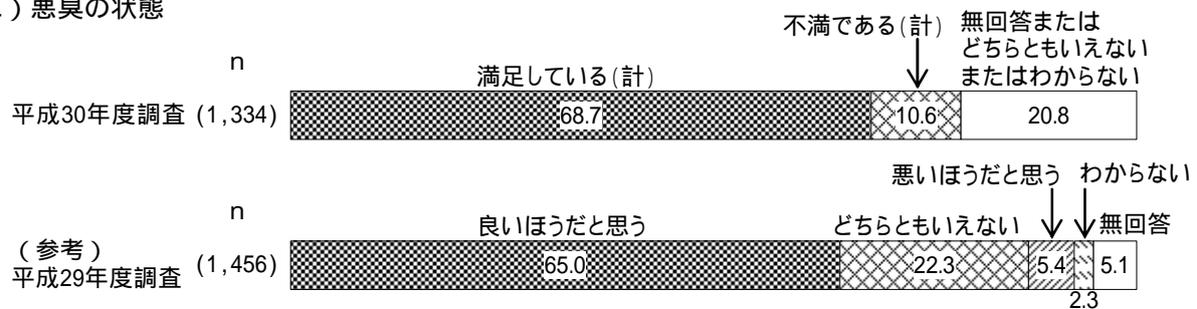
（イ）騒音・振動の状態



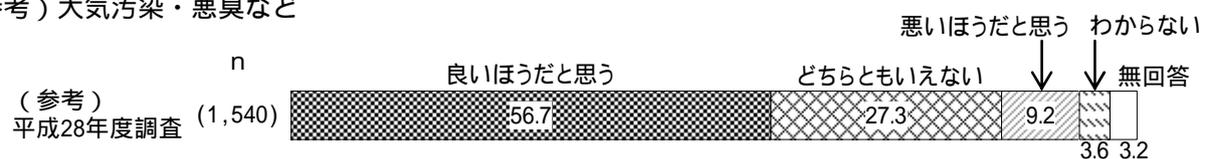
（ウ）大気汚染の状態



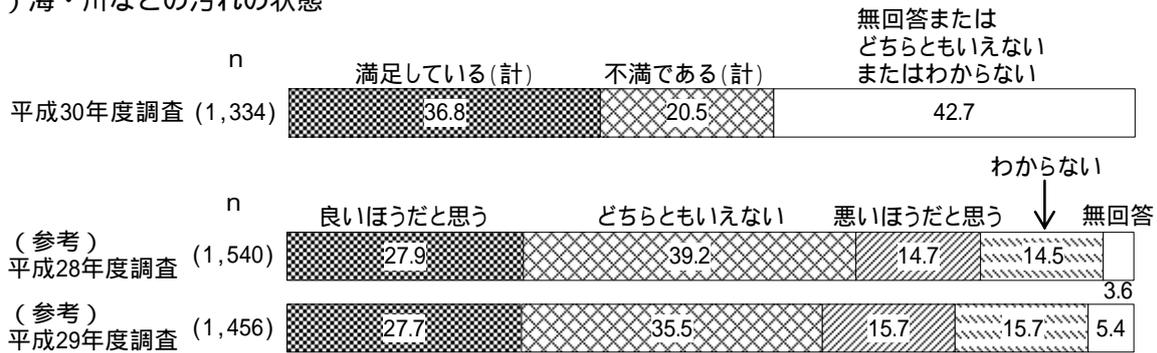
（エ）悪臭の状態



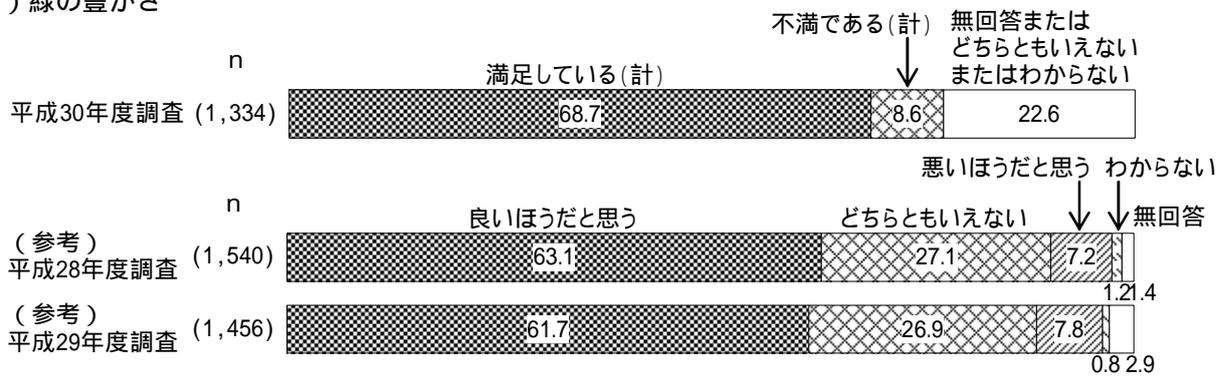
（参考）大気汚染・悪臭など



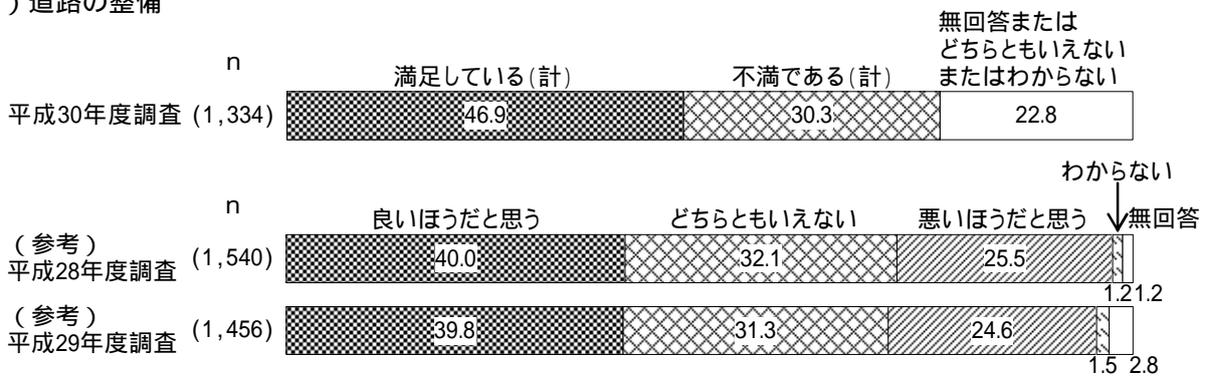
（オ）海・川などの汚れの状態



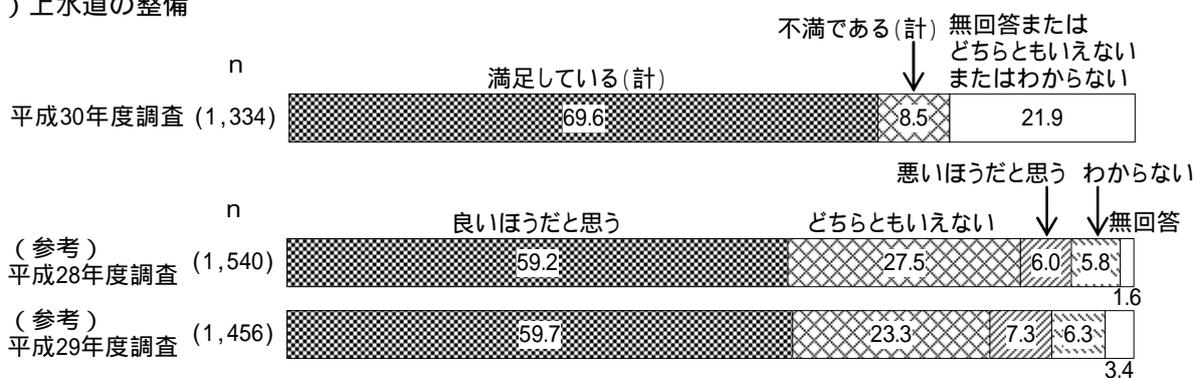
（カ）緑の豊かさ



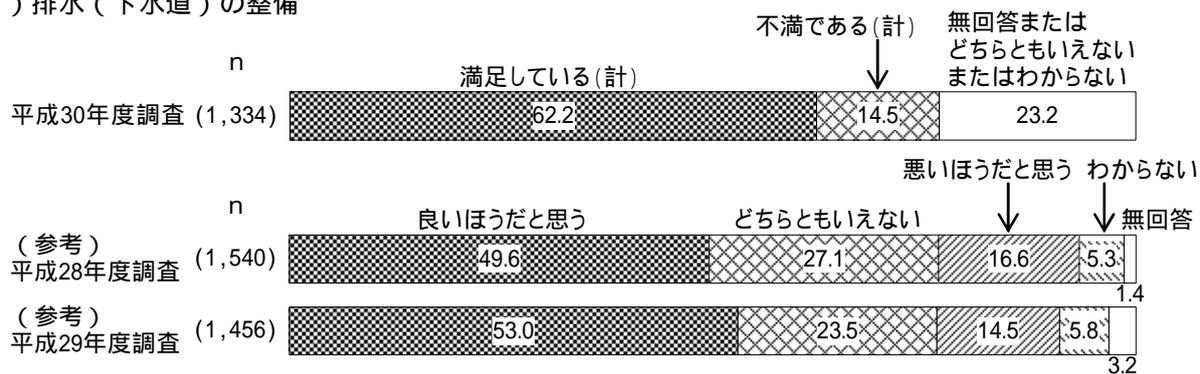
（キ）道路の整備



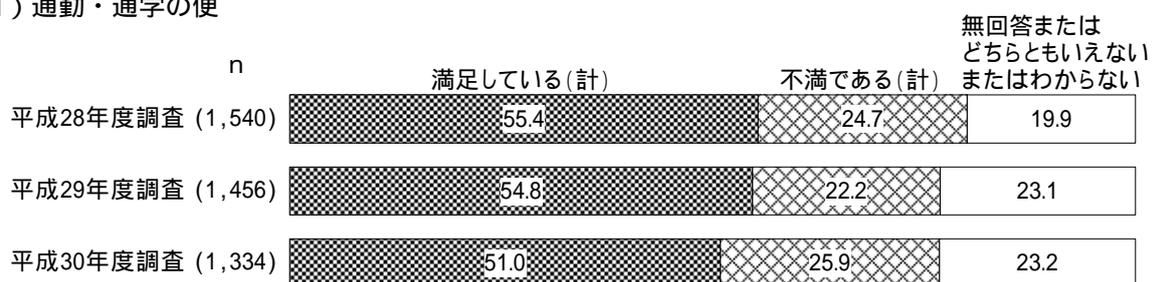
（ク）上水道の整備



（ケ）排水（下水道）の整備



（コ）通勤・通学の便



【地域別】

地域別にみると、「(ア)ごみ処理などの環境衛生」の『不満である(計)』は“海匝地域”(22.2%)が2割を超えて高くなっている。

「(イ)騒音・振動の状態」の『不満である(計)』は“山武地域”(25.6%)が2割台半ばで高くなっている。

「(ウ)大気汚染の状態」の『満足している(計)』は“安房地域”(90.0%)が9割、“印旛地域”(72.5%)が7割を超えて高くなっている。

一方、『不満である(計)』は“君津地域”(20.0%)が2割で高くなっている。

「(エ)悪臭の状態」の『満足している(計)』は“東葛飾地域”(75.6%)が7割台半ばで高くなっている。

一方、『不満である(計)』は“香取地域”(26.9%)が2割台半ば、“海匝地域”(22.2%)が2割を超えて高くなっている。

「(オ)海・川などの汚れの状態」の『不満である(計)』は“海匝地域”(40.7%)が4割、“千葉地域”(26.5%)が2割台半ばで高くなっている。

「(カ)緑の豊かさ」の『満足している(計)』は“安房地域”(93.3%)が9割を超え、“山武地域”(87.2%)が約9割で高くなっている。

「(キ)道路の整備」の『満足している(計)』は“千葉地域”(54.2%)が5割台半ばで高くなっている。

一方、『不満である(計)』は“葛南地域”(36.2%)が3割台半ばで高くなっている。

「(ク)上水道の整備」の『不満である(計)』は“夷隅地域”(23.5%)が2割台半ば、“香取地域”(23.1%)が2割を超え、“安房地域”(20.0%)が2割で高くなっている。

「(ケ)排水(下水道)の整備」の『満足している(計)』は“葛南地域”(67.5%)が約7割で高くなっている。

一方、『不満である(計)』は“安房地域”(40.0%)が4割、“香取地域”(34.6%)が3割台半ばで高くなっている。

「(コ)通勤・通学の便」の『満足している(計)』は“葛南地域”(65.3%)が6割台半ばで高くなっている。

一方、『不満である(計)』は“夷隅地域”(64.7%)が6割台半ば、“香取地域”(50.0%)が5割で高くなっている。(図表1-9)

【性・年代別】

性・年代別にみると、「(ア)ごみ処理などの環境衛生」の『満足している(計)』は男性の50代(86.4%)が8割台半ばで高くなっている。

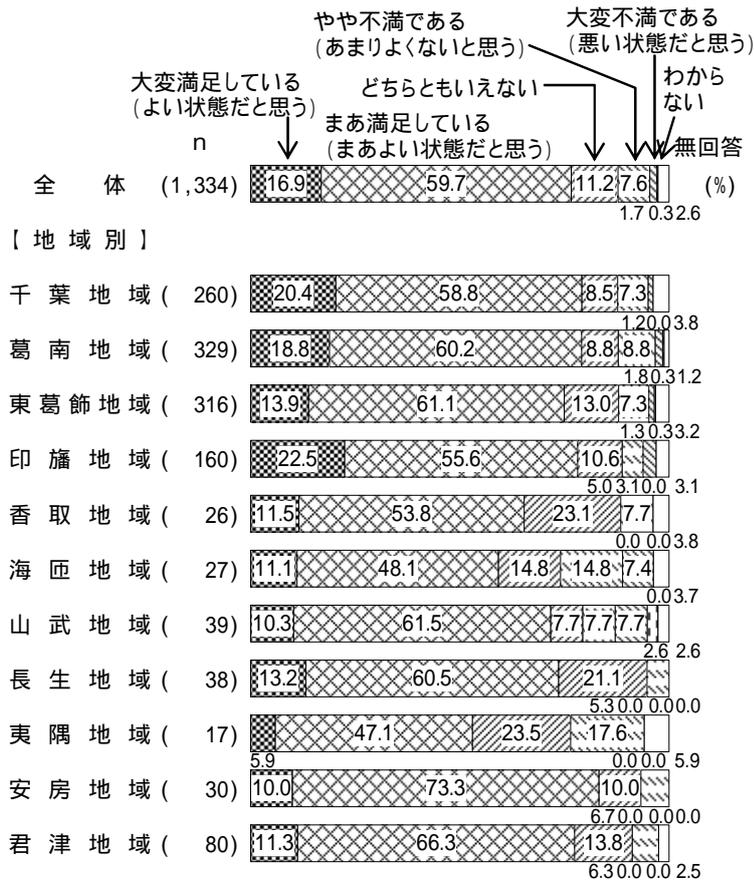
「(ウ)大気汚染の状態」の『満足している(計)』は男性の65歳以上(68.0%)が約7割で高くなっている。

「(オ)海・川などの汚れの状態」の『不満である(計)』は女性の20代(51.0%)が5割を超え、男性の20代(42.9%)が4割を超え、男性の40代(29.4%)が約3割で高くなっている。

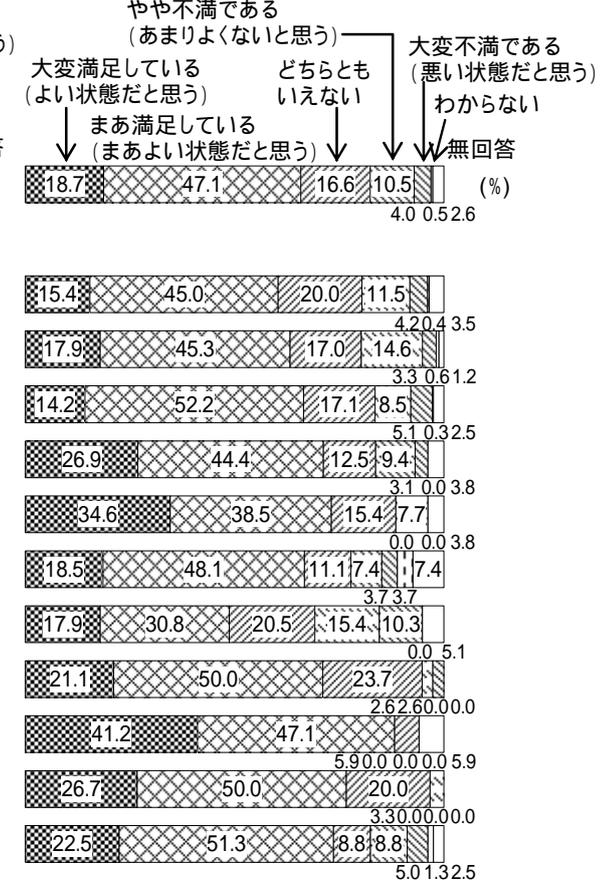
「(ク)上水道の整備」の『満足している(計)』は男性の20代(88.6%)が約9割で高くなっている。(図表1-9)

<図表1 - 9> 現在の生活の満足度 / 地域別、性・年代別

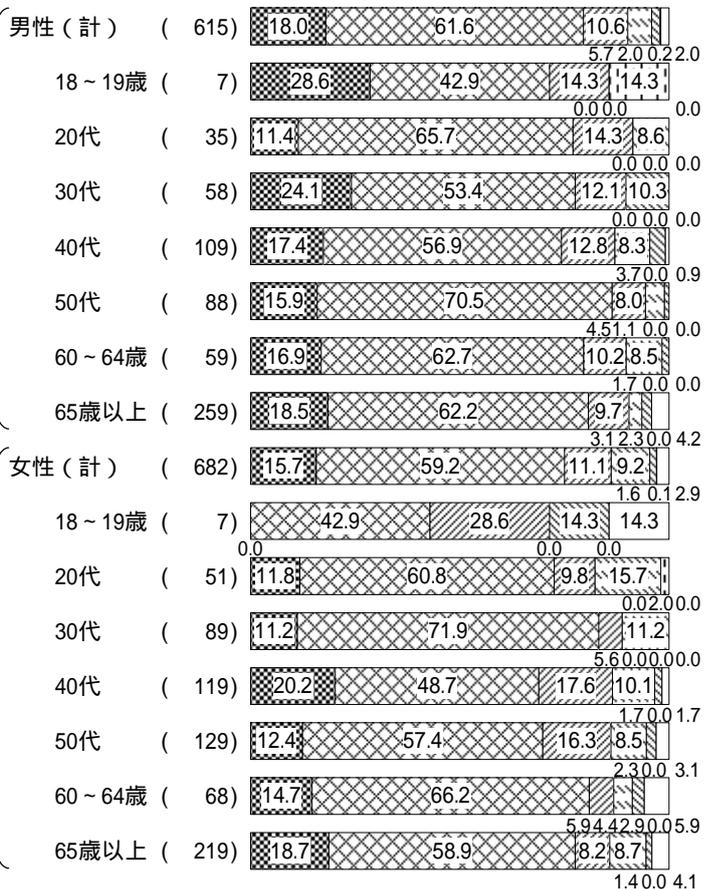
(ア) ごみ処理などの環境衛生



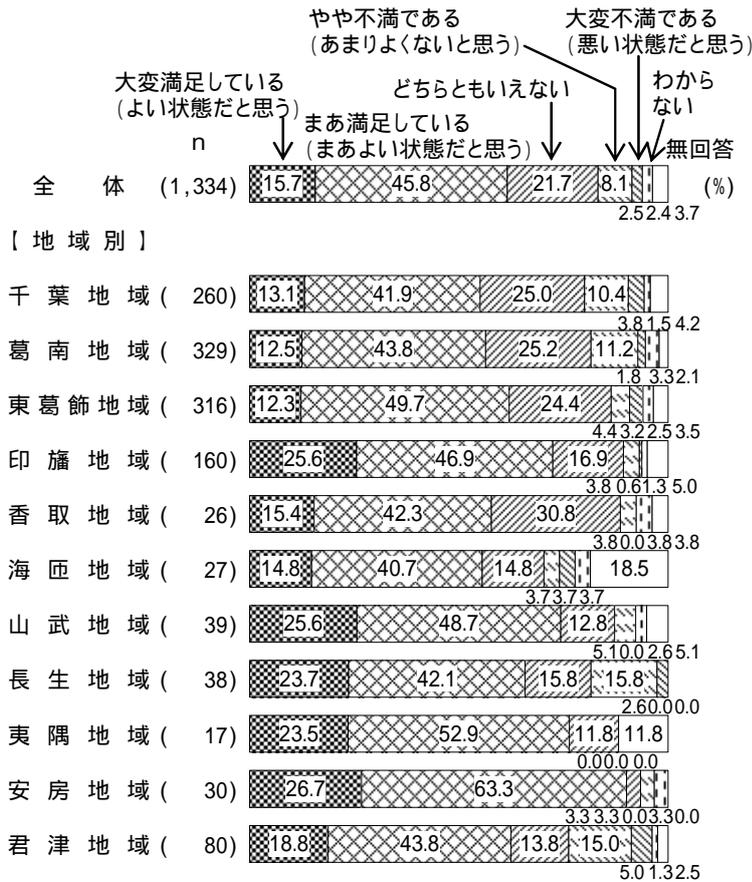
(イ) 騒音・振動の状態



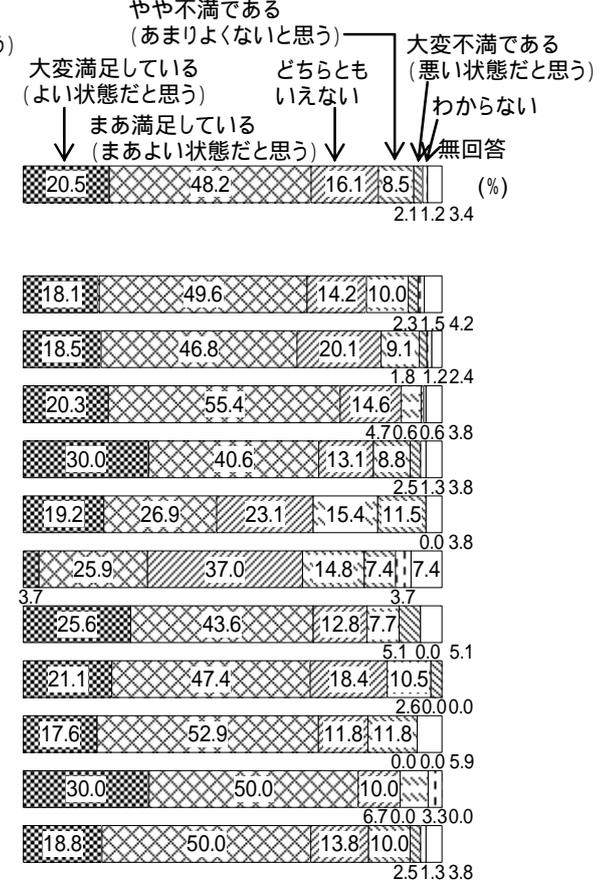
【地域別】



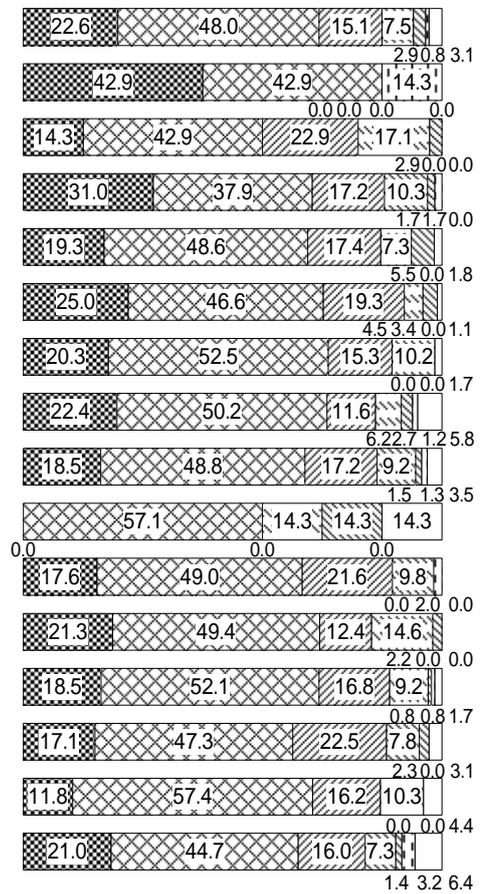
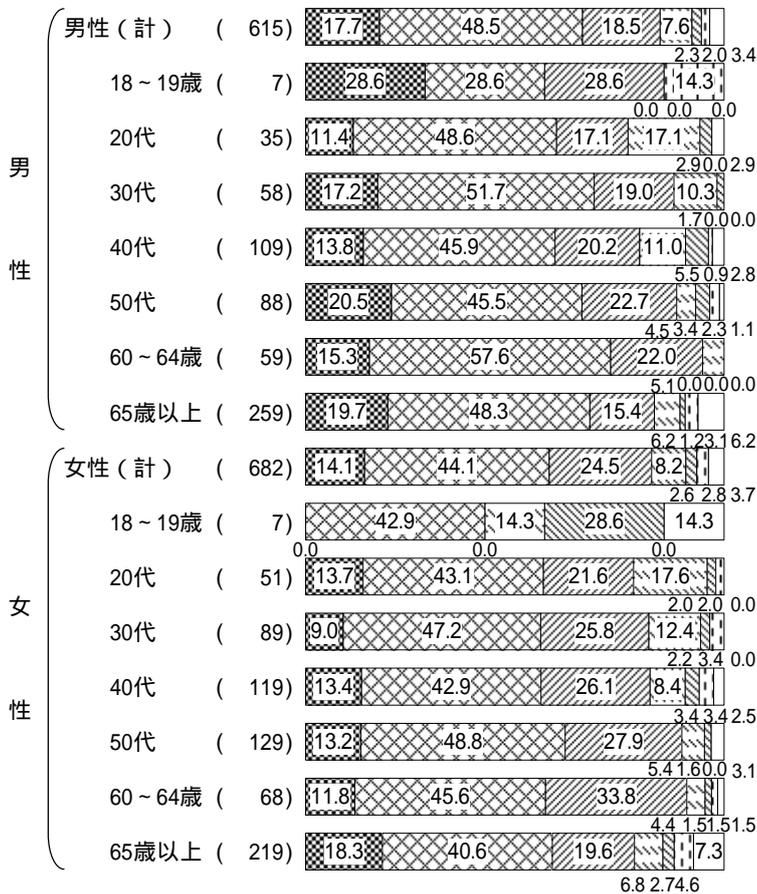
(ウ) 大気汚染の状態



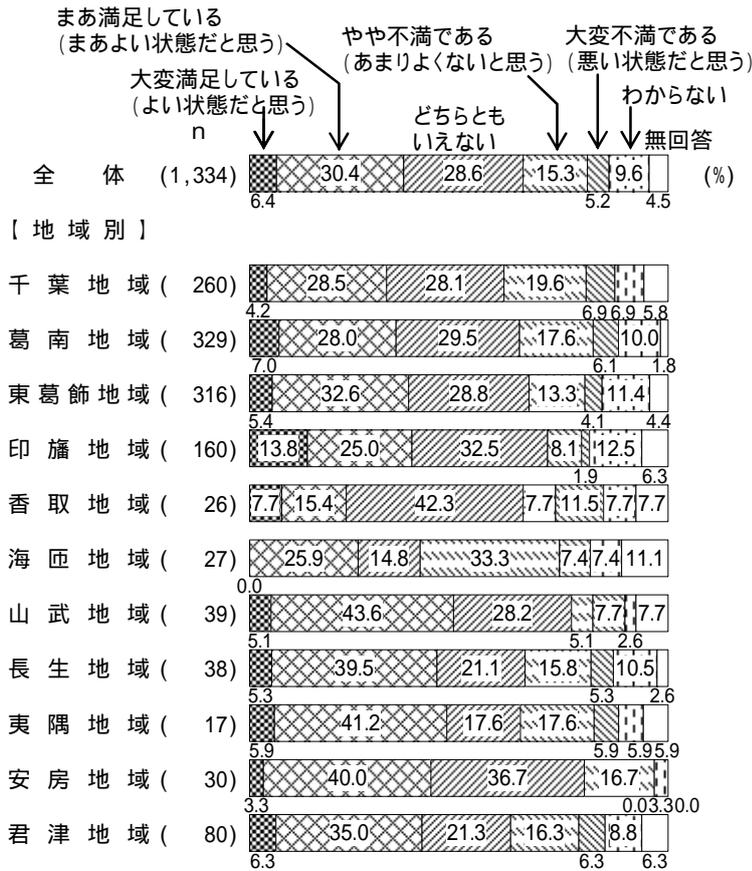
(エ) 悪臭の状態



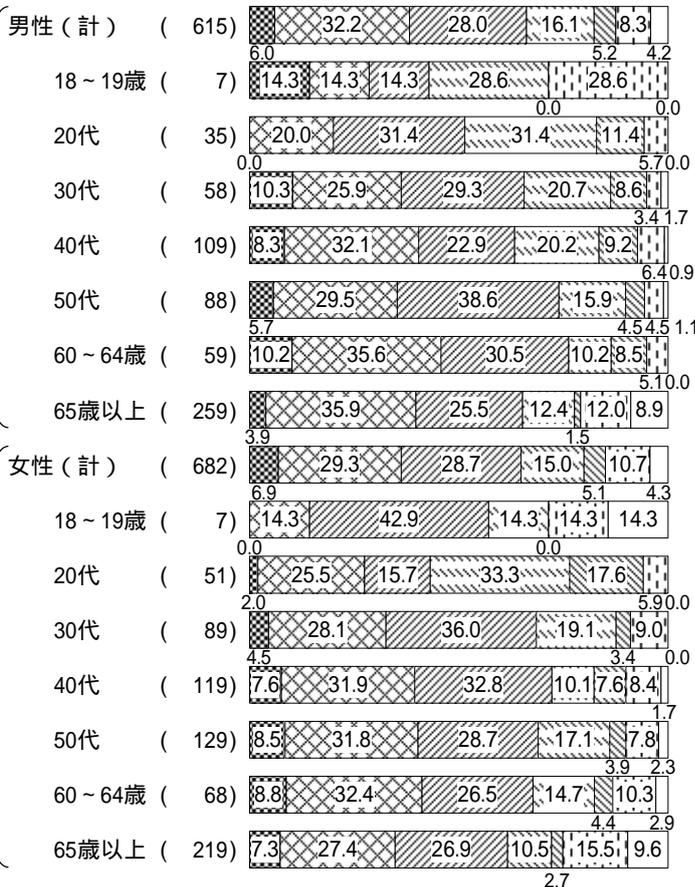
〔性・年代別〕



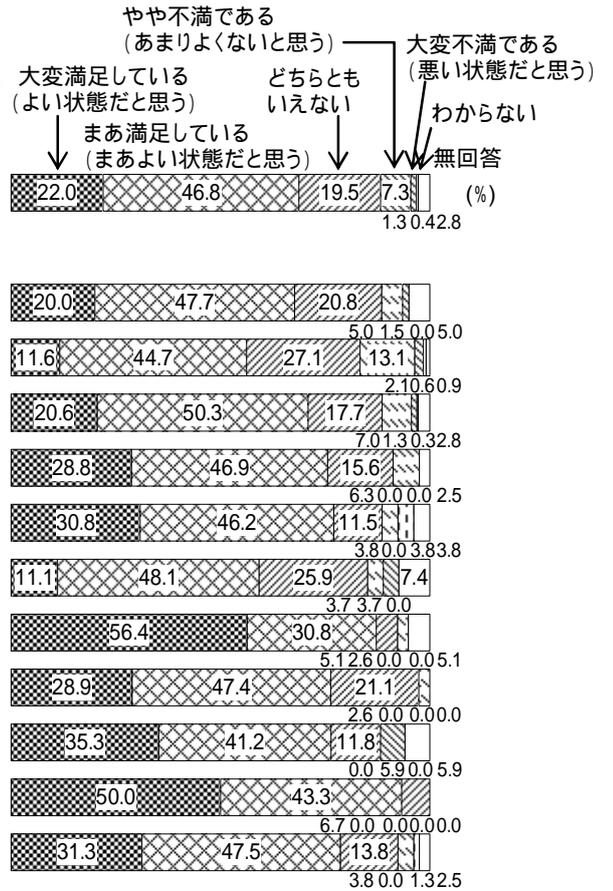
(オ) 海・川などの汚れの状態



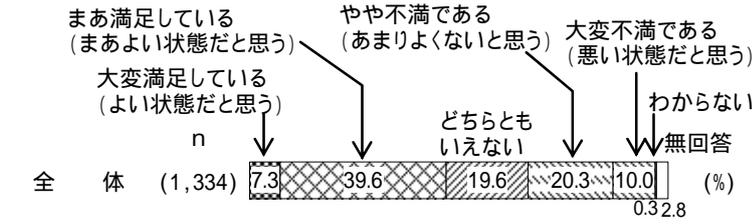
〔地域別〕



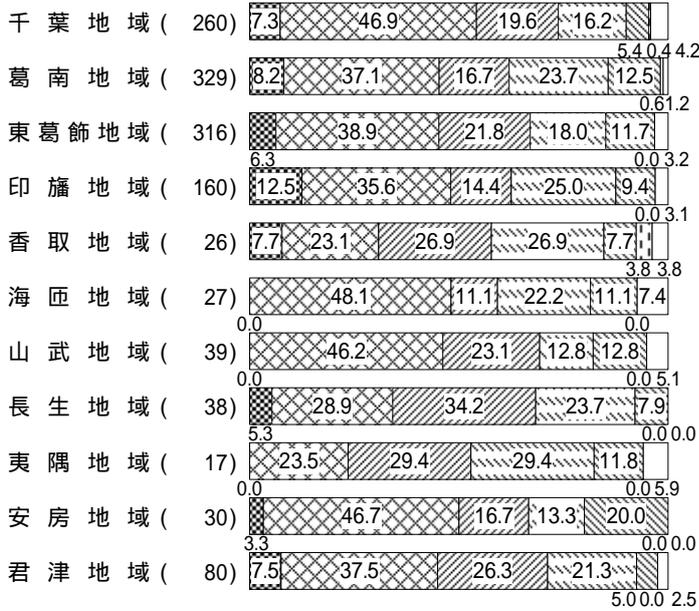
(カ) 緑の豊かさ



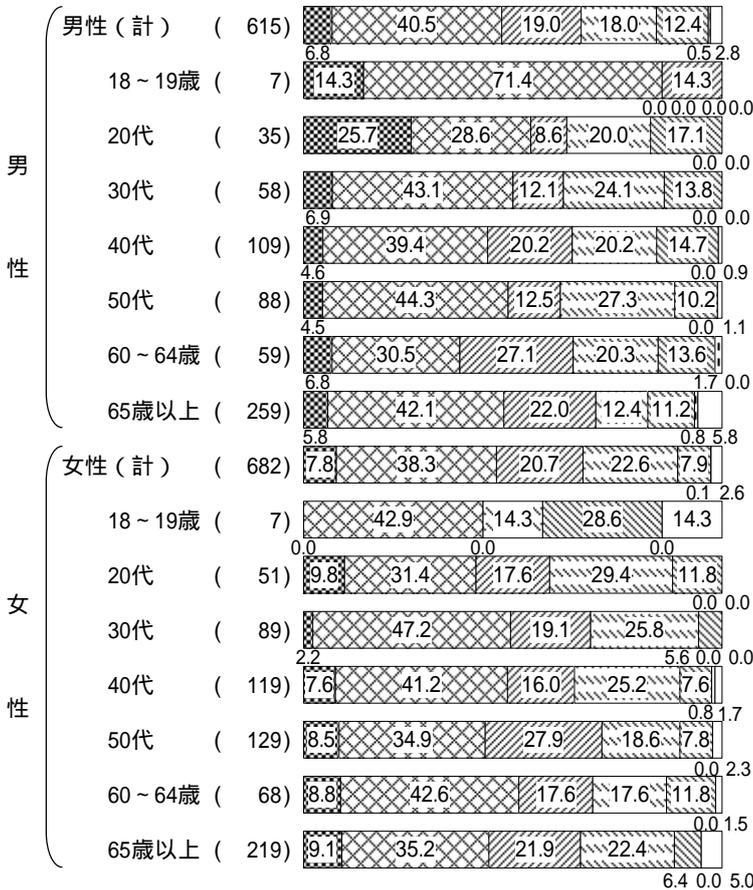
(キ) 道路の整備



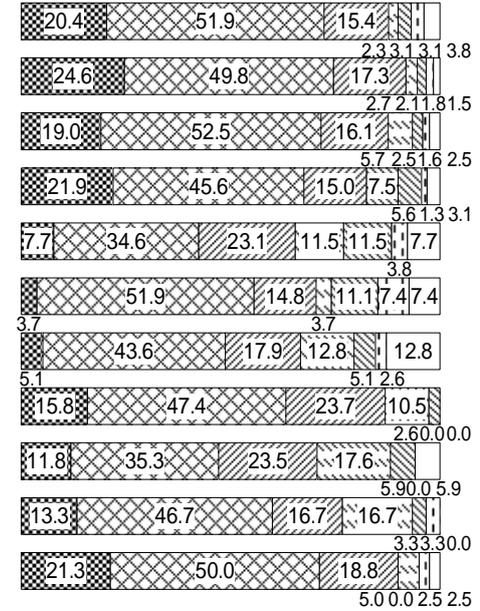
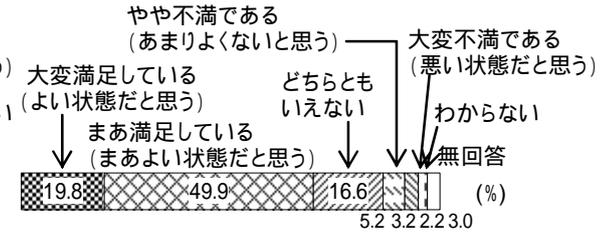
【地域別】



【性・年代別】

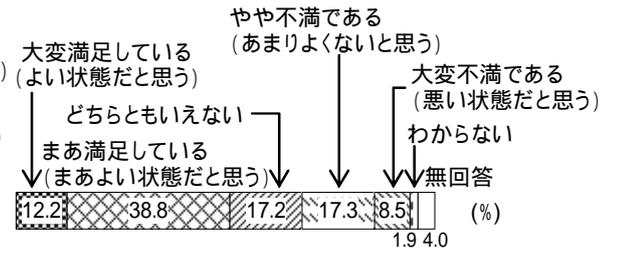
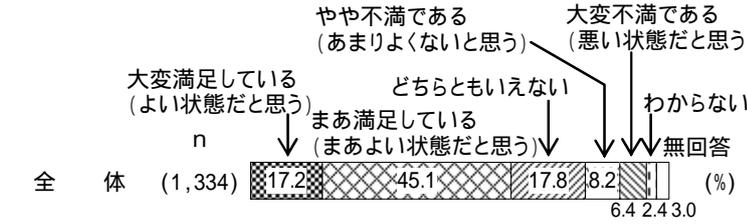


(ク) 上水道の整備

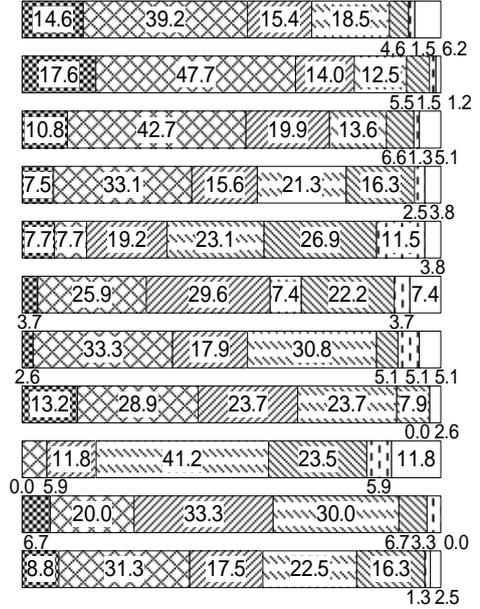
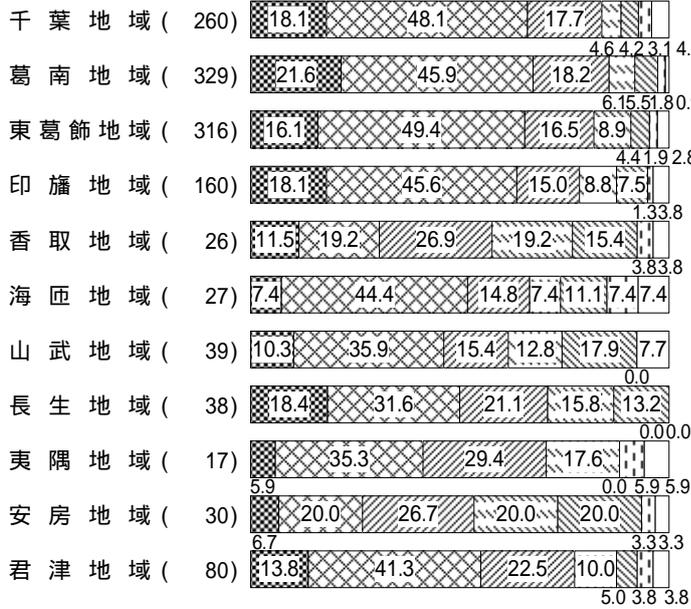


(ケ) 排水（下水道）の整備

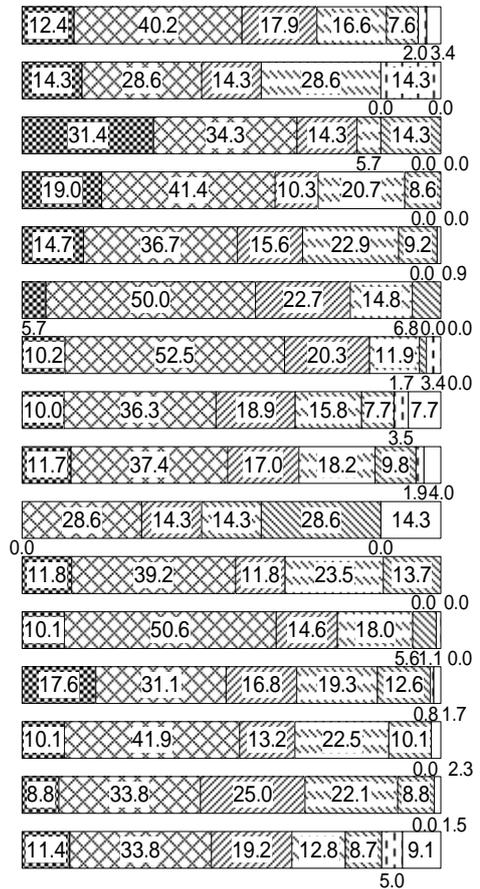
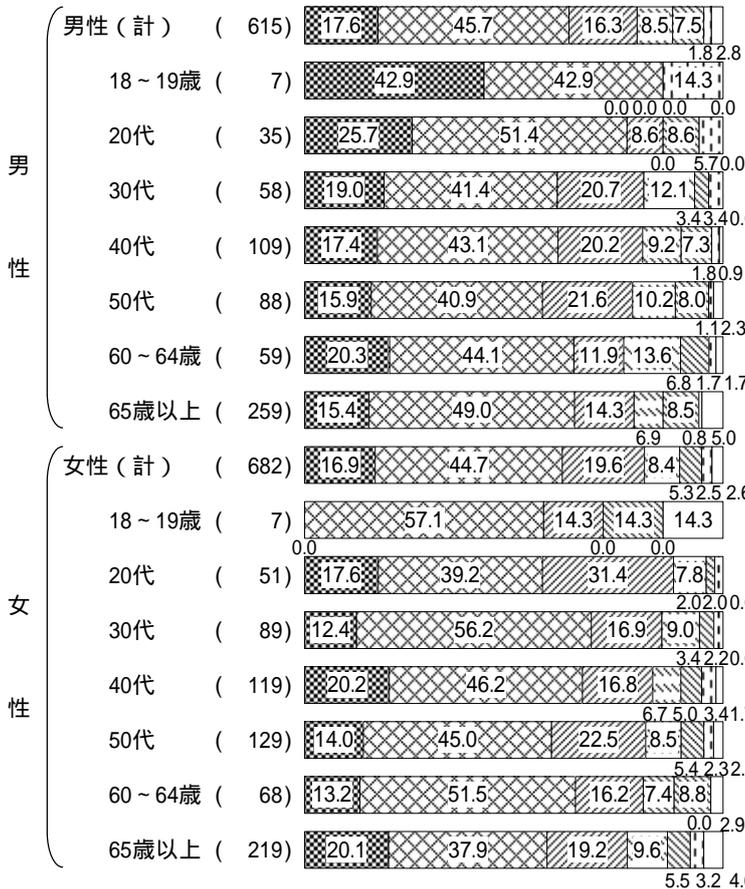
(コ) 通勤・通学の便



【地域別】



【性・年代別】

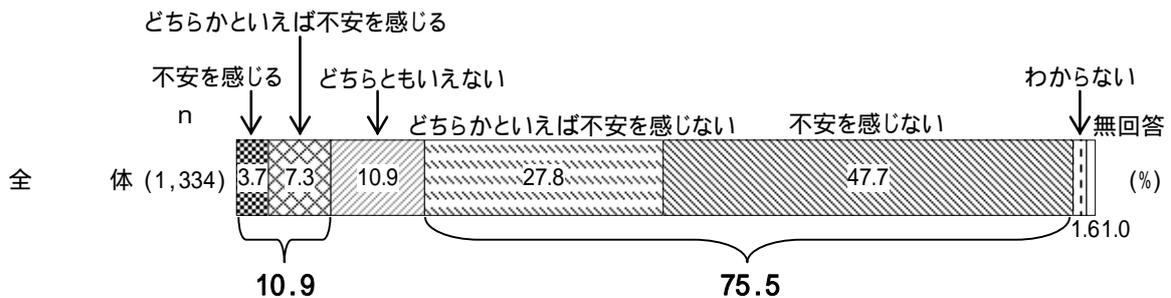


（3）生活必需品への不安

『不安を感じない（計）』が7割台半ば

問3 あなたは、普段の生活の中で、生活必需品（食品、トイレットペーパーなど生活雑貨、衣料品など）の安定的な供給体制（消費者がいつでも購入できること）や安全性に不安を感じることがありますか。（は1つ）

<図表1-10> 生活必需品への不安



普段の生活の中で、生活必需品（食品、トイレットペーパーなど生活雑貨、衣料品など）の安定的な供給体制（消費者がいつでも購入できること）や安全性への不安を聞いたところ、「不安を感じる」（3.7%）と「どちらかといえば不安を感じる」（7.3%）を合わせた『不安を感じる（計）』（10.9%）が1割となっている。

一方、「どちらかといえば不安を感じない」（27.8%）と「不安を感じない」（47.7%）を合わせた『不安を感じない（計）』（75.5%）は7割台半ばで高くなっている。（図表1-10）

【地域別】

地域別にみると、『不安を感じる（計）』は“夷隅地域”（29.4%）が約3割、“長生地域”（21.1%）が2割を超えて高くなっている。

一方、『不安を感じない（計）』は“印旛地域”（82.5%）が8割を超えて高くなっている。

（図表1-11）

【性・年代別】

性・年代別にみると、『不安を感じる（計）』は女性の65歳以上（17.4%）が約2割となっている。

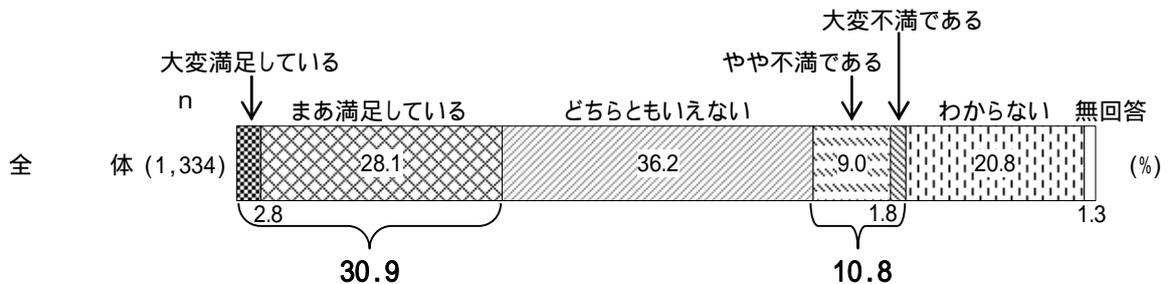
（図表1-11）

（４）消費生活全般の満足度

『満足している（計）』が3割

問4 あなたは、消費生活全般（消費者トラブルの相談体制、消費者教育の機会、悪質商法への対策、生活必需品の安定供給など）について、どうお感じですか。（は1つ）

<図表1-12> 消費生活全般の満足度



消費生活全般（消費者トラブルの相談体制、消費者教育の機会、悪質商法への対策、生活必需品の安定供給など）について、その満足度を聞いたところ、「大変満足している」（2.8%）と「まあ満足している」（28.1%）を合わせた『満足している（計）』（30.9%）が3割となっている。

一方、「やや不満である」（9.0%）と「大変不満である」（1.8%）を合わせた『不満である（計）』（10.8%）は1割となっている。（図表1-12）

【地域別】

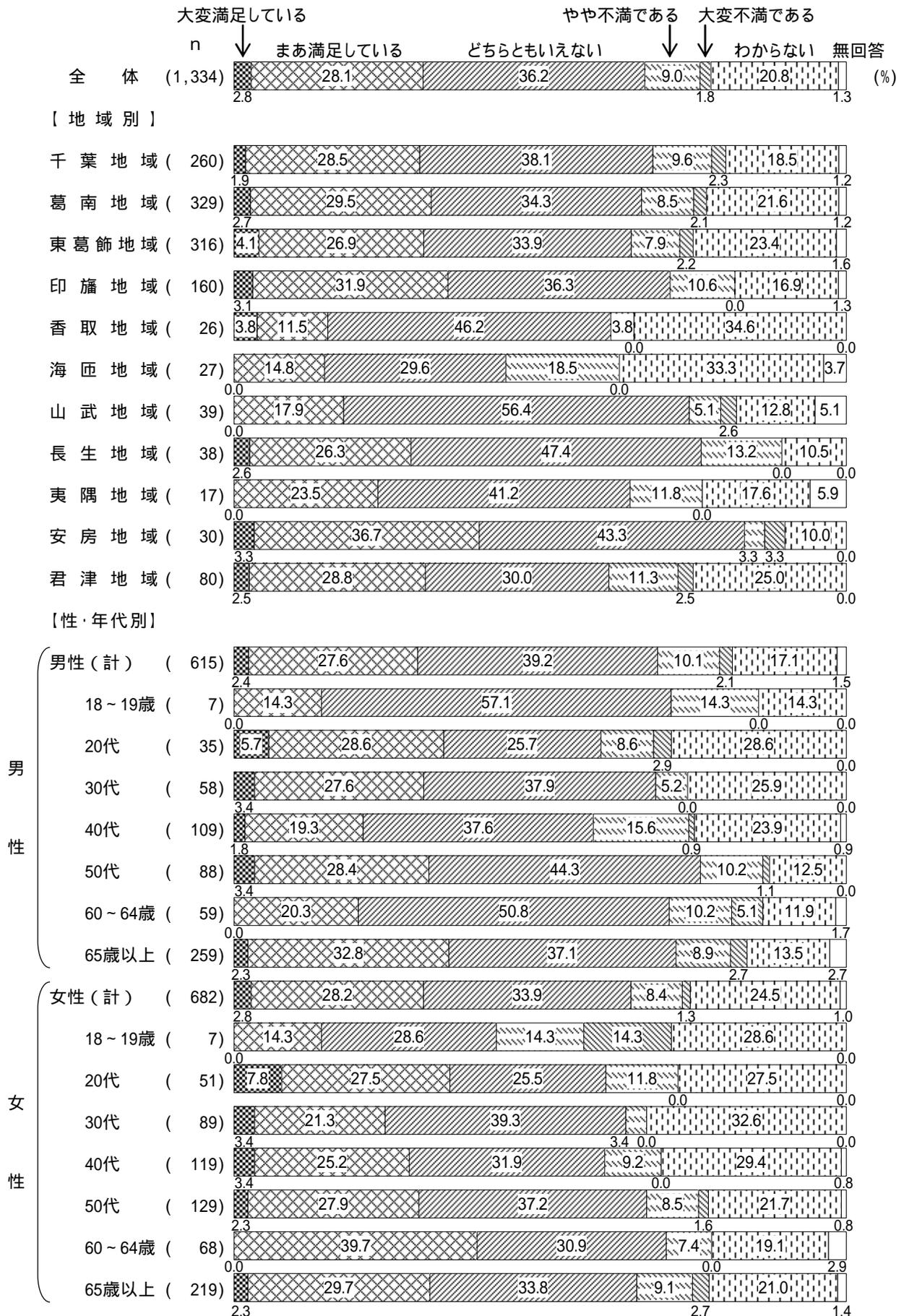
地域別にみると、「どちらともいえない」は“山武地域”（56.4%）が5割台半ばで高くなっている。（図表1-13）

【性・年代別】

性・年代別にみると、「まあ満足している」は女性の60～64歳（39.7%）が約4割で高くなっている。

「どちらともいえない」は男性の60～64歳（50.8%）が5割で高くなっている。（図表1-13）

<図表1 - 13> 消費生活全般の満足度 / 地域別、性・年代別



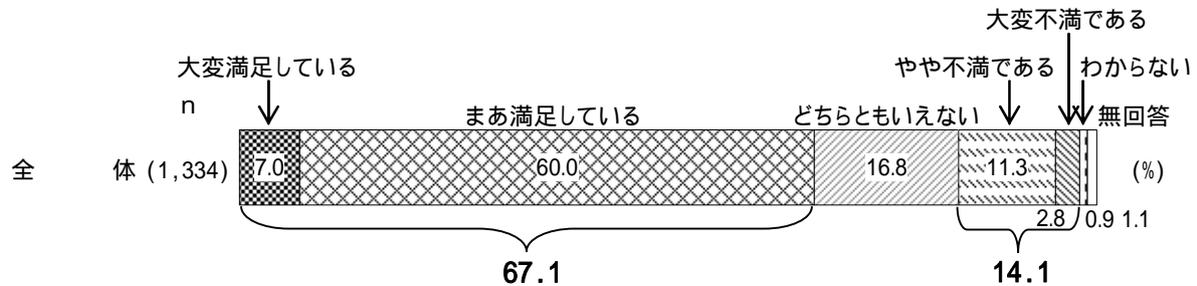
（5）住生活全般の満足度

『満足している（計）』が約7割

問5 あなたは、現在の住生活全般（住まい・環境・地域社会）についてどう感じですか。

（は1つ）

<図表1-14> 住生活全般の満足度



現在の住生活全般（住まい・環境・地域社会）について、その満足度を聞いたところ、「大変満足している」(7.0%)と「まあ満足している」(60.0%)を合わせた『満足している(計)』(67.1%)が約7割で高くなっている。

一方、「やや不満である」(11.3%)と「大変不満である」(2.8%)を合わせた『不満である(計)』(14.1%)は1割台半ばとなっている。(図表1-14)

〔参考〕平成28年度・平成29年度の同様の項目による調査結果との比較（単位：%）



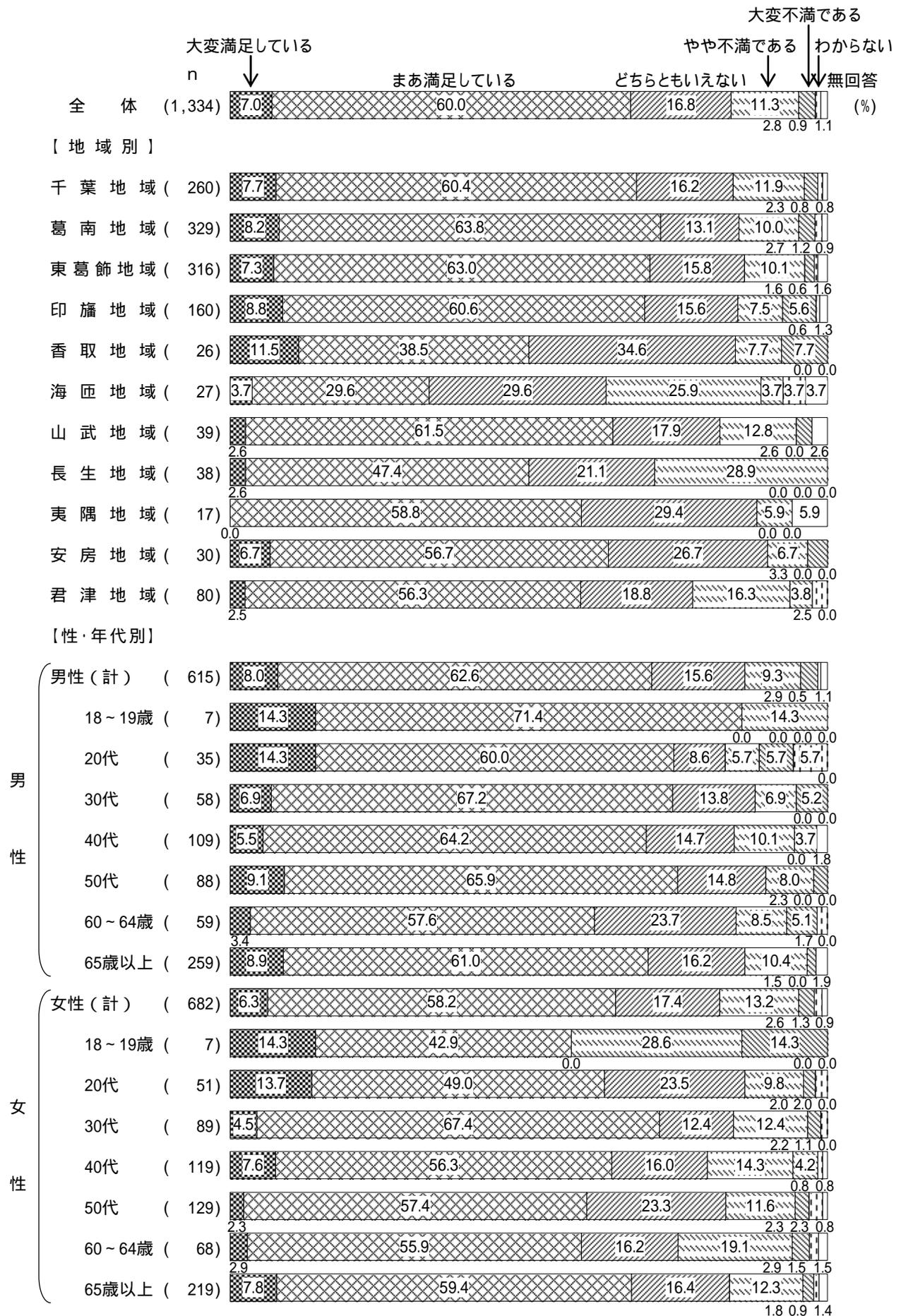
【地域別】

地域別にみると、『不満である(計)』は“海匠地域”(29.6%)と“長生地域”(28.9%)が約3割で高くなっている。(図表1-15)

【性・年代別】

性・年代別にみると、「どちらともいえない」は女性の50代(23.3%)が2割を超えて高くなっている。(図表1-15)

<図表1 - 15> 住生活全般の満足度 / 地域別、性・年代別



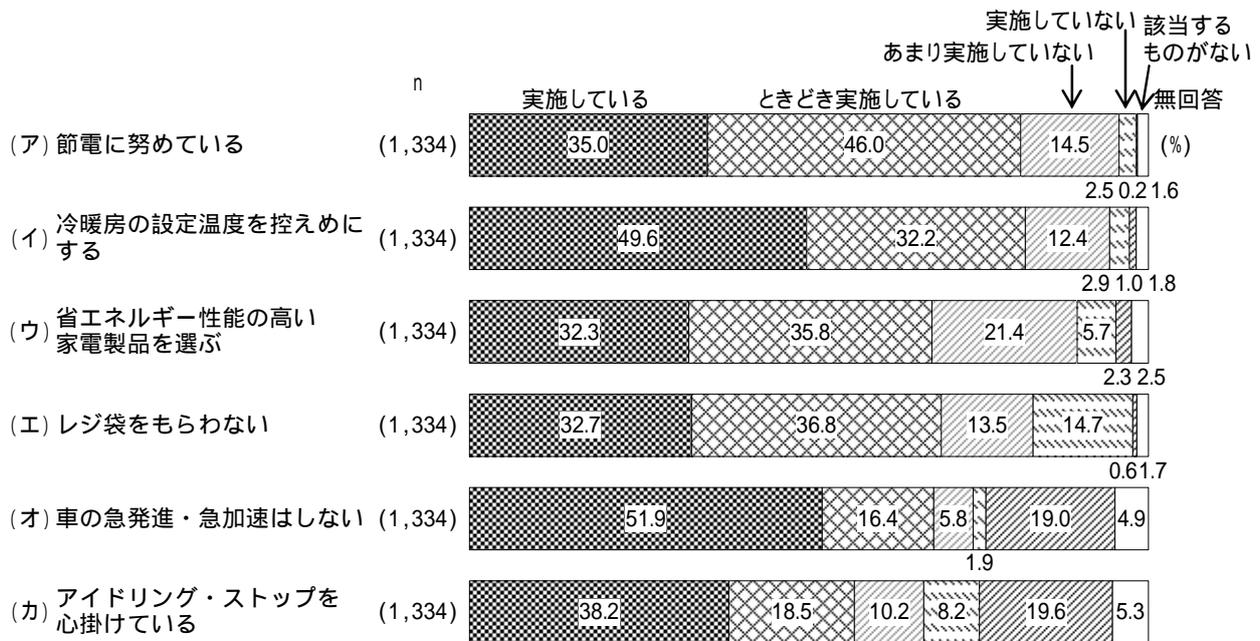
（6）普段の生活で行っている環境保全の取組

『実施している（計）』が最も高いのは 冷暖房の設定温度を控えめにする と 節電に努めている で8割を超える

問6 あなたは、普段の生活で環境に配慮した次のような取り組みを行っていますか。

（ はそれぞれ1つずつ）

<図表1-16> 普段の生活で行っている環境保全の取組



普段の生活で行っている環境保全の取組に関する6つの項目について、それぞれの実施状況を聞いたところ、「実施している」と「ときどき実施している」を合わせた『実施している（計）』が最も高いのは、「(イ) 冷暖房の設定温度を控えめにする」(81.8%)と「(ア) 節電に努めている」(81.0%)で8割を超えており、以下、「(エ) レジ袋をもらわない」(69.5%)、「(オ) 車の急発進・急加速はしない」(68.4%)、「(ウ) 省エネルギー性能の高い家電製品を選ぶ」(68.1%)が約7割で続く。

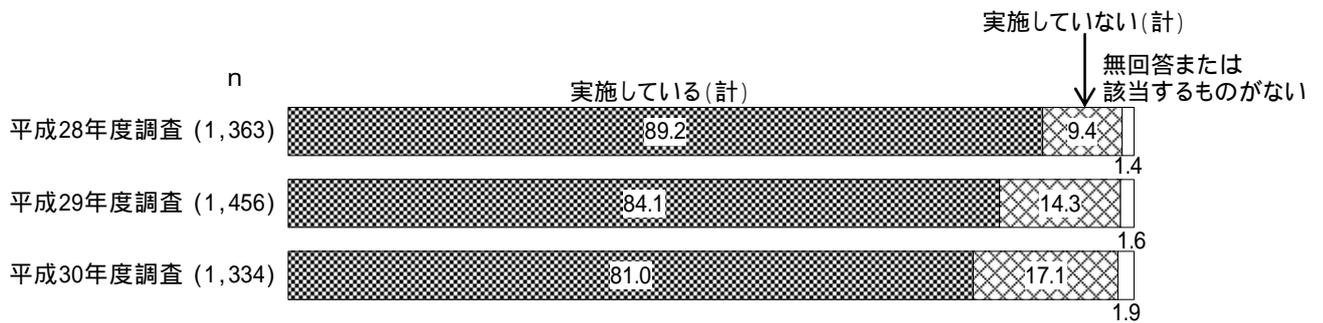
一方、「あまり実施していない」と「実施していない」を合わせた『実施していない（計）』が最も高いのは、「(エ) レジ袋をもらわない」(28.2%)と「(ウ) 省エネルギー性能の高い家電製品を選ぶ」(27.1%)で約3割となっており、以下、「(カ) アイドリング・ストップを心掛けている」(18.4%)と「(ア) 節電に努めている」(17.1%)が約2割で続く。(図表1-16)

第56回県政に関する世論調査（H30年度）

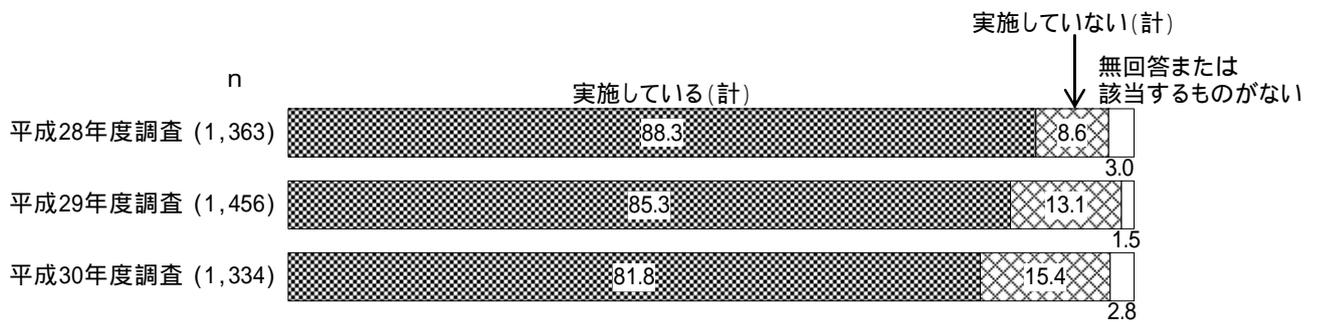
〔参考〕平成29年度の同様の項目による調査結果との比較（単位：％）

平成28年度調査は、「第53回県政に関する世論調査」の調査結果を掲載

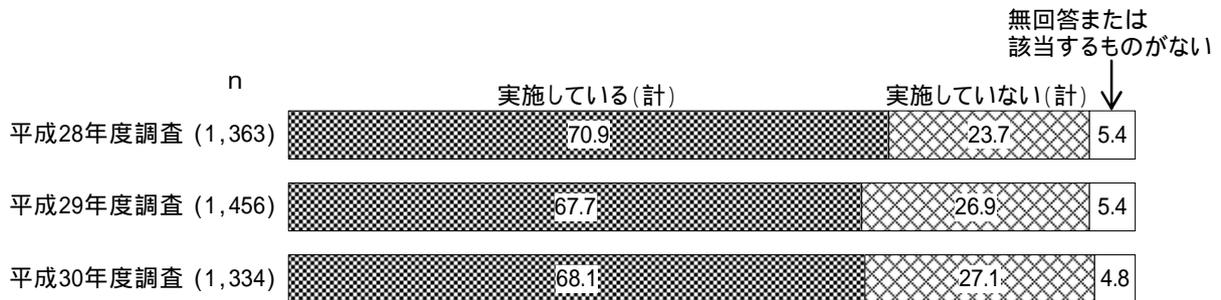
（ア）節電に努めている



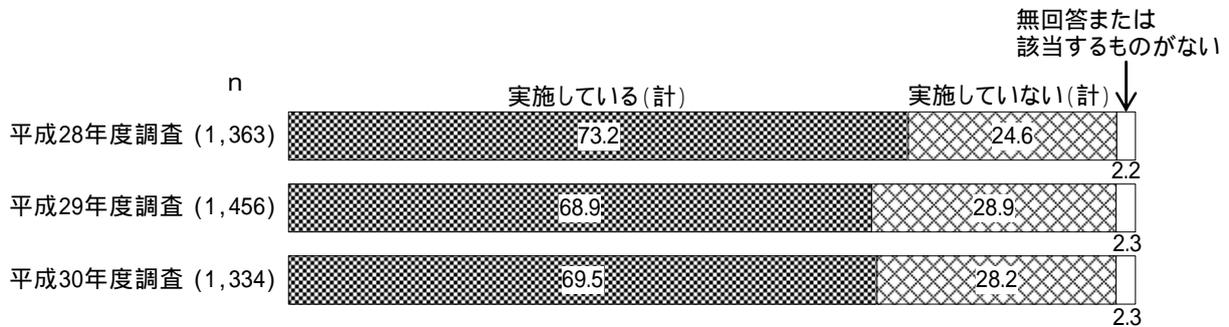
（イ）冷暖房の設定温度を控えめにする



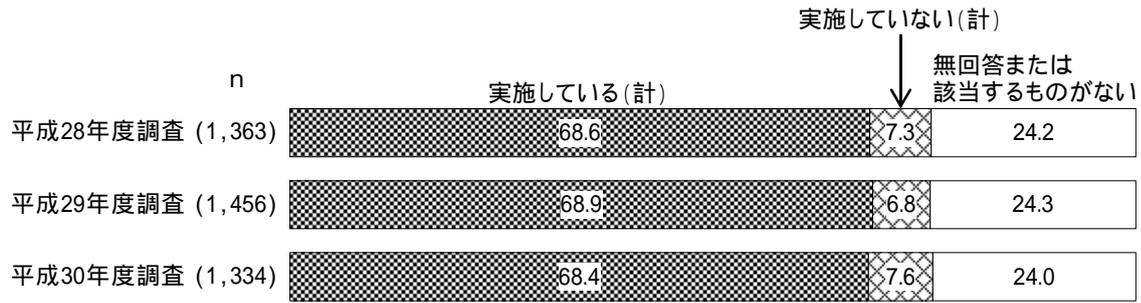
（ウ）省エネルギー性能の高い家電製品を選ぶ



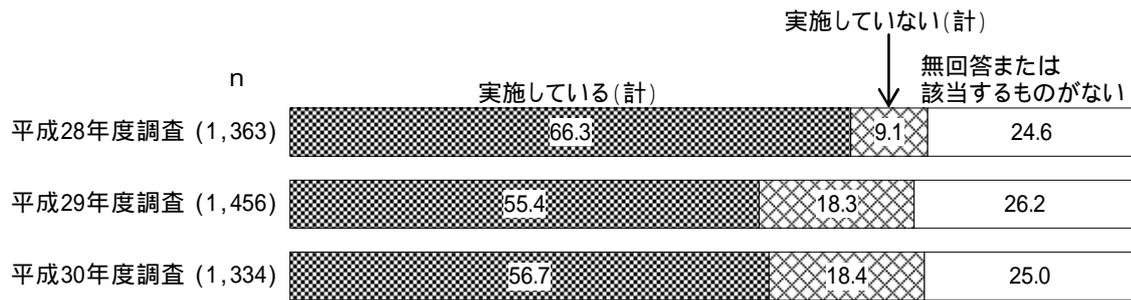
（エ）レジ袋をもらわない



（オ）車の急発進・急加速はしない



（カ）アイドリング・ストップを心掛けている



【地域別】

地域別にみると、「(ア)節電に努めている」の『実施している(計)』は“君津地域”(90.0%)が9割で高くなっている。

一方、『実施していない(計)』は“葛南地域”(21.3%)が2割を超えて高くなっている。

「(ウ)省エネルギー性能の高い家電製品を選ぶ」の『実施していない(計)』は“安房地域”(43.3%)が4割を超えて高くなっている。

「(エ)レジ袋をもらわない」の『実施していない(計)』は“香取地域”(53.8%)が5割台半ば、“海匝地域”(48.1%)が約5割で高くなっている。

「(オ)車の急発進・急加速はしない」の『実施している(計)』は“夷隅地域”(94.1%)が9割台半ば、“君津地域”(86.3%)が8割台半ば、“印旛地域”(80.6%)が8割で高くなっている。

一方、『実施していない(計)』は“安房地域”(20.0%)が2割で高くなっている。

「(カ)アイドリング・ストップを心掛けている」の『実施している(計)』は“君津地域”(77.5%)が約8割、“長生地域”(76.3%)が7割台半ばで高くなっている。

一方、『実施していない(計)』は“安房地域”(33.3%)が3割を超え、“印旛地域”(26.3%)が2割台半ばで高くなっている。(図表1-17)

【性・年代別】

性・年代別にみると、「(ア)節電に努めている」の『実施していない(計)』は男性の20代(37.1%)が約4割、男性の30代(29.3%)が約3割で高くなっている。

「(イ)冷暖房の設定温度を控えめにする」の『実施している(計)』は女性の30代(91.0%)が9割を超え、女性の65歳以上(88.1%)が約9割で高くなっている。

一方、『実施していない(計)』は男性の20代(31.4%)と男性の40代(31.2%)が3割を超えて高くなっている。

「(ウ)省エネルギー性能の高い家電製品を選ぶ」の『実施している(計)』は男性の60~64歳(81.4%)が8割を超え、女性の65歳以上(74.4%)が7割台半ばで高くなっている。

一方、『実施していない(計)』は男性の20代(48.6%)と女性の20代(47.1%)が約5割で高くなっている

「(エ)レジ袋をもらわない」の『実施している(計)』は女性の40代(81.5%)と女性の60~64歳(82.4%)が8割を超え、女性の65歳以上(77.2%)が約8割で高くなっている。

一方、『実施していない(計)』は男性の20代(45.7%)が4割台半ば、男性の40代(37.6%)が約4割、男性の65歳以上(36.3%)が3割台半ばで高くなっている。

「(オ)車の急発進・急加速はしない」の『実施している(計)』は男性の60~64歳(86.4%)が8割台半ば、男性の65歳以上(79.9%)が約8割で高くなっている。

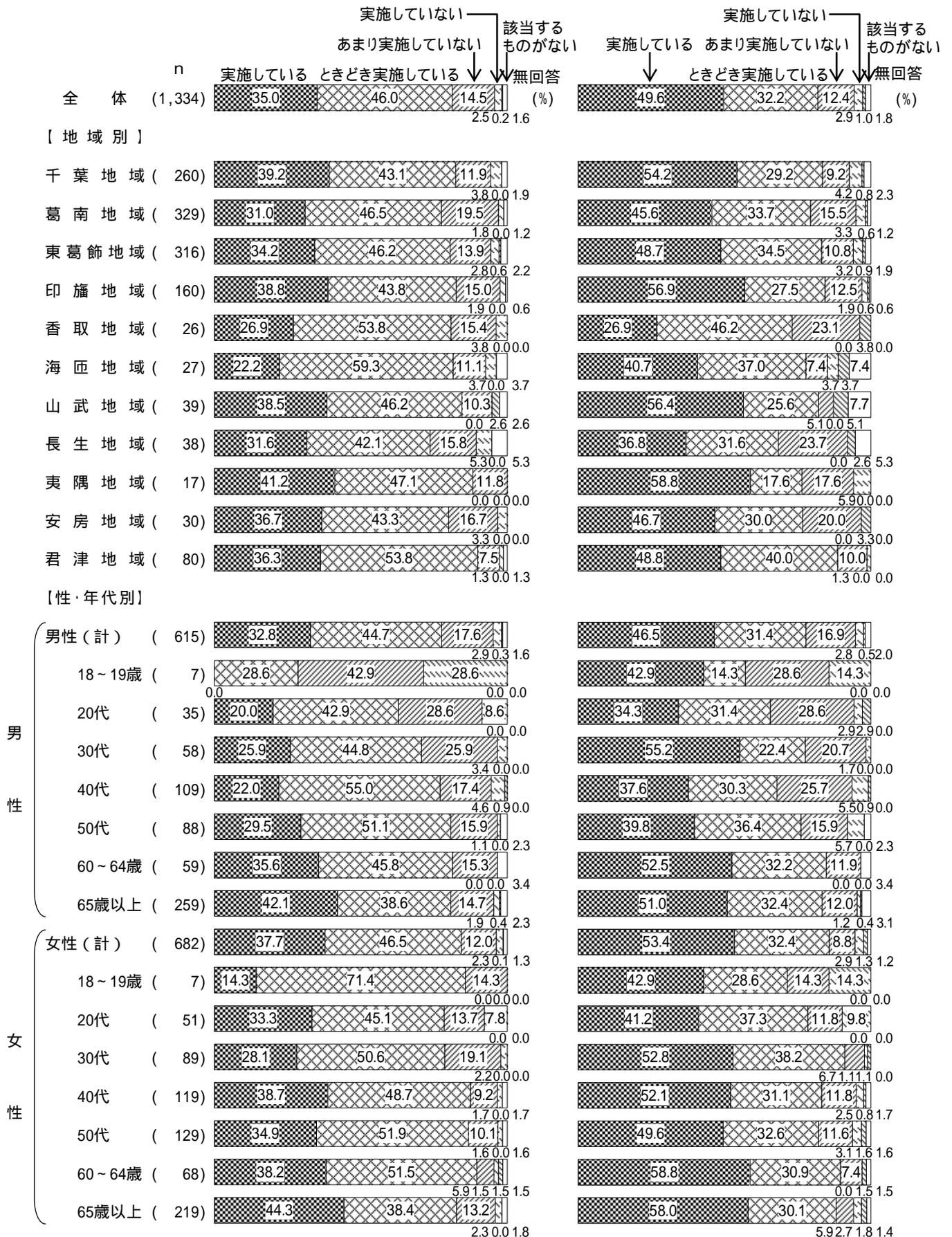
「(カ)アイドリング・ストップを心掛けている」の『実施している(計)』は男性の60~64歳(74.6%)が7割台半ば、男性の65歳以上(64.1%)が6割台半ばで高くなっている。

一方、『実施していない(計)』は男性の40代(31.2%)と男性の50代(31.8%)が3割を超えて高くなっている。(図表1-17)

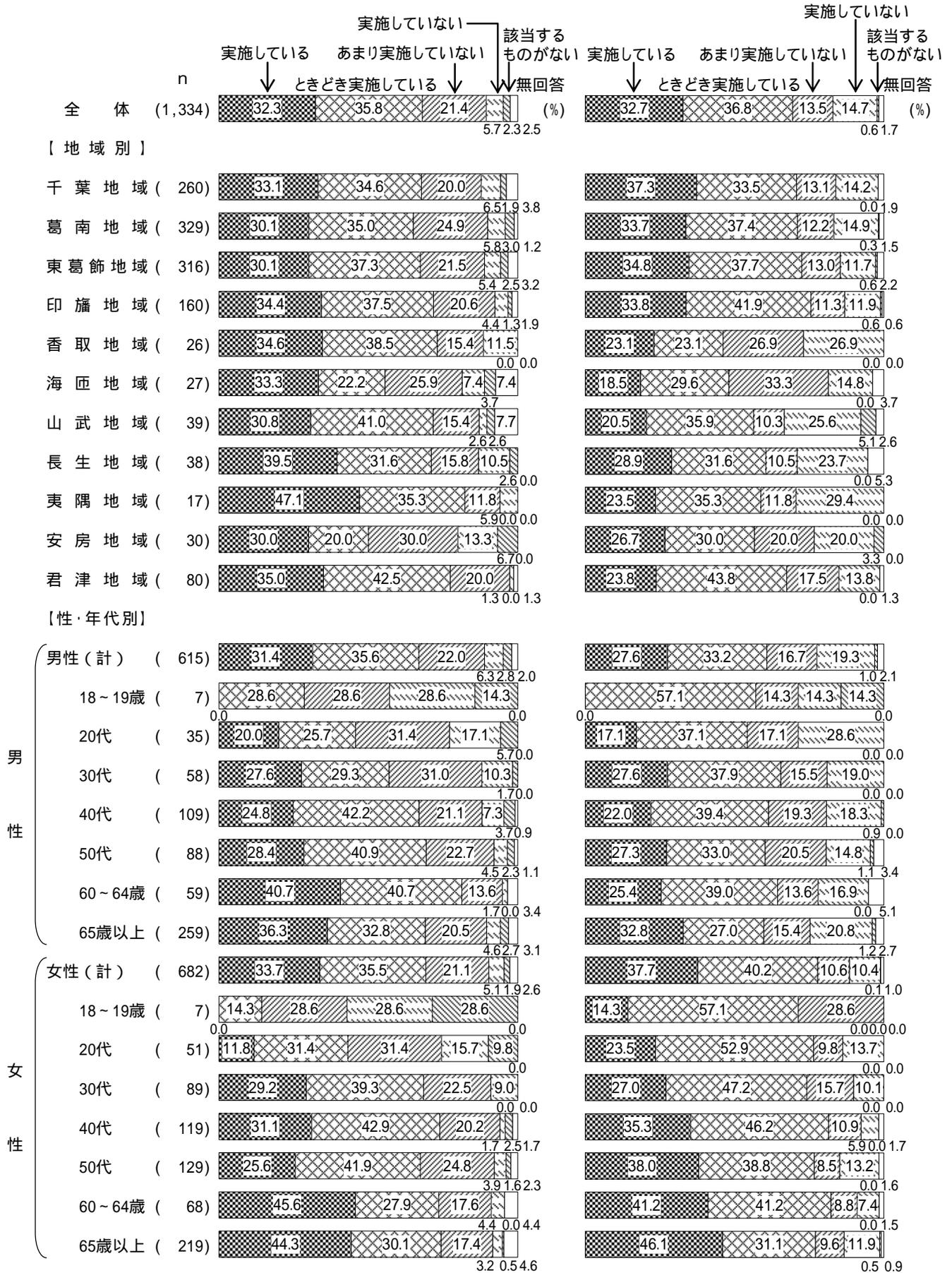
<図表1 - 17> 普段の生活で行っている環境保全の取組 / 地域別、性・年代別

(ア) 節電に努めている

(イ) 冷暖房の設定温度を控えめにする

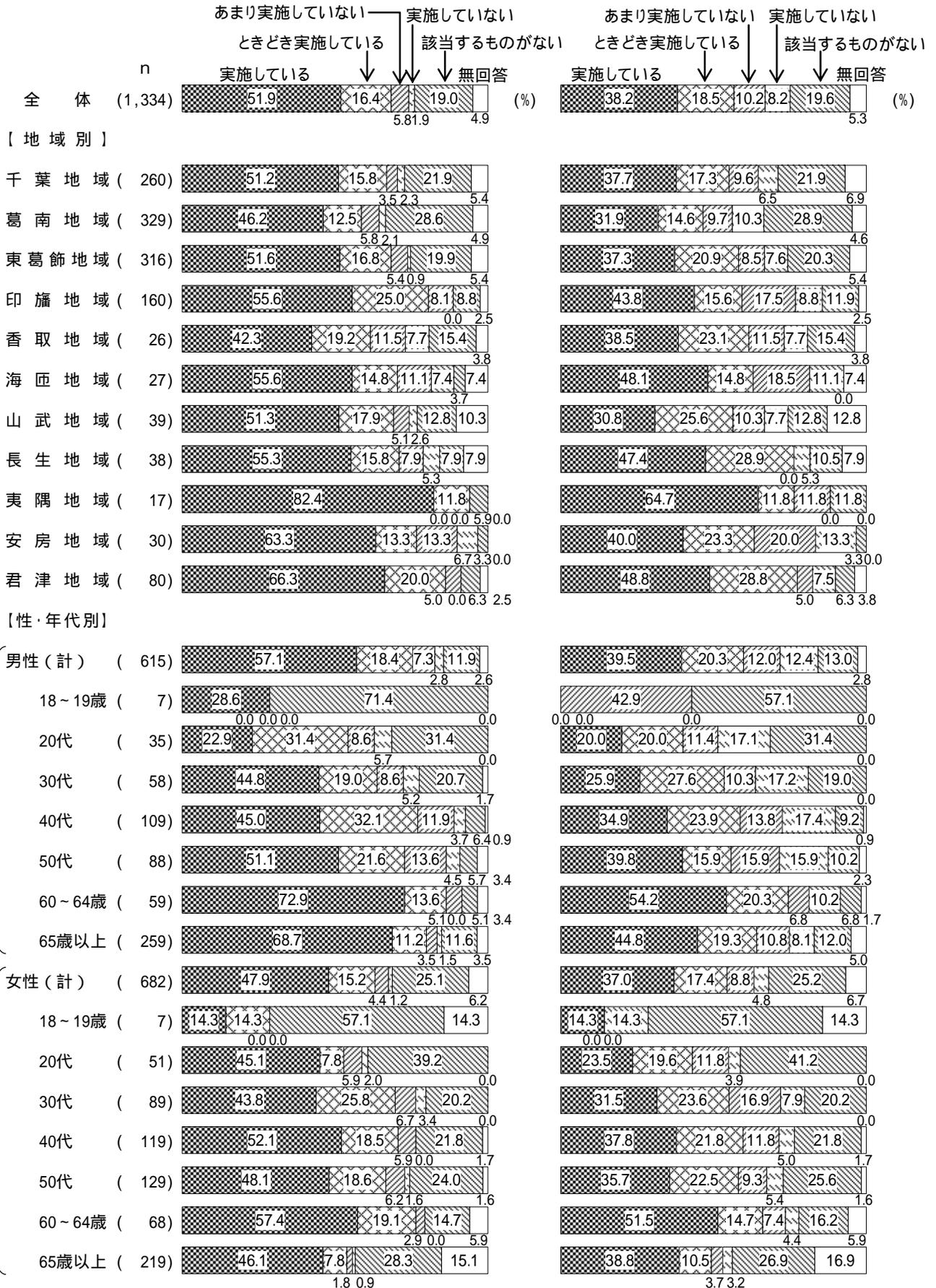


(ウ)省エネルギー性能の高い家電製品を選ぶ (エ)レジ袋をもらわない



(オ) 車の急発進・急加速はしない

(カ) アイドリング・ストップを心掛けている

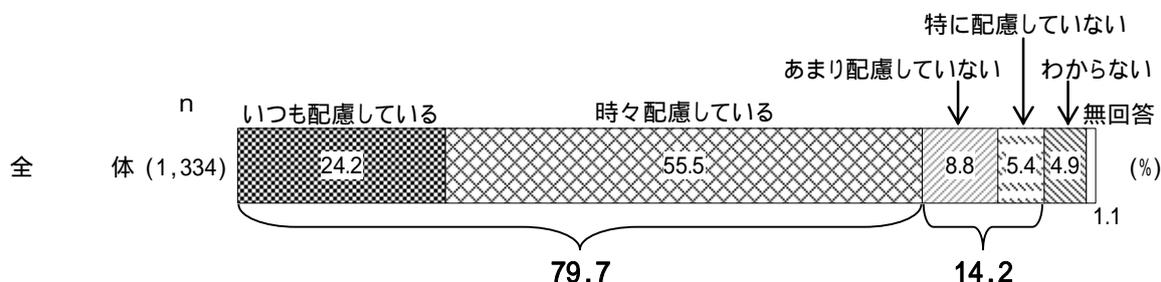


（7）環境に配慮した行動

『配慮している（計）』が約8割

問7 あなたは、日常生活の中で環境に配慮して行動していますか。（は1つ）

<図表1-18> 環境に配慮した行動



日常生活の中で環境に配慮して行動しているか聞いたところ、「いつも配慮している」（24.2%）と「時々配慮している」（55.5%）を合わせた『配慮している（計）』（79.7%）が約8割で高くなっている。

一方、「あまり配慮していない」（8.8%）と「特に配慮していない」（5.4%）を合わせた『配慮していない（計）』（14.2%）は1割台半ばとなっている。（図表1-18）

【地域別】

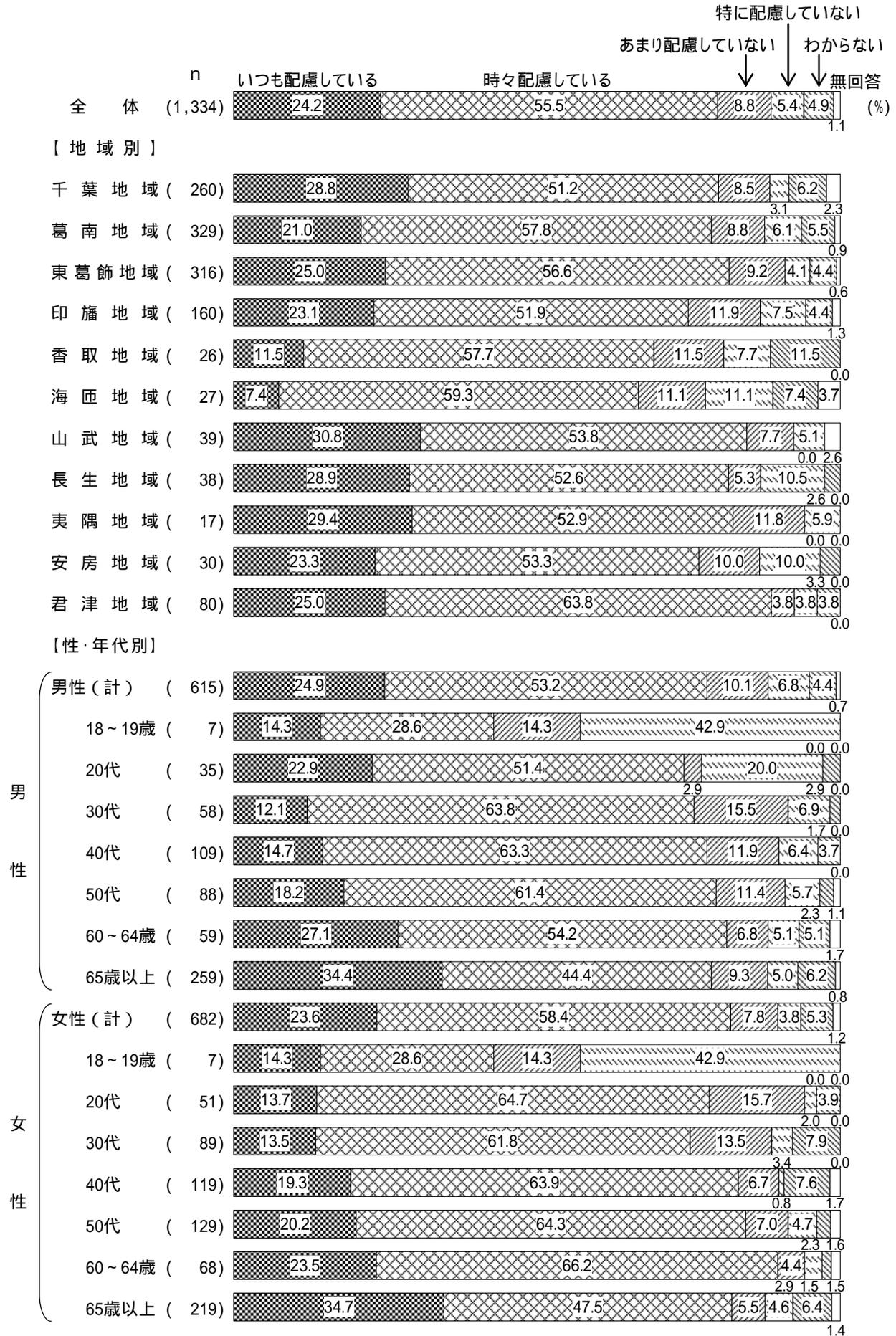
地域別にみると、『配慮している（計）』は“君津地域”（88.8%）が約9割で高くなっている。

（図表1-19）

【性・年代別】

性・年代別にみると、『配慮している（計）』は女性の60～64歳（89.7%）が約9割で高くなっている。（図表1-19）

<図表1 - 19> 環境に配慮した行動 / 地域別、性・年代別

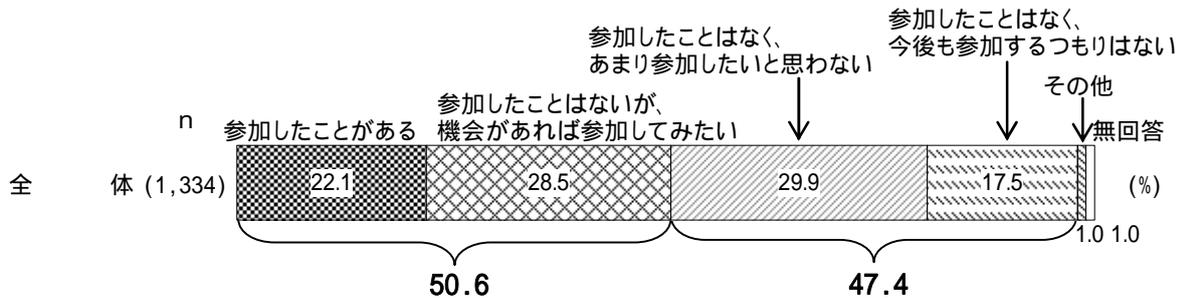


（8）環境保全に関する講演やセミナー、環境ボランティアへの参加状況

『参加意向あり（計）』が5割

問8 あなたは、これまでに県・市町村などの行政や民間団体などが実施する環境保全に関する講演やセミナー、あるいは植林や清掃活動などの環境ボランティア活動などに参加したことがありますか。（は1つ）

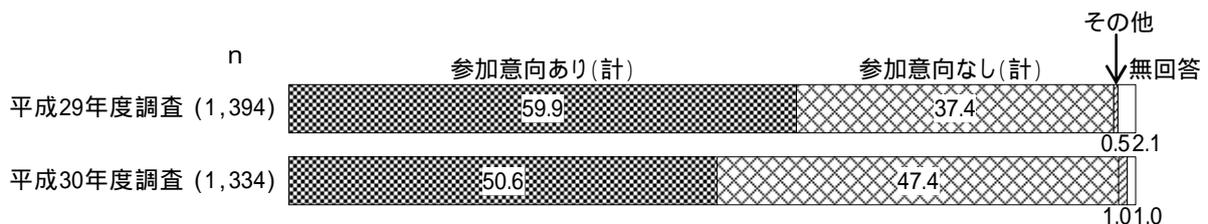
<図表1-20> 環境保全に関する講演やセミナー、環境ボランティアへの参加状況



環境保全に関する講演やセミナー、環境ボランティアへの参加状況を聞いたところ、「参加したことがある」(22.1%)が2割を超えており、これと「参加したことはないが、機会があれば参加してみたい」(28.5%)を合わせた『参加意向あり(計)』(50.6%)が5割となっている。

一方、「参加したことはなく、あまり参加したいと思わない」(29.9%)と「参加したことはなく、今後も参加するつもりはない」(17.5%)を合わせた『参加意向なし(計)』(47.4%)は約5割となっている。(図表1-20)

〔参考〕平成29年度の同様の項目による調査結果との比較(単位:%)



平成29年度調査は、「第55回県政に関する世論調査」の調査結果を掲載

【地域別】

地域別にみると、『参加意向あり(計)』は“印旛地域”(60.0%)が6割で高くなっている。一方、『参加意向なし(計)』は“葛南地域”(54.4%)が5割台半ばで高くなっている。

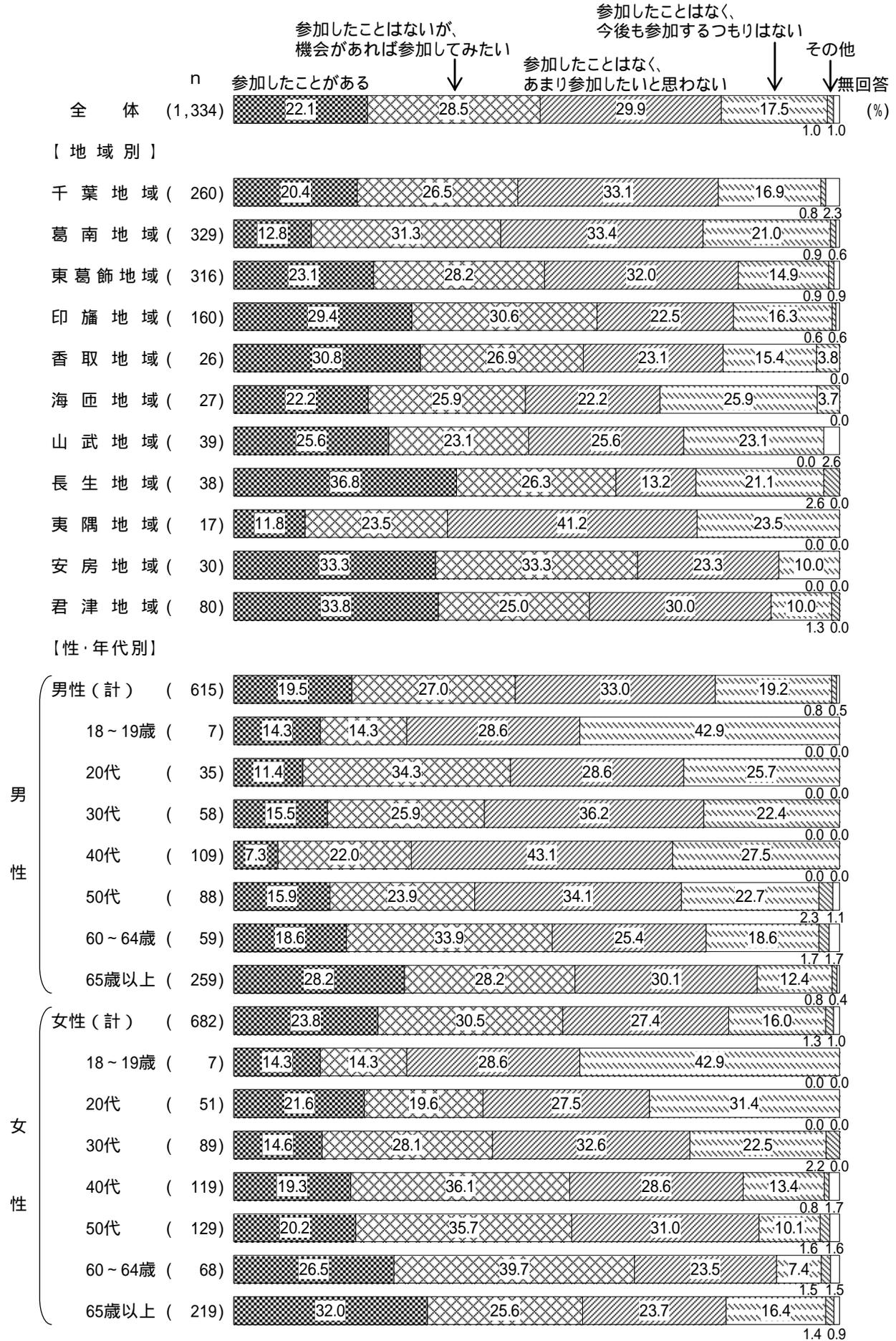
(図表1-21)

【性・年代別】

性・年代別にみると、『参加意向あり(計)』は女性の60~64歳(66.2%)が6割台半ば、女性の65歳以上(57.5%)が約6割で高くなっている。

一方、『参加意向なし(計)』は男性の40代(70.6%)が7割で高くなっている。(図表1-21)

<図表1 - 21> 環境保全に関する講演やセミナー、環境ボランティアへの参加状況 / 地域別、性・年代別



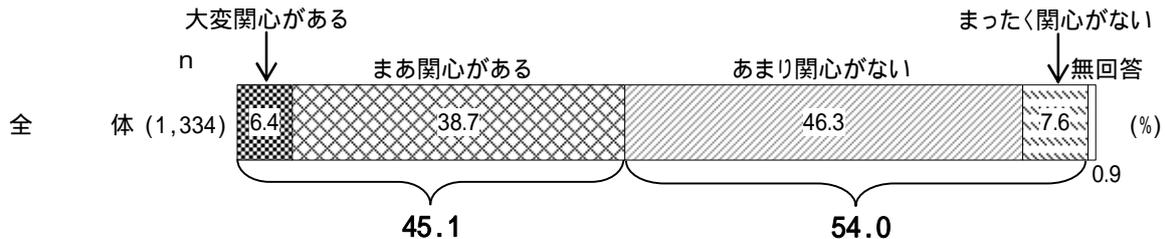
（9）市民活動団体やボランティア活動の関心度

『関心がある（計）』が4割台半ば

問9 あなたは、市民活動団体の活動や、ボランティア活動に関心がありますか。（は1つ）

ここでいう「市民活動団体」とは、市民の自発性に基づき、福祉や子育て支援、まちづくり、環境等様々な分野の地域課題の解決のために、自立的・継続的に社会貢献活動を行う営利を目的としない団体（行政が認証したNPO法人やボランティア団体等任意団体）を指します。

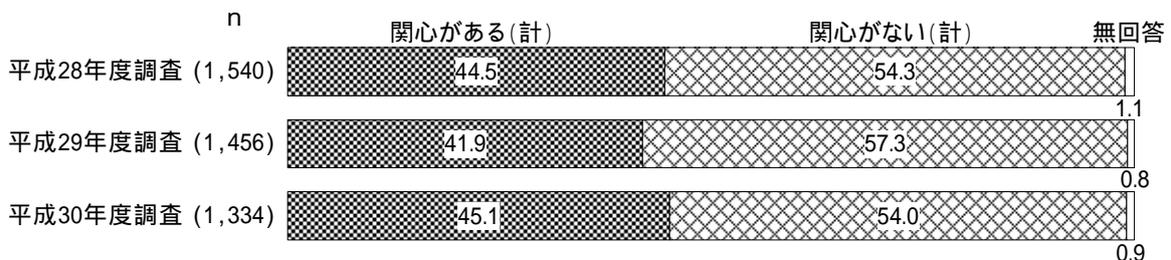
<図表1-22>市民活動団体やボランティア活動の関心度



市民活動団体の活動や、ボランティア活動の関心度を聞いたところ、「大変関心がある」(6.4%)と「まあ関心がある」(38.7%)を合わせた『関心がある(計)』(45.1%)が4割台半ばとなっている。

一方、「あまり関心がない」(46.3%)と「まったく関心がない」(7.6%)を合わせた『関心がない(計)』(54.0%)は5割台半ばとなっている。(図表1-22)

〔参考〕平成28年度・平成29年度の同様の項目による調査結果との比較（単位：%）



【地域別】

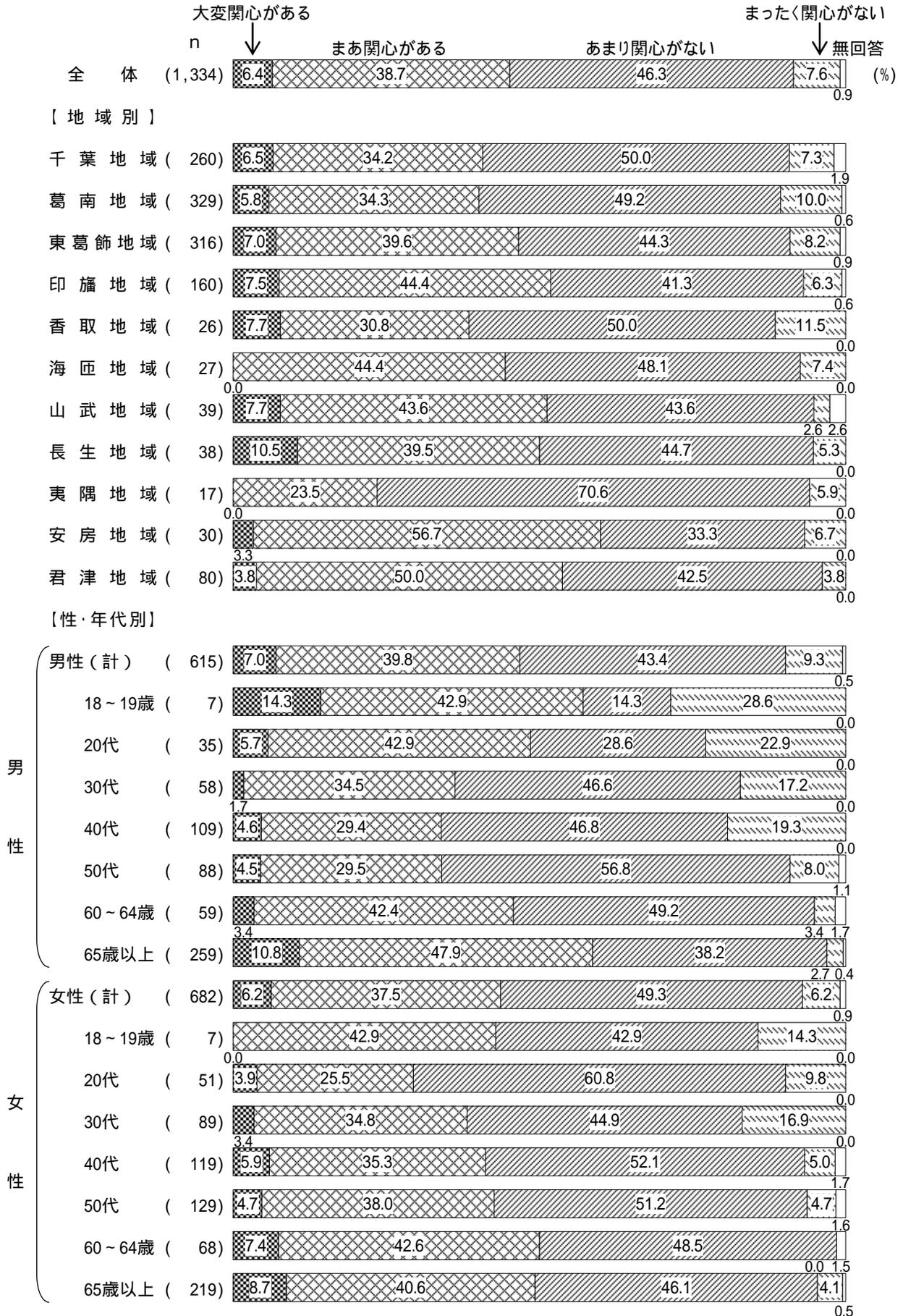
地域別にみると、「まあ関心がある」は「安房地域」(56.7%)が5割台半ば、「君津地域」(50.0%)が5割で高くなっている。(図表1-23)

【性・年代別】

性・年代別にみると、『関心がある(計)』は男性の65歳以上(58.7%)が約6割で高くなっている。

一方、『関心がない(計)』は女性の20代(70.6%)が7割、男性の40代(66.1%)と男性の50代(64.8%)が6割台半ばで高くなっている。(図表1-23)

<図表1 - 23> 市民活動団体やボランティア活動の関心度／地域別、性・年代別



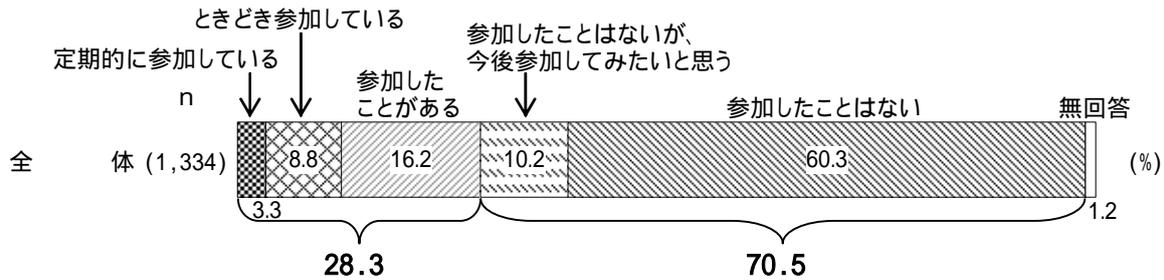
（10）市民活動団体の活動への参加経験

『参加したことがある（計）』が約3割

問10 あなたは、市民活動団体の活動に参加したことがありますか。（ は1つ）

ここでいう「参加」とは、団体の会員やボランティアとしての参加のみならず、団体への資金・物品・技術・場所等の提供・寄付などの支援を通しての参加や、団体が提供するサービスの利用・イベントへの参加などを指します。

<図表1 - 24> 市民活動団体の活動への参加経験

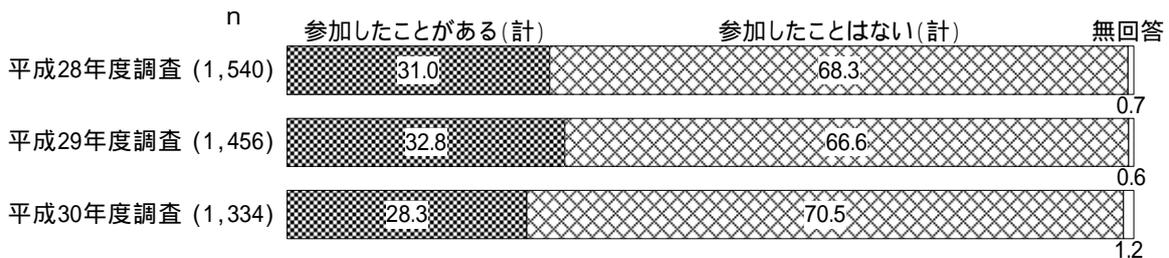


市民活動団体の活動への参加経験を聞いたところ、「定期的に参加している」(3.3%)と「ときどき参加している」(8.8%)、「参加したことがある」(16.2%)の3つを合わせた『参加したことがある(計)』(28.3%)が約3割となっている。

一方、「参加したことはないが、今後参加してみたいと思う」(10.2%)と「参加したことはない」(60.3%)を合わせた『参加したことはない(計)』(70.5%)が7割で高くなっている。

(図表1 - 24)

〔参考〕平成28年度・平成29年度の同様の項目による調査結果との比較（単位：%）



【地域別】

地域別にみると、『参加したことがある(計)』は“山武地域”(48.7%)が約5割で高くなっている。

一方、『参加したことはない(計)』は“葛南地域”(78.1%)が約8割で高くなっている。

(図表1 - 25)

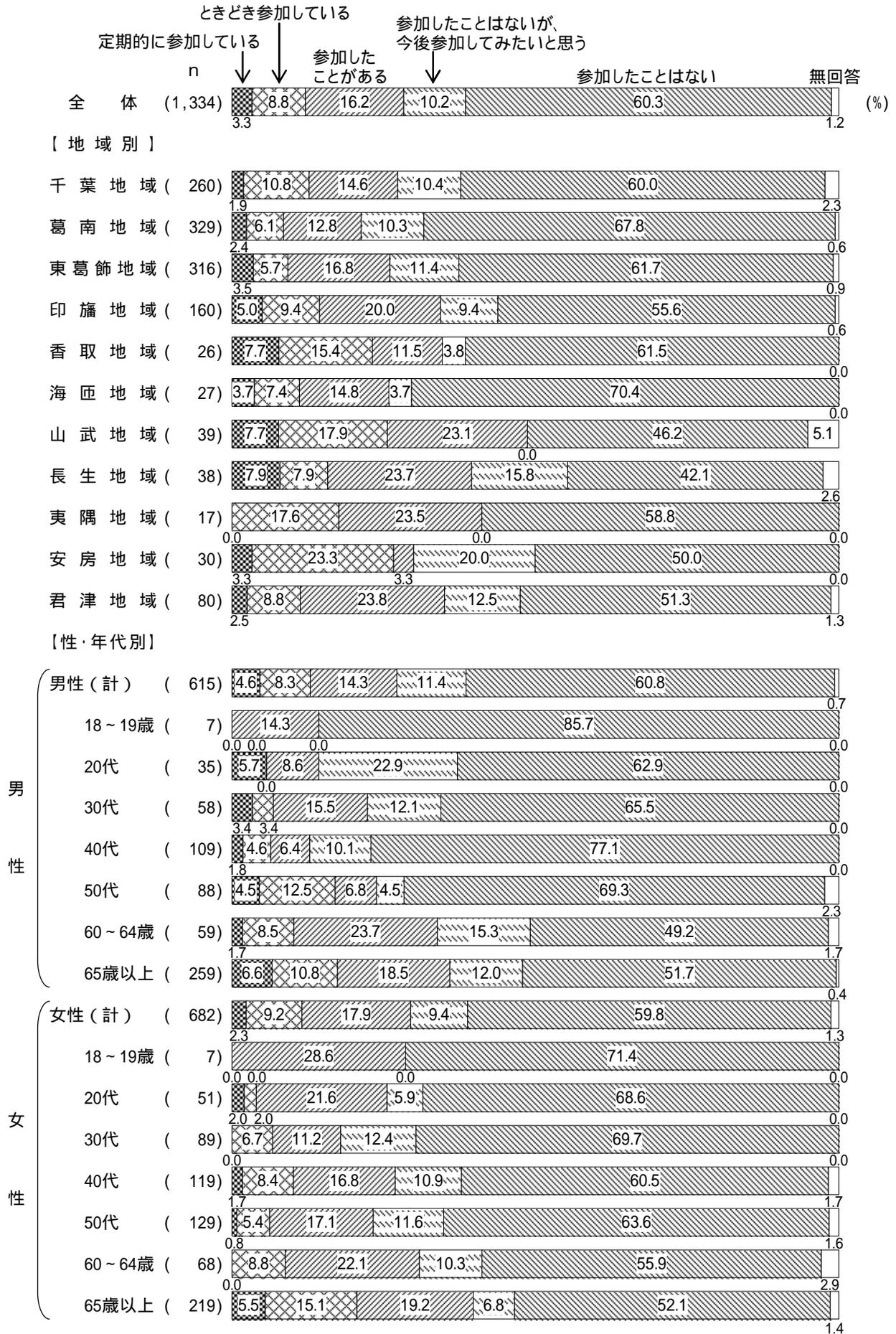
【性・年代別】

性・年代別にみると、『参加したことがある(計)』は女性の65歳以上(39.7%)が約4割、男性の65歳以上(35.9%)が3割台半ばで高くなっている。

一方、『参加したことはない(計)』は男性の40代(87.2%)が約9割で高くなっている。

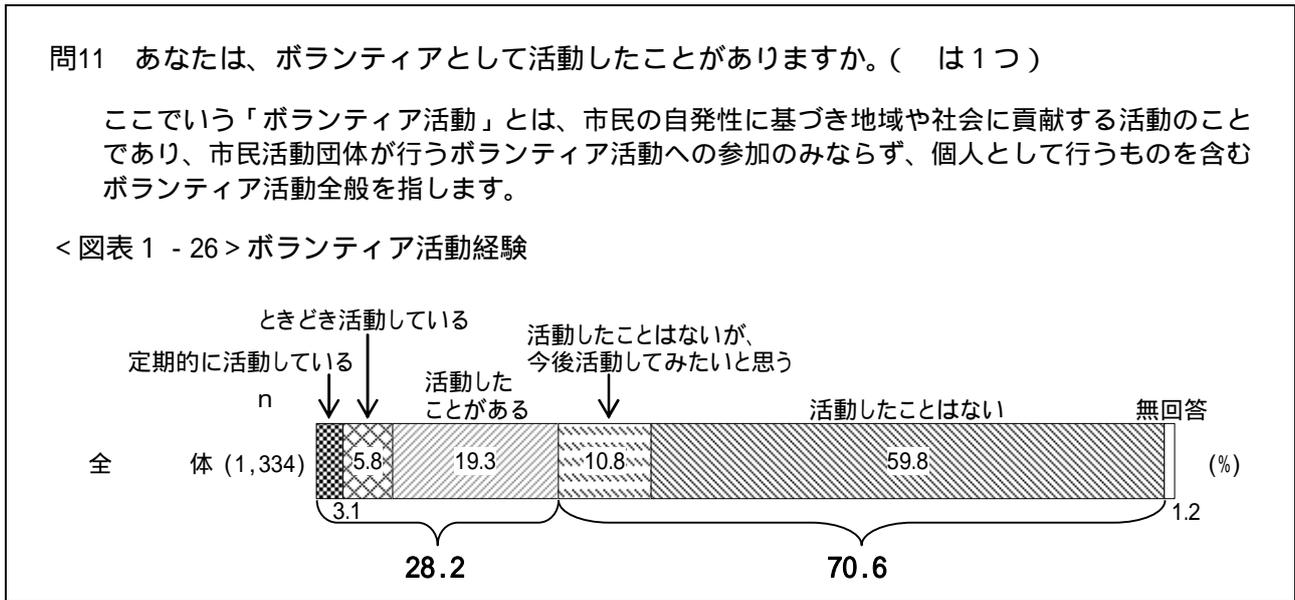
(図表1 - 25)

<図表1 - 25> 市民活動団体の活動への参加経験 / 地域別、性・年代別



(11) ボランティア活動経験

『活動したことがある（計）』が約3割

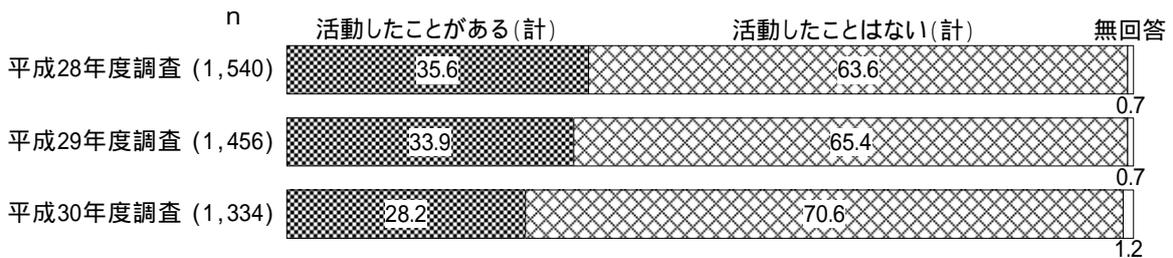


ボランティアとして活動したことがあるか聞いたところ、「定期的活動している」(3.1%)と「ときどき活動している」(5.8%)、「活動したことがある」(19.3%)の3つを合わせた『活動したことがある(計)』(28.2%)が約3割となっている。

一方、「活動したことはないが、今後活動してみたいと思う」(10.8%)と「活動したことはない」(59.8%)を合わせた『活動したことはない(計)』(70.6%)が7割で高くなっている。

(図表1-26)

〔参考〕平成28年度・平成29年度の同様の項目による調査結果との比較（単位：%）



【地域別】

地域別にみると、『活動したことがある(計)』は“長生地域”(47.4%)が約5割で高くなっている。

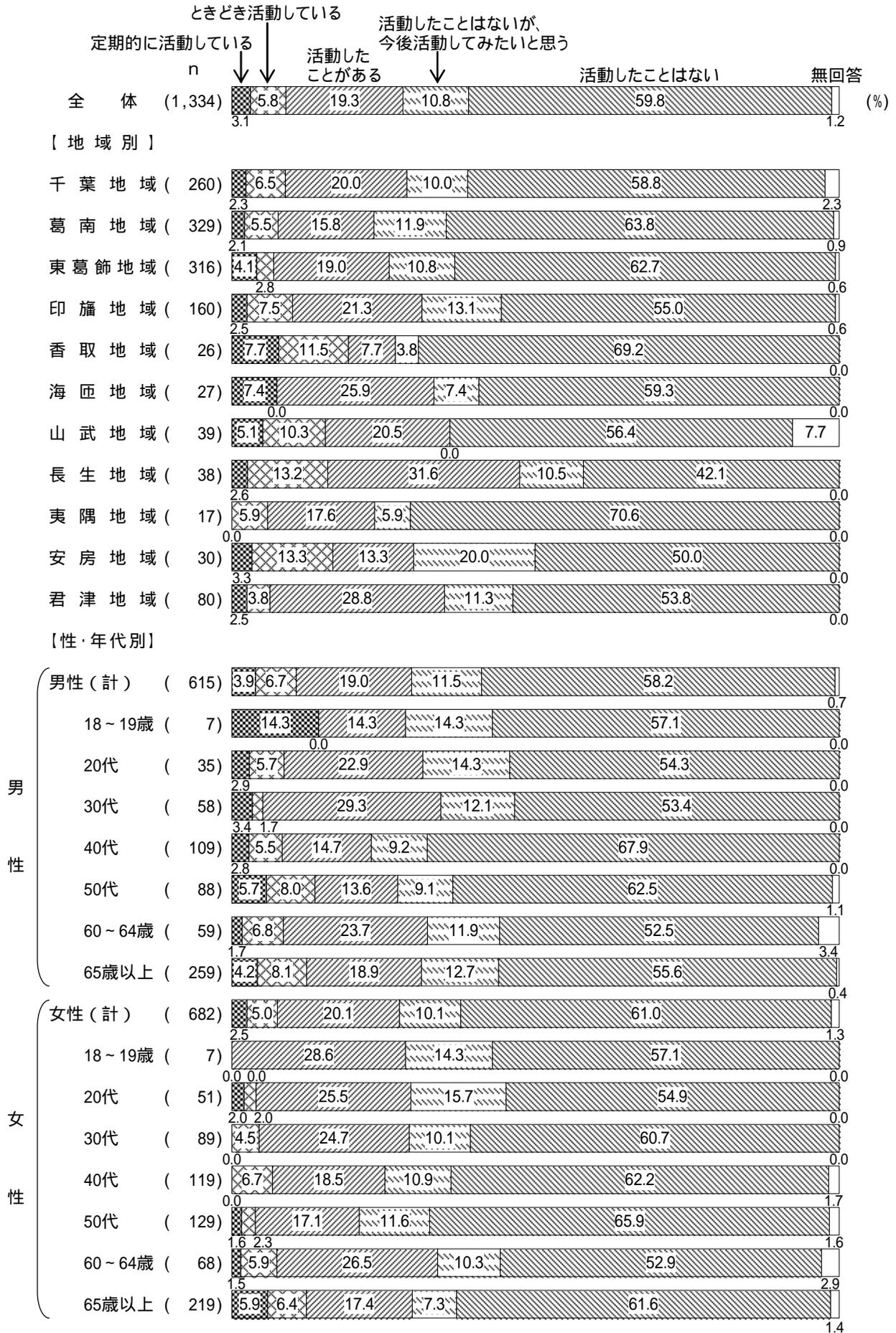
一方、『活動したことはない(計)』は“葛南地域”(75.7%)が7割台半ばで高くなっている。

(図表1-27)

【性・年代別】

性・年代別にみると、大きな傾向の違いはみられない。(図表1-27)

<図表1 - 27> ボランティア活動経験 / 地域別、性・年代別



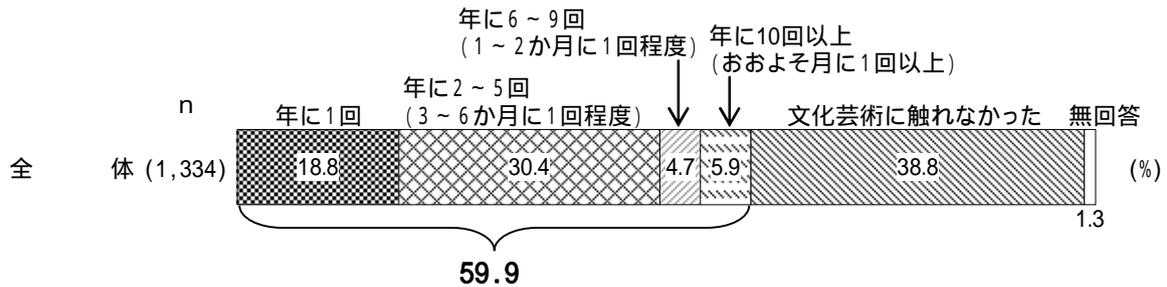
（12）この1年間の文化芸術に触れた頻度

『触れたことがある（計）』が約6割

問12 あなたは、県内の施設などでこの1年間に何回くらい文化芸術に触れましたか。（は1つ）

ここでいう「文化芸術」とは、映画（アニメ含む）、音楽（クラシックやポップス等）、美術、文芸（マンガ含む）、茶道・華道、芸能、文化財など幅広いジャンルの文化芸術を指します。
「触れる」とは 映画・舞台公演・展覧会等の鑑賞、祭り等への参加、演奏・創作活動、史跡めぐり、読書などを指します。

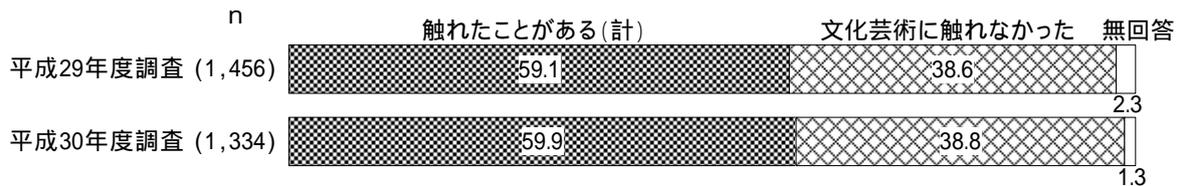
<図表1-28> この1年間の文化芸術に触れた頻度



この1年間で何回くらい文化芸術に触れたか聞いたところ、「年に1回」(18.8%)と「年に2～5回(3～6か月に1回程度)」(30.4%)、「年に6～9回(1～2か月に1回程度)」(4.7%)、「年に10回以上(おおよそ月に1回以上)」(5.9%)の4つを合わせた『触れたことがある(計)』(59.9%)は約6割で高くなっている。

一方、「文化芸術に触れなかった」(38.8%)は約4割となっている。(図表1-28)

〔参考〕平成29年度の同様の項目による調査結果との比較(単位:%)



【地域別】

地域別にみると、『触れたことがある(計)』は“千葉地域”(69.2%)と“印旛地域”(67.5%)が約7割で高くなっている。

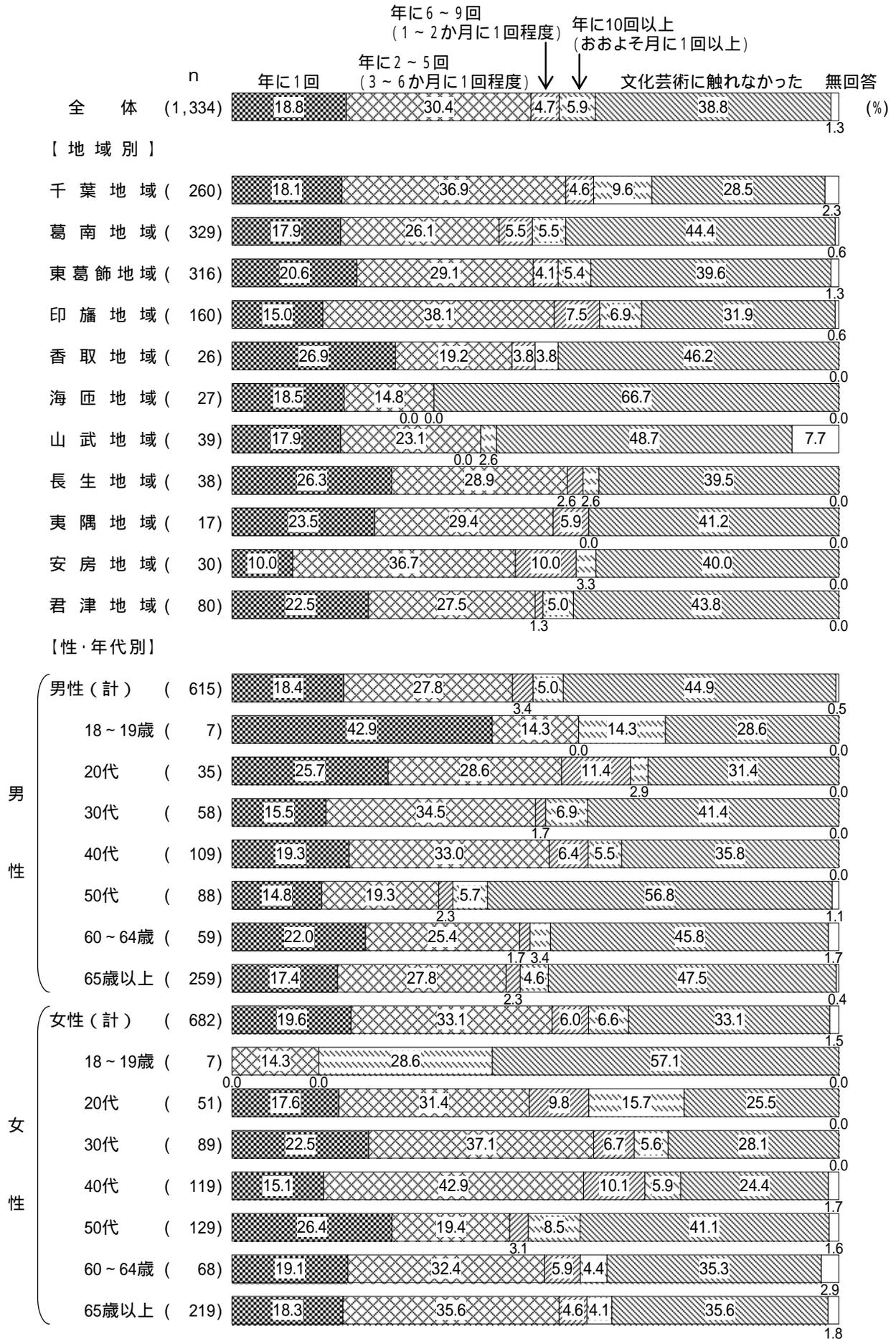
一方、「文化芸術に触れなかった」は“海匝地域”(66.7%)が6割台半ば、“葛南地域”(44.4%)が4割台半ばで高くなっている。(図表1-29)

【性・年代別】

性・年代別にみると、『触れたことがある(計)』は女性の20代(74.5%)と女性の40代(73.9%)が7割台半ば、女性の30代(71.9%)が7割を超えて高くなっている。

一方、「文化芸術に触れなかった」は男性の50代(56.8%)が5割台半ば、男性の65歳以上(47.5%)が約5割で高くなっている。(図表1-29)

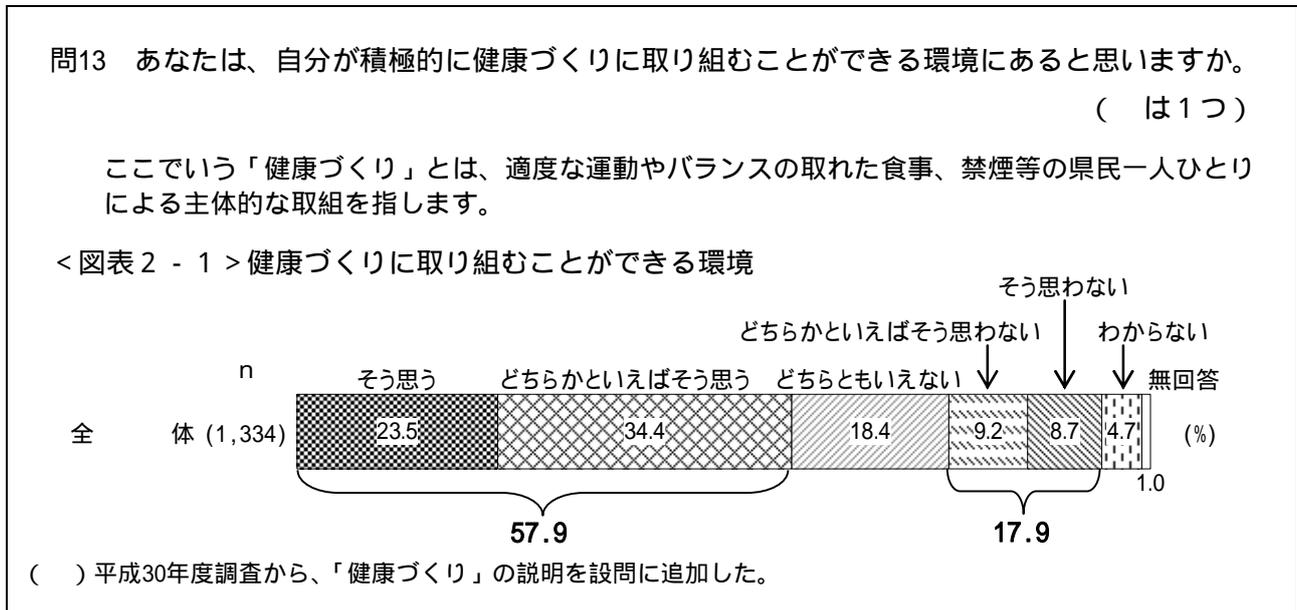
<図表1 - 29> この1年間の文化芸術に触れた頻度 / 地域別、性・年代別



2 健康について

(1) 健康づくりに取り組むことができる環境

『そう思う(計)』が約6割



自分が積極的に健康づくりに取り組むことができる環境にあると思うか聞いたところ、「そう思う」(23.5%)と「どちらかといえばそう思う」(34.4%)を合わせた『そう思う(計)』(57.9%)が約6割で高くなっている。

一方、「どちらかといえばそう思わない」(9.2%)と「そう思わない」(8.7%)を合わせた『そう思わない(計)』(17.9%)は約2割となっている。(図表2 - 1)

〔参考〕平成28年度・平成29年度の同様の項目による調査結果との比較(単位:%)

n	そう思う(計)	そう思わない(計)	無回答または どちらともいえない またはわからない
平成28年度調査(1,540)	51.7	21.3	27.0
平成29年度調査(1,456)	50.9	19.7	29.4
平成30年度調査(1,334)	57.9	17.9	24.1

【地域別】

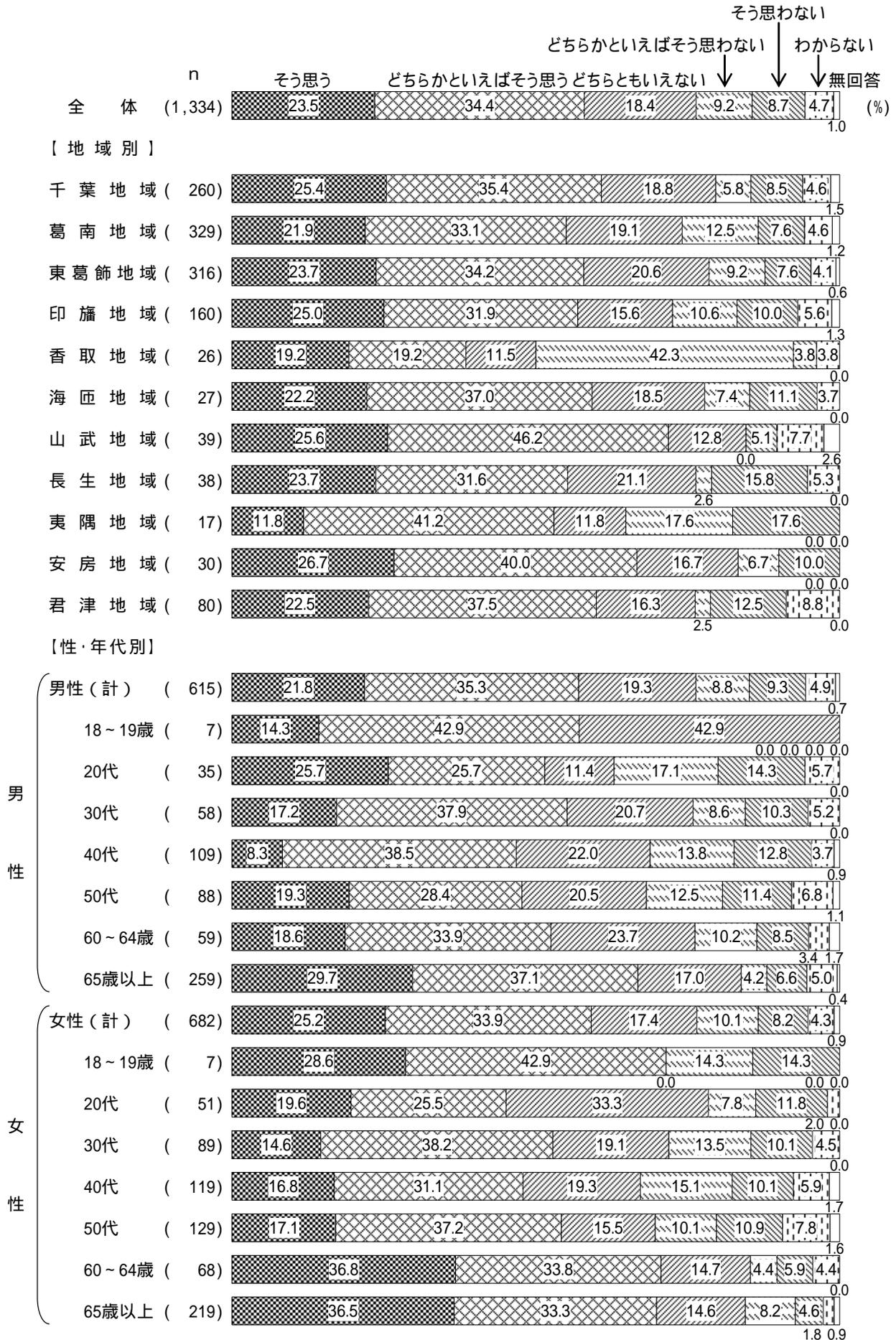
地域別にみると、『そう思わない(計)』は“香取地域”(46.2%)が4割台半ばで高くなっている。(図表2 - 2)

【性・年代別】

性・年代別にみると、『そう思う(計)』は女性の60~64歳(70.6%)が7割、女性の65歳以上(69.9%)が約7割、男性の65歳以上(66.8%)が6割台半ばで高くなっている。

一方、『そう思わない(計)』は男性の20代(31.4%)が3割を超え、男性の40代(26.6%)と女性の40代(25.2%)が2割台半ばで高くなっている。(図表2 - 2)

<図表2 - 2> 健康づくりに取り組むことができる環境／地域別、性・年代別



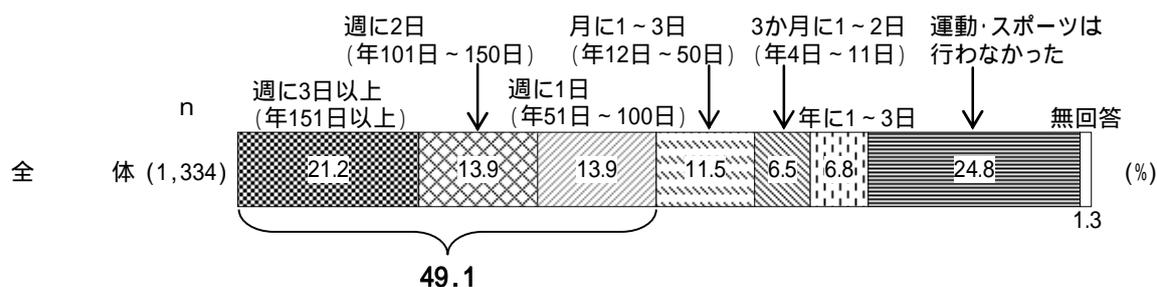
（2）健康づくりのための運動

『週1日以上運動した（計）』が約5割

問14 あなたは、健康づくりなどのために1年間に何日くらい運動やスポーツを行いましたか。
（は1つ）

ここでいう「運動やスポーツ」とは、比較的軽い運動やスポーツ（ウォーキングや軽い体操、ダンスなどのレクリエーション活動等）を含みます。

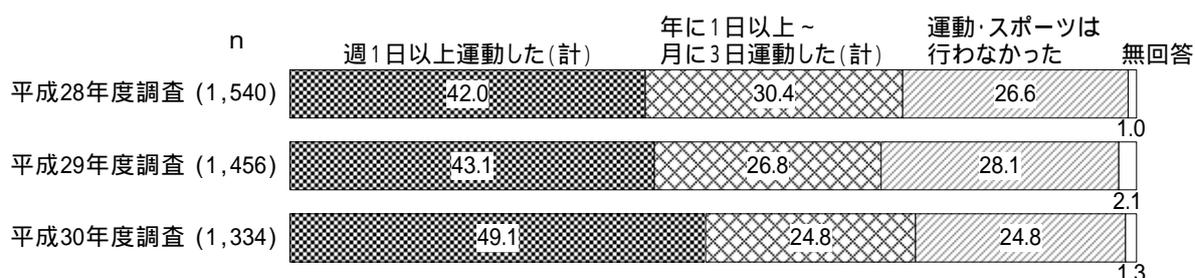
<図表2-3>健康づくりのための運動



健康づくりなどのために1年間に何日くらい運動やスポーツを行ったか聞いたところ、「週に3日以上（年151日以上）」（21.2%）と「週に2日（年101日～150日）」（13.9%）、「週に1日（年51日～100日）」（13.9%）を合わせた『週1日以上運動した（計）』（49.1%）は約5割となっている。

一方、「運動・スポーツは行わなかった」（24.8%）は2割台半ばとなっている。（図表2-3）

〔参考〕平成28年度・平成29年度の同様の項目による調査結果との比較（単位：%）



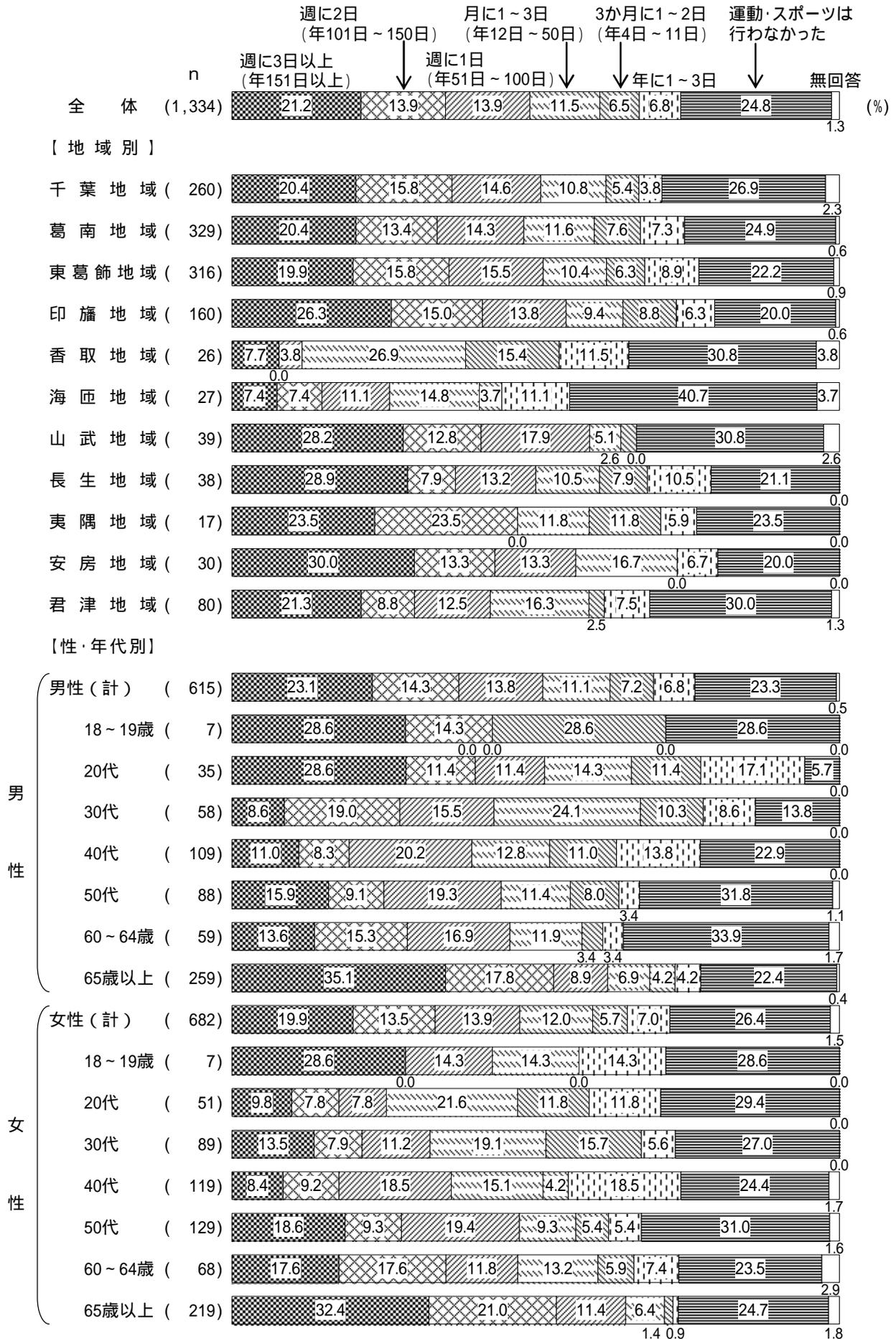
【地域別】

地域別にみると、「月に1～3日（年12日～50日）」は“香取地域”（26.9%）が2割台半ばで高くなっている。（図表2-4）

【性・年代別】

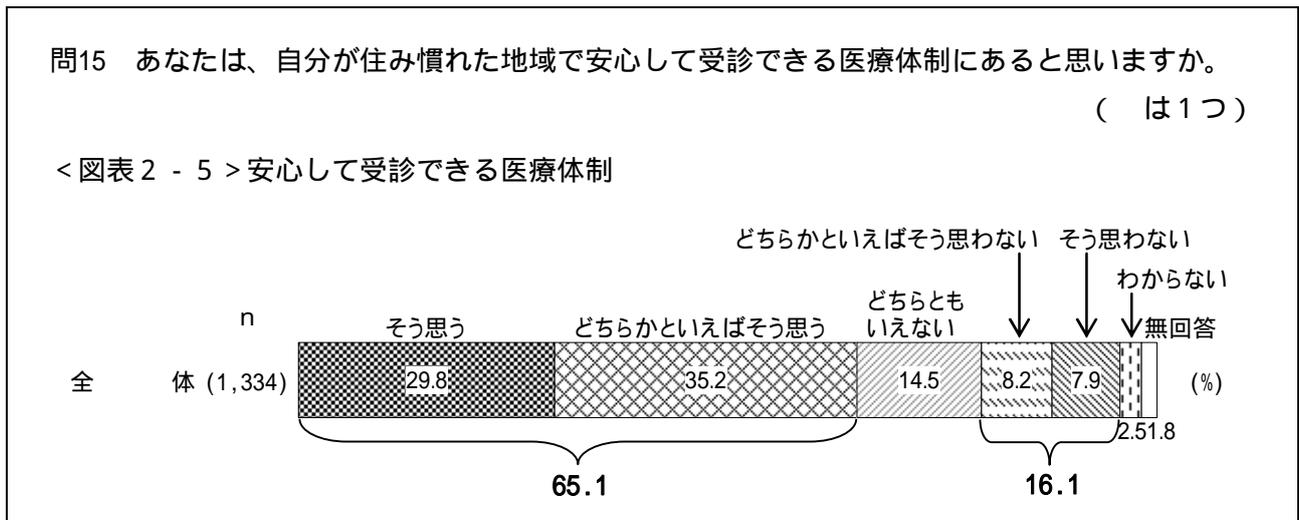
性・年代別にみると、『週1日以上運動した（計）』は女性の65歳以上（64.8%）が6割台半ば、男性の65歳以上（61.8%）が6割を超えて高くなっている。（図表2-4）

<図表2 - 4> 健康づくりのための運動 / 地域別、性・年代別



（3）安心して受診できる医療体制

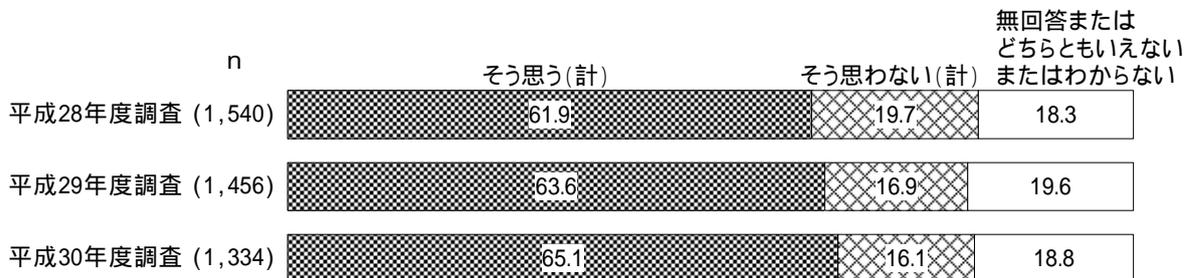
『そう思う（計）』が6割台半ば



住み慣れた地域で安心して受診できる医療体制にあると思うか聞いたところ、「そう思う」（29.8%）と「どちらかといえばそう思う」（35.2%）を合わせた『そう思う（計）』（65.1%）が6割台半ばで高くなっている。

一方、「どちらかといえばそう思わない」（8.2%）と「そう思わない」（7.9%）を合わせた『そう思わない（計）』（16.1%）は1割台半ばとなっている。（図表2-5）

〔参考〕平成28年度・平成29年度の同様の項目による調査結果との比較（単位：%）



【地域別】

地域別にみると、『そう思わない（計）』は“香取地域”（65.4%）が6割台半ば、“海匠地域”（40.7%）が4割、“夷隅地域”（35.3%）が3割台半ば、“長生地域”（31.6%）が3割を超えて高くなっている。（図表2-6）

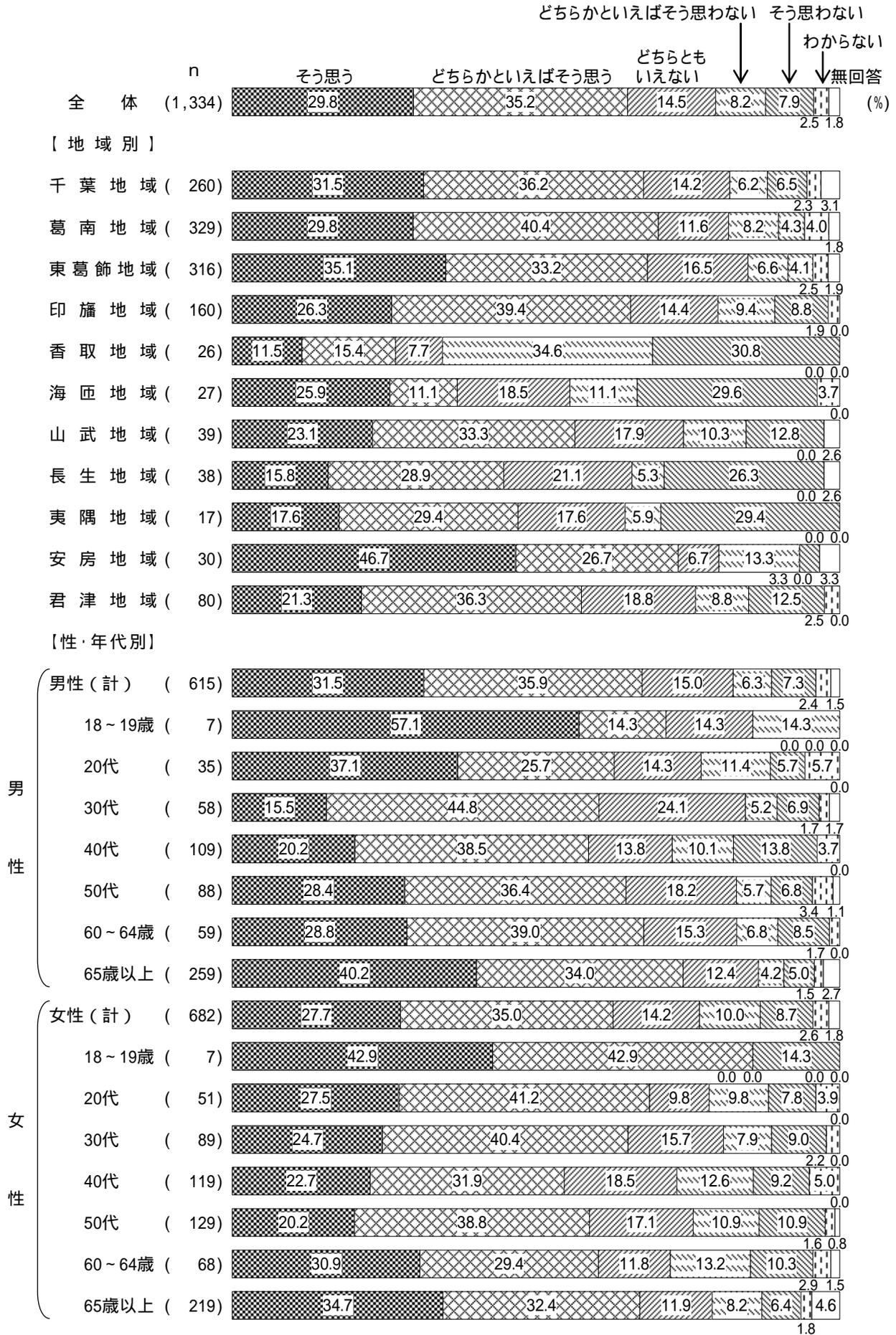
【性・年代別】

性・年代別にみると、『そう思う（計）』は男性の65歳以上（74.1%）が7割台半ばで高くなっている。

一方、『そう思わない（計）』は男性の40代（23.9%）が2割台半ばで高くなっている。

（図表2-6）

<図表2 - 6> 安心して受診できる医療体制 / 地域別、性・年代別



（４）かかりつけ医の有無

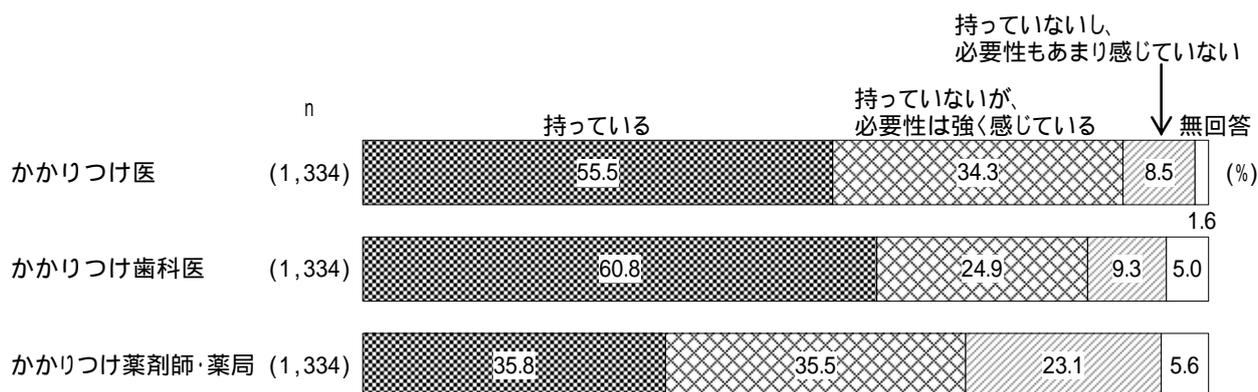
かかりつけ歯科医を持っているが6割、かかりつけ医を持っているが5割台半ば

問16 あなたの過去の病歴や体質などを知っていて、気軽に相談に応じてくれるとともに、必要なときには他の専門機関等を紹介してくれる、身近な医師（歯科医、薬剤師・薬局）を、「かかりつけ医（歯科医、薬剤師・薬局）」と呼んでいます。

あなたは、「かかりつけ医（歯科医、薬剤師・薬局）」をお持ちですか。

（ はそれぞれ1つずつ）

<図表2 - 7> かかりつけ医の有無



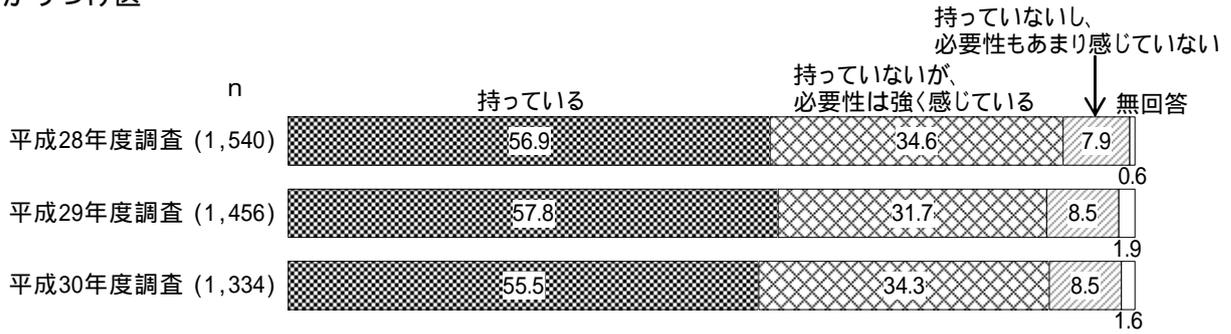
かかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬剤師・薬局を持っているかどうかを聞いたところ、「持っている」は かかりつけ歯科医（60.8%）が6割、かかりつけ医（55.5%）が5割台半ば、かかりつけ薬剤師・薬局（35.8%）が3割台半ばとなっている。

また、「持っていないが、必要性は強く感じている」は かかりつけ薬剤師・薬局（35.5%）と かかりつけ医（34.3%）が3割台半ばとなっている。

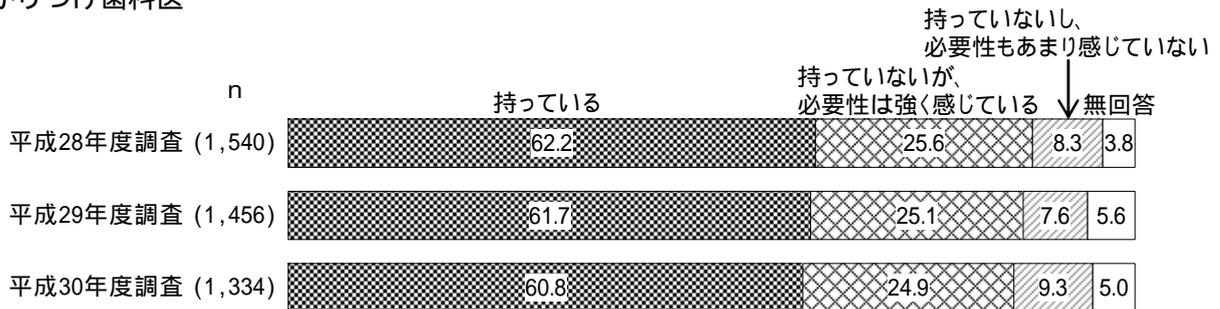
「持っていないし、必要性もあまり感じていない」は かかりつけ薬剤師・薬局（23.1%）が2割を超えている。（図表2 - 7）

〔参考〕平成28年度・平成29年度の同様の項目による調査結果との比較（単位：％）

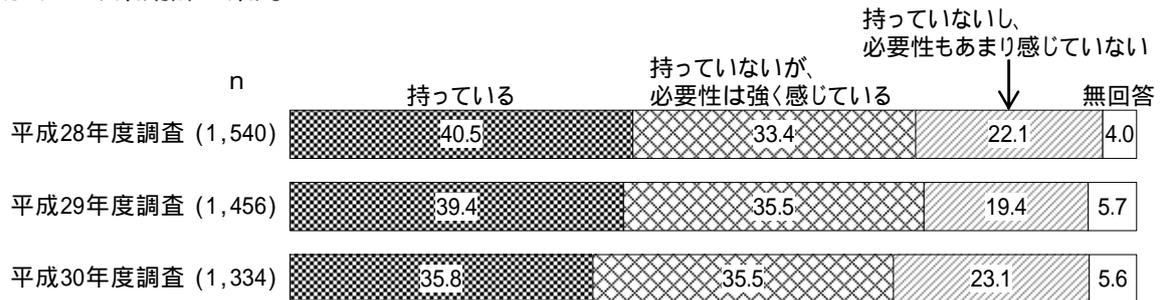
かかりつけ医



かかりつけ歯科医



かかりつけ薬剤師・薬局



【地域別】

地域別にみると、かかりつけ薬剤師・薬局を「持っていないが、必要性は強く感じている」は“香取地域”(61.5%)が6割を超えて高くなっている。(図表2-8)

【性・年代別】

性・年代別にみると、かかりつけ医を「持っている」は女性の65歳以上(74.9%)が7割台半ば、男性の65歳以上(69.1%)が約7割で高くなっている。

「持っていないが、必要性は強く感じている」は男性の40代(50.5%)が5割で高くなっている。

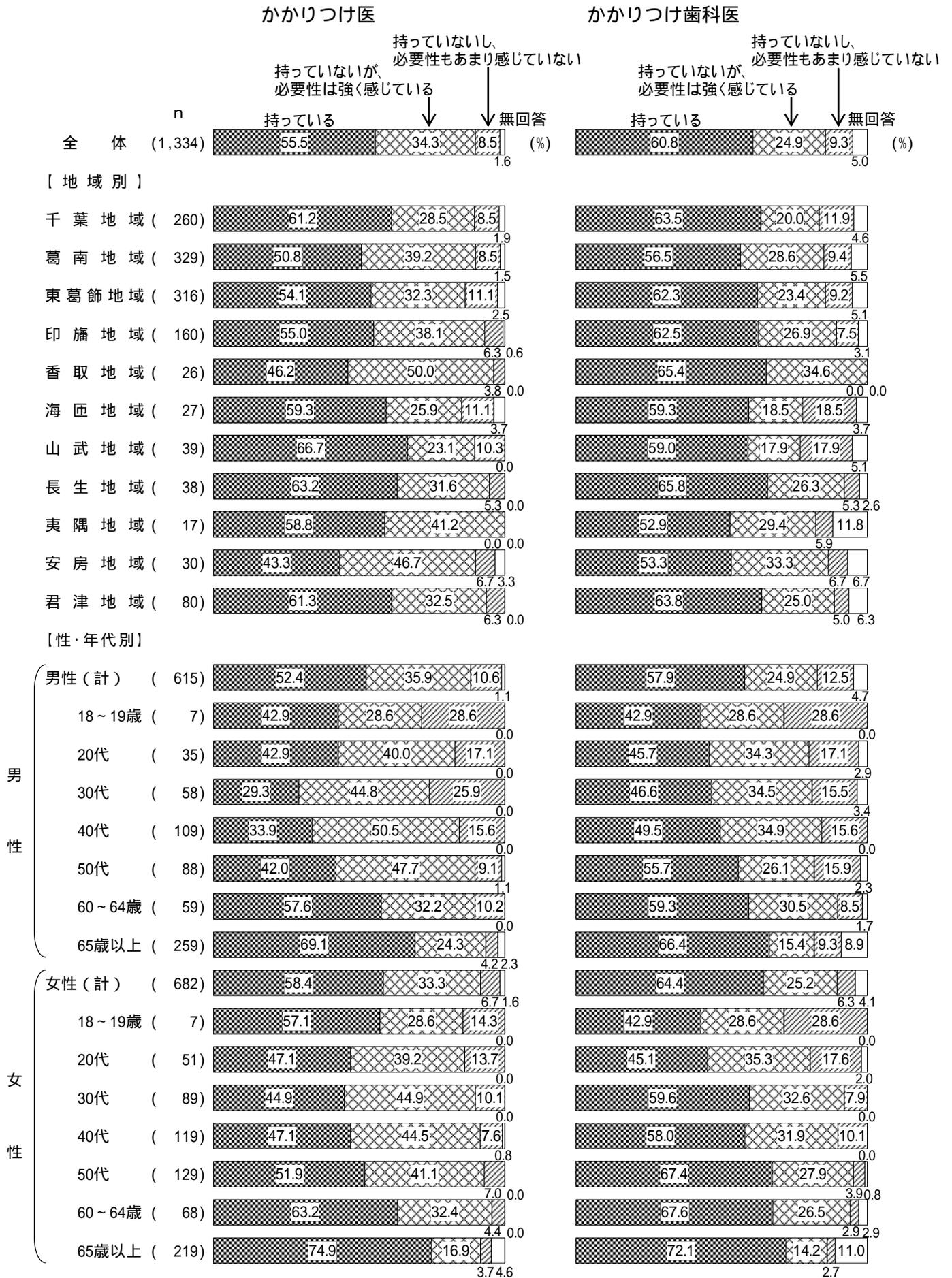
かかりつけ歯科医を「持っている」は女性の65歳以上(72.1%)が7割を超えて高くなっている。

かかりつけ薬剤師・薬局を「持っている」は女性の65歳以上(52.5%)が5割を超え、男性の65歳以上(44.0%)が4割台半ばで高くなっている。

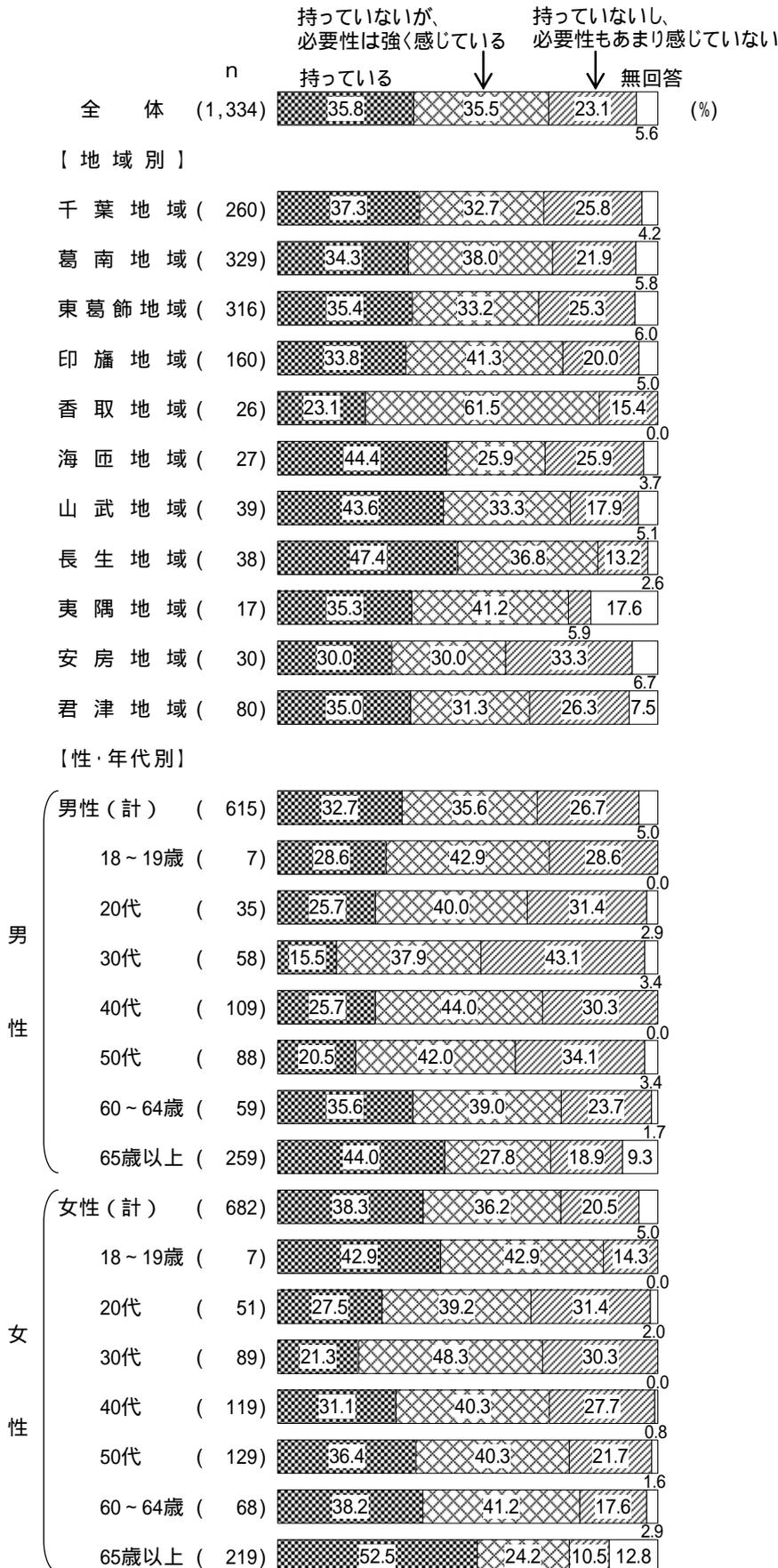
「持っていないが、必要性は強く感じている」は女性の30代(48.3%)が約5割で高くなっている。

「持っていないし、必要性もあまり感じていない」は男性の30代(43.1%)が4割を超えて高くなっている。(図表2-8)

<図表2 - 8> かかりつけ医の有無/地域別、性・年代別



かかりつけ薬剤師・薬局



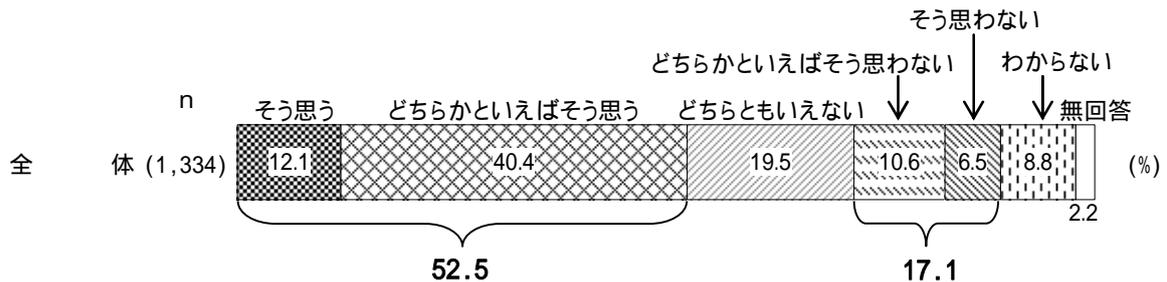
3 福祉について

(1) 安心して子育てできる環境

『そう思う(計)』が5割を超える

問17 あなたは、自分が安心して子育てできる環境にあると思いますか。子育て中の方は自身のことをお答えください。お子さんがいらっしゃる方や、すでに子育てを終えられた方は、ご家族や近所の方など、身の回りの子育て世代を想定してお答えください。(は1つ)
この設問では、「子育て」をおおむね18歳までの子どもを育てることと定義しています。

<図表3-1> 安心して子育てできる環境

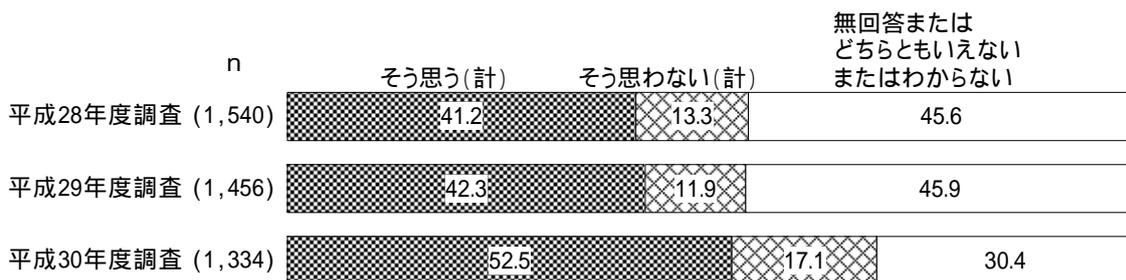


() 平成30年度調査から、回答方法と「子育て」の説明を設問に追加した。

自分が安心して子育てできる環境にあると思うか聞いたところ、「そう思う」(12.1%)と「どちらかといえばそう思う」(40.4%)を合わせた『そう思う(計)』(52.5%)が5割を超えて高くなっている。

一方、「どちらかといえばそう思わない」(10.6%)と「そう思わない」(6.5%)を合わせた『そう思わない(計)』(17.1%)は約2割となっている。(図表3-1)

〔参考〕平成28年度・平成29年度の同様の項目による調査結果との比較(単位:%)



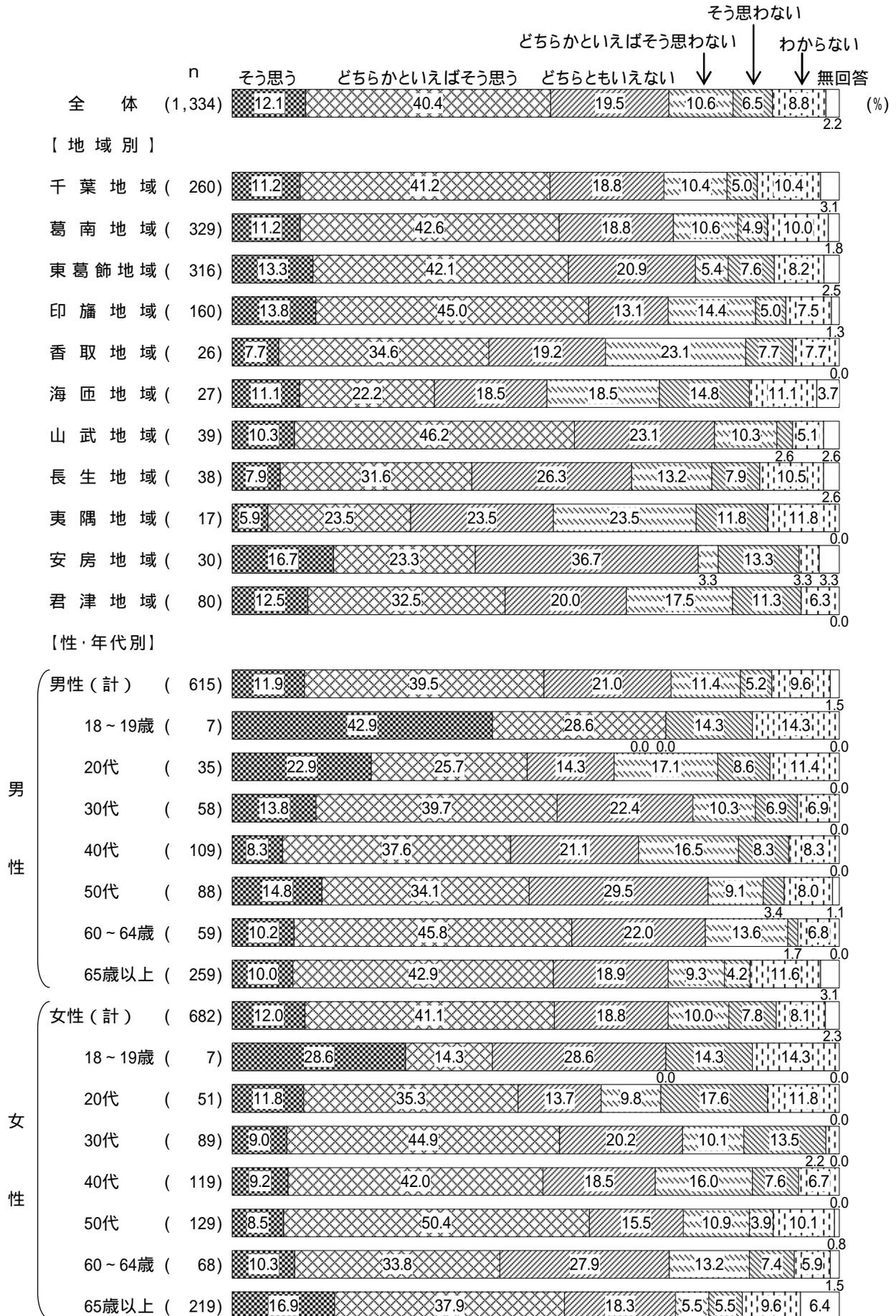
【地域別】

地域別にみると、『そう思わない(計)』は「夷隅地域」(35.3%)が3割台半ば、「海匠地域」(33.3%)が3割を超え、「君津地域」(28.8%)が約3割で高くなっている。(図表3-2)

【性・年代別】

性・年代別にみると、『そう思わない(計)』は女性の20代(27.5%)が約3割、男性の40代(24.8%)が2割台半ばで高くなっている。(図表3-2)

<図表3 - 2> 安心して子育てできる環境 / 地域別、性・年代別

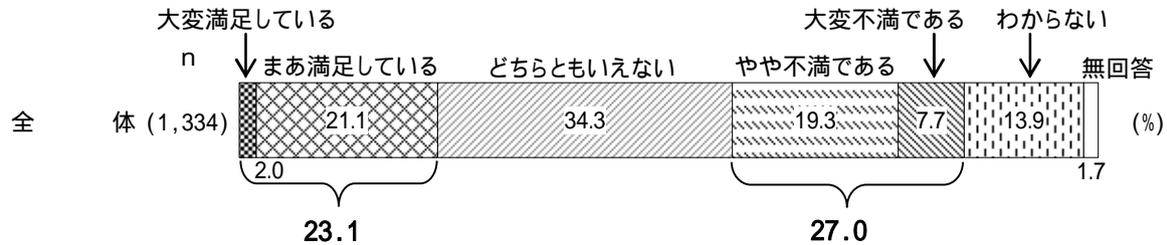


（２）お年寄りが安心して暮らせる高齢者施策について

『満足している（計）』が2割を超える

問18 あなたは、お年寄りが安心して暮らせる高齢者施策についてどうお感じですか。若年層の方は、ご家族や近所の方など、身の回り的高齢者を想定してお答えください。（は1つ）

<図表3-3> お年寄りが安心して暮らせる高齢者施策について

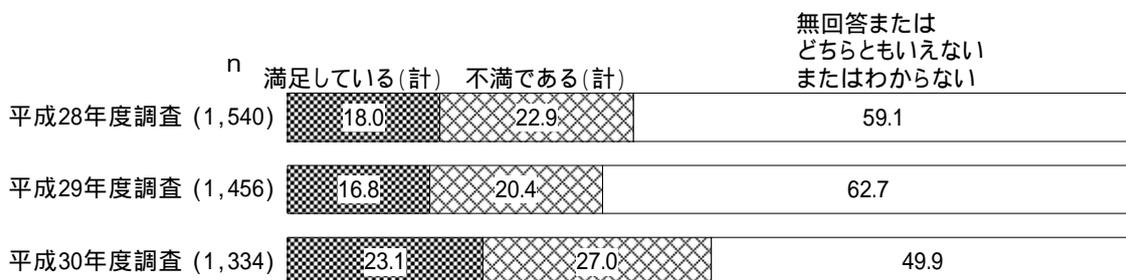


（ ）平成30年度調査から、回答方法の説明を設問に追加した。

お年寄りが安心して暮らせる高齢者施策について、その満足度を聞いたところ、「大変満足している」(2.0%)と「まあ満足している」(21.1%)を合わせた『満足している(計)』(23.1%)が2割を超えている。

一方、「やや不満である」(19.3%)と「大変不満である」(7.7%)を合わせた『不満である(計)』(27.0%)は約3割となっている。(図表3-3)

〔参考〕平成28年度・平成29年度の同様の項目による調査結果との比較（単位：％）



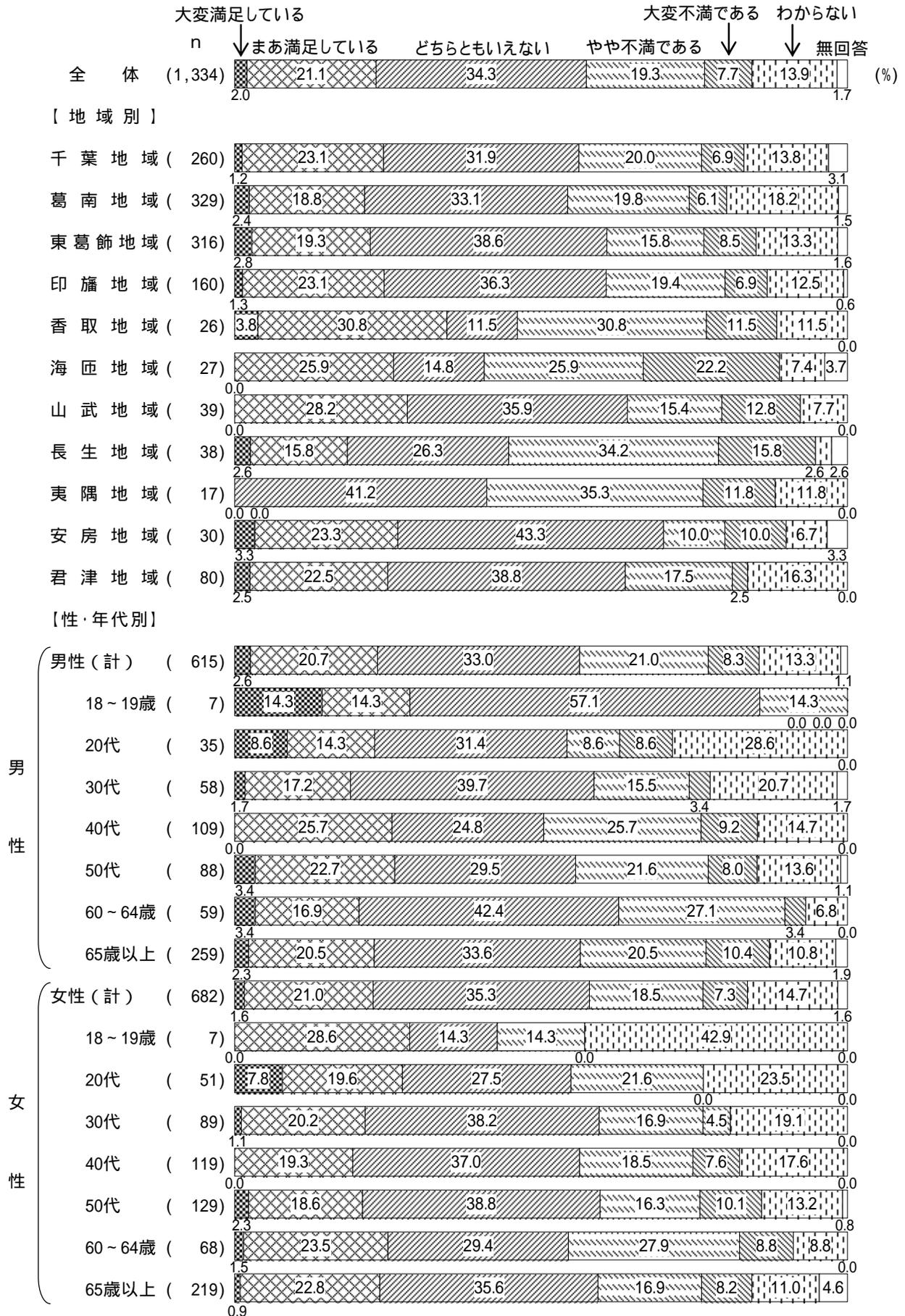
【地域別】

地域別にみると、『不満である(計)』は“長生地域”(50.0%)が5割、“海匠地域”(48.1%)が約5割で高くなっている。(図表3-4)

【性・年代別】

性・年代別にみると、大きな傾向の違いはみられない。(図表3-4)

<図表3 - 4> お年寄りが安心して暮らせる高齢者施策について / 地域別、性・年代別

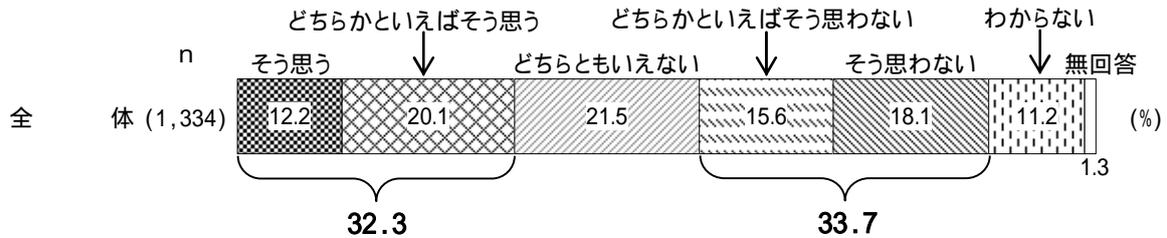


（3）介護が必要になっても、現在の自宅や地域で暮らし続けられるか

『そう思う（計）』が3割を超える

問19 あなたは、自分が介護の必要な状況になっても、現在お住まいの自宅や地域で暮らし続けられると思いますか。（は1つ）

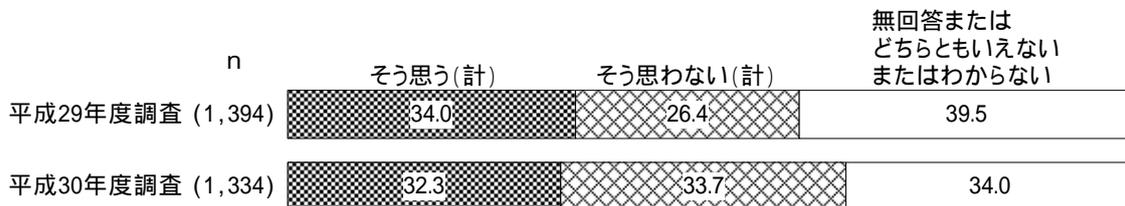
<図表3-5> 介護が必要になっても、現在の自宅や地域で暮らし続けられるか



自分が介護の必要な状況になっても、現在の自宅や地域で暮らし続けられると思うか聞いたところ、「そう思う」(12.2%)と「どちらかといえばそう思う」(20.1%)を合わせた『そう思う(計)』(32.3%)が3割を超えている。

一方、「どちらかといえばそう思わない」(15.6%)と「そう思わない」(18.1%)を合わせた『そう思わない(計)』(33.7%)は3割台半ばとなっている。(図表3-5)

〔参考〕平成29年度の同様の項目による調査結果との比較（単位：%）



平成29年度調査は、「第55回県政に関する世論調査」の調査結果を掲載

【地域別】

地域別にみると、「そう思う」は“山武地域”(23.1%)が2割を超えて高くなっている。

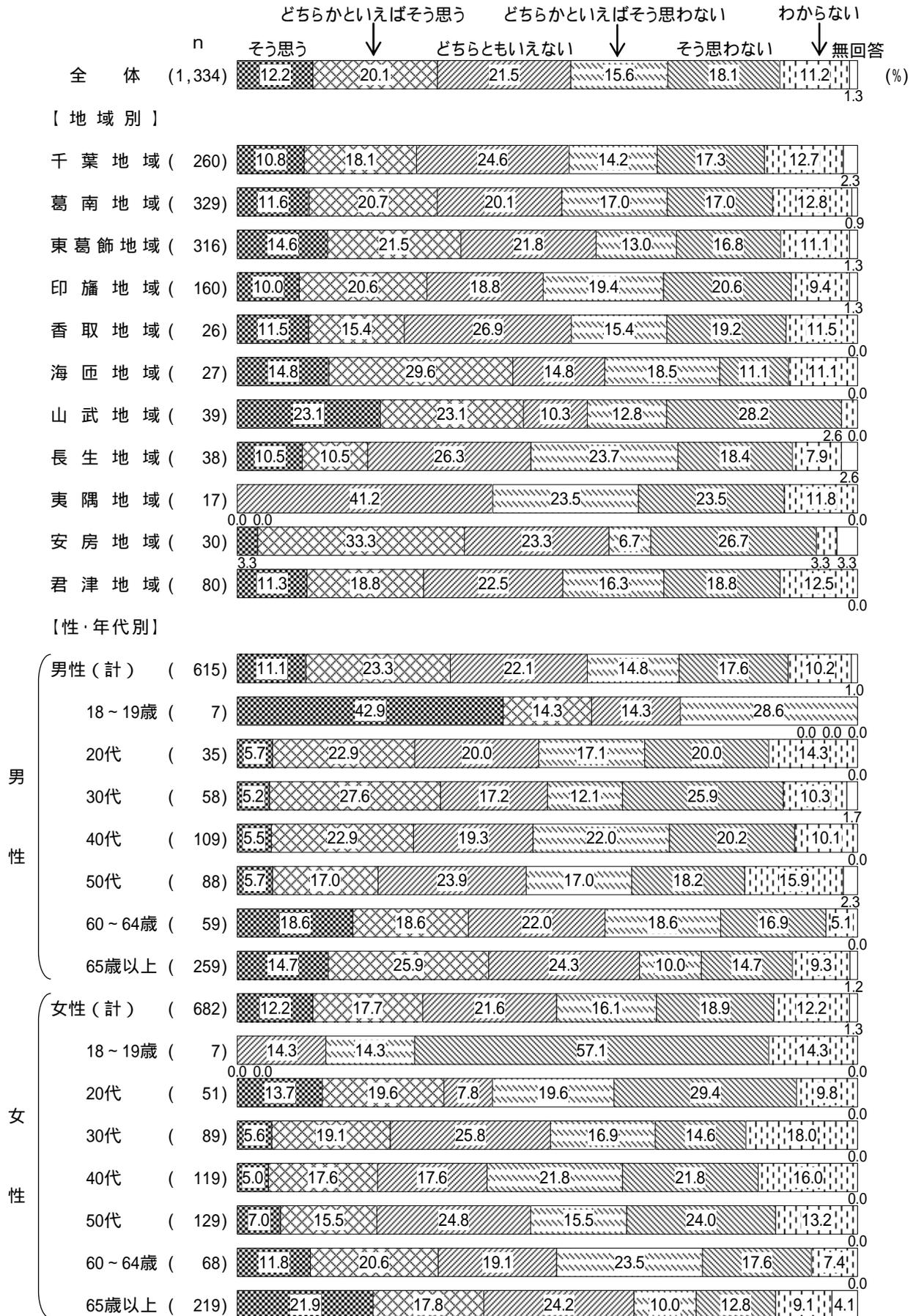
(図表3-6)

【性・年代別】

性・年代別にみると、『そう思う(計)』は男性の65歳以上(40.5%)が4割、女性の65歳以上(39.7%)が約4割で高くなっている。

一方、『そう思わない(計)』は女性の20代(49.0%)が約5割、女性の40代(43.7%)が4割台半ばで高くなっている。(図表3-6)

<図表3 - 6> 介護が必要になっても、現在の自宅や地域で暮らし続けられるか / 地域別、性・年代別

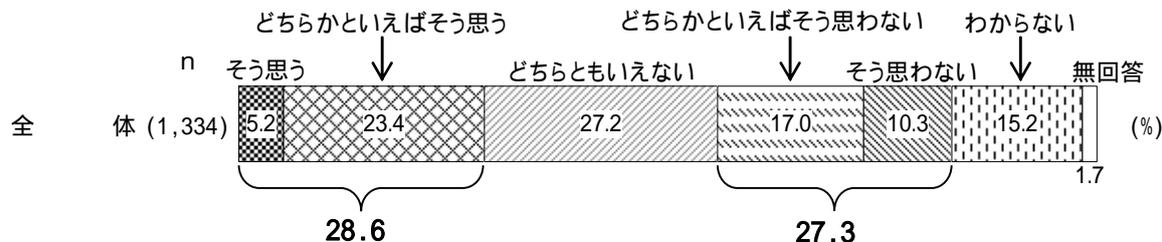


（４）高齢者の社会参加について

『そう思う（計）』が約3割

問20 あなたは、千葉県に住む高齢者が多様な社会参加を通じ、社会と関わりを持ちながら生活を送っていると思いますか。若年層の方は、ご家族や近所の方など、身の回り的高齢者を想定してお答えください。（は1つ）

<図表3 - 7> 高齢者の社会参加について

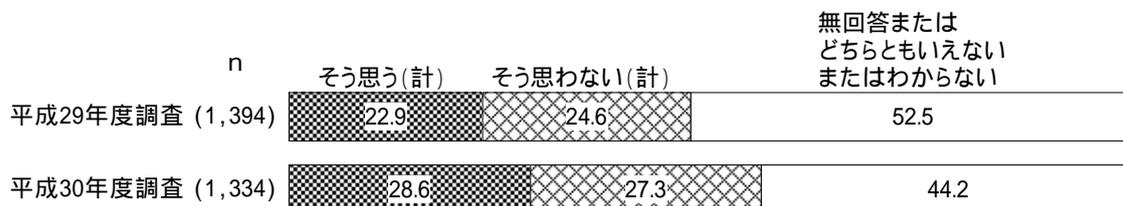


（ ）平成30年度調査から、回答方法の説明を設問に追加した。

高齢者が多様な社会参加を通じ、社会と関わりを持ちながら生活を送っていると思うか聞いたところ、「そう思う」(5.2%)と「どちらかといえばそう思う」(23.4%)を合わせた『そう思う(計)』(28.6%)が約3割となっている。

一方、「どちらかといえばそう思わない」(17.0%)と「そう思わない」(10.3%)を合わせた『そう思わない(計)』(27.3%)は約3割となっている。(図表3 - 7)

〔参考〕平成29年度の同様の項目による調査結果との比較（単位：%）



平成29年度調査は、「第55回県政に関する世論調査」の調査結果を掲載

【地域別】

地域別にみると、『そう思う(計)』は“安房地域”(46.7%)が4割台半ばで高くなっている。

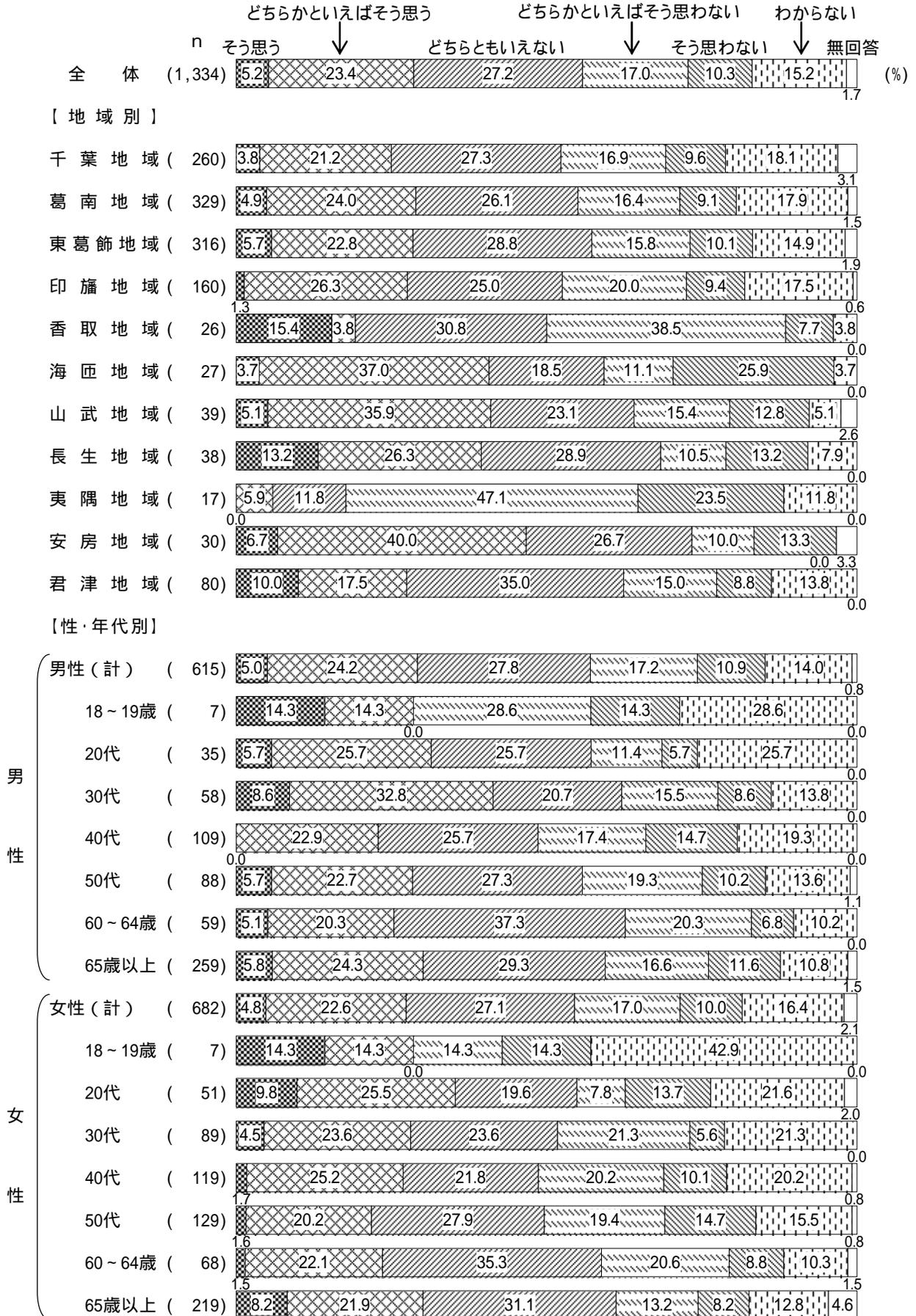
一方、『そう思わない(計)』は“夷隅地域”(70.6%)が7割、“香取地域”(46.2%)が4割台半ばで高くなっている。(図表3 - 8)

【性・年代別】

性・年代別にみると、『そう思う(計)』は男性の30代(41.4%)が4割を超えて高くなっている。

(図表3 - 8)

<図表3 - 8> 高齢者の社会参加について / 地域別、性・年代別

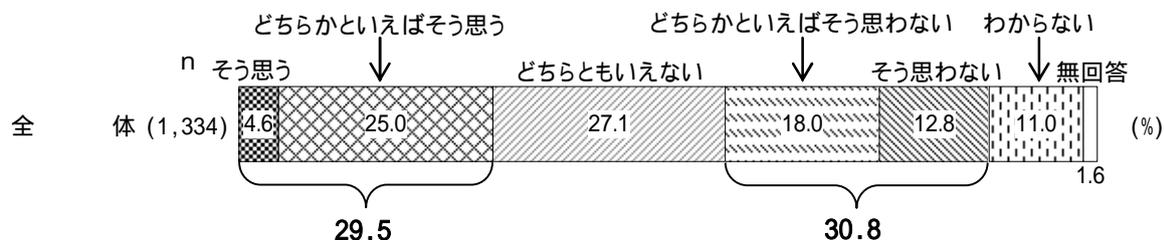


（５）安心して暮らせる地域社会づくりについて

『そう思う（計）』が約３割

問21 あなたは、地域住民が互いに支え合い、安心して暮らせる地域社会づくりが進められていると思いますか。（ は１つ）

<図表 3 - 9> 安心して暮らせる地域社会づくりについて

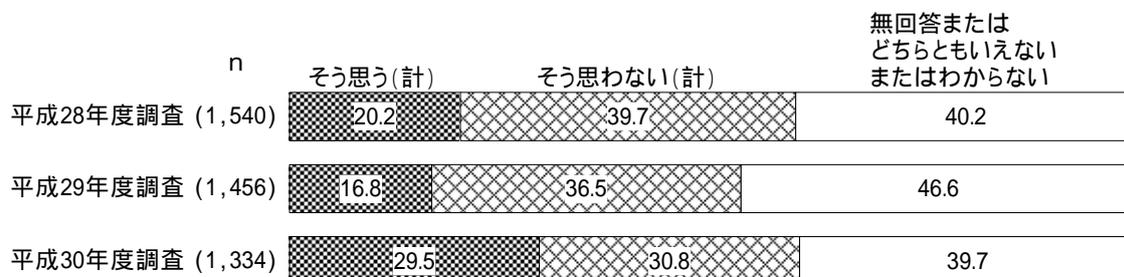


（ ）平成30年度調査から、設問文より「近年、少子高齢化の進行や一人暮らし世帯・核家族世帯の増加等を背景に家庭内や地域の支え合いの力が弱まっていると言われていています。」の一文を削除した。

地域住民が互いに支え合い、安心して暮らせる地域社会づくりが進められていると思うか聞いたところ、「そう思う」(4.6%)と「どちらかといえばそう思う」(25.0%)を合わせた『そう思う(計)』(29.5%)が約３割となっている。

一方、「どちらかといえばそう思わない」(18.0%)と「そう思わない」(12.8%)を合わせた『そう思わない(計)』(30.8%)は３割となっている。(図表 3 - 9)

〔参考〕平成28年度・平成29年度の同様の項目による調査結果との比較（単位：％）



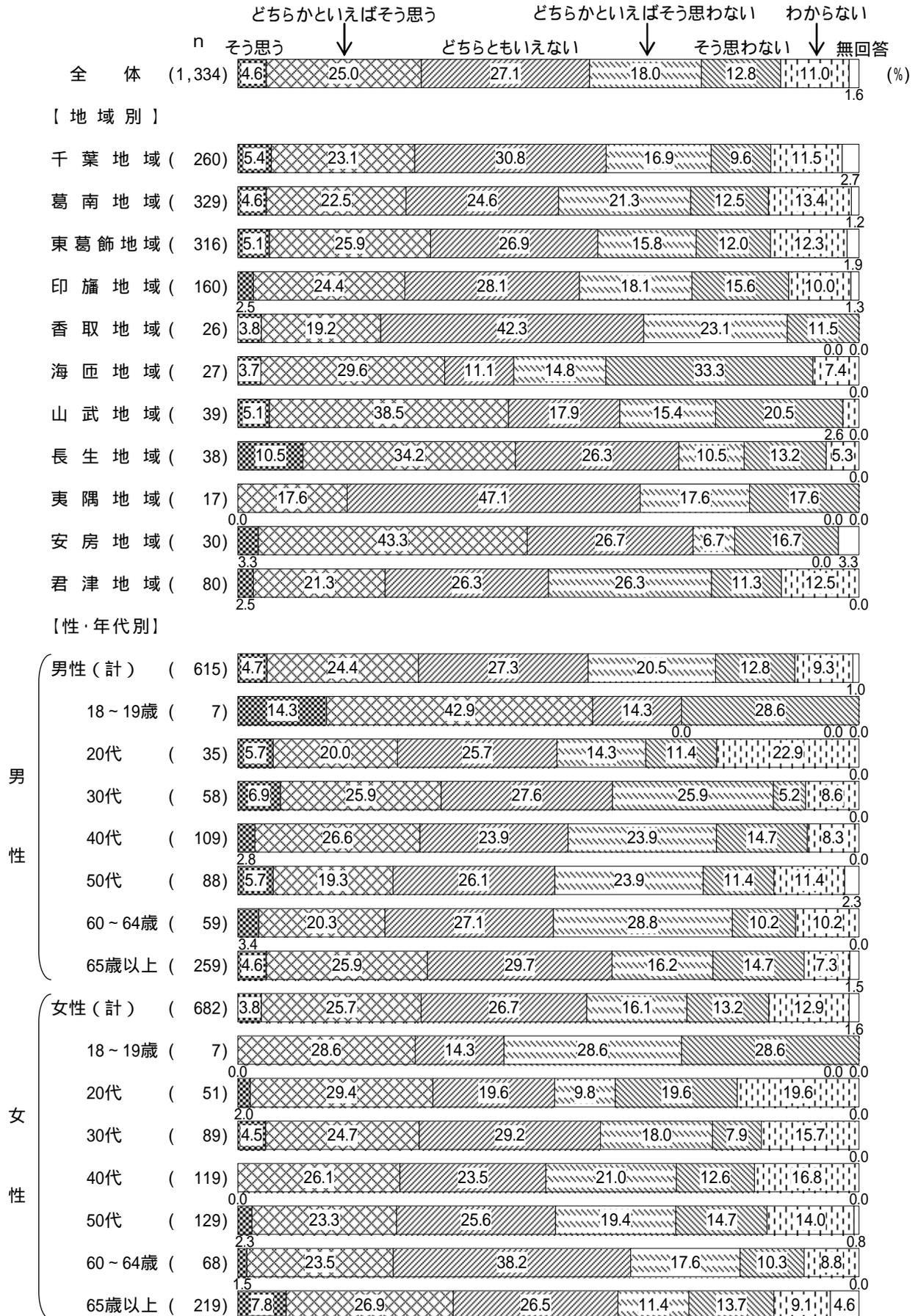
【地域別】

地域別にみると、『そう思う（計）』は“安房地域”（46.7%）と“長生地域”（44.7%）が４割台半ばで高くなっている。(図表 3 - 10)

【性・年代別】

性・年代別にみると、「どちらかといえばそう思わない」は男性の60～64歳（28.8%）が約３割で高くなっている。(図表 3 - 10)

<図表3 - 10> 安心して暮らせる地域社会づくりについて / 地域別、性・年代別

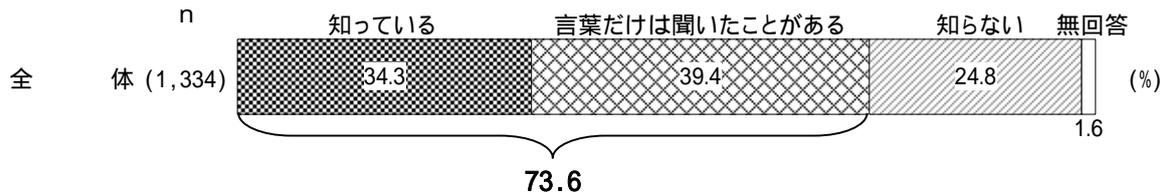


（6）「共生社会」の認知度

『聞いたことがある（計）』が7割台半ば

問22 あなたは、障害のある・なしにかかわらず、誰もが社会の一員としてお互いを尊重し、支え合って暮らすことを目指す「共生社会」という考え方を知っていますか。（は1つ）
 「共生社会」とは、具体的には、人々の生活や心において「障害者」という区切りのない社会です。

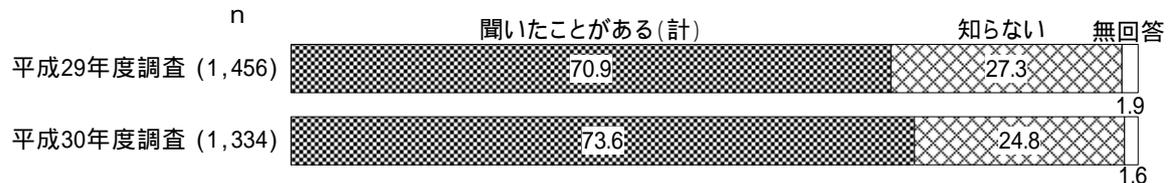
<図表3-11> 「共生社会」の認知度



「共生社会」という考え方を知っているか聞いたところ、「知っている」(34.3%)と「言葉だけは聞いたことがある」(39.4%)を合わせた『聞いたことがある（計）』(73.6%)が7割台半ばで高くなっている。

一方、「知らない」(24.8%)は2割台半ばとなっている。(図表3-11)

〔参考〕平成29年度の同様の項目による調査結果との比較（単位：%）



【地域別】

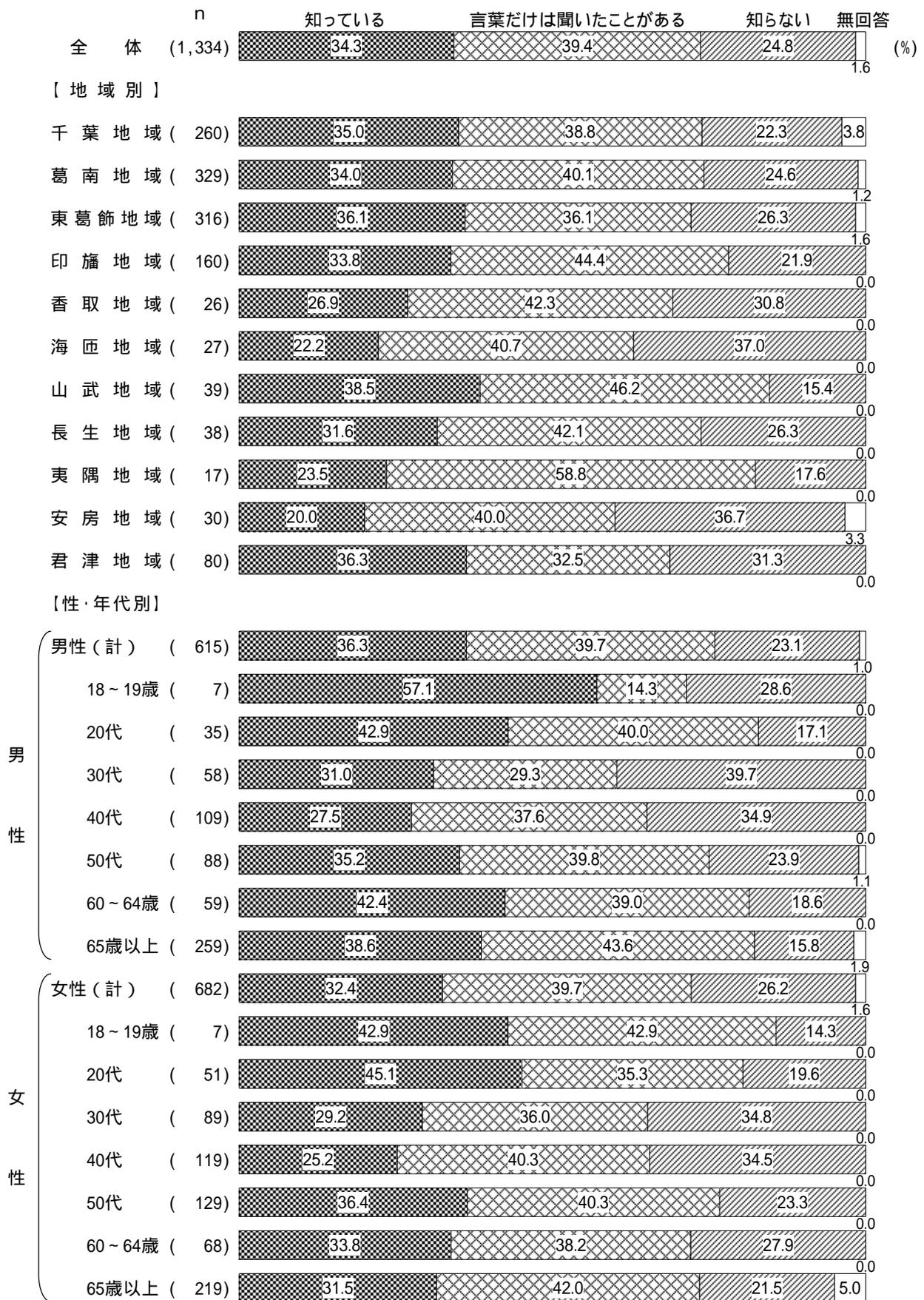
地域別にみると、大きな傾向の違いはみられない。(図表3-12)

【性・年代別】

性・年代別にみると、『聞いたことがある（計）』は男性の65歳以上(82.2%)が8割を超えて高くなっている。

一方、「知らない」は男性の30代(39.7%)が約4割、男性の40代(34.9%)、女性の30代(34.8%)、女性の40代(34.5%)が3割台半ばで高くなっている。(図表3-12)

<図表3 - 12> 「共生社会」の認知度 / 地域別、性・年代別

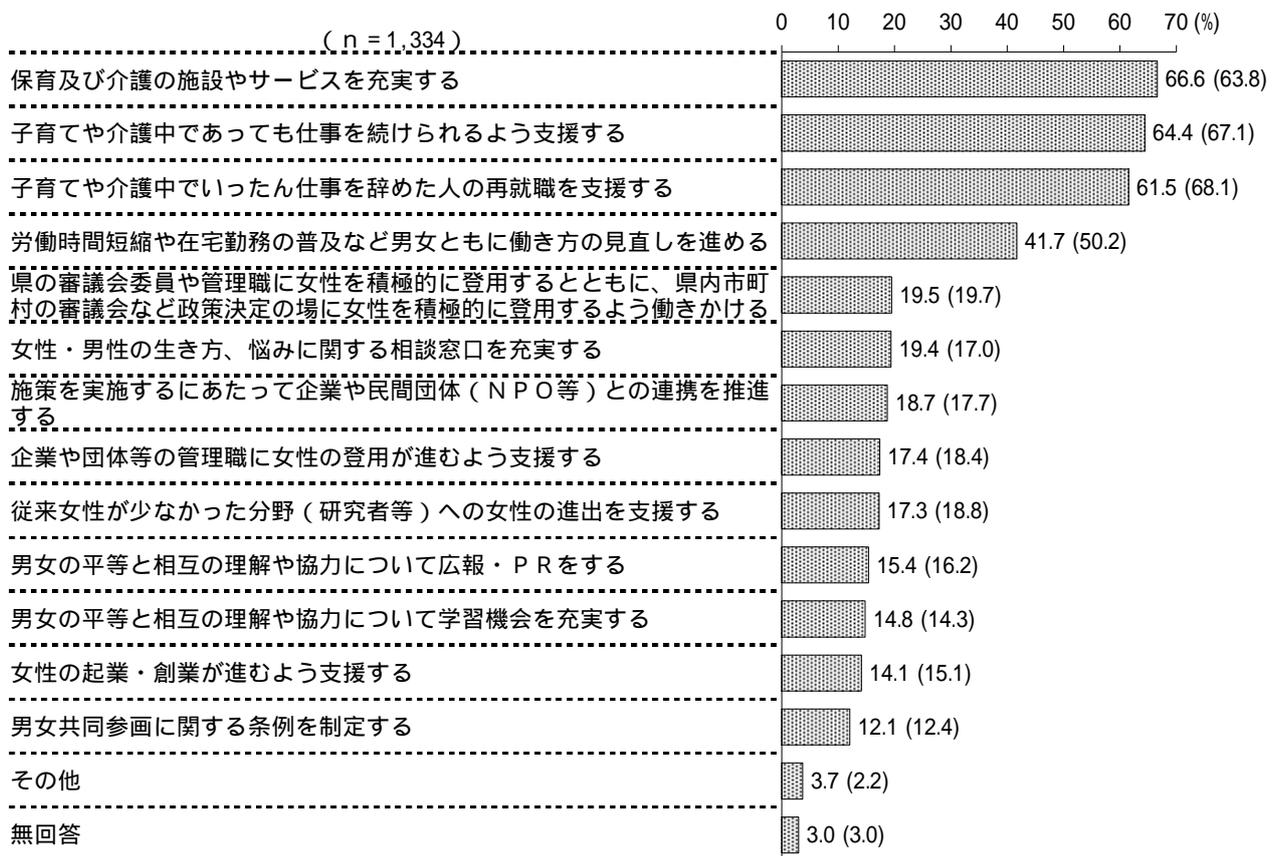


（7）男女共同参画社会を実現するための取組

「保育及び介護の施設やサービスを充実する」と「子育てや介護中であっても仕事を続けられるよう支援する」が6割台半ば

問23 あなたは、男女共同参画社会を実現するための様々な取組のなかで、今後、県はどのようなことにより力を入れるべきと考えますか。（はいいくつでも）

<図表3-13> 男女共同参画社会を実現するための取組（複数回答）



注) () の数字は平成29年度第55回調査の同様の項目による調査結果 n = 1,394

男女共同参画社会の実現のために今後県が力を入れるべき取組を聞いたところ、「保育及び介護の施設やサービスを充実する」(66.6%)と「子育てや介護中であっても仕事を続けられるよう支援する」(64.4%)が6割台半ばで最も高く、以下、「子育てや介護中でいったん仕事を辞めた人の再就職を支援する」(61.5%)、「労働時間短縮や在宅勤務の普及など男女ともに働き方の見直しを進める」(41.7%)が続く。(図表3-13)

【地域別】

地域別にみると、「子育てや介護中であっても仕事を続けられるよう支援する」は“印旛地域”(77.5%)が約8割で高くなっている。

「労働時間短縮や在宅勤務の普及など男女ともに働き方の見直しを進める」は“印旛地域”(49.4%)が約5割で高くなっている。(図表3-14)

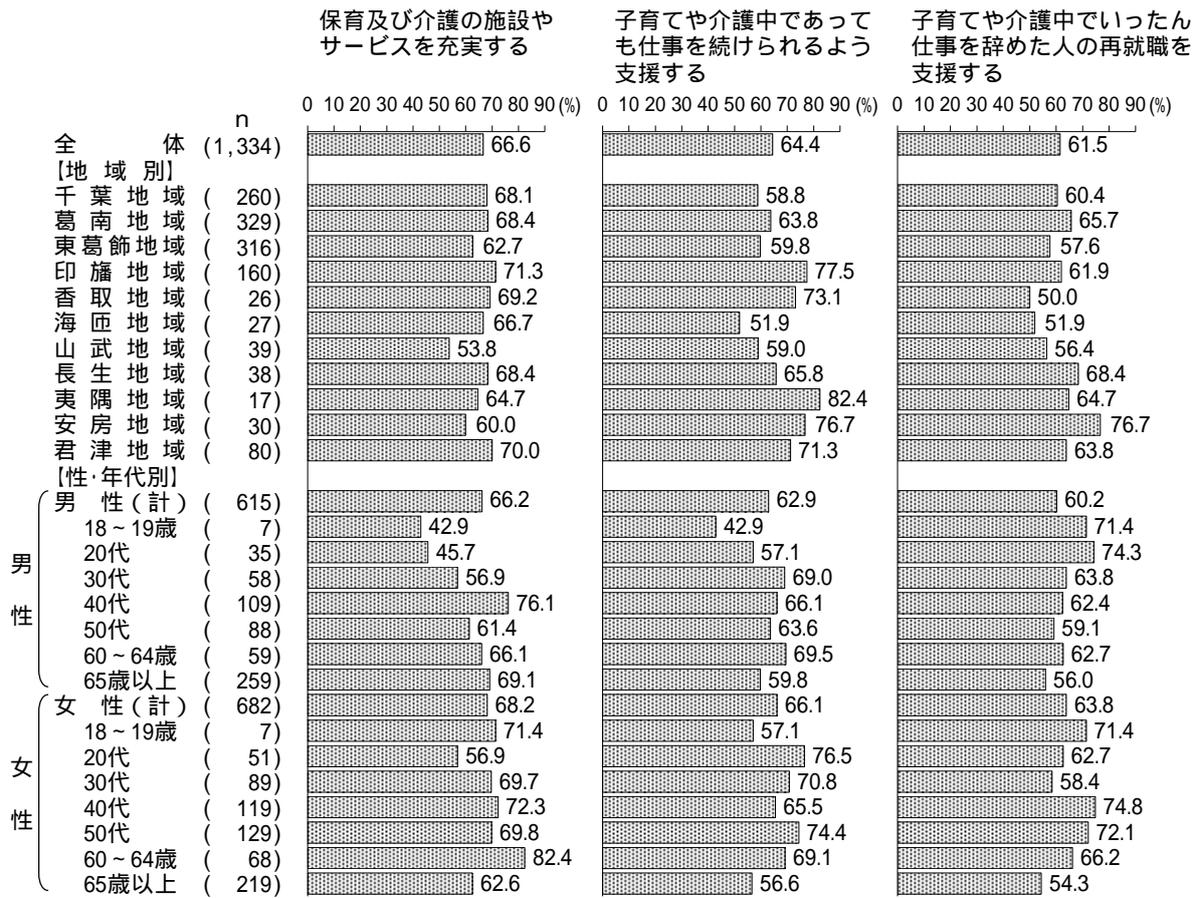
【性・年代別】

性・年代別にみると、「保育及び介護の施設やサービスを充実する」は女性の60～64歳(82.4%)が8割を超え、男性の40代(76.1%)が7割台半ばで高くなっている。

「子育てや介護中でいったん仕事を辞めた人の再就職を支援する」は女性の40代(74.8%)が7割台半ば、女性の50代(72.1%)が7割を超えて高くなっている。(図表3-14)

<図表3 - 14> 男女共同参画社会を実現するための取組（複数回答）

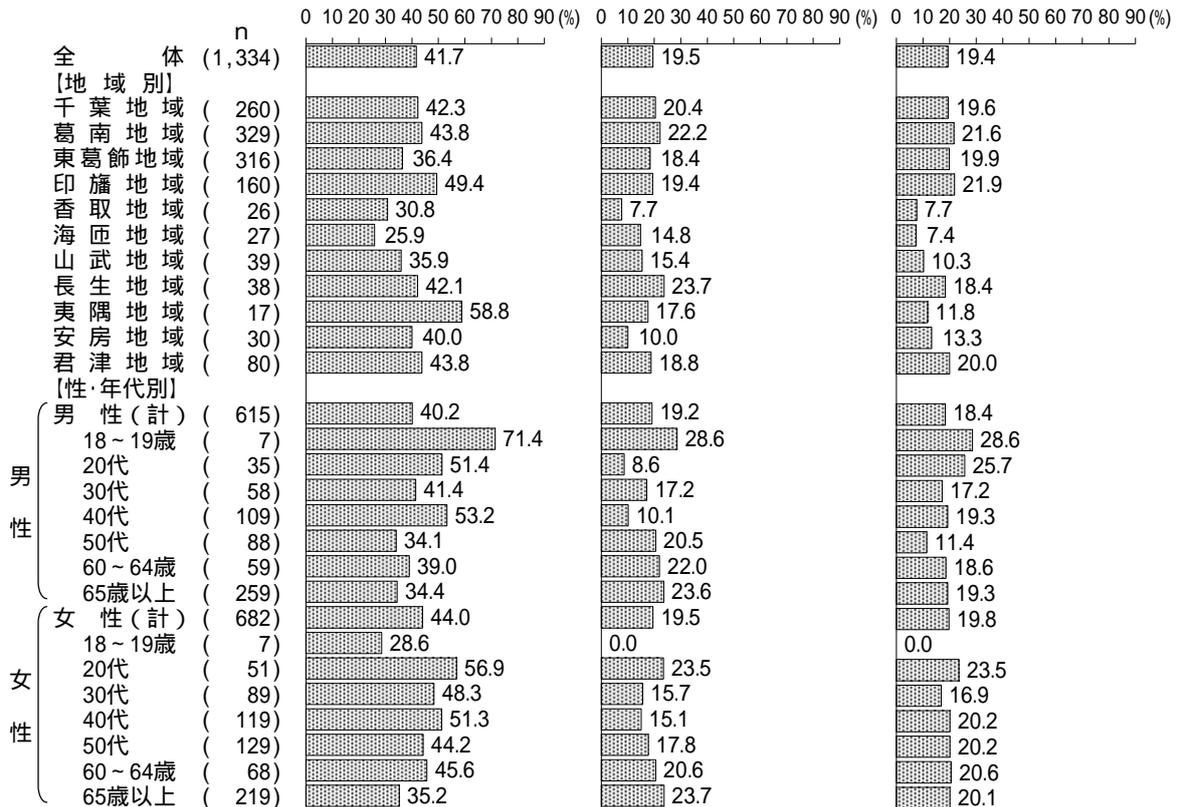
/ 地域別、性・年代別（上位6項目）



労働時間短縮や在宅勤務の普及など男女ともに働き方の見直しを進める

県の審議会委員や管理職に女性を積極的に登用するとともに、県内市町村の審議会など政策決定の場に女性を積極的に登用するよう働きかける

女性・男性の生き方、悩みに関する相談窓口を充実する



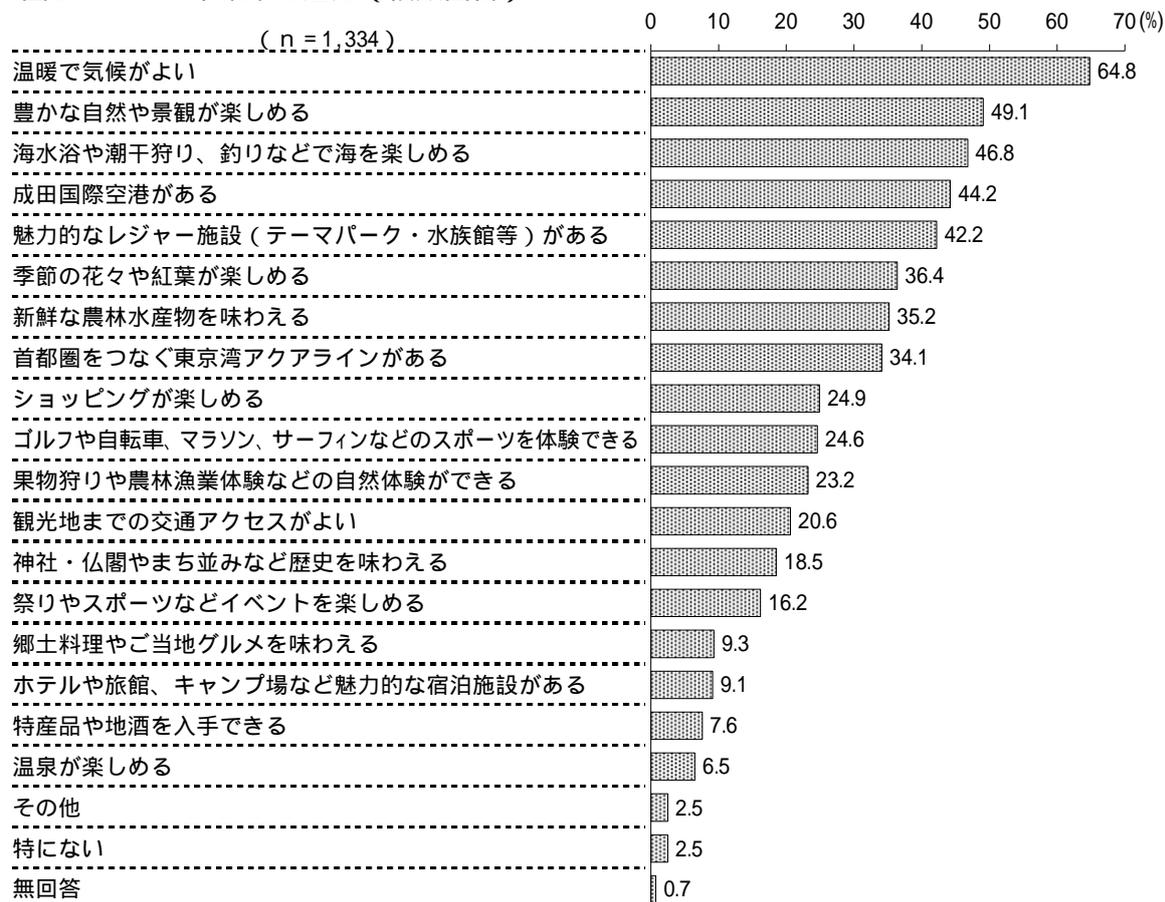
4 観光について

（1）千葉県の魅力

「温暖で気候がよい」が6割台半ば

問24 千葉県の魅力は、次のどれだと思いますか。（はいいくつでも）

<図表4-1> 千葉県の魅力（複数回答）



千葉県の魅力は何だと思うか聞いたところ、「温暖で気候がよい」（64.8%）が6割台半ばで最も高く、以下、「豊かな自然や景観が楽しめる」（49.1%）、「海水浴や潮干狩り、釣りなどで海を楽しめる」（46.8%）、「成田国際空港がある」（44.2%）、「魅力的なレジャー施設（テーマパーク・水族館等）がある」（42.2%）が続く。（図表4-1）

【地域別】

地域別にみると、「温暖で気候がよい」は「安房地域」（93.3%）が9割を超え、「夷隅地域」（88.2%）が約9割、「君津地域」（77.5%）が約8割、「千葉地域」（76.9%）が7割台半ばで高くなっている。

「季節の花々や紅葉が楽しめる」は「安房地域」（66.7%）が6割台半ばで高くなっている。

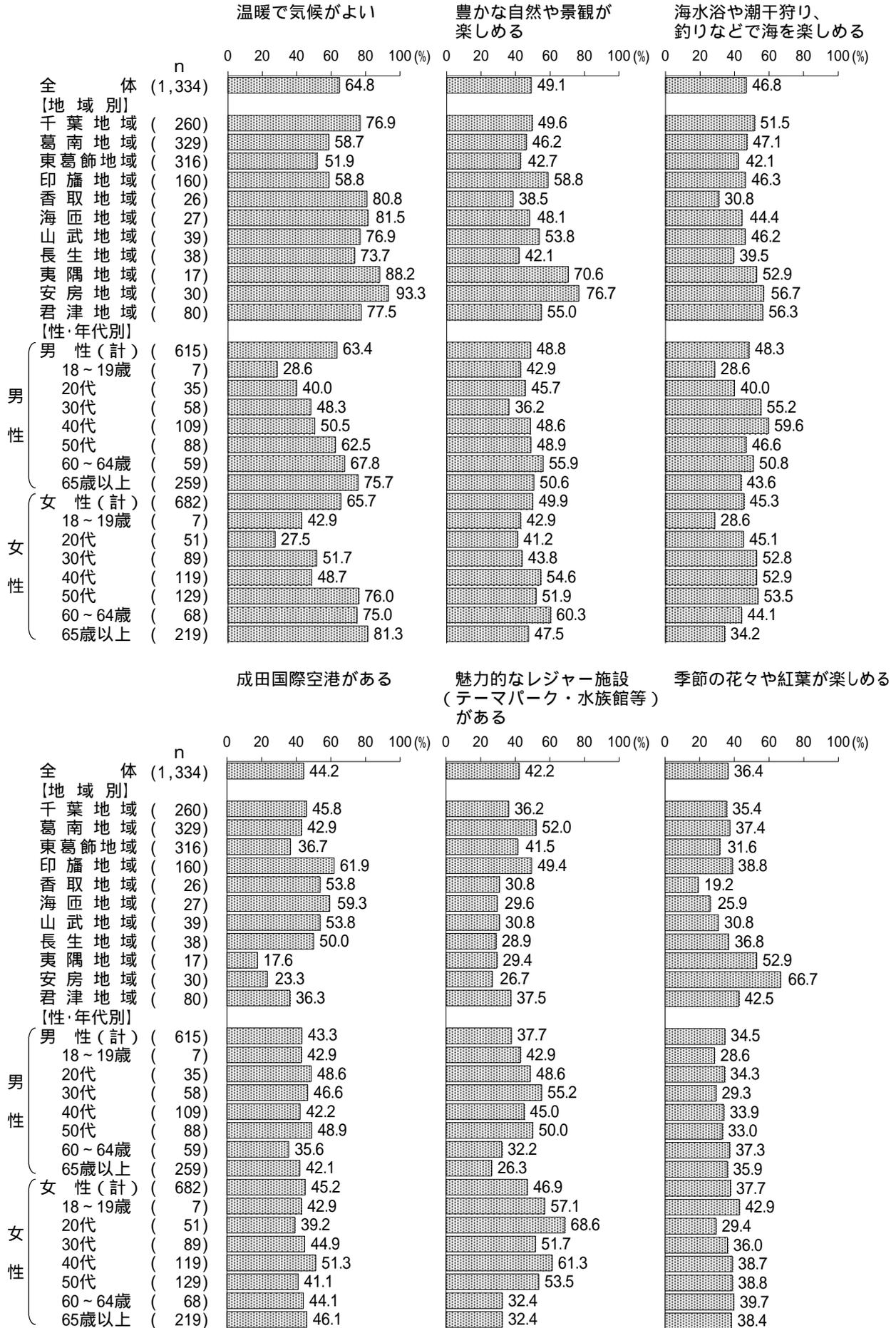
（図表4-2）

【性・年代別】

性・年代別にみると、「温暖で気候がよい」は女性の65歳以上（81.3%）が8割を超え、男性の65歳以上（75.7%）と女性の50代（76.0%）が7割台半ばで高くなっている。

「魅力的なレジャー施設（テーマパーク・水族館等）がある」は女性の20代（68.6%）が約7割、女性の40代（61.3%）が6割を超え、男性の30代（55.2%）と女性の50代（53.5%）が5割台半ばで高くなっている。（図表4-2）

<図表4 - 2> 千葉県の魅力（複数回答）/地域別、性・年代別（上位6項目）

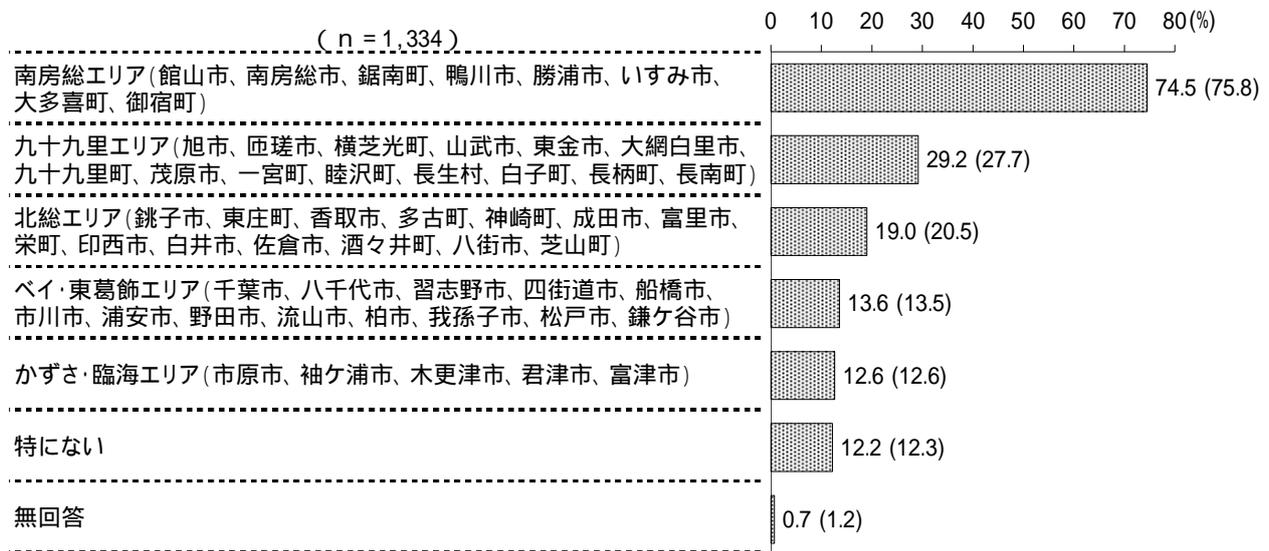


（２）県内で旅行に行きたいエリア

「南房総エリア」が7割台半ば

問25 あなたは、これから千葉県内を旅行するとしたら、どのエリアに行きたいですか。
（はいくつでも）

<図表4-3> 県内で旅行に行きたいエリア（複数回答）



注) () の数字は平成29年度の同様の項目による調査結果 n = 1,456

県内で旅行に行きたいエリアはどこか聞いたところ、「南房総エリア」(74.5%)が7割台半ばで最も高く、以下、「九十九里エリア」(29.2%)、「北総エリア」(19.0%)、「ベイ・東葛飾エリア」(13.6%)、「かずさ・臨海エリア」(12.6%)が続く。(図表4-3)

【地域別】

地域別にみると、「南房総エリア」は“印旛地域”(83.8%)が8割台半ばで高くなっている。

「九十九里エリア」は“葛南地域”(36.8%)が3割台半ばで高くなっている。

「北総エリア」は“安房地域”(33.3%)が3割を超えて高くなっている。

「ベイ・東葛飾エリア」は“夷隅地域”(41.2%)が4割を超え、“安房地域”(33.3%)が3割を超えて高くなっている。(図表4-4)

【性・年代別】

性・年代別にみると、「ベイ・東葛飾エリア」は男性の20代(31.4%)が3割を超えて高くなっている。

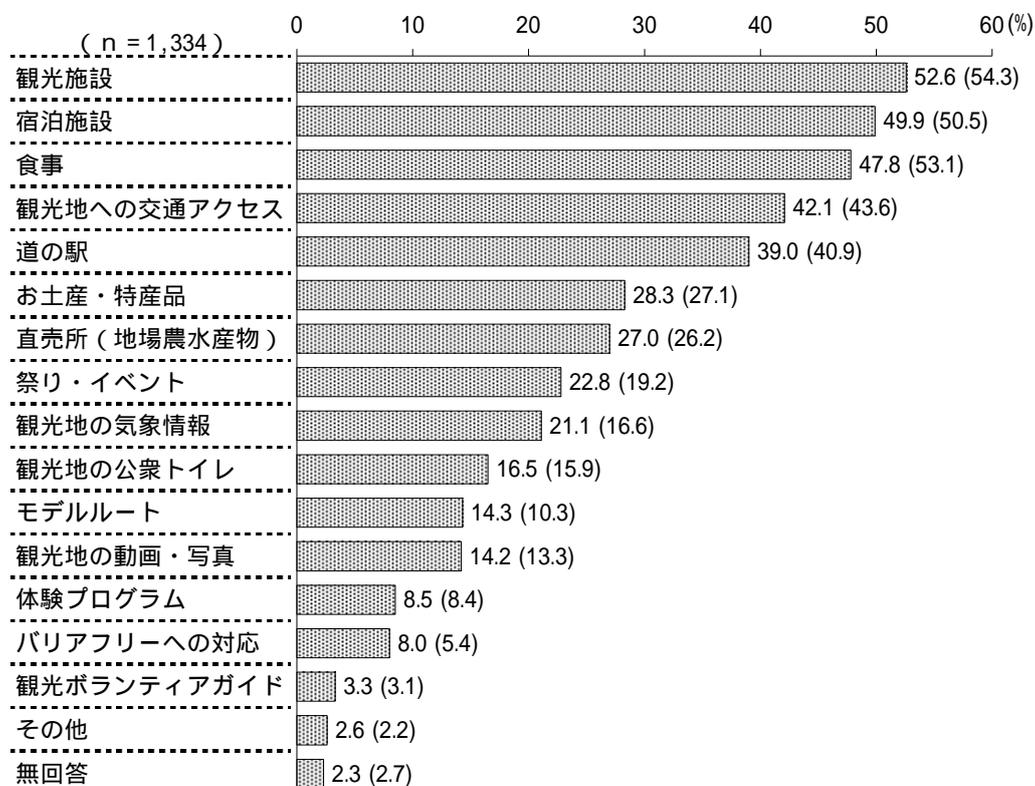
「かずさ・臨海エリア」は男性の20代(31.4%)が3割を超えて高くなっている。(図表4-4)

（3）県内を観光する際に事前に知りたい情報

「観光施設」が5割を超える

問26 千葉県内を観光する際に、事前にどのような情報がほしいですか。（はいいくつでも）

<図表4-5> 県内を観光する際に事前に知りたい情報（複数回答）



注) () の数字は平成29年度の同様の項目による調査結果 n = 1,456

県内を観光する際に事前に知りたい情報は何か聞いたところ、「観光施設」(52.6%)が5割を超えて最も高く、以下、「宿泊施設」(49.9%)、「食事」(47.8%)、「観光地への交通アクセス」(42.1%)、「道の駅」(39.0%)が続く。(図表4-5)

【地域別】

地域別にみると、「宿泊施設」は“葛南地域”(57.1%)が約6割で高くなっている。

「観光地への交通アクセス」は“葛南地域”(48.3%)が約5割で高くなっている。

「道の駅」は“山武地域”(56.4%)が5割台半ばで高くなっている。(図表4-6)

【性・年代別】

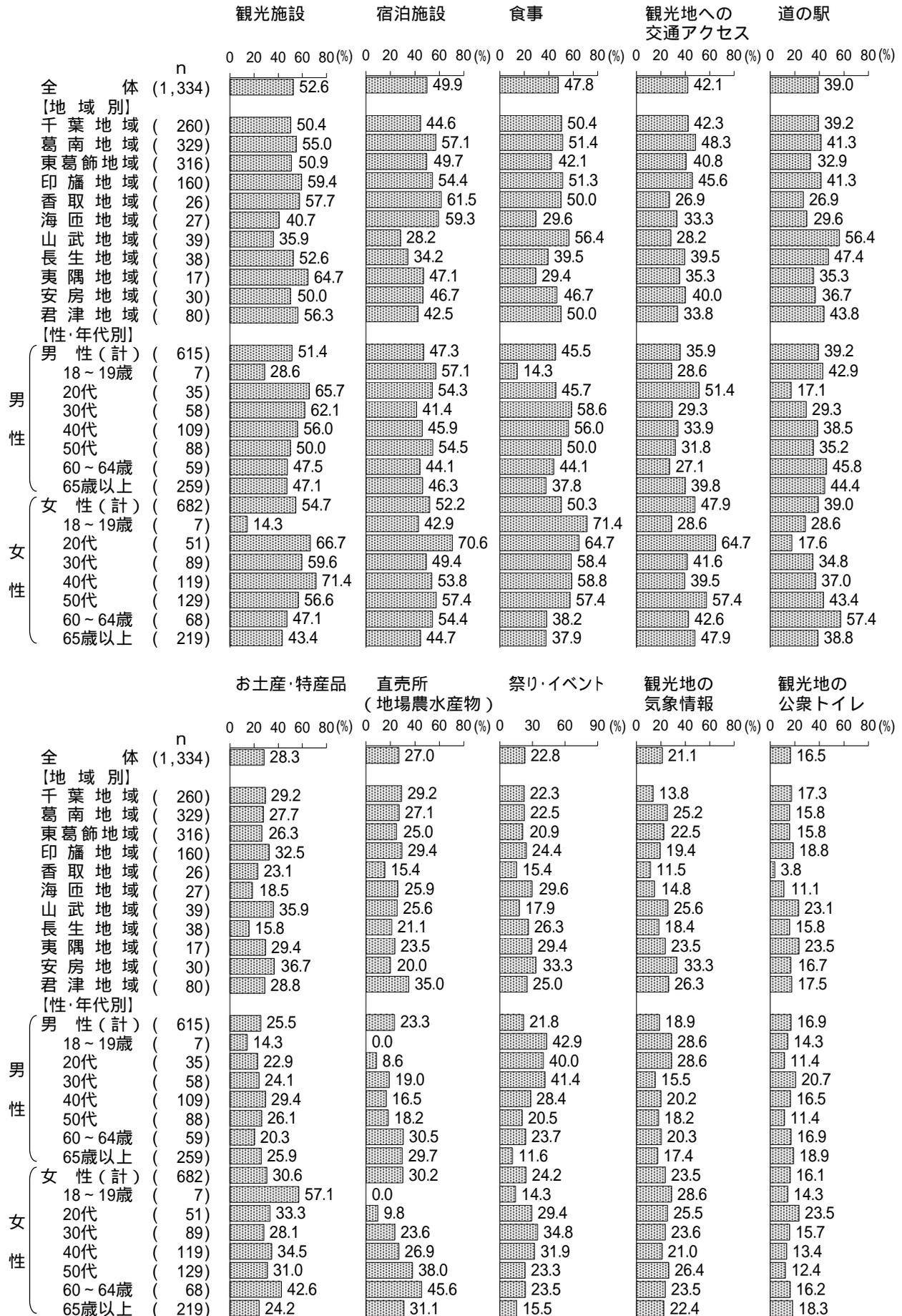
性・年代別にみると、「観光施設」は女性の40代(71.4%)が7割を超え、女性の20代(66.7%)が6割台半ばで高くなっている。

「宿泊施設」は女性の20代(70.6%)が7割で高くなっている。

「食事」は女性の20代(64.7%)が6割台半ば、女性の30代(58.4%)、女性の40代(58.8%)、女性の50代(57.4%)が約6割で高くなっている。

「観光地への交通アクセス」は女性の20代(64.7%)が6割台半ば、女性の50代(57.4%)が約6割で高くなっている。(図表4-6)

<図表4 - 6> 県内を観光する際に事前に知りたい情報（複数回答）/ 地域別、性・年代別（上位10項目）



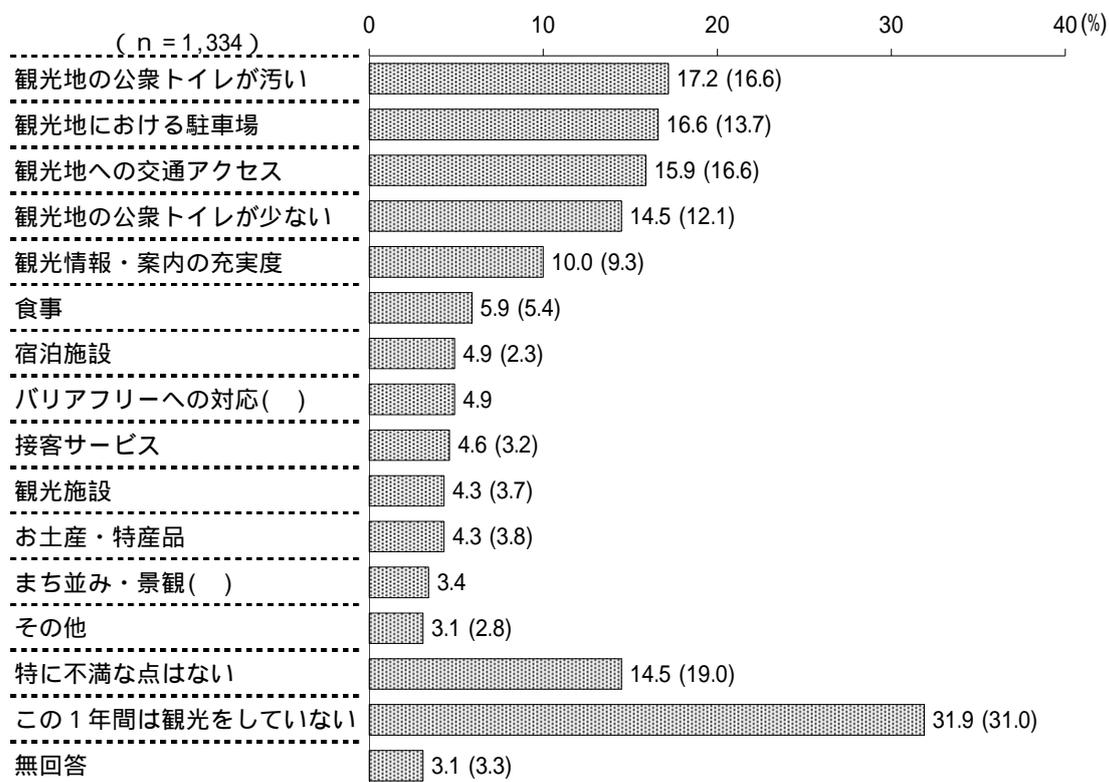
（４）この１年間に県内を観光した際の不満

「観光地の公衆トイレが汚い」が約２割

問27 この１年間で千葉県内を観光した際に、不満を感じた点を教えてください。

（はいくつでも）

<図表４ - 7> この１年間に県内を観光した際の不満（複数回答）



注) () の数字は平成29年度の同様の項目による調査結果 n = 1,456
 () 平成29年度調査では、「バリアフリーへの対応」、「まち並み・景観」の選択肢は設けていない。

この１年間で県内を観光した際に不満を感じたことを聞いたところ、「観光地の公衆トイレが汚い」(17.2%) が約２割で最も高く、以下、「観光地における駐車場」(16.6%)、「観光地への交通アクセス」(15.9%)、「観光地の公衆トイレが少ない」(14.5%)が続く。(図表４ - 7)

【地域別】

地域別にみると、「観光地の公衆トイレが汚い」は“君津地域”(31.3%)が３割を超えて高くなっている。

「観光地における駐車場」は“長生地域”(28.9%)が約３割、“印旛地域”(23.1%)が２割を超えて高くなっている。(図表４ - 8)

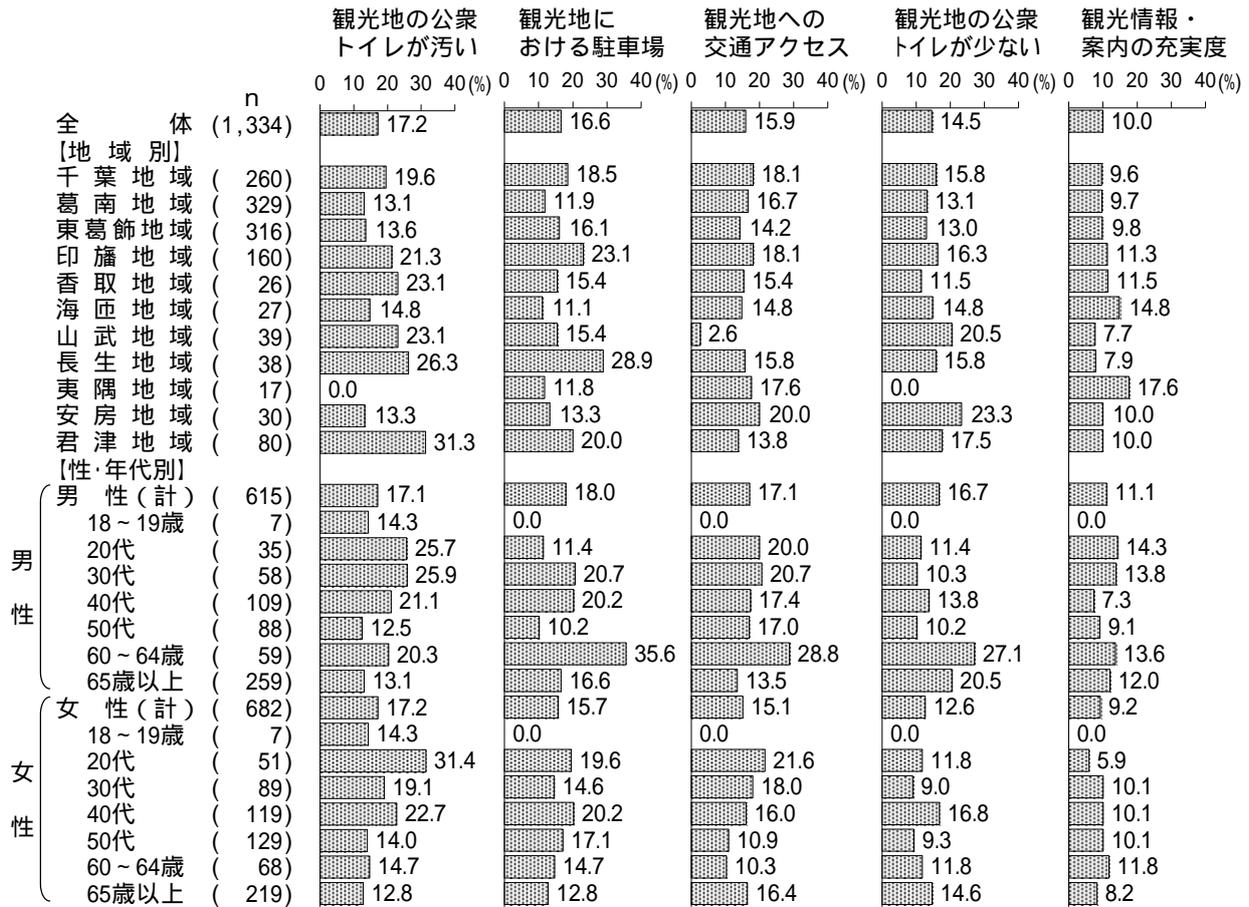
【性・年代別】

性・年代別にみると、「観光地の公衆トイレが汚い」は女性の20代(31.4%)が３割を超えて高くなっている。

「観光地における駐車場」は男性の60～64歳(35.6%)が３割台半ばで高くなっている。

(図表４ - 8)

<図表4 - 8> この1年間に県内を観光した際の不満（複数回答）/地域別、性・年代別（上位10項目）

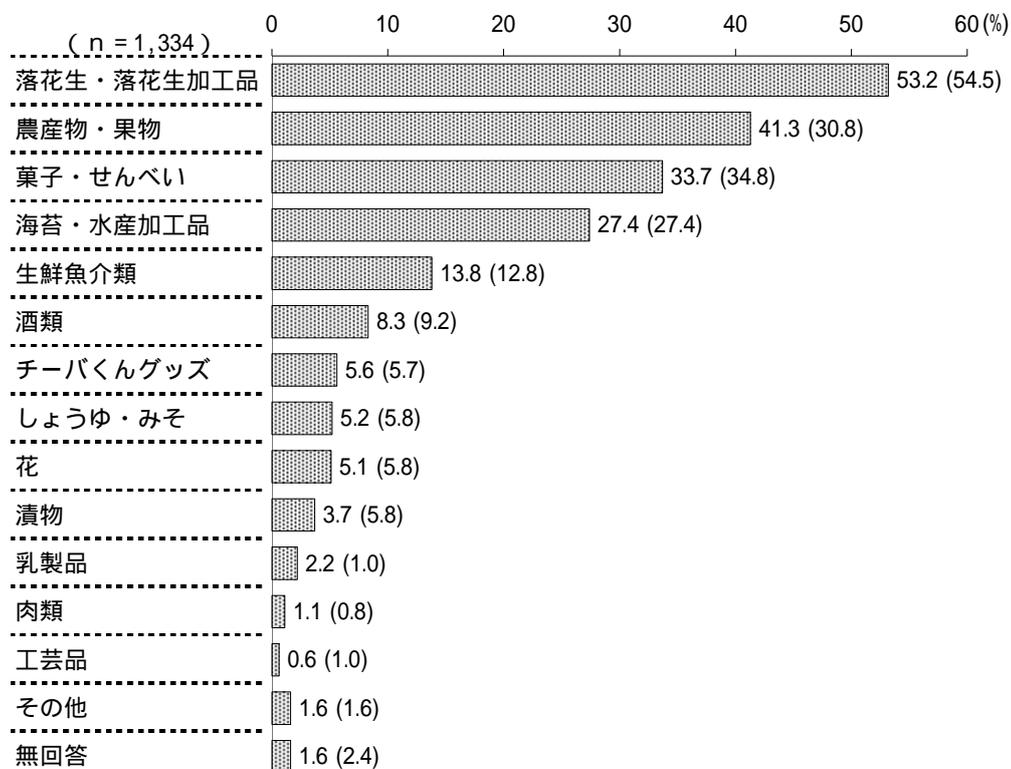


（5）県産品をお土産や贈答品として使う場合、贈るもの

「落花生・落花生加工品」が5割を超える

問28 あなたは県産品をお土産や贈答品として使う場合、何を贈りますか。（は3つまで）

<図表4-9> 県産品をお土産や贈答品として使う場合、贈るもの（3つまでの複数回答）



注) () の数字は平成29年度の同様の項目による調査結果 n = 1,456

県産品をお土産や贈答品として使う場合、何を贈るか3つまで選んでもらったところ、「落花生・落花生加工品」(53.2%)が5割を超えて最も高く、以下、「農産物・果物」(41.3%)、「菓子・せんべい」(33.7%)、「海苔・水産加工品」(27.4%)、「生鮮魚介類」(13.8%)が続く。(図表4-9)

【地域別】

地域別にみると、「落花生・落花生加工品」は“印旛地域”(61.9%)が6割を超えて高くなっている。

「農産物・果物」は“印旛地域”(50.0%)が5割で高くなっている。

「海苔・水産加工品」は“君津地域”(52.5%)が5割を超え、“安房地域”(46.7%)が4割台半ば、“千葉地域”(35.8%)が3割台半ばで高くなっている。

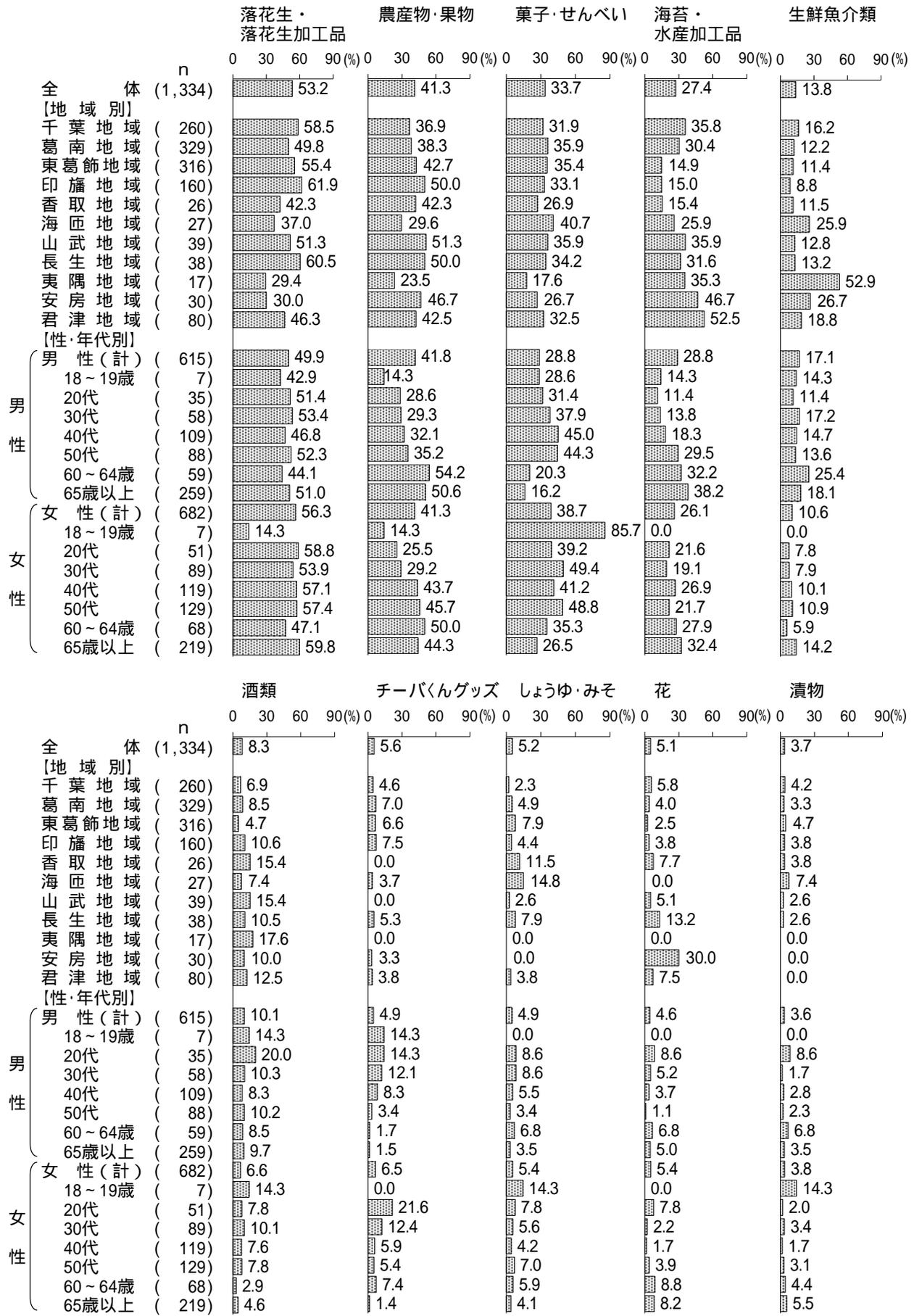
「生鮮魚介類」は“夷隅地域”(52.9%)が5割を超え、“安房地域”(26.7%)が2割台半ばで高くなっている。(図表4-10)

【性・年代別】

性・年代別にみると、「農産物・果物」は男性の60～64歳(54.2%)が5割台半ば、男性の65歳以上(50.6%)が5割で高くなっている。

「菓子・せんべい」は女性の30代(49.4%)と女性の50代(48.8%)が約5割、男性の40代(45.0%)と男性の50代(44.3%)が4割台半ばで高くなっている。(図表4-10)

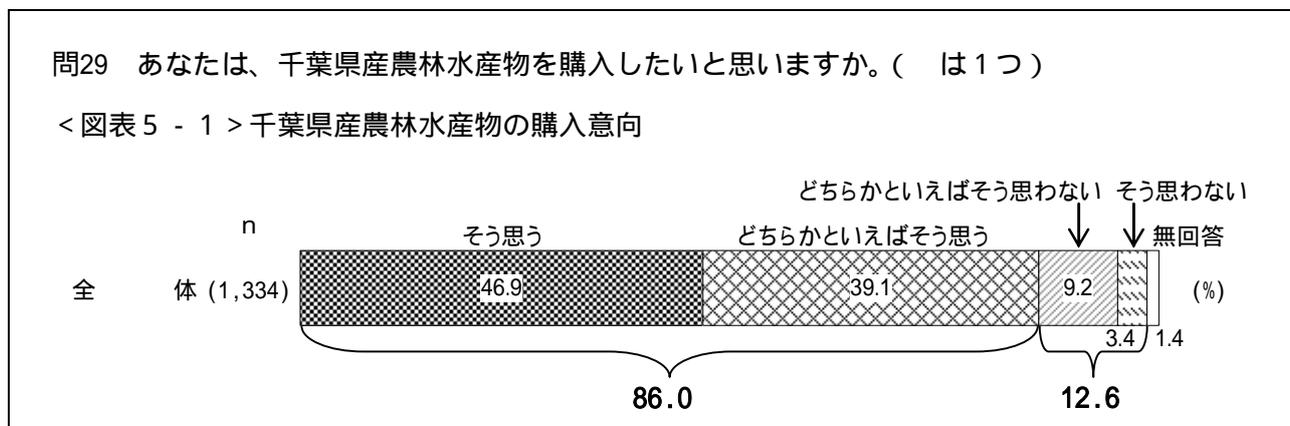
<図表4 - 10> 県産品をお土産や贈答品として使う場合、贈るもの（3つまでの複数回答）
/ 地域別、性・年代別（上位10項目）



5 千葉県の農林水産物について

(1) 千葉県産農林水産物の購入意向

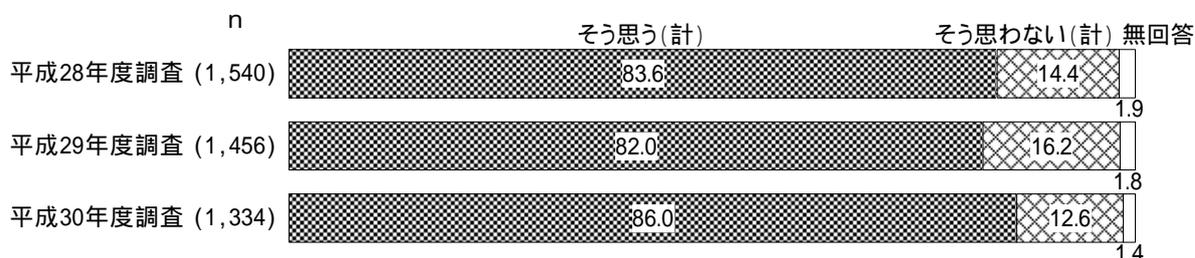
『そう思う（計）』が8割台半ば



千葉県産農林水産物を購入したいと思うか聞いたところ、「そう思う」(46.9%)と「どちらかといえばそう思う」(39.1%)を合わせた『そう思う(計)』(86.0%)が8割台半ばで高くなっている。

一方、「どちらかといえばそう思わない」(9.2%)と「そう思わない」(3.4%)を合わせた『そう思わない(計)』(12.6%)は1割を超えている。(図表5 - 1)

〔参考〕平成28年度・平成29年度の同様の項目による調査結果との比較（単位：%）



【地域別】

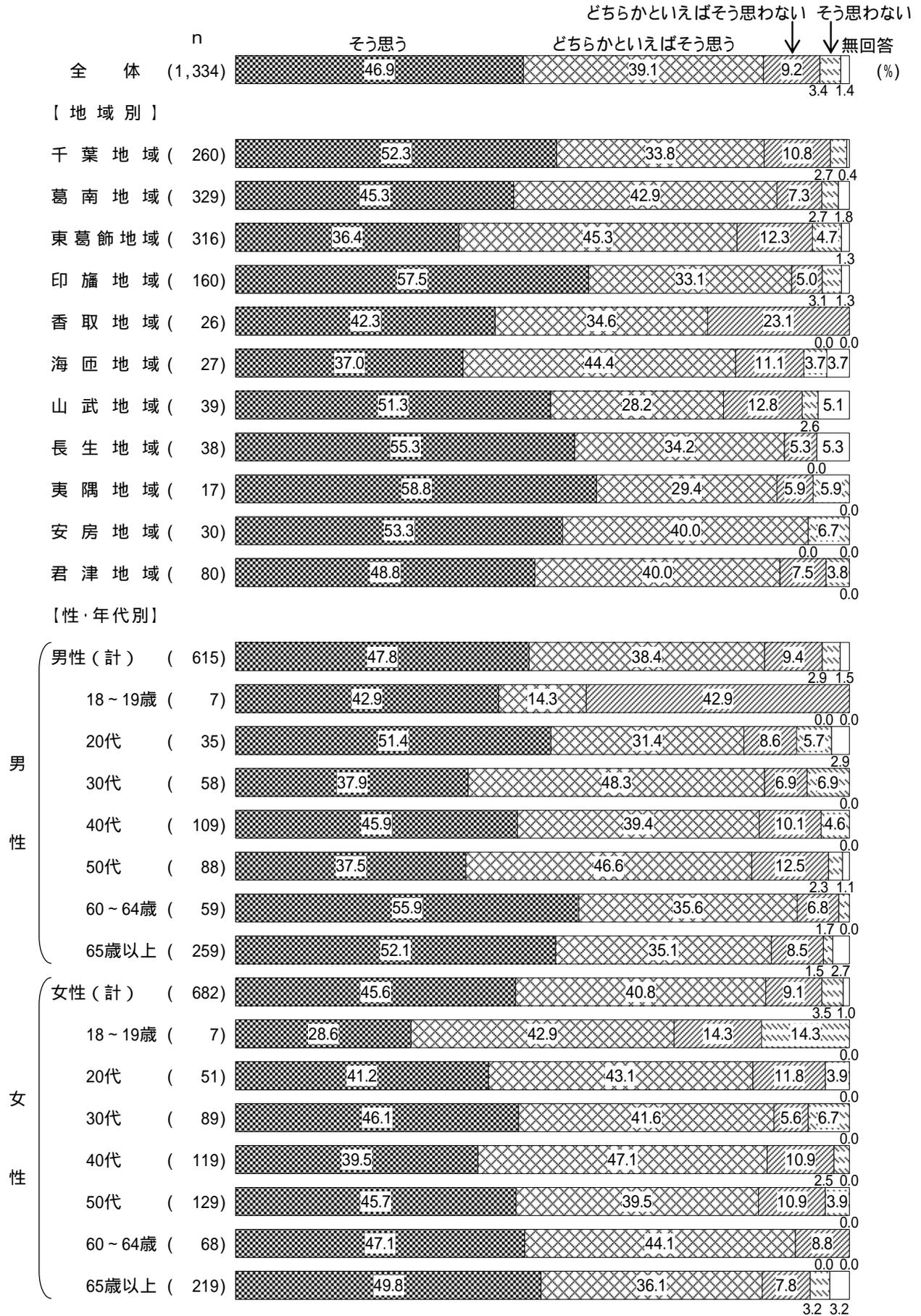
地域別にみると、「そう思う」は“印旛地域”(57.5%)が約6割で高くなっている。

一方、『そう思わない(計)』は“東葛飾地域”(17.1%)が約2割となっている。(図表5 - 2)

【性・年代別】

性・年代別にみると、大きな傾向の違いはみられない。(図表5 - 2)

<図表5 - 2> 千葉県産農林水産物の購入意向 / 地域別、性・年代別



（1 - 1）千葉県産農林水産物を購入したいと思う理由

「鮮度が良い（美味しい）から」が5割台半ば

（問29で「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」のいずれかをお答えの方に）

問29 - 1 その主な理由は何ですか。（は1つ）

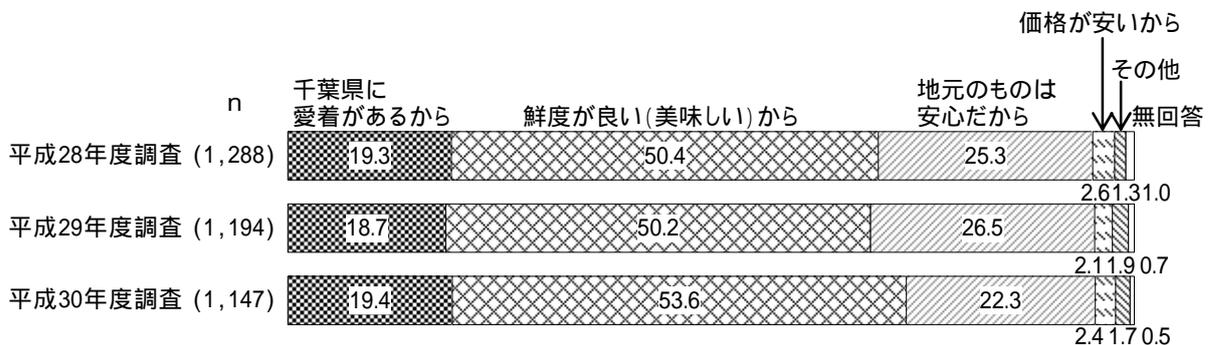
<図表5 - 3> 千葉県産農林水産物を購入したいと思う理由



千葉県産農林水産物を購入したいと回答した1,147人を対象に、その主な理由を聞いたところ、「鮮度が良い（美味しい）から」（53.6%）が5割台半ばで最も高く、以下、「地元のものは安心だから」（22.3%）、「千葉県に愛着があるから」（19.4%）、「価格が安いから」（2.4%）が続く。

（図表5 - 3）

〔参考〕平成28年度・平成29年度の同様の項目による調査結果との比較（単位：％）



【地域別】

地域別にみると、「鮮度が良い（美味しい）から」は“安房地域”（75.0%）が7割台半ばで高くなっている。

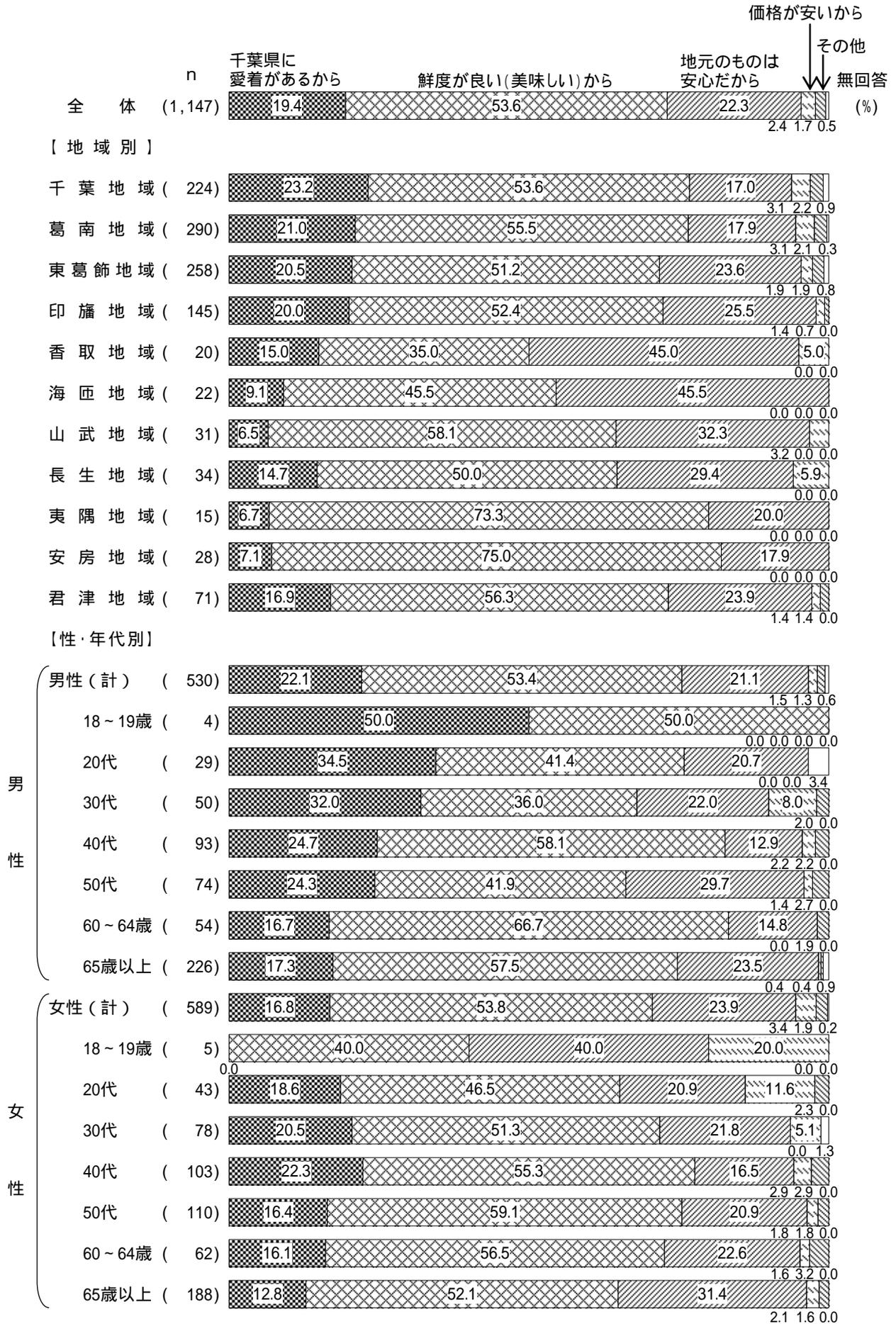
「地元のものは安心だから」は“海匝地域”（45.5%）と“香取地域”（45.0%）が4割台半ばで高くなっている。（図表5 - 4）

【性・年代別】

性・年代別にみると、「地元のものは安心だから」は女性の65歳以上（31.4%）が3割を超えて高くなっている。

「千葉県に愛着があるから」は男性の20代（34.5%）が3割台半ば、男性の30代（32.0%）が3割を超えて高くなっている。（図表5 - 4）

<図表5 - 4> 千葉県産農林水産物を購入したいと思う理由 / 地域別、性・年代別

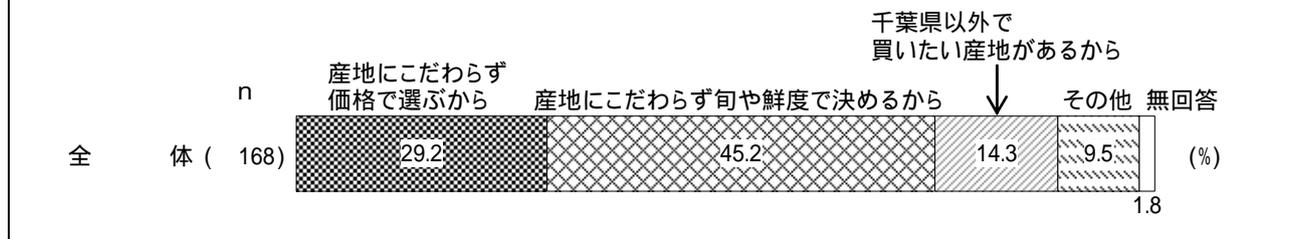


（1 - 2）千葉県産農林水産物を購入したいと思わない理由

「産地にこだわらず旬や鮮度で決めるから」が4割台半ば

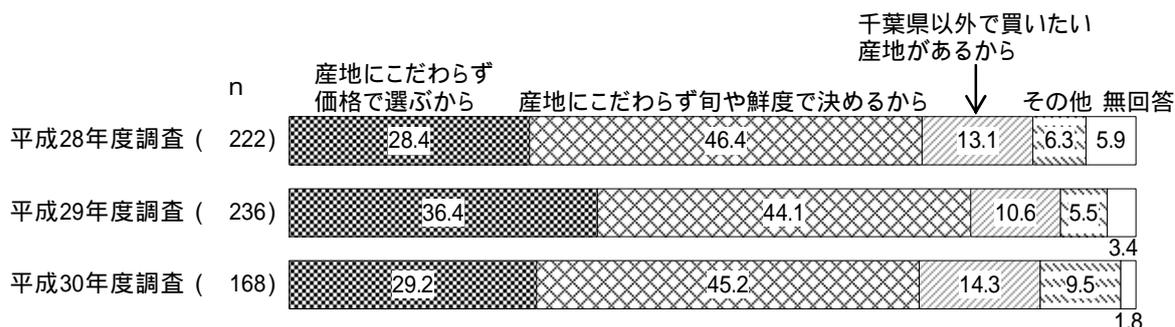
（問29で「どちらかといえばそう思わない」、「そう思わない」のいずれかをお答えの方に）
 問29 - 2 その主な理由は何ですか。（ は1つ）

<図表5 - 5> 千葉県産農林水産物を購入したいと思わない理由



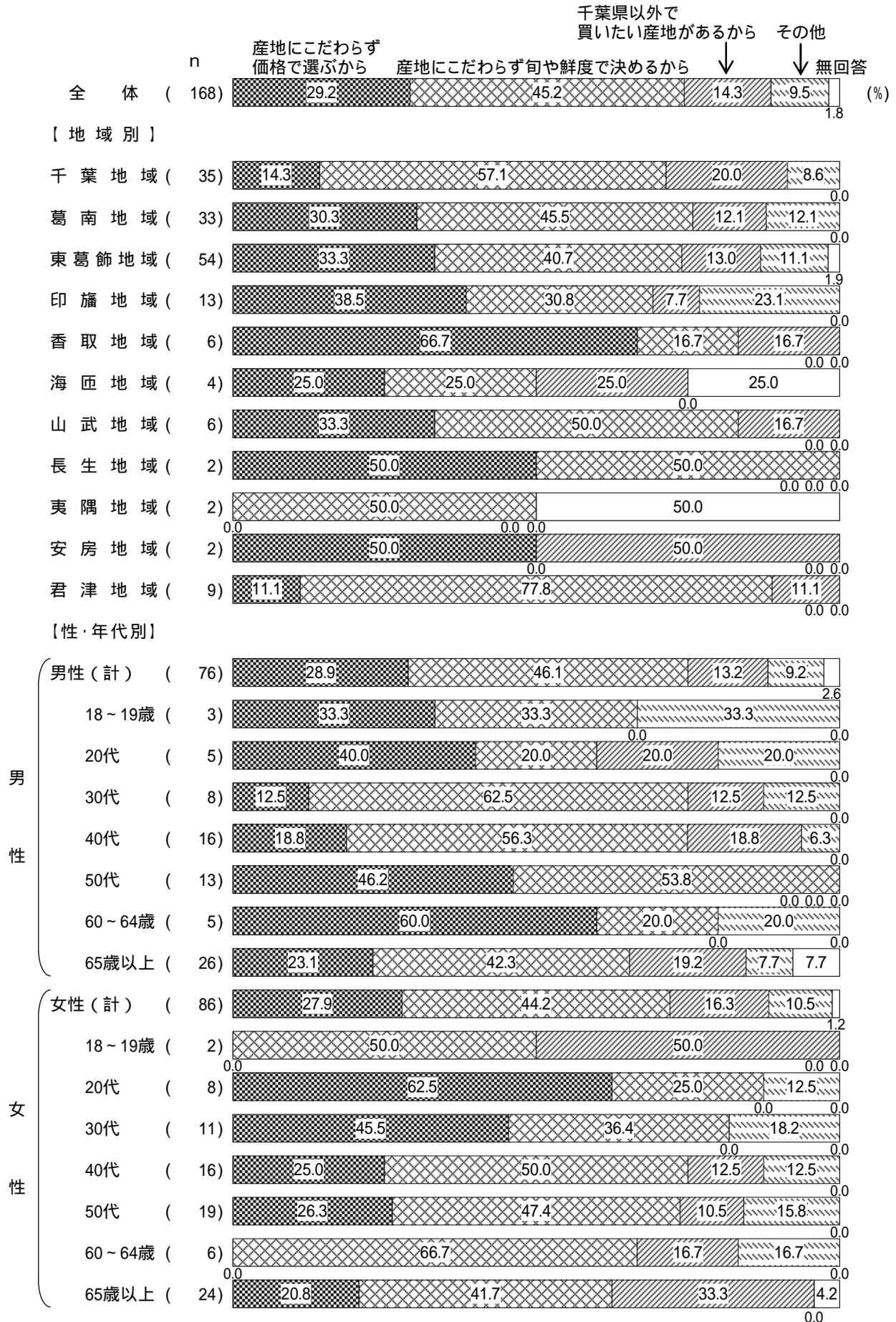
千葉県産農林水産物を購入したいと思わないと回答した168人を対象に、その主な理由を聞いたところ、「産地にこだわらず旬や鮮度で決めるから」(45.2%)が4割台半ばで最も高く、以下、「産地にこだわらず価格で選ぶから」(29.2%)、「千葉県以外で買いたい産地があるから」(14.3%)が続く。(図表5 - 5)

〔参考〕平成28年度・平成29年度の同様の項目による調査結果との比較（単位：％）



サンプル数が少ない（有意差がない）ため、【地域別】と【性・年代別】における属性の分析は触れていない。（10ページ「報告書の見方（6）」を参照）

<図表5 - 6> 千葉県産農林水産物を購入したいと思わない理由 / 地域別、性・年代別



（2）環境にやさしい農産物や制度の認知度

「有機農産物」が7割を超える

問30 あなたは、農薬や化学肥料の使用量の低減などにより、環境に配慮して生産される次の農産物や制度を聞いたことがありますか。（はいいくつでも）

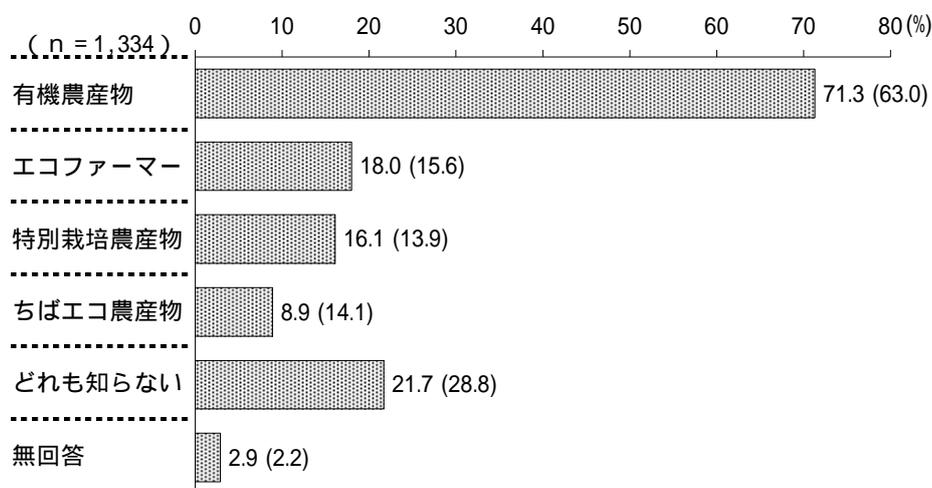
「有機農産物」：JAS法に基づき化学肥料・農薬を使わず栽培し、登録機関で認定された農産物

「特別栽培農産物」：国のガイドラインに基づき化学肥料・農薬を通常の1/2以下で栽培し、生産者が定める責任者が確認した農産物

「エコファーマー」：持続性の高い農業生産方式の導入計画を作成し、県が認定した農業者

「ちばエコ農産物」：県の基準に基づき化学肥料・農薬を通常の1/2以下で栽培し、県が認証した農産物

<図表5 - 7> 環境にやさしい農産物や制度の認知度（複数回答）



注) () の数字は平成29年度の同様の項目による調査結果 n = 1,456

環境に配慮して生産される農産物や制度を知っているか聞いたところ、「有機農産物」(71.3%)が7割を超えて最も高く、以下、「エコファーマー」(18.0%)、「特別栽培農産物」(16.1%)、「ちばエコ農産物」(8.9%)が続く。(図表5 - 7)

【地域別】

地域別にみると、「エコファーマー」は“山武地域”(30.8%)が3割、“印旛地域”(26.9%)が2割台半ばで高くなっている。

「ちばエコ農産物」は“山武地域”(20.5%)が2割、“長生地域”(18.4%)が約2割となっている。(図表5 - 8)

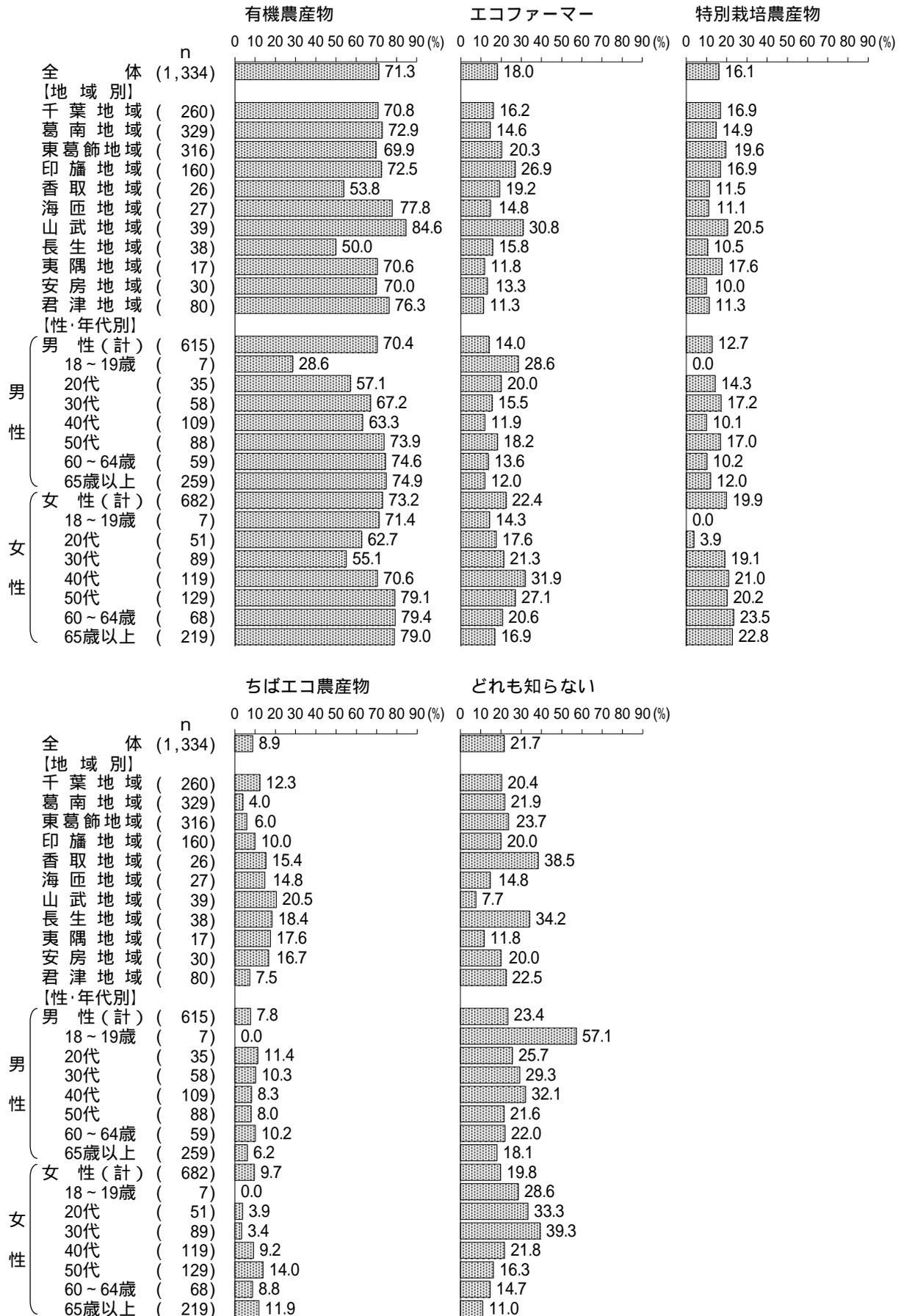
【性・年代別】

性・年代別にみると、「有機農産物」は女性の65歳以上(79.0%)が約8割で高くなっている。

「エコファーマー」は女性の40代(31.9%)が3割を超え、女性の50代(27.1%)が約3割で高くなっている。

「特別栽培農産物」は女性の65歳以上(22.8%)が2割を超えて高くなっている。(図表5 - 8)

<図表5 - 8> 環境にやさしい農産物や制度の認知度（複数回答）/地域別、性・年代別



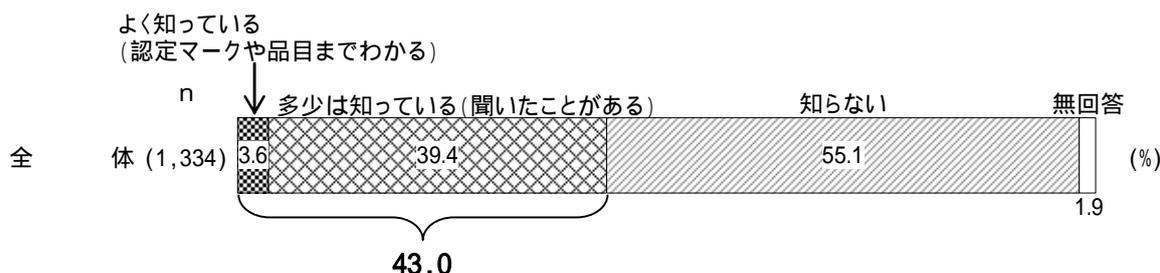
（3）「千葉ブランド水産物」の認知度

『知っている（計）』が4割を超える

問31 千葉県では、千葉のさかなの認知度を高め、広く県内外にアピールするため、「銚子つりきんめ」、「外房イセエビ」、「九十九里地はまぐり」などの優良な県産水産物を「千葉ブランド水産物」として認定しています。

あなたは、「千葉ブランド水産物」を知っていますか。（は1つ）

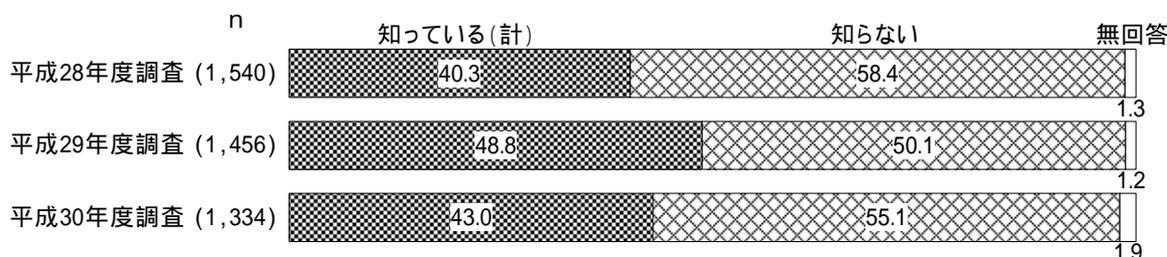
<図表5 - 9> 「千葉ブランド水産物」の認知度



「千葉ブランド水産物」を知っているか聞いたところ、「よく知っている（認定マークや品目までわかる）」（3.6%）と「多少は知っている（聞いたことがある）」（39.4%）を合わせた『知っている（計）』（43.0%）が4割を超えている。

一方、「知らない」（55.1%）は5割台半ばとなっている。（図表5 - 9）

〔参考〕平成28年度・平成29年度の同様の項目による調査結果との比較（単位：%）



【地域別】

地域別にみると、『知っている（計）』は“海匝地域”（88.9%）と“夷隅地域”（88.2%）が約9割、“長生地域”（63.2%）と“山武地域”（61.5%）が6割を超えて高くなっている。

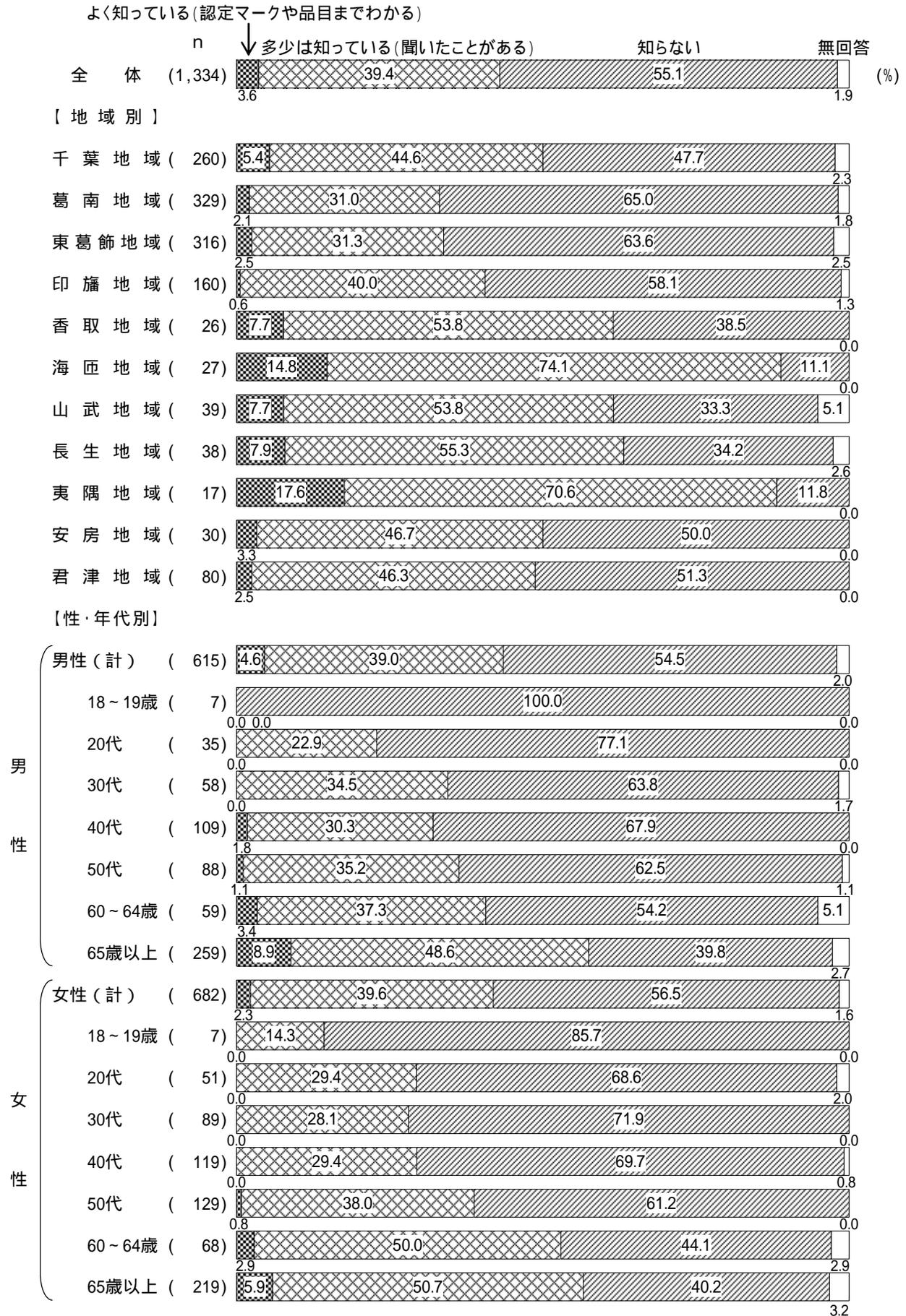
一方、「知らない」は“葛南地域”（65.0%）と“東葛飾地域”（63.6%）が6割台半ばで高くなっている。（図表5 - 10）

【性・年代別】

性・年代別にみると、『知っている（計）』は男性の65歳以上（57.5%）が約6割、女性の65歳以上（56.6%）が5割台半ばで高くなっている。

一方、「知らない」は男性の20代（77.1%）が約8割、女性の30代（71.9%）が7割を超え、男性の40代（67.9%）と女性の40代（69.7%）が約7割で高くなっている。（図表5 - 10）

<図表5 - 10> 「千葉ブランド水産物」の認知度／地域別、性・年代別



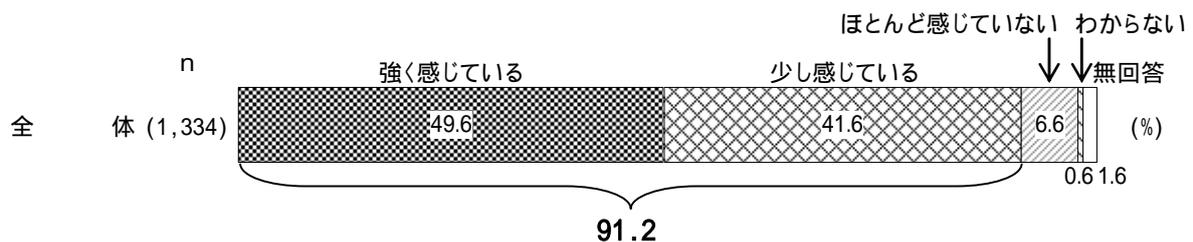
6 防災に関する取り組みについて

(1) 大地震や風水害への不安

『感じている（計）』が9割を超える

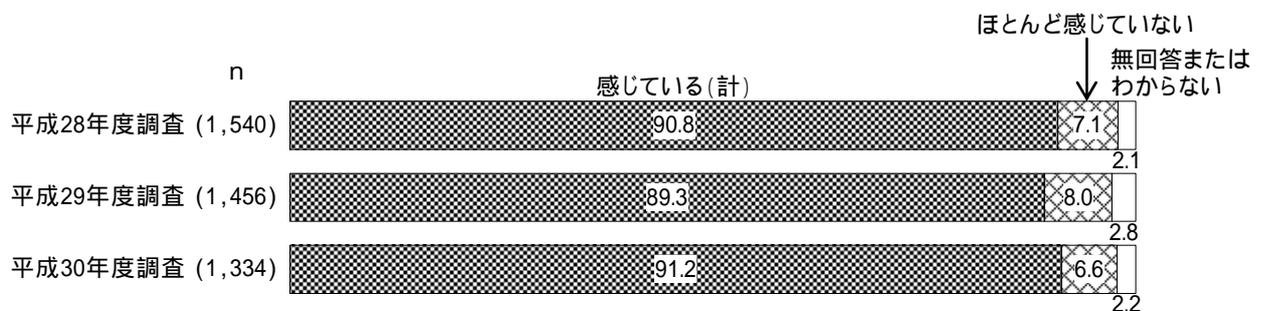
問32 平成23年3月11日に発生した東日本大震災では、千葉県内でも震度6弱を記録し、大きな被害が出ました。また、県外では平成28年熊本地震（震度7が2回発生）や、記録的な大雨や台風により浸水害や土砂災害なども発生しております。あなたは、自分の住んでいる地域で、大地震や風水害が起こるのではないかと不安を感じていますか。（は1つ）

<図表6-1>大地震や風水害への不安



大地震や風水害への不安を聞いたところ、「強く感じている」（49.6%）と「少し感じている」（41.6%）を合わせた『感じている（計）』（91.2%）が9割を超えて高くなっている。一方、「ほとんど感じていない」（6.6%）は1割未満となっている。（図表6-1）

〔参考〕平成28年度・平成29年度の同様の項目による調査結果との比較（単位：%）



【地域別】

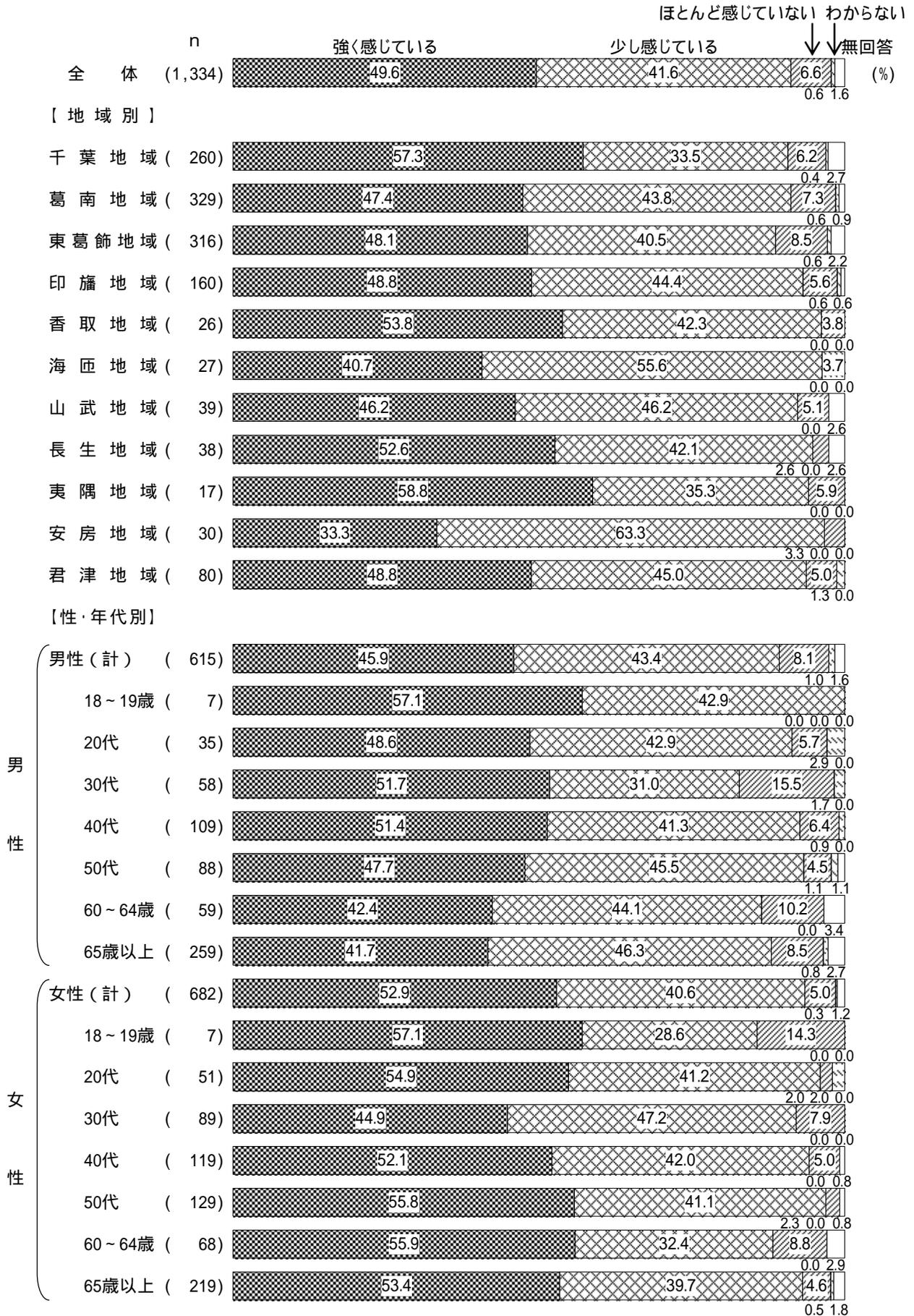
地域別にみると、「強く感じている」は“千葉地域”（57.3%）が約6割で高くなっている。

（図表6-2）

【性・年代別】

性・年代別にみると、『感じている（計）』は女性の50代（96.9%）が9割台半ばで高くなっている。（図表6-2）

<図表6 - 2>大地震や風水害への不安 / 地域別、性・年代別

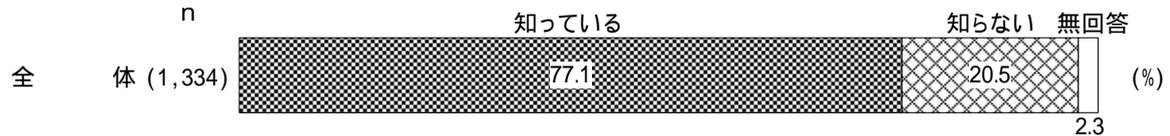


（２）「避難勧告」「避難指示」の意味や違いの認知度

「知っている」が約8割

問33 市町村では、災害から住民を守るために「避難勧告」や「避難指示」を発令することがあります。あなたは、これらの意味や違いを知っていますか。（は1つ）

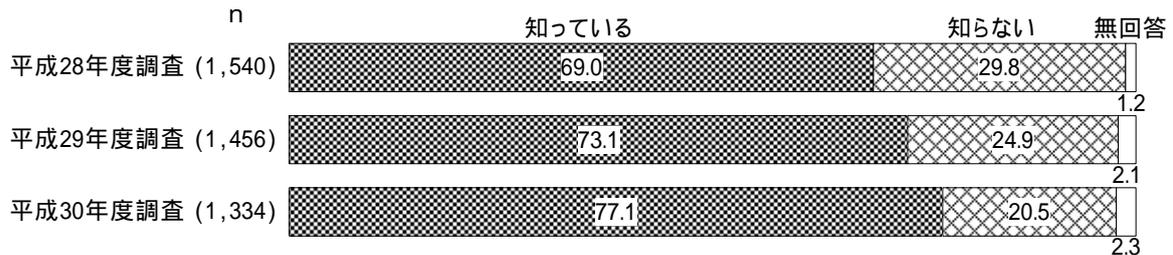
<図表6-3> 「避難勧告」「避難指示」の意味や違いの認知度



「避難勧告」「避難指示」の意味や違いを知っているか聞いたところ、「知っている」(77.1%)が約8割で高くなっている。

一方、「知らない」(20.5%)は2割となっている。(図表6-3)

〔参考〕平成28年度・平成29年度の同様の項目による調査結果との比較（単位：％）



【地域別】

地域別にみると、「知らない」は“葛南地域”(27.7%)が約3割で高くなっている。

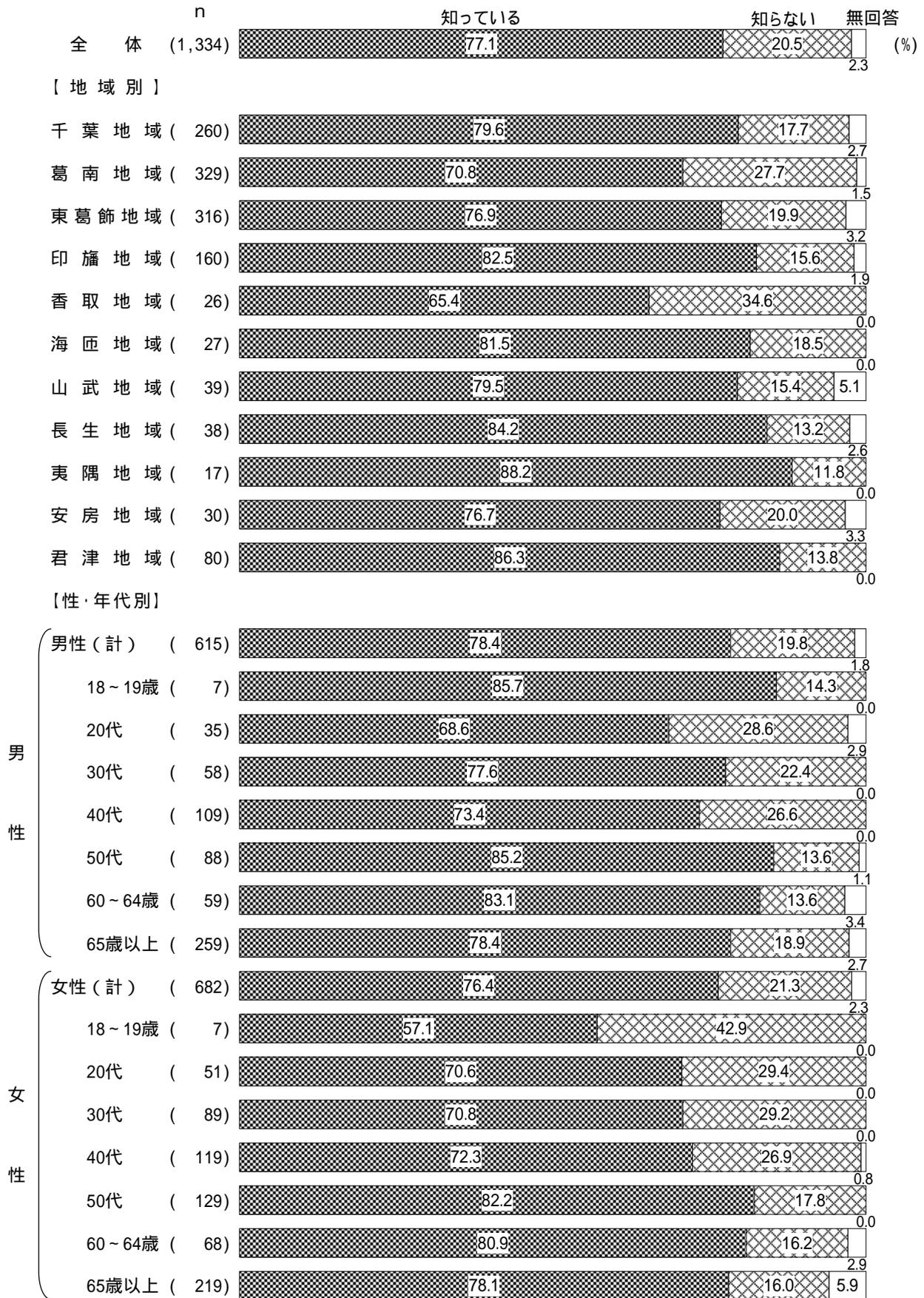
(図表6-4)

【性・年代別】

性・年代別にみると、「知らない」は女性の30代(29.2%)が約3割で高くなっている。

(図表6-4)

<図表6 - 4> 「避難勧告」「避難指示」の意味や違いの認知度 / 地域別、性・年代別

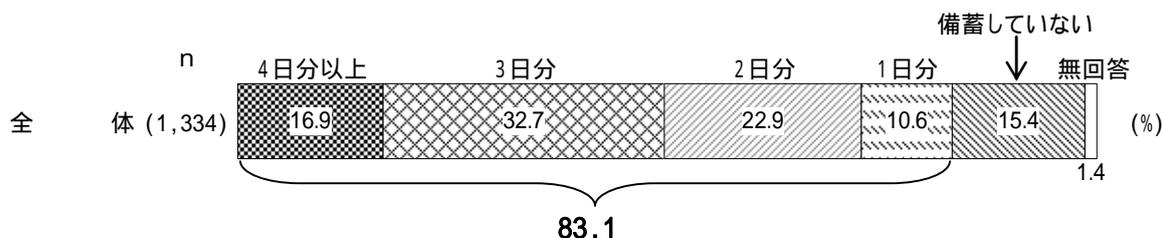


（3）飲料水や食料の備蓄状況

『備蓄している（計）』が8割を超える

問34 大規模な災害が発生した場合、避難所に飲料水や食料などの支援物資が届くまで時間がかかることが予測されます。あなたは、災害に備えて、冷蔵庫にあるものを含めて、飲料水や食料をおよそ何日分、備蓄していますか。（ は1つ）

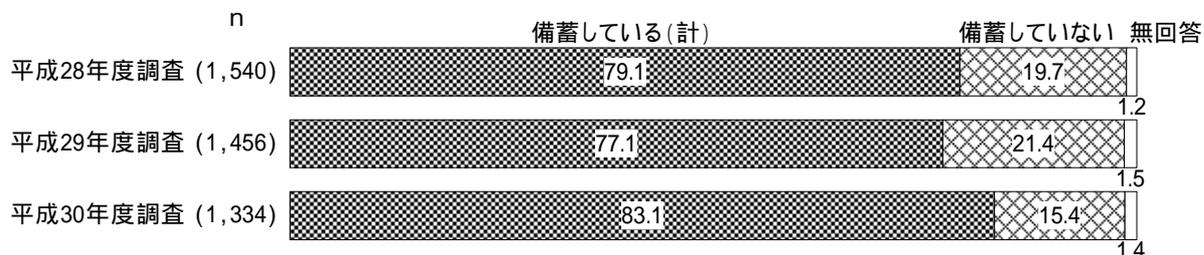
<図表6-5> 飲料水や食料の備蓄状況



飲料水や食料の備蓄状況を聞いたところ、「3日分」(32.7%)が3割を超え、「2日分」(22.9%)が2割を超え、「4日分以上」(16.9%)が1割台半ば、「1日分」(10.6%)が1割となっており、この4つを合わせた『備蓄している（計）』(83.1%)が8割を超えて高くなっている。

一方、「備蓄していない」(15.4%)は1割台半ばとなっている。(図表6-5)

〔参考〕平成28年度・平成29年度の同様の項目による調査結果との比較（単位：％）



【地域別】

地域別にみると、「4日分以上」は“山武地域”(46.2%)が4割台半ばで高くなっている。

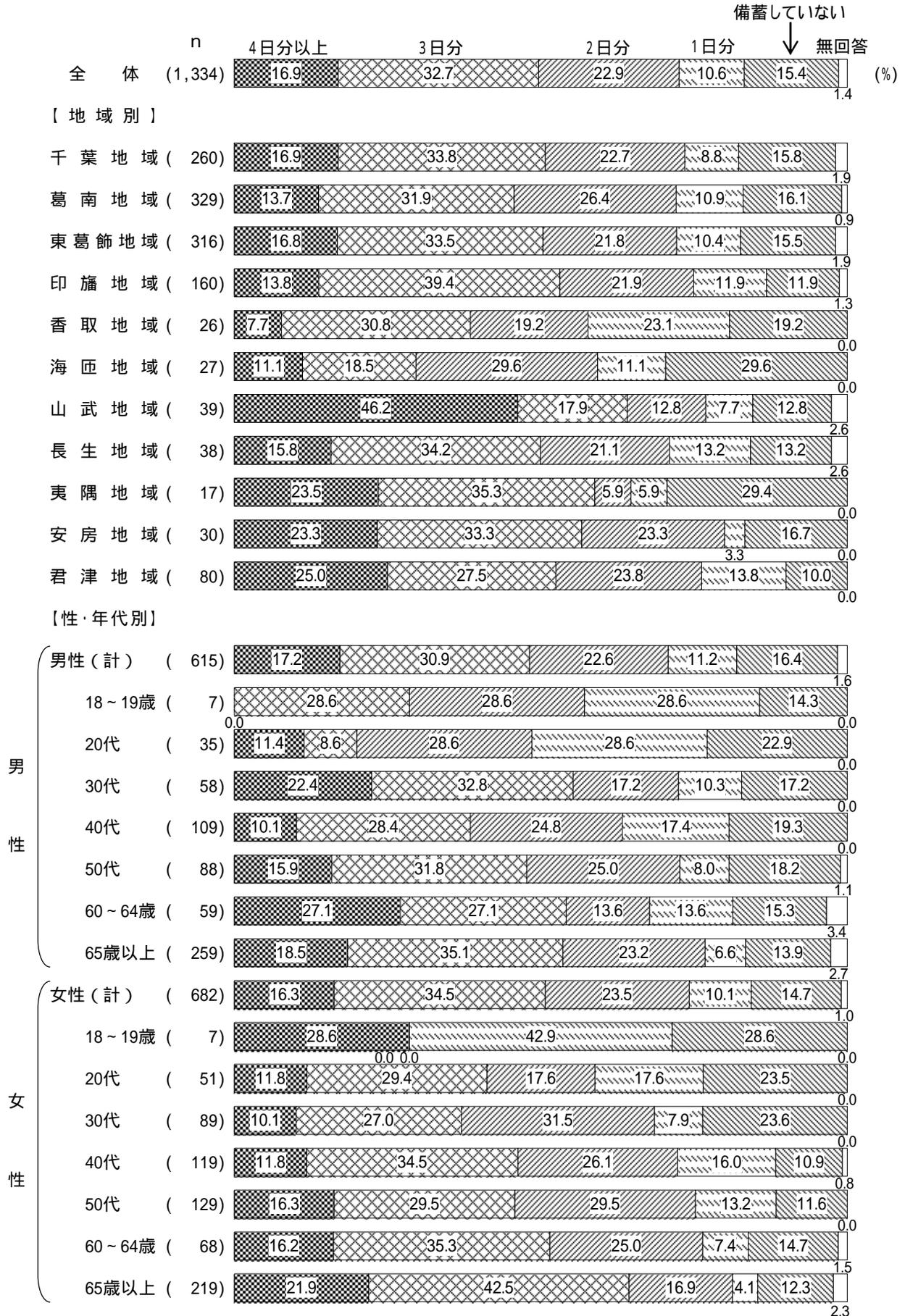
一方、「備蓄していない」は“海匝地域”(29.6%)が約3割で高くなっている。(図表6-6)

【性・年代別】

性・年代別にみると、「4日分以上」は男性の60～64歳(27.1%)が約3割、女性の65歳以上(21.9%)が2割を超えて高くなっている。

一方、「備蓄していない」は女性の30代(23.6%)が2割台半ばで高くなっている。(図表6-6)

<図表6 - 6> 飲料水や食料の備蓄状況 / 地域別、性・年代別



（４）災害伝言板・災害用伝言ダイヤルの認知度

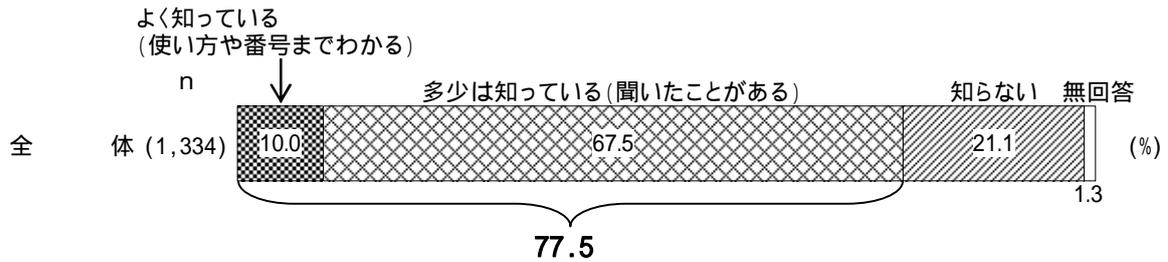
『知っている（計）』が約8割

問35 固定電話や携帯電話（音声及びメール）は、災害が発生した際には利用が急増し、平常時のように使用できなくなります。実際に東日本大震災でも、使用できなくなりました。

あなたは、災害時に利用できる災害伝言板や災害用伝言ダイヤルを知っていますか。

（ は1つ）

<図表6-7> 災害伝言板・災害用伝言ダイヤルの認知度

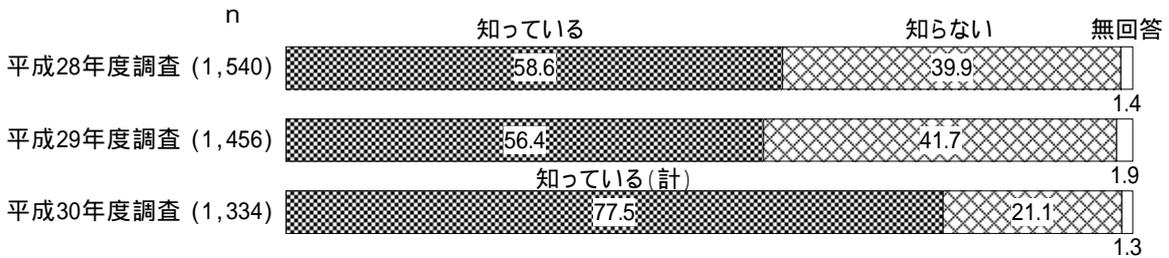


（ ）平成30年度調査から、選択肢「知っている」を「よく知っている（使い方や番号までわかる）」と、「多少は知っている（聞いたことがある）」に変更した。

災害伝言板・災害用伝言ダイヤルを知っているか聞いたところ、「よく知っている（使い方や番号までわかる）」（10.0%）と「多少は知っている（聞いたことがある）」（67.5%）を合わせた『知っている（計）』（77.5%）が約8割で高くなっている。

一方、「知らない」（21.1%）は2割を超えている。（図表6-7）

〔参考〕平成28年度・平成29年度の同様の項目による調査結果との比較（単位：%）



【地域別】

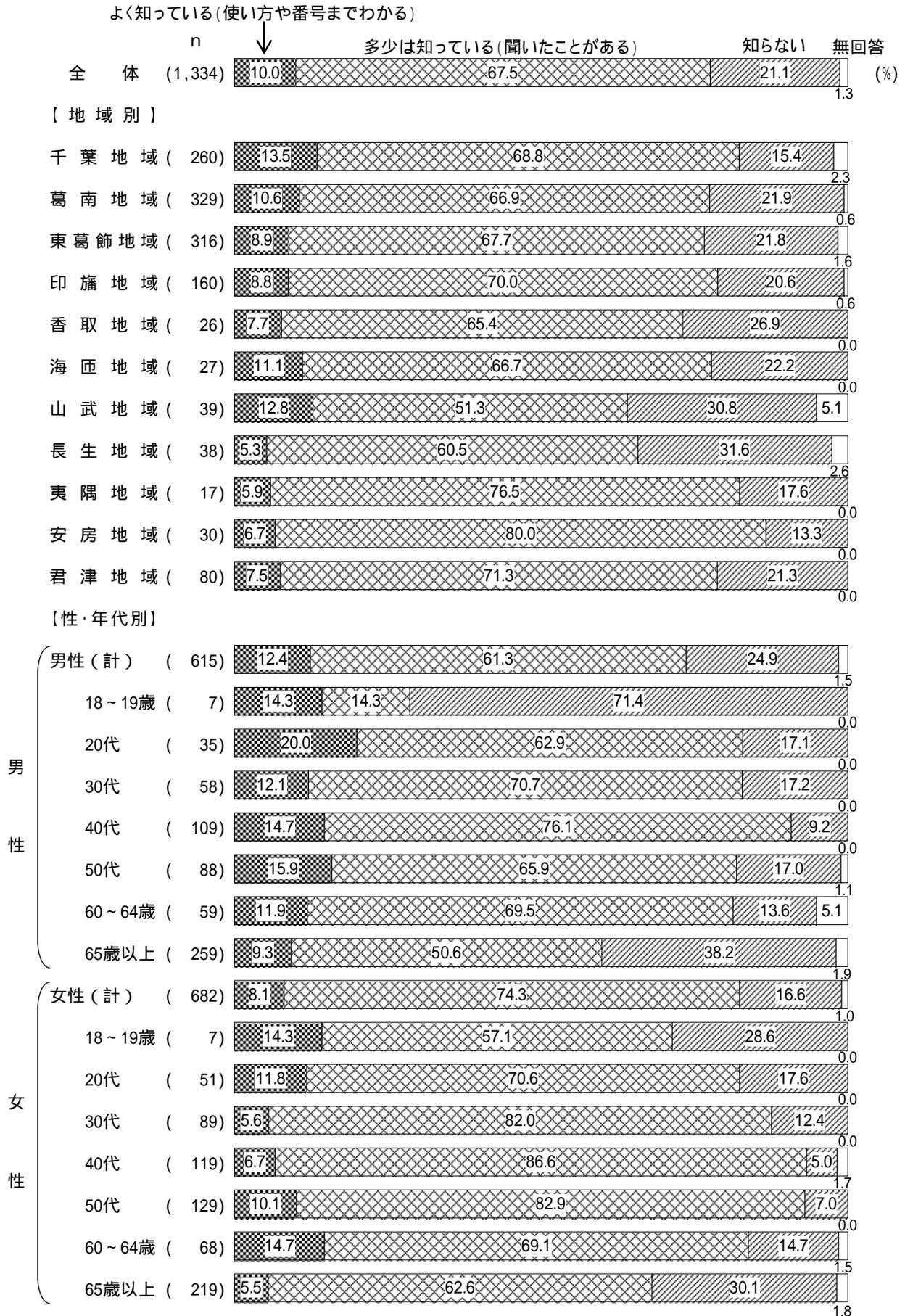
地域別にみると、大きな傾向の違いはみられない。（図表6-8）

【性・年代別】

性・年代別にみると、『知っている（計）』は女性の40代（93.3%）と女性の50代（93.0%）が9割を超え、男性の40代（90.8%）が9割、女性の30代（87.6%）が約9割で高くなっている。

一方、「知らない」は男性の65歳以上（38.2%）が約4割、女性の65歳以上（30.1%）が3割で高くなっている。（図表6-8）

<図表6 - 8> 災害伝言板・災害用伝言ダイヤルの認知度 / 地域別、性・年代別

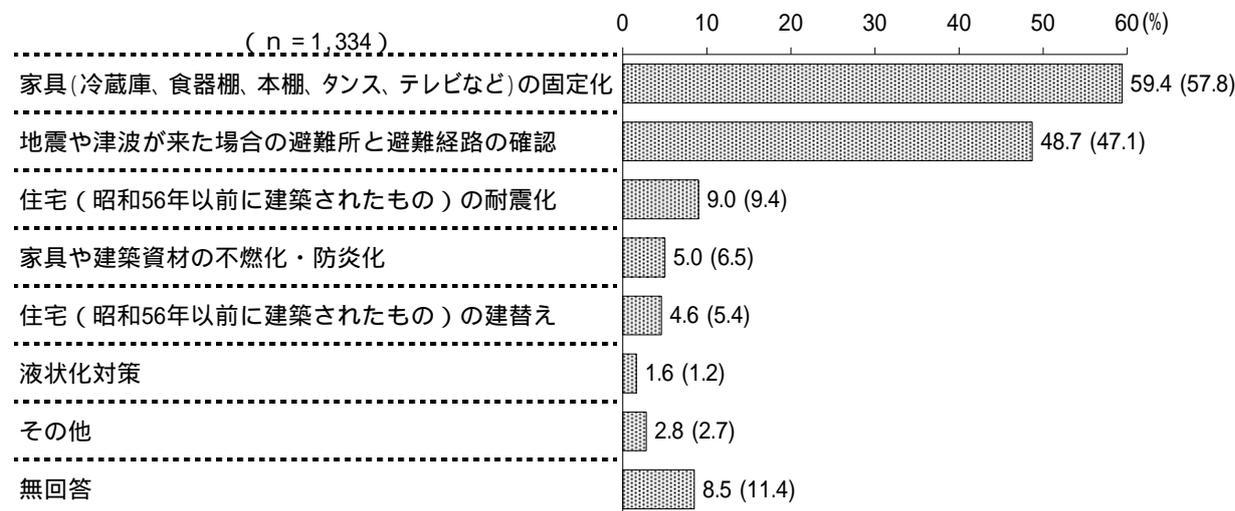


（５）地震の被害を防ぐための対策

「家具（冷蔵庫、食器棚、本棚、タンス、テレビなど）の固定化」が約６割

問36 あなたは、地震による被害を防ぐため、どのような対策を行っていますか（行う予定ですか）（はいくつでも）

<図表 6 - 9> 地震の被害を防ぐための対策（複数回答）



注) () の数字は平成29年度の同様の項目による調査結果 n = 1,456

地震の被害を防ぐため、どのような対策を行っている（行う予定）か聞いたところ、「家具（冷蔵庫、食器棚、本棚、タンス、テレビなど）の固定化」（59.4%）が約６割で最も高く、以下、「地震や津波が来た場合の避難所と避難経路の確認」（48.7%）、「住宅（昭和56年以前に建築されたもの）の耐震化」（9.0%）が続く。（図表 6 - 9）

【地域別】

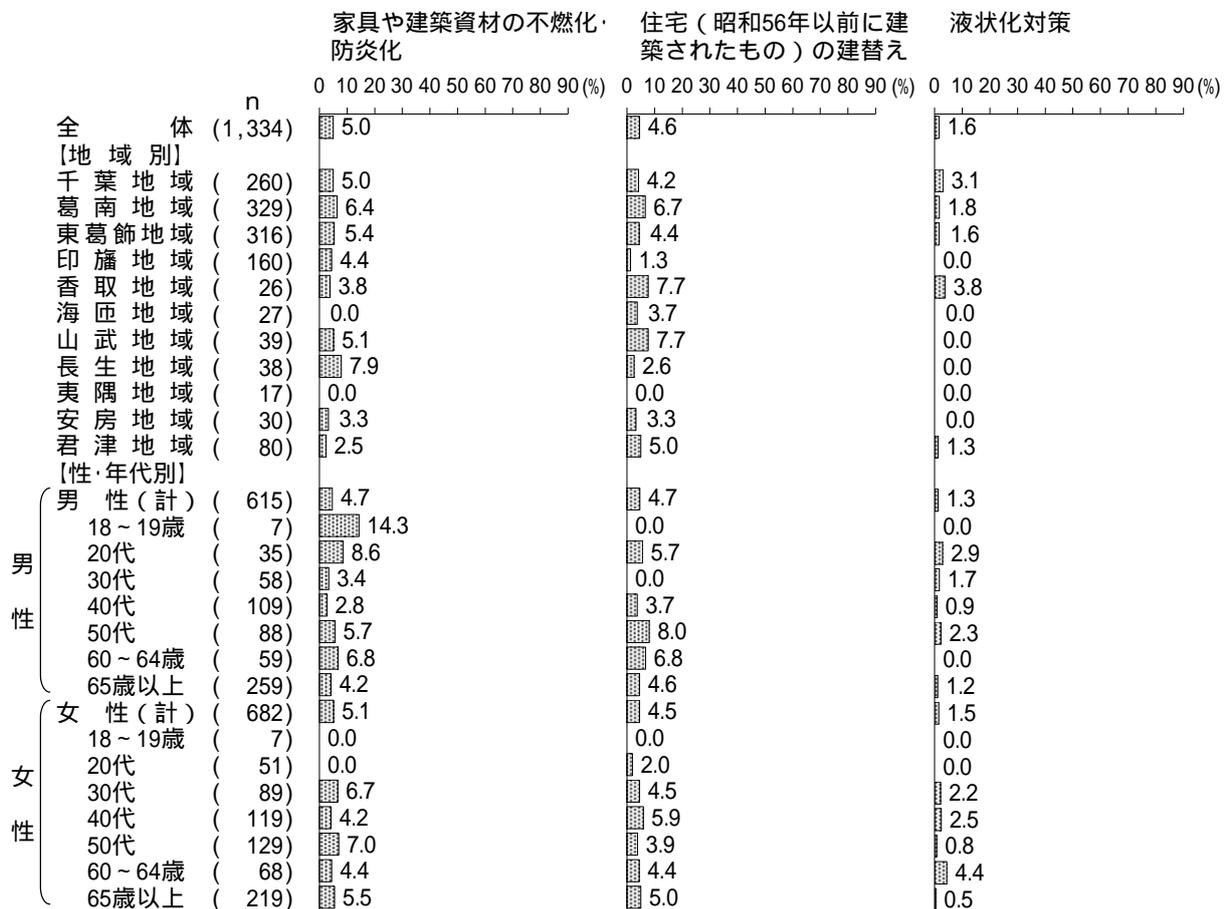
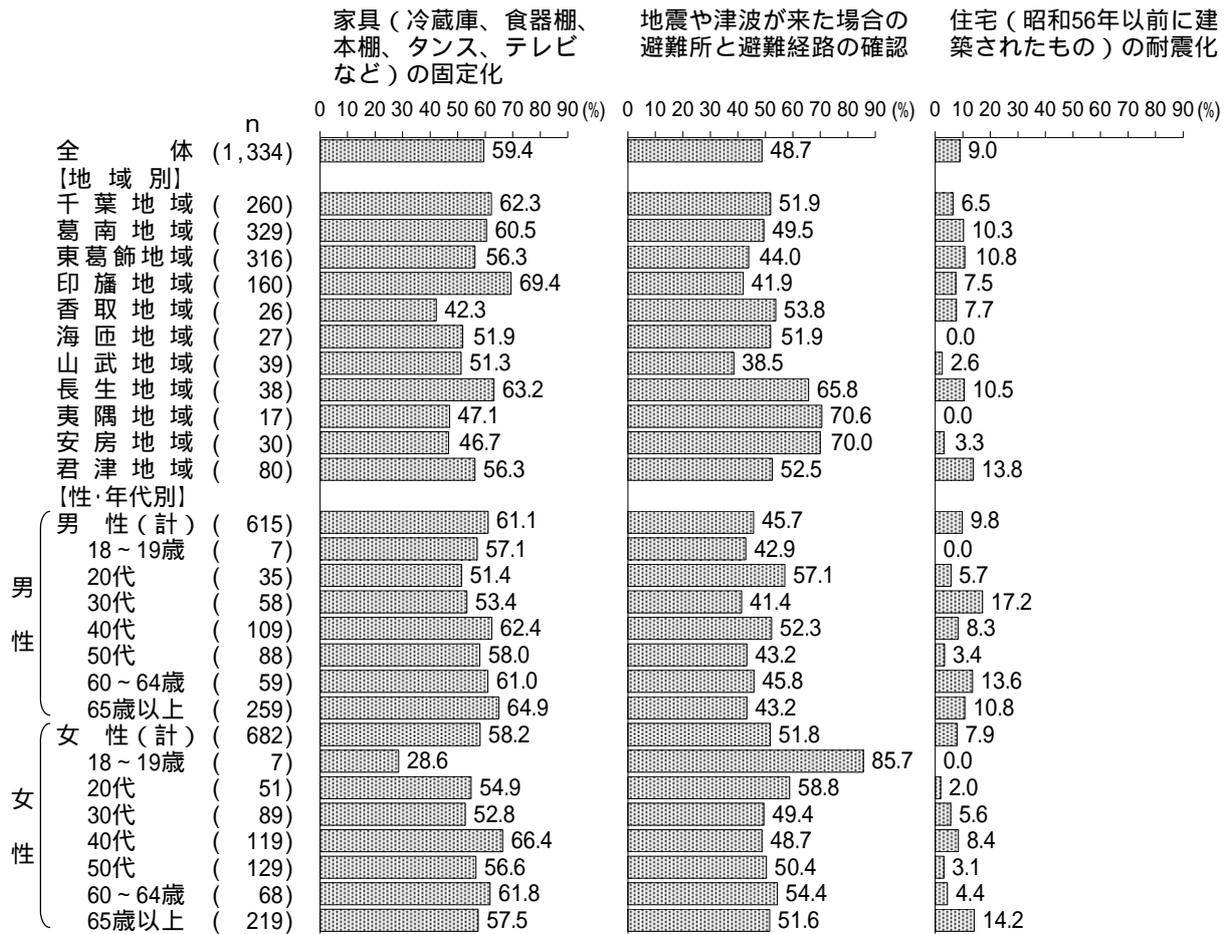
地域別にみると、「家具（冷蔵庫、食器棚、本棚、タンス、テレビなど）の固定化」は“印旛地域”（69.4%）が約7割で高くなっている。

「地震や津波が来た場合の避難所と避難経路の確認」は“安房地域”（70.0%）が7割、“長生地域”（65.8%）が6割台半ばで高くなっている。（図表 6 - 10）

【性・年代別】

性・年代別にみると、「住宅（昭和56年以前に建築されたもの）の耐震化」は男性の30代（17.2%）が約2割となっている。（図表 6 - 10）

<図表6 - 10> 地震の被害を防ぐための対策（複数回答）/ 地域別、性・年代別



7 地方分権について

（1）地方分権改革を進めることについて

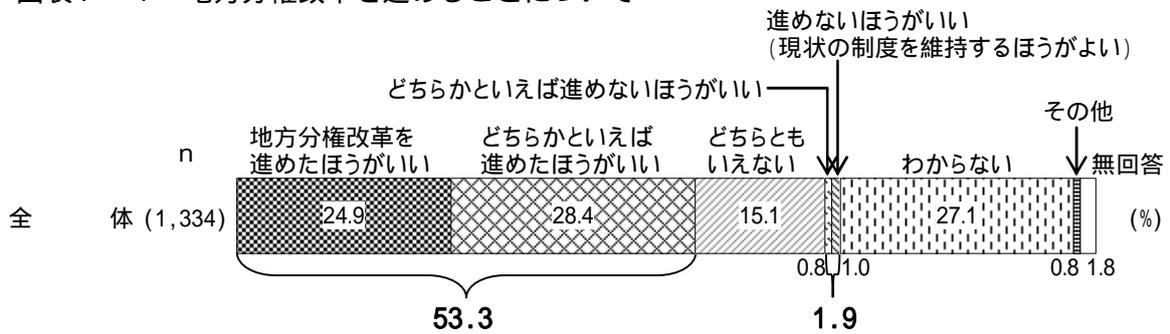
『進めたほうがいい（計）』が5割を超える

問37 地域で抱える課題が多様化・複雑化する中、創意工夫により地域の実情に応じた課題解決を図り、住民サービスの向上につなげるため、県では、国に対して事務・権限や税財源の移譲を求めるとともに、「提案募集方式」()を通じて地方の創意工夫による制度改革を提案するなど、地方分権改革の推進に取り組んでいます。

あなたは、この地方分権改革を進めることについて、どう思いますか。(は1つ)

「提案募集方式」とは、国が個々の地方公共団体等から地方分権に関する制度改革の提案を広く募集し、それらの提案の実現に向けて検討を行う制度のことでです。

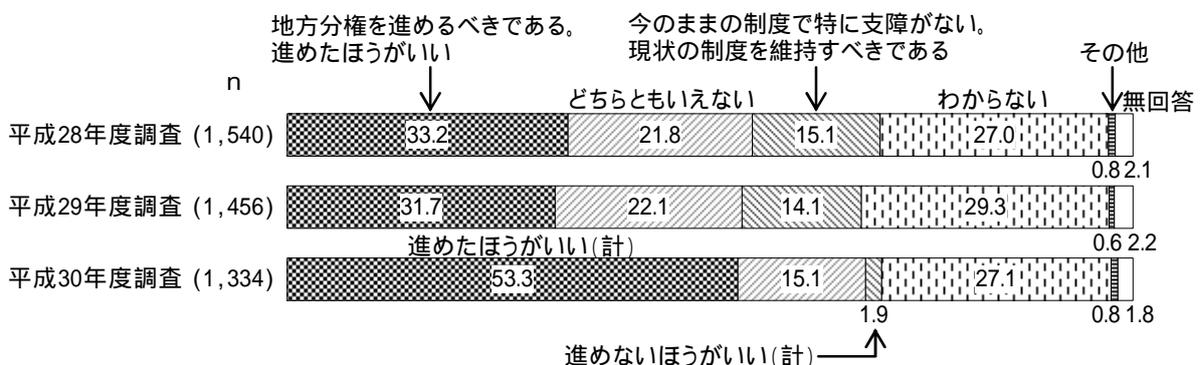
<図表7-1> 地方分権改革を進めることについて



地方分権改革を進めることについて聞いたところ、「地方分権改革を進めたほうがいい」(24.9%)と「どちらかといえば進めたほうがいい」(28.4%)を合わせた『進めたほうがいい(計)』(53.3%)が5割を超えて高くなっている。

一方、「どちらかといえば進めないほうがいい」(0.8%)と「進めないほうがいい(現状の制度を維持するほうがよい)」(1.0%)を合わせた『進めないほうがいい(計)』(1.9%)はわずかとなっている。(図表7-1)

〔参考〕平成28年度・平成29年度の同様の項目による調査結果との比較(単位:%)



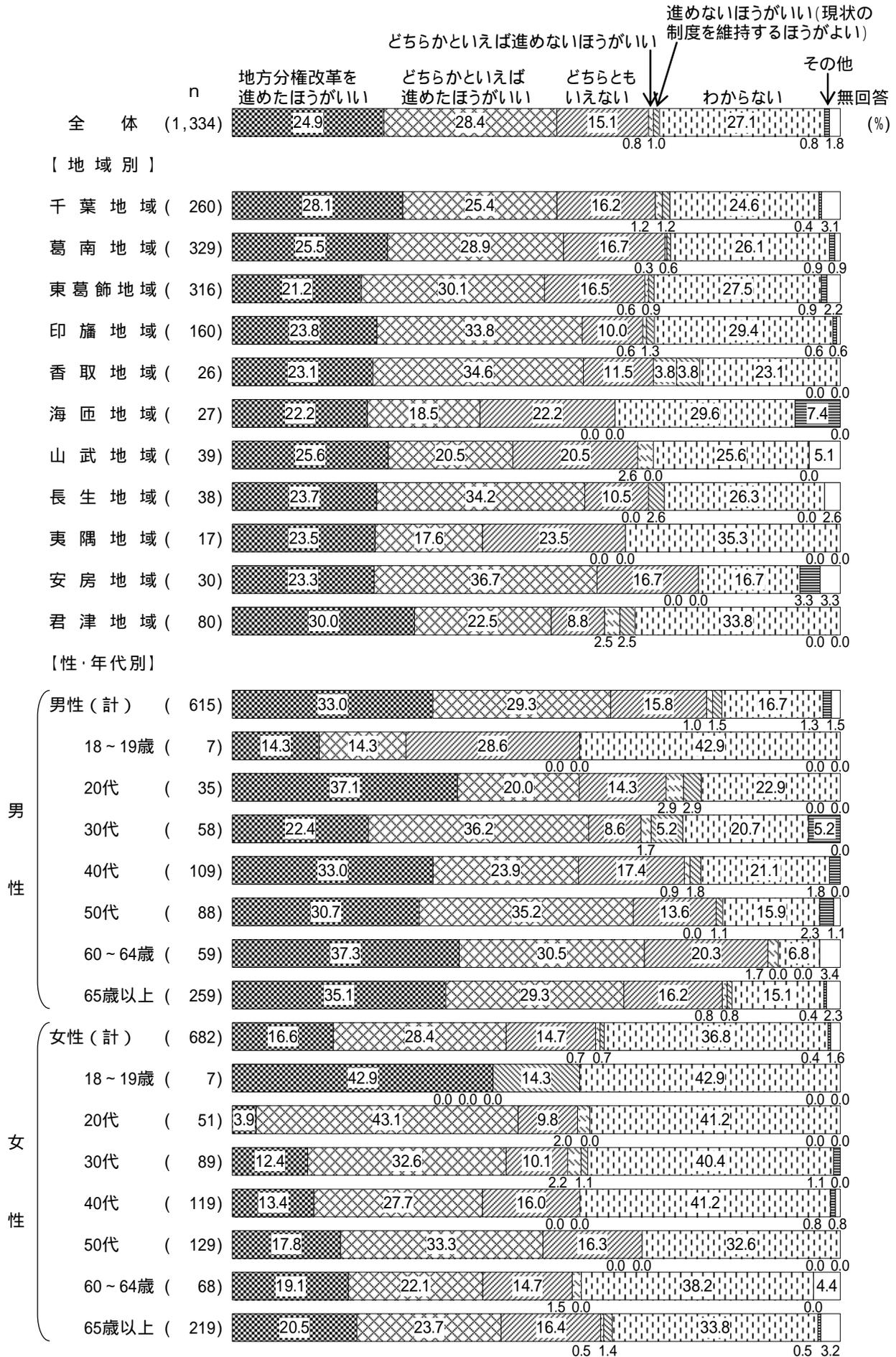
【地域別】

地域別にみると、大きな傾向の違いはみられない。(図表7-2)

【性・年代別】

性・年代別にみると、『進めたほうがいい(計)』は男性の60~64歳(67.8%)が約7割、男性の50代(65.9%)と男性の65歳以上(64.5%)が6割台半ばで高くなっている。(図表7-2)

<図表7 - 2> 地方分権改革を進めることについて / 地域別、性・年代別

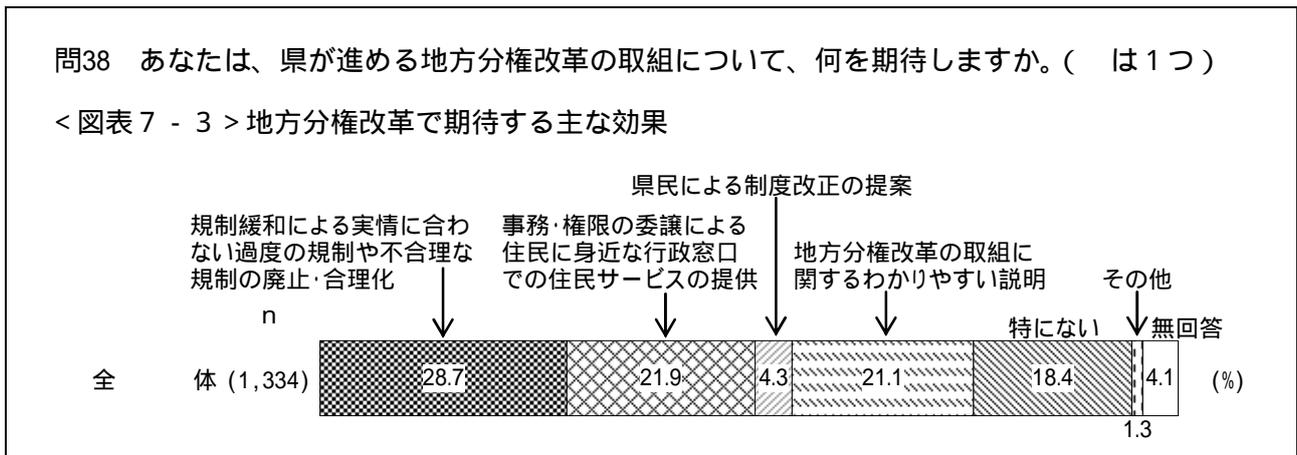


（２）地方分権改革で期待する主な効果

「規制緩和による実情に合わない過度の規制や不合理な規制の廃止・合理化」が約3割

問38 あなたは、県が進める地方分権改革の取組について、何を期待しますか。（は1つ）

<図表7-3> 地方分権改革で期待する主な効果



県が進める地方分権改革の取組について期待する効果を聞いたところ、「規制緩和による実情に合わない過度の規制や不合理な規制の廃止・合理化」(28.7%)が約3割で最も高く、以下、「事務・権限の委譲による住民に身近な行政窓口での住民サービスの提供」(21.9%)、「地方分権改革の取組に関するわかりやすい説明」(21.1%)、「県民による制度改革の提案」(4.3%)が続く。

(図表7-3)

【地域別】

地域別にみると、「事務・権限の委譲による住民に身近な行政窓口での住民サービスの提供」は“香取地域”(38.5%)が約4割で高くなっている。

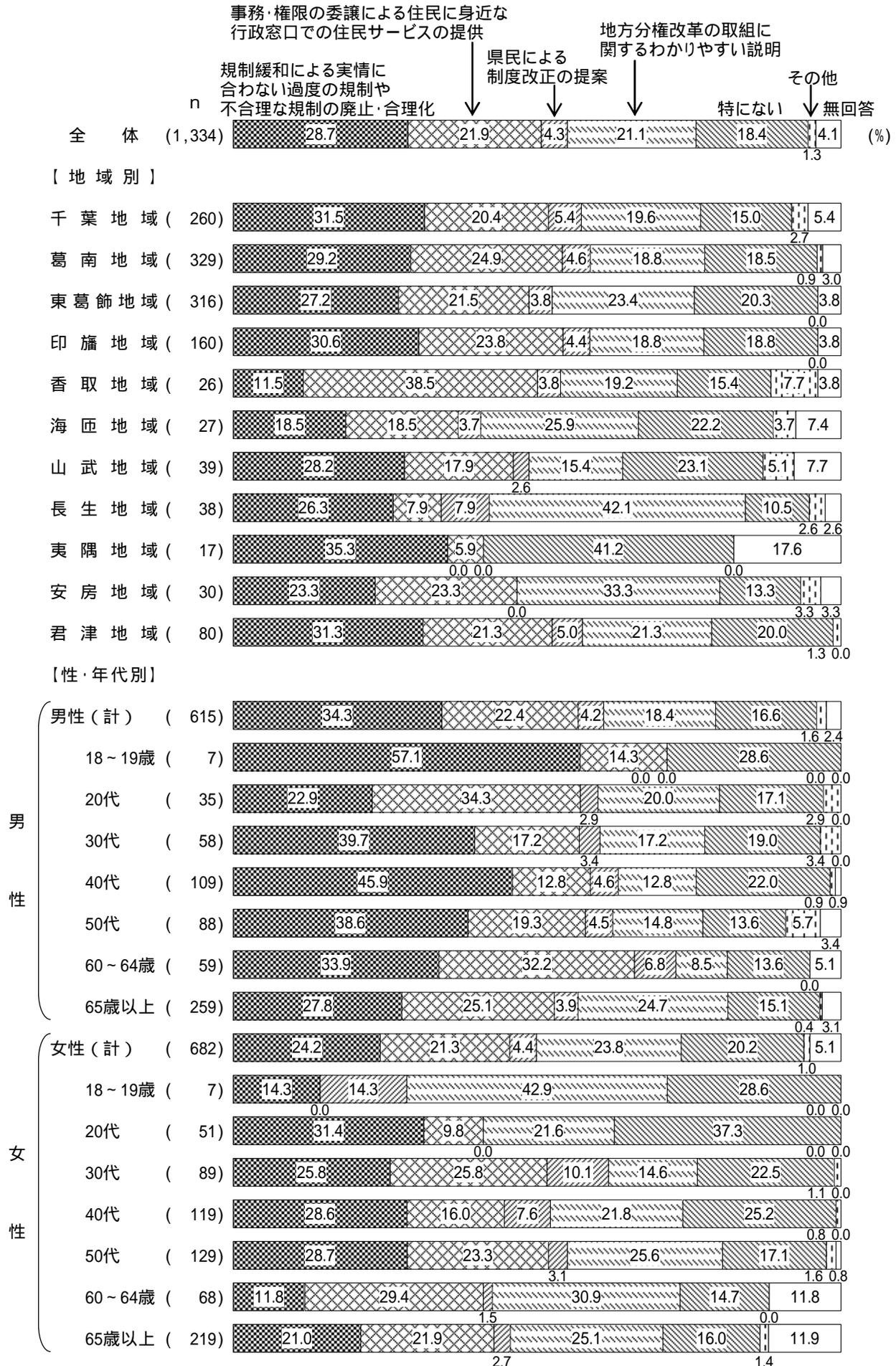
「地方分権改革の取組に関するわかりやすい説明」は“長生地域”(42.1%)が4割を超えて高くなっている。(図表7-4)

【性・年代別】

性・年代別にみると、「規制緩和による実情に合わない過度の規制や不合理な規制の廃止・合理化」は男性の40代(45.9%)が4割台半ば、男性の50代(38.6%)が約4割で高くなっている。

「地方分権改革の取組に関するわかりやすい説明」は女性の60～64歳(30.9%)が3割で高くなっている。(図表7-4)

<図表7 - 4> 地方分権改革で期待する主な効果 / 地域別、性・年代別



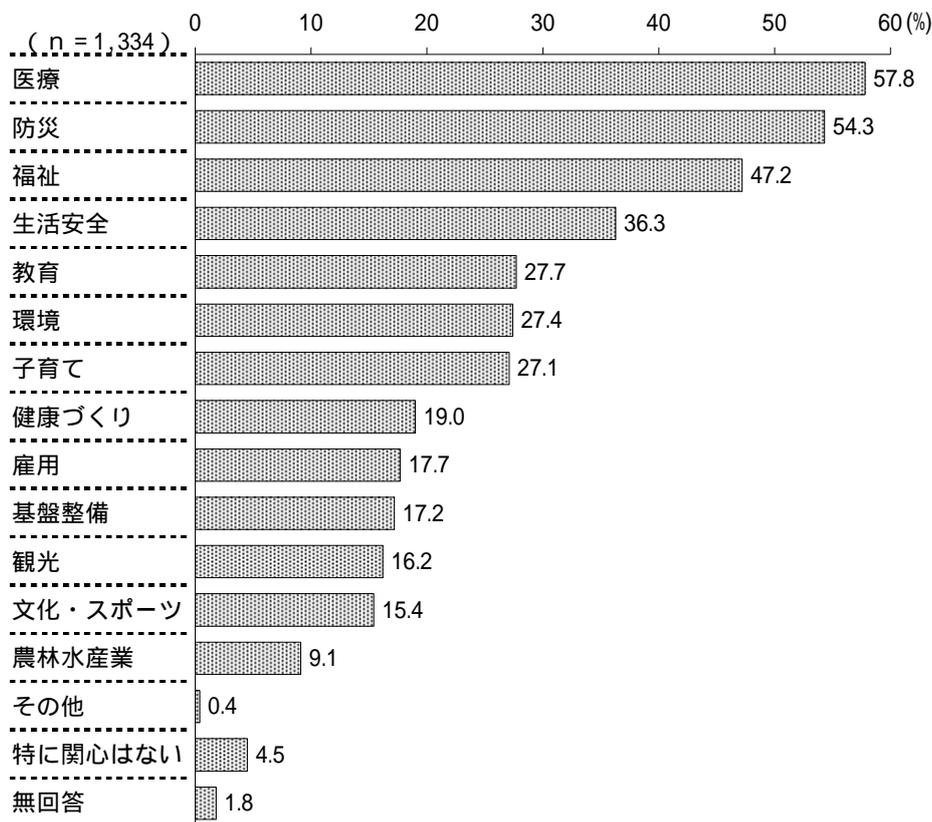
8 広報・広聴活動について

（1）関心のある県政分野

「医療」が約6割

問39 あなたは、県のどのような施策や政策の分野について関心がありますか。（はいくつでも）

<図表8-1> 関心のある県政分野（複数回答）



関心のある県の施策や政策の分野を聞いたところ、「医療」(57.8%)が約6割で最も高く、以下、「防災」(54.3%)、「福祉」(47.2%)、「生活安全」(36.3%)、「教育」(27.7%)が続く。

(図表8-1)

【地域別】

地域別にみると、「防災」は“葛南地域”(60.5%)が6割で高くなっている。

「福祉」は“印旛地域”(56.3%)が5割台半ばで高くなっている。

「教育」は“君津地域”(41.3%)が4割を超えて高くなっている。(図表8-2)

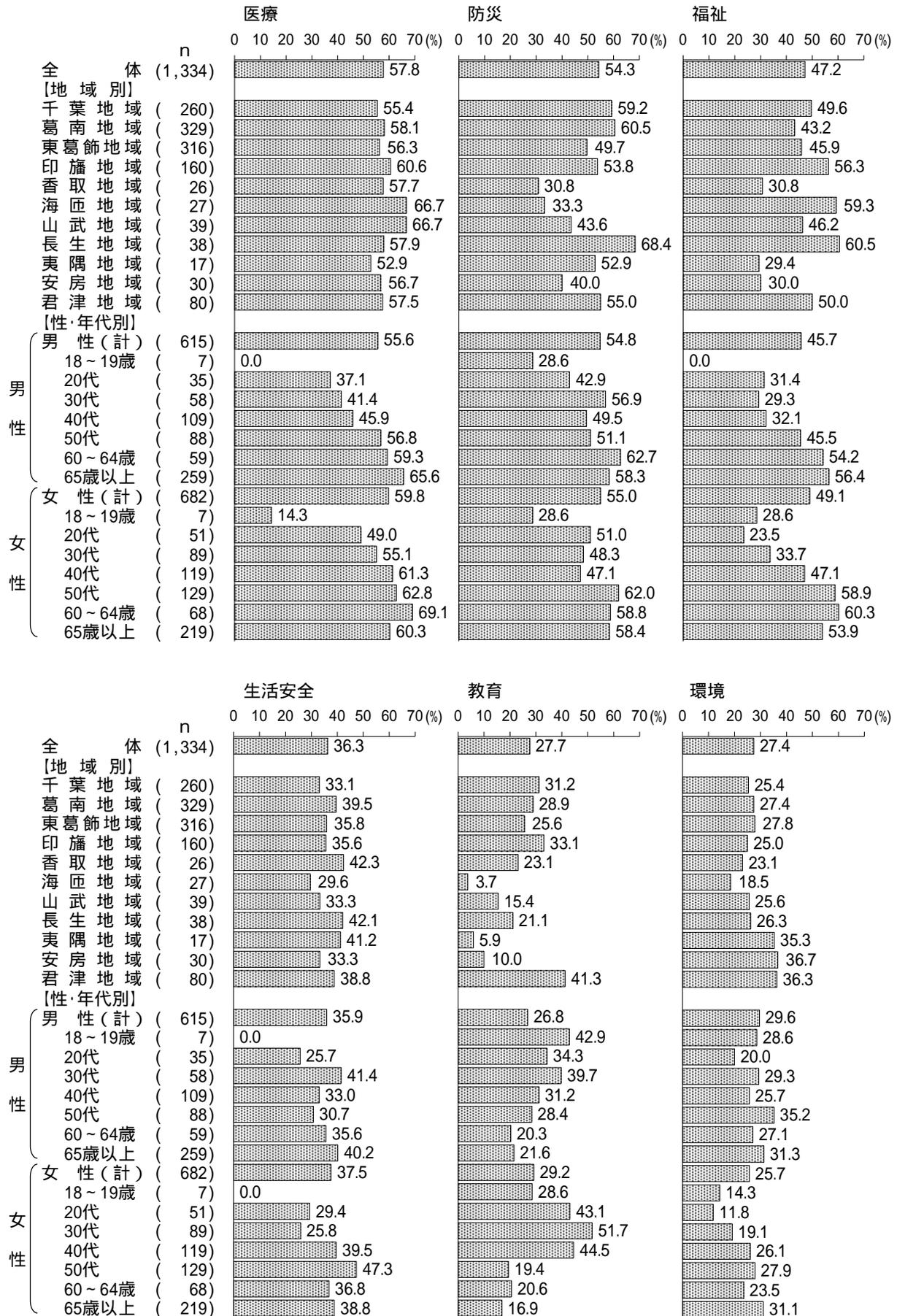
【性・年代別】

性・年代別にみると、「医療」は男性の65歳以上(65.6%)が6割台半ばで高くなっている。

「福祉」は女性の60～64歳(60.3%)が6割、女性の50代(58.9%)が約6割、男性の65歳以上(56.4%)と女性の65歳以上(53.9%)が5割台半ばで高くなっている。

「教育」は女性の30代(51.7%)が5割を超えて高くなっている。(図表8-2)

<図表8 - 2> 関心のある県政分野（複数回答）／地域別、性・年代別（上位6項目）



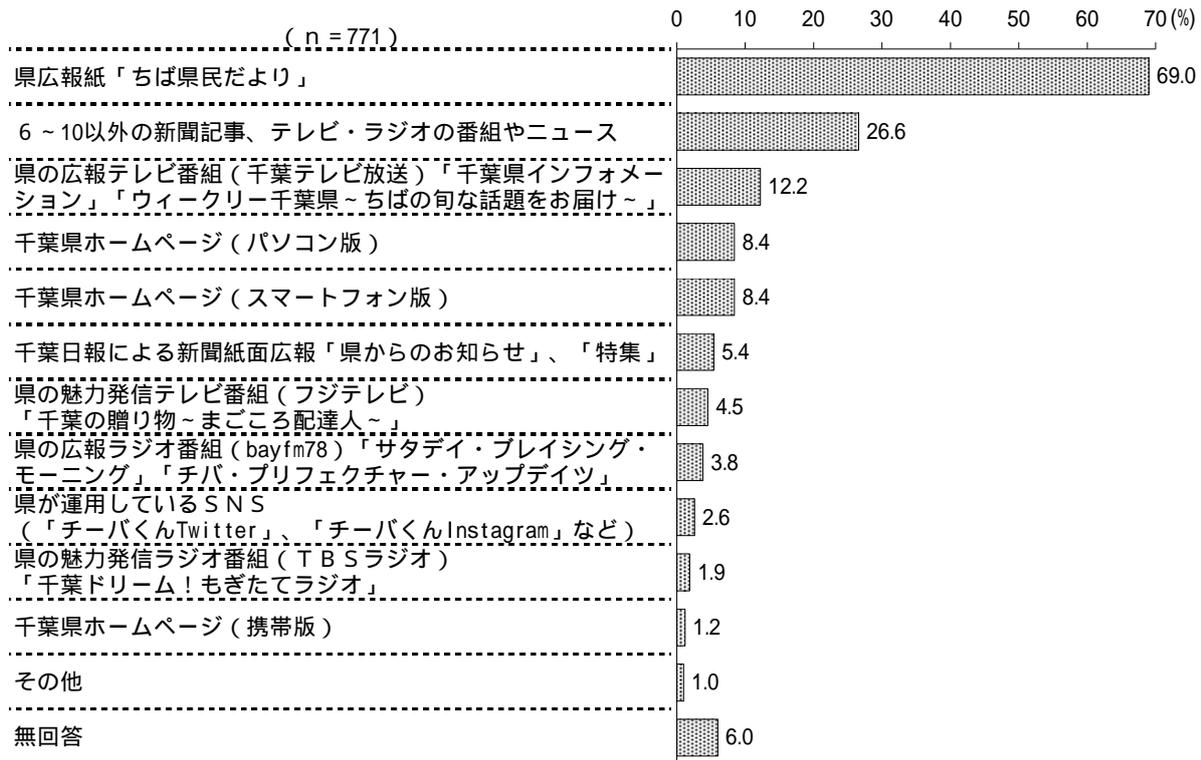
< 関心のある県政分野と県民の情報入手方法 >

関心のある県政分野について、今回の調査における、問40「県政に関する情報を得る手段」と問44「情報の入手媒体」の設問間のクロス集計を行ったところ、どの分野においても、県政に関する情報を得る手段は「県広報紙『ちば県民だより』」の回答の割合が最も高く、情報の入手媒体は「新聞・雑誌等の記事又は広告」と「ホームページ、ブログ、ニュースサイト等のウェブサイト」の回答の割合が高くなっている。（図表8-3）

< 図表8-3 > 関心のある県政分野と県民の情報入手方法(問39「関心のある県政分野」上位10項目)

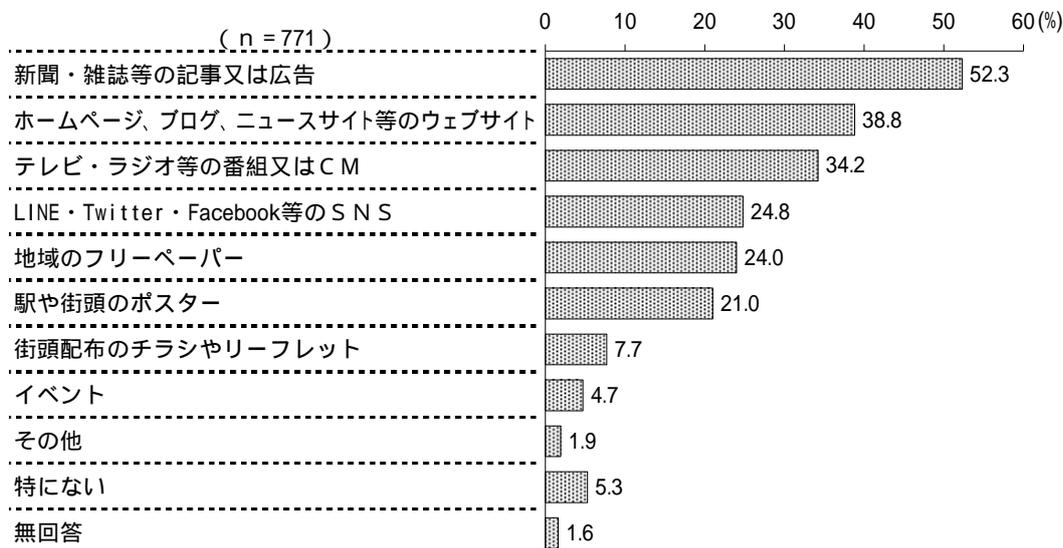
【県政に関する情報を得る手段】

問39「関心のある県政分野」で「医療」と回答した人（n=771）



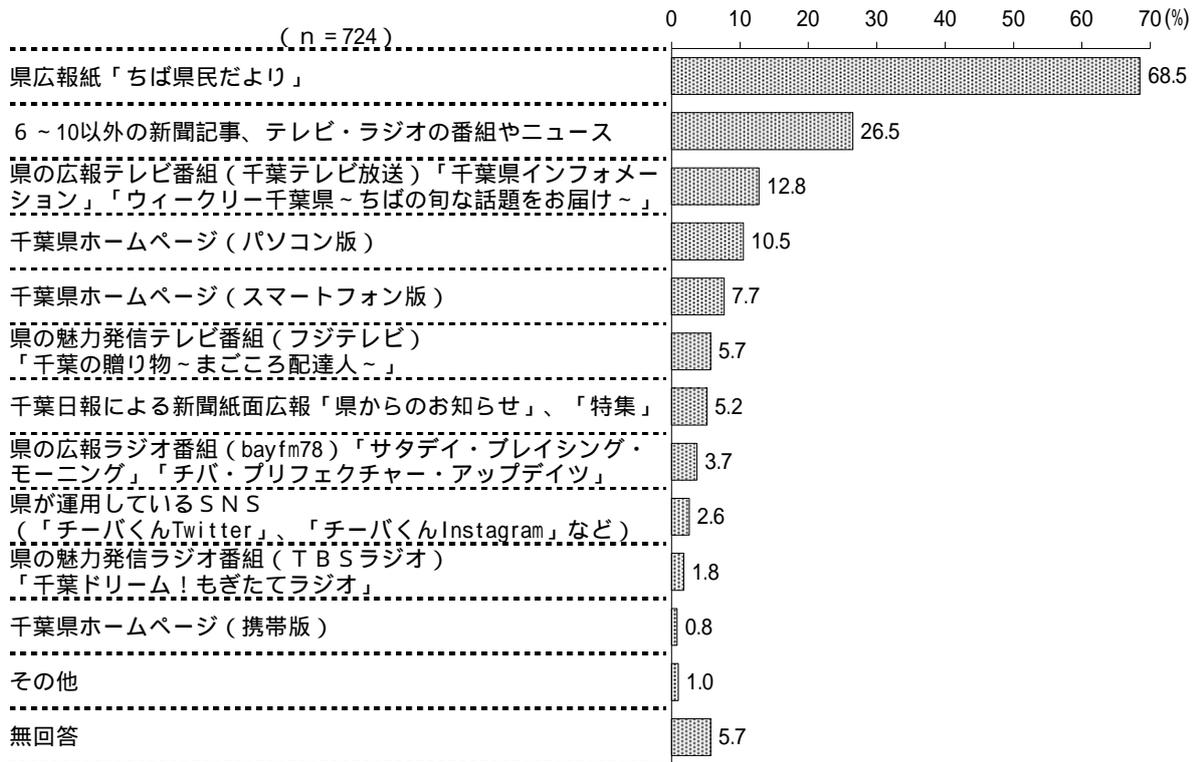
【情報の入手媒体】

問39「関心のある県政分野」で「医療」と回答した人（n=771）



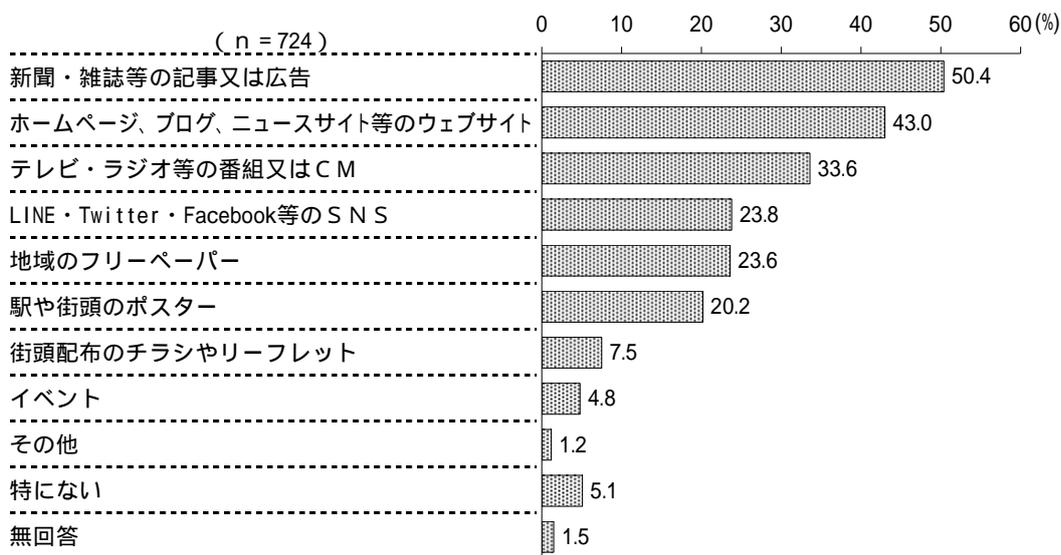
【県政に関する情報を得る手段】

問 39 「関心のある県政分野」で「防災」と回答した人（n = 724）



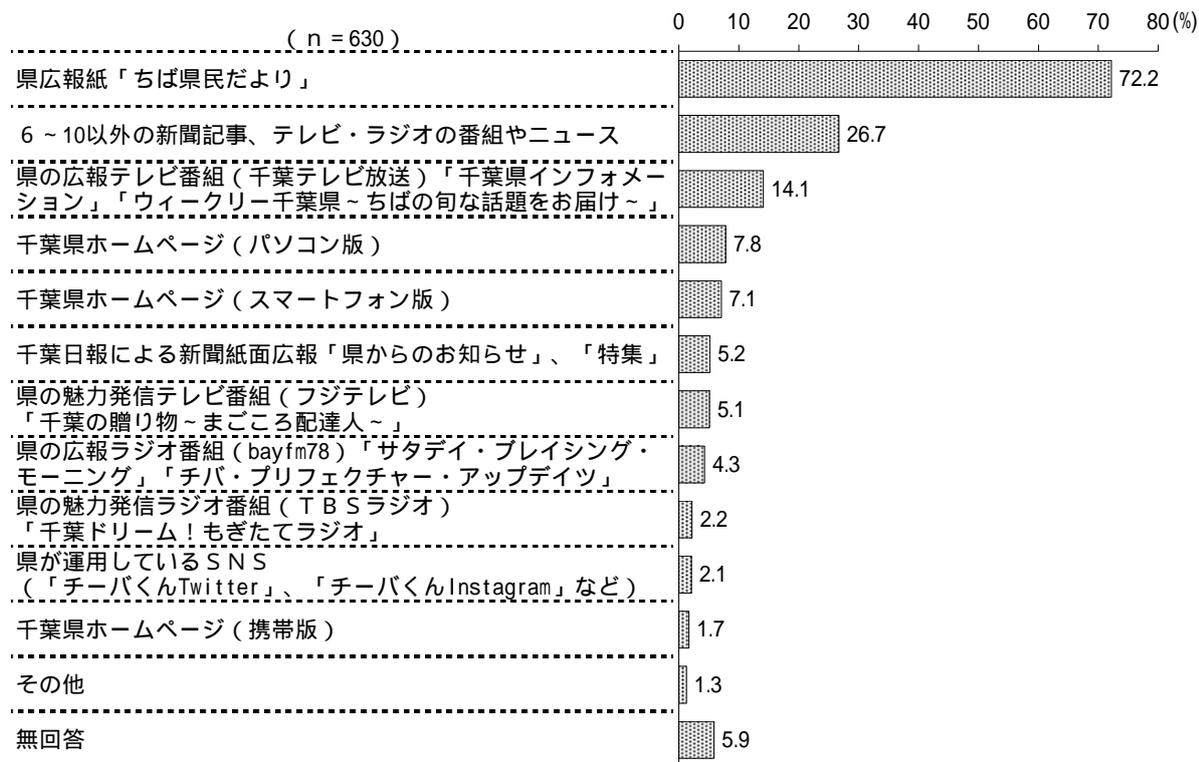
【情報の入手媒体】

問 39 「関心のある県政分野」で「防災」と回答した人（n = 724）



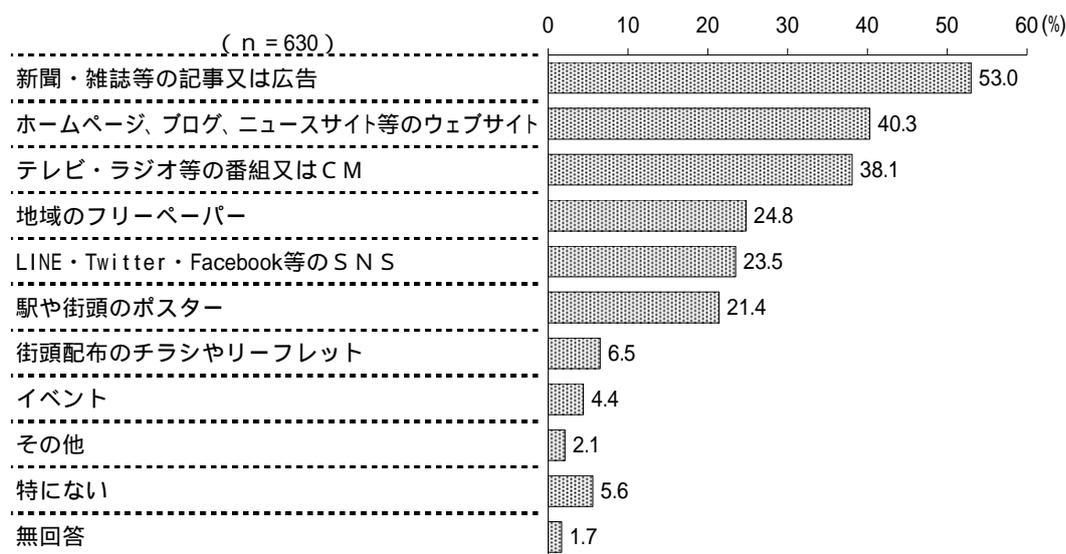
【県政に関する情報を得る手段】

問 39 「関心のある県政分野」で「福祉」と回答した人（n = 630）



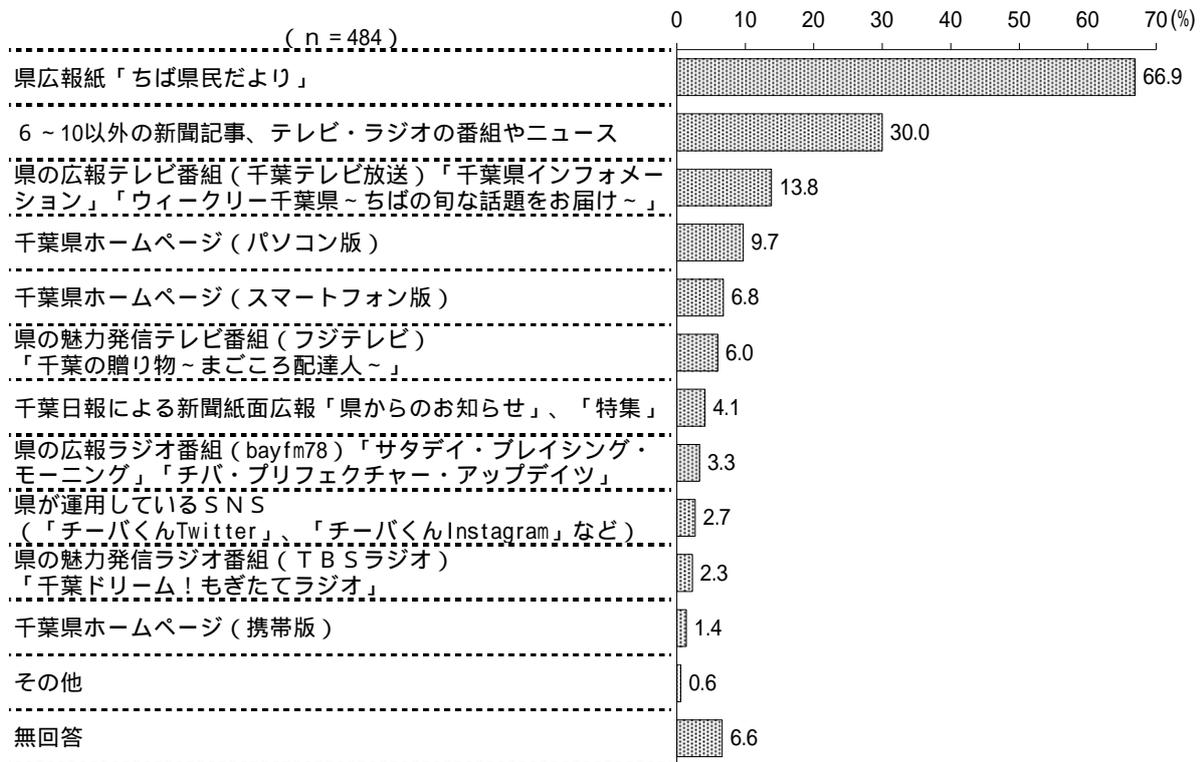
【情報の入手媒体】

問 39 「関心のある県政分野」で「福祉」と回答した人（n = 630）



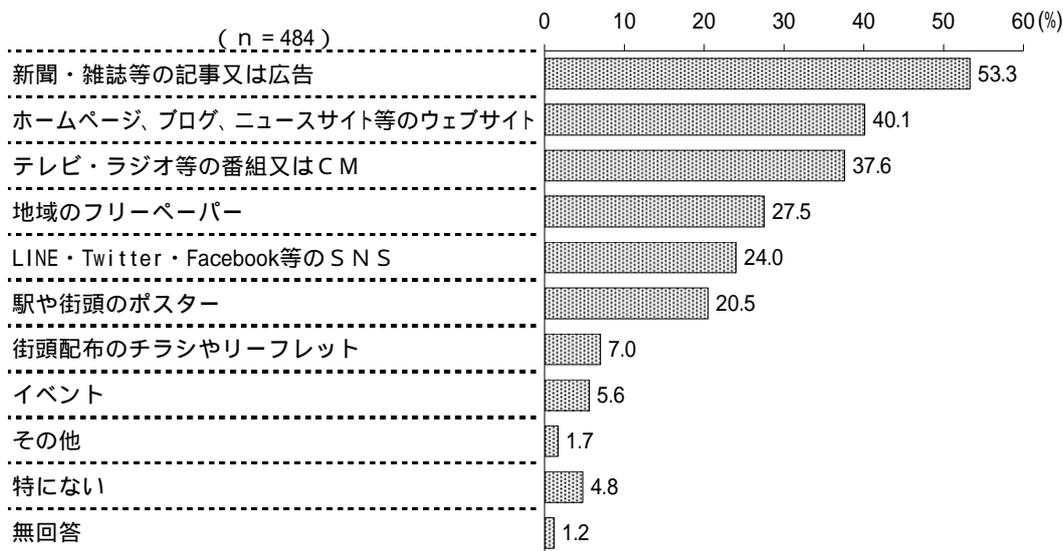
【県政に関する情報を得る手段】

問 39 「関心のある県政分野」で「生活安全」と回答した人（n = 484）



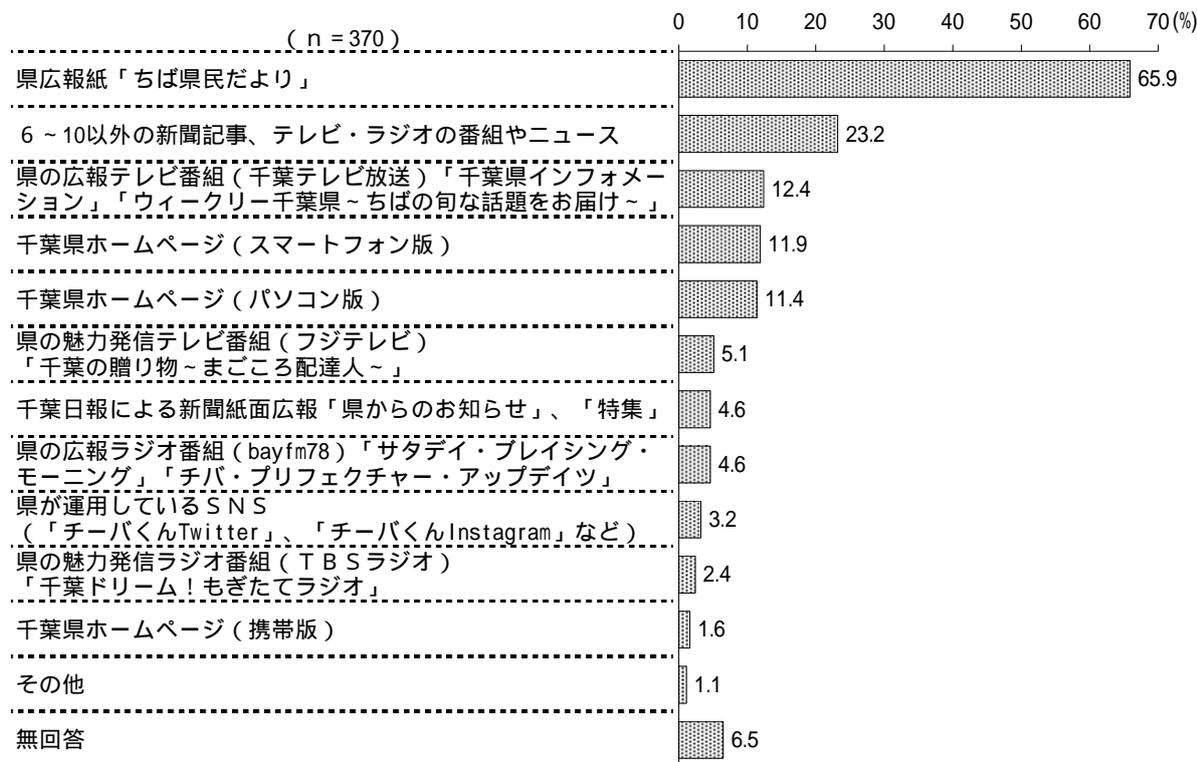
【情報の入手媒体】

問 39 「関心のある県政分野」で「生活安全」と回答した人（n = 484）



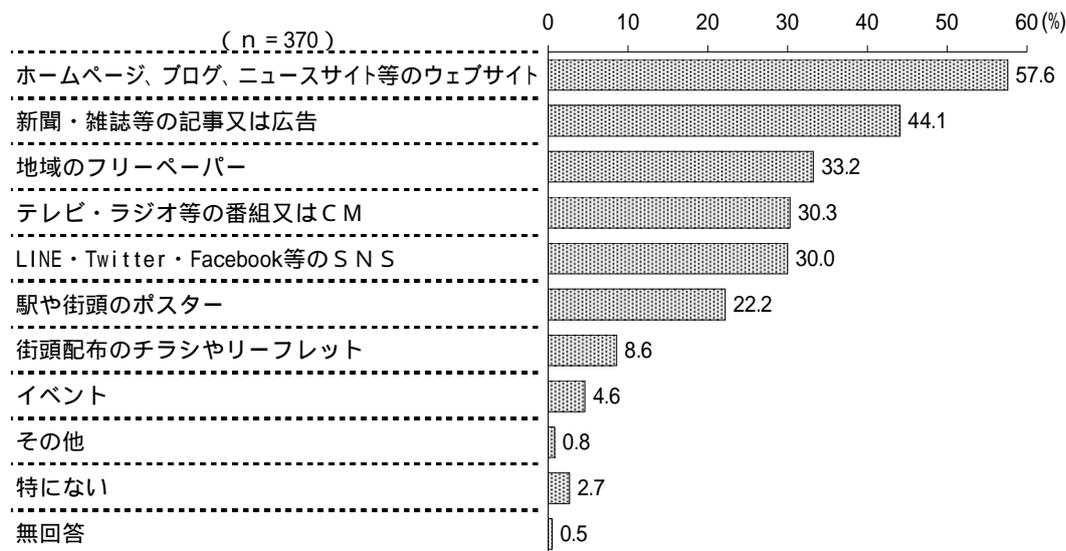
【県政に関する情報を得る手段】

問 39 「関心のある県政分野」で「教育」と回答した人（n = 370）



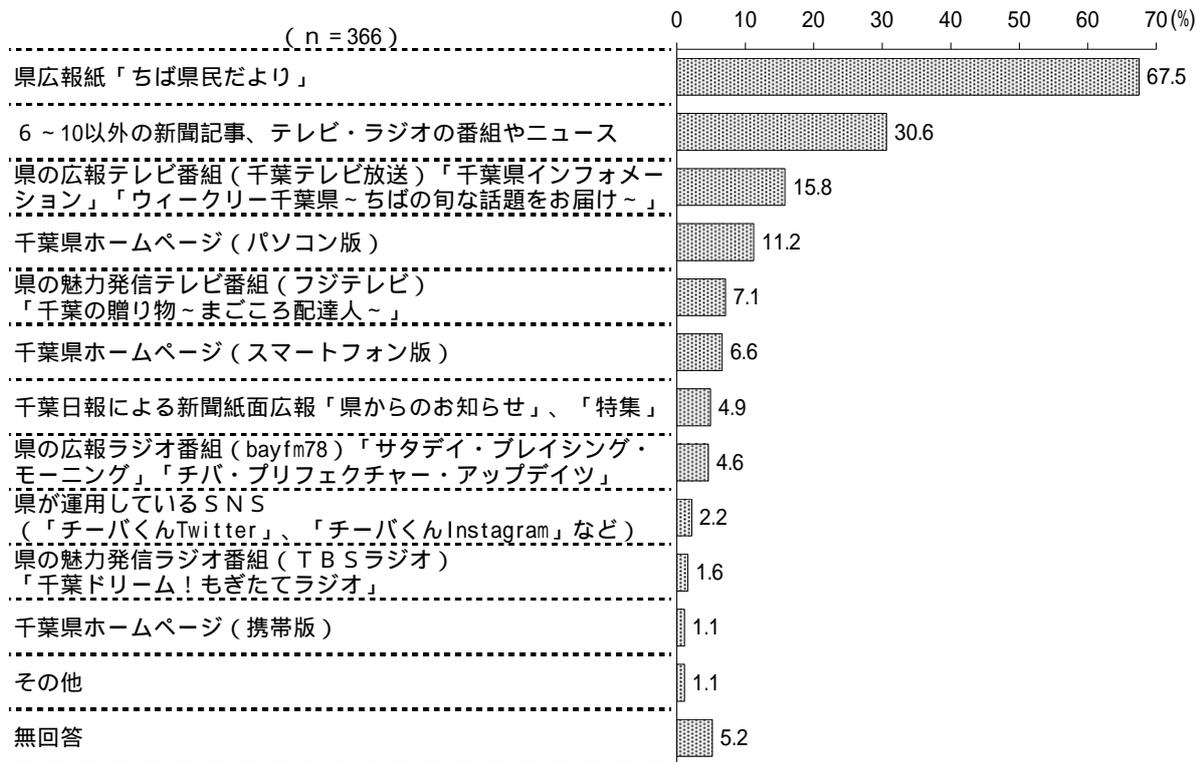
【情報の入手媒体】

問 39 「関心のある県政分野」で「教育」と回答した人（n = 370）



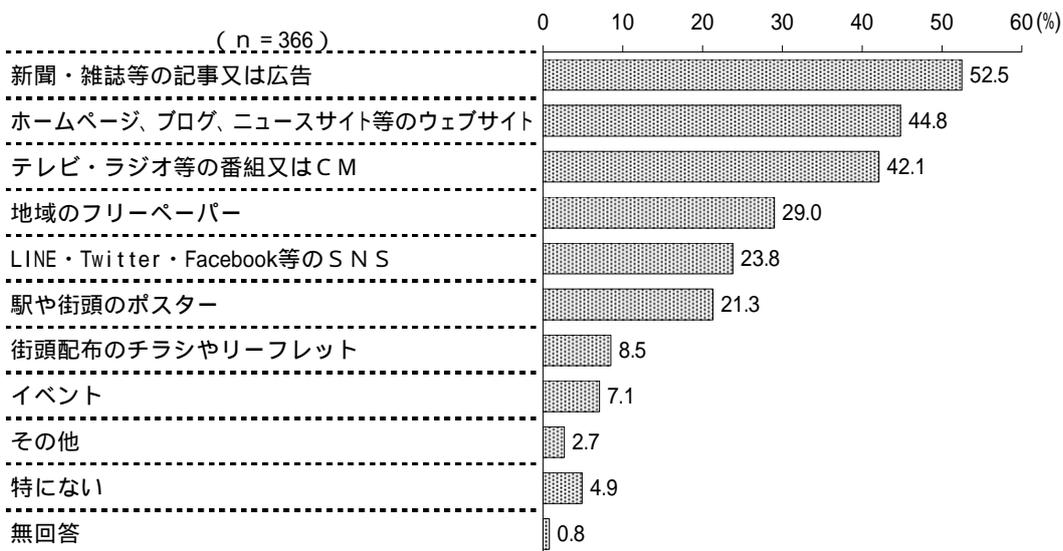
【県政に関する情報を得る手段】

問 39 「関心のある県政分野」で「環境」と回答した人（n = 366）



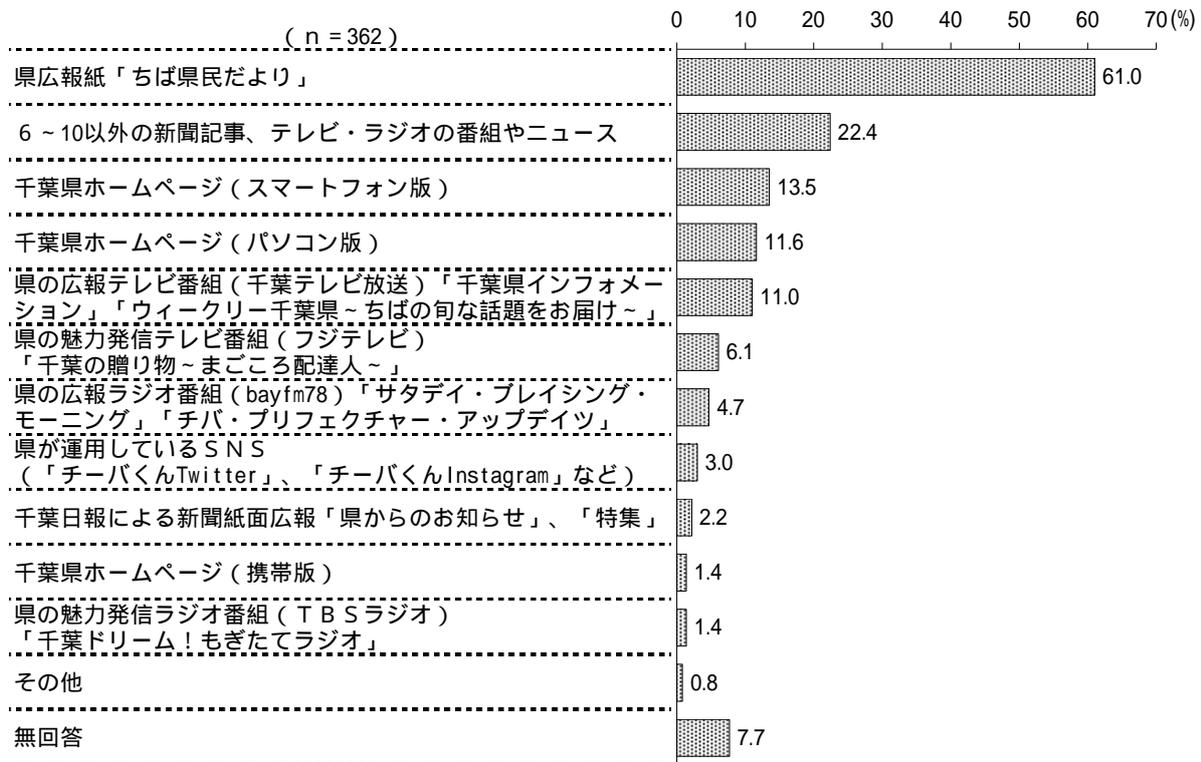
【情報の入手媒体】

問 39 「関心のある県政分野」で「環境」と回答した人（n = 366）



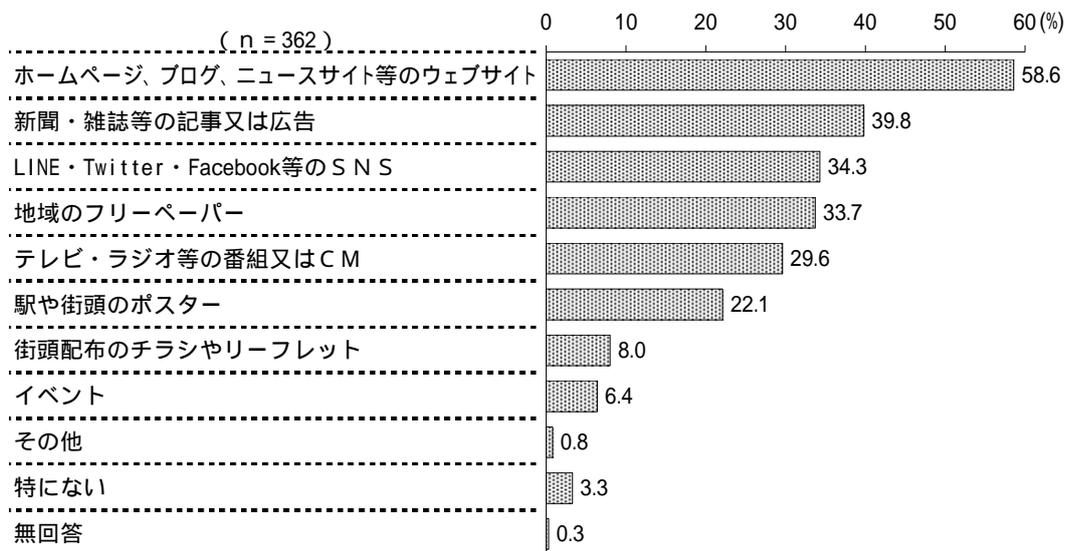
【県政に関する情報を得る手段】

問 39 「関心のある県政分野」で「子育て」と回答した人（n = 362）



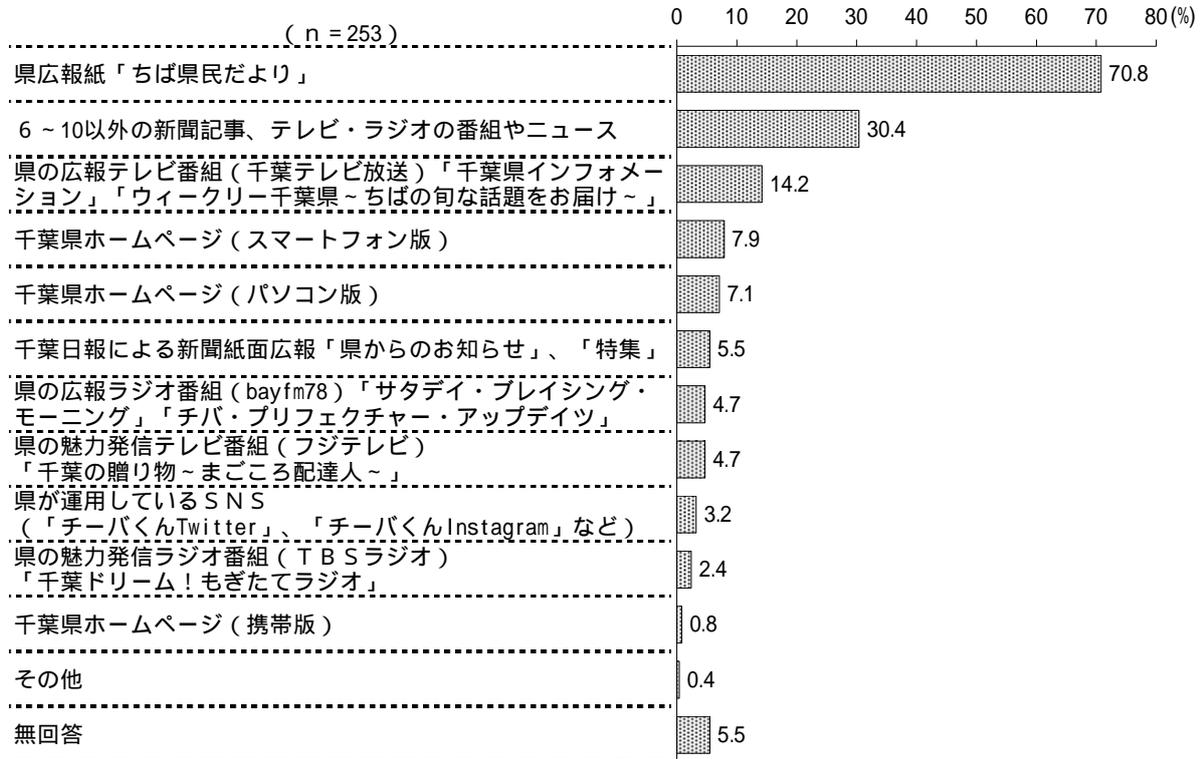
【情報の入手媒体】

問 39 「関心のある県政分野」で「子育て」と回答した人（n = 362）



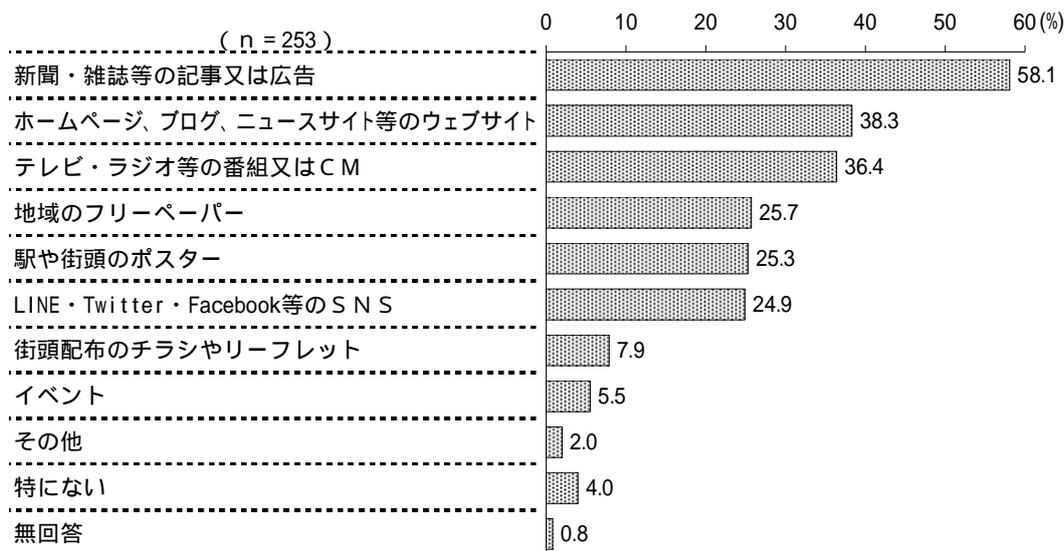
【県政に関する情報を得る手段】

問 39 「関心のある県政分野」で「健康づくり」と回答した人（n = 253）



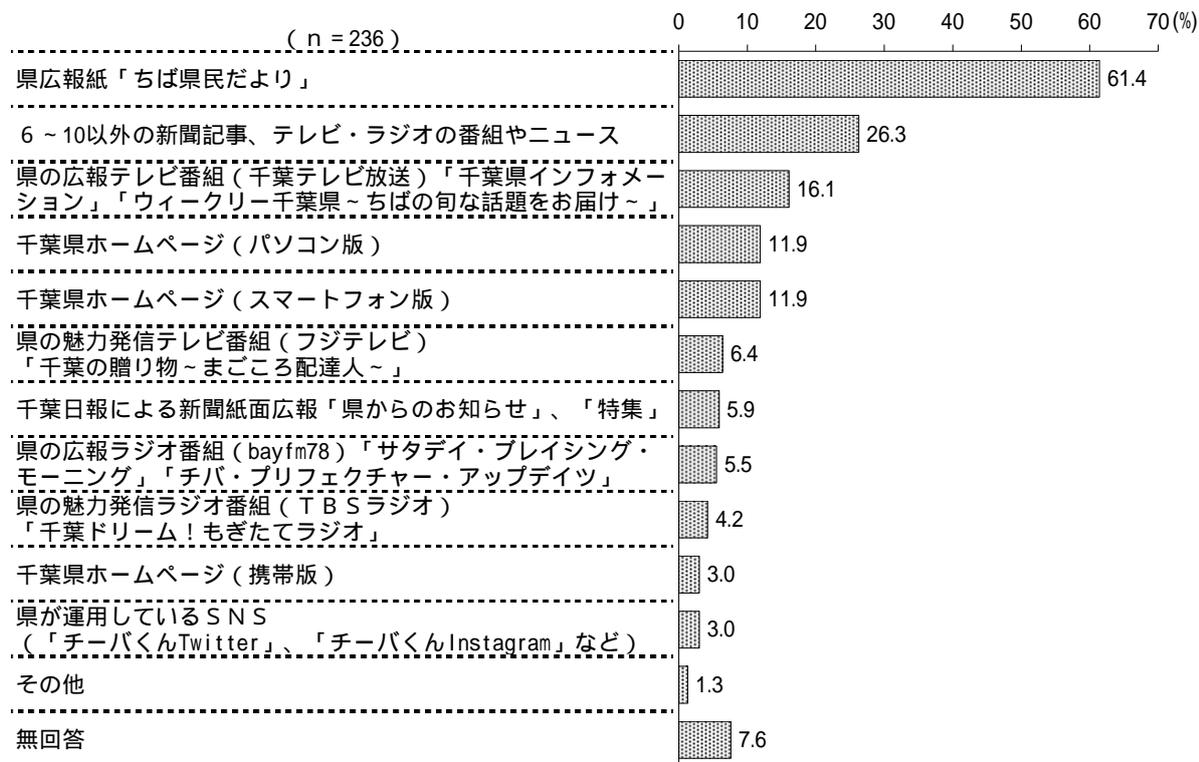
【情報の入手媒体】

問 39 「関心のある県政分野」で「健康づくり」と回答した人（n = 253）



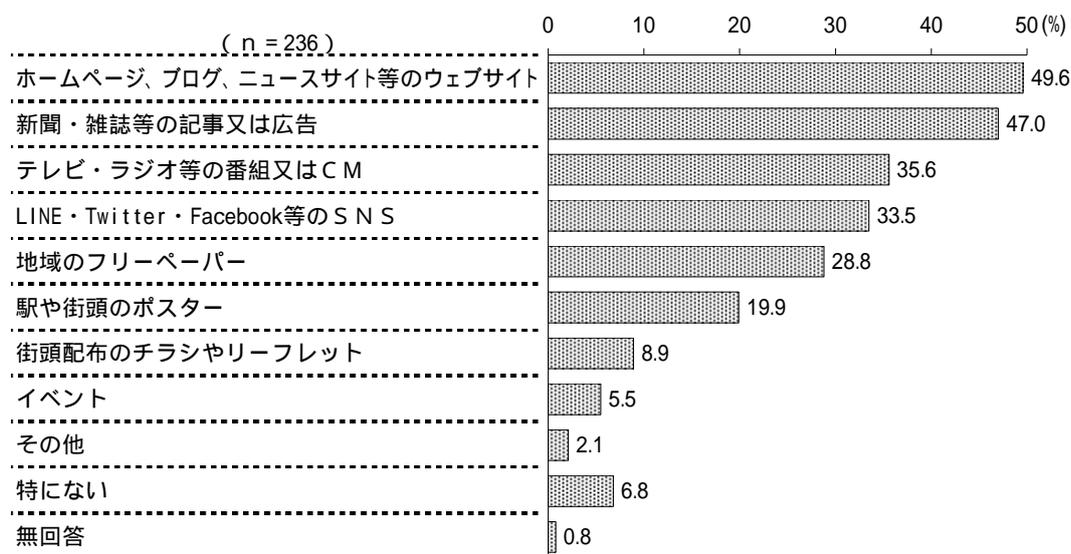
【県政に関する情報を得る手段】

問 39 「関心のある県政分野」で「雇用」と回答した人（n = 236）



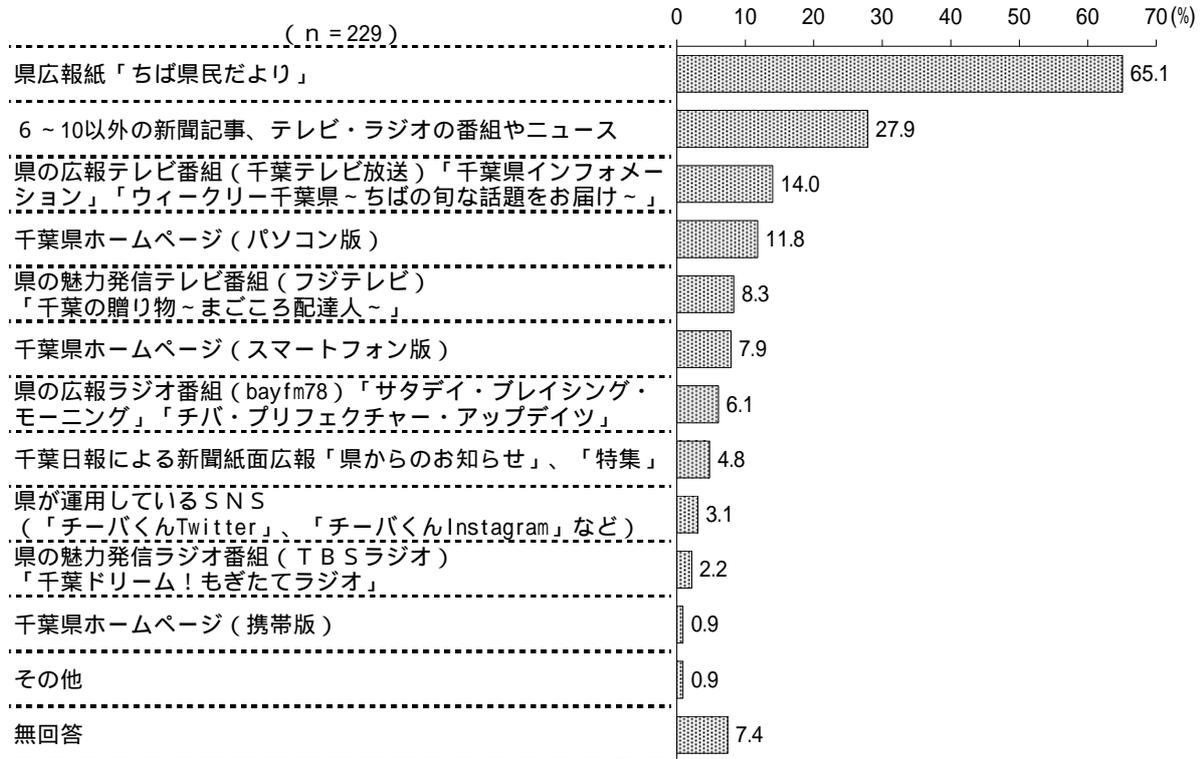
【情報の入手媒体】

問 39 「関心のある県政分野」で「雇用」と回答した人（n = 236）



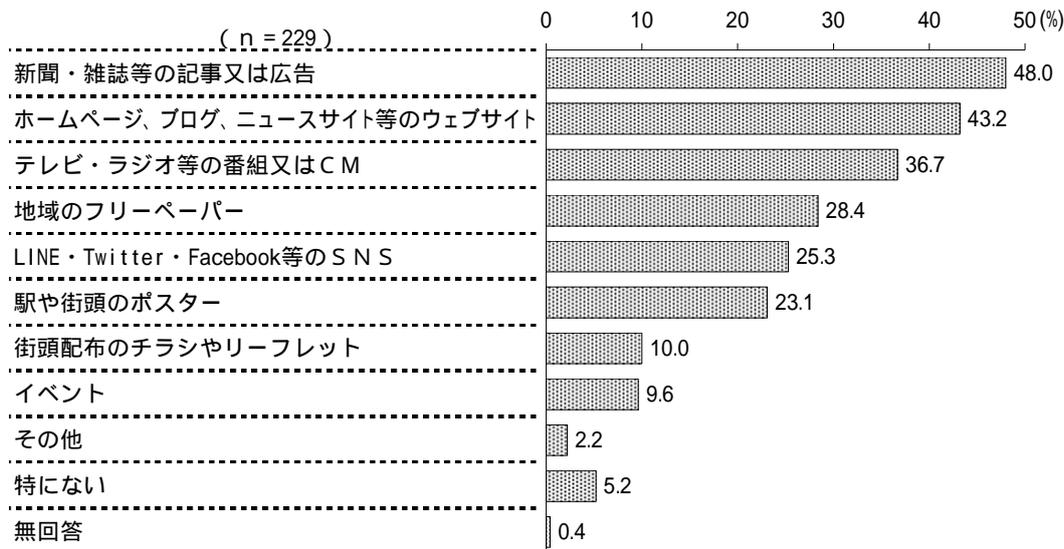
【県政に関する情報を得る手段】

問 39 「関心のある県政分野」で「基盤整備」と回答した人（n = 229）



【情報の入手媒体】

問 39 「関心のある県政分野」で「基盤整備」と回答した人（n = 229）

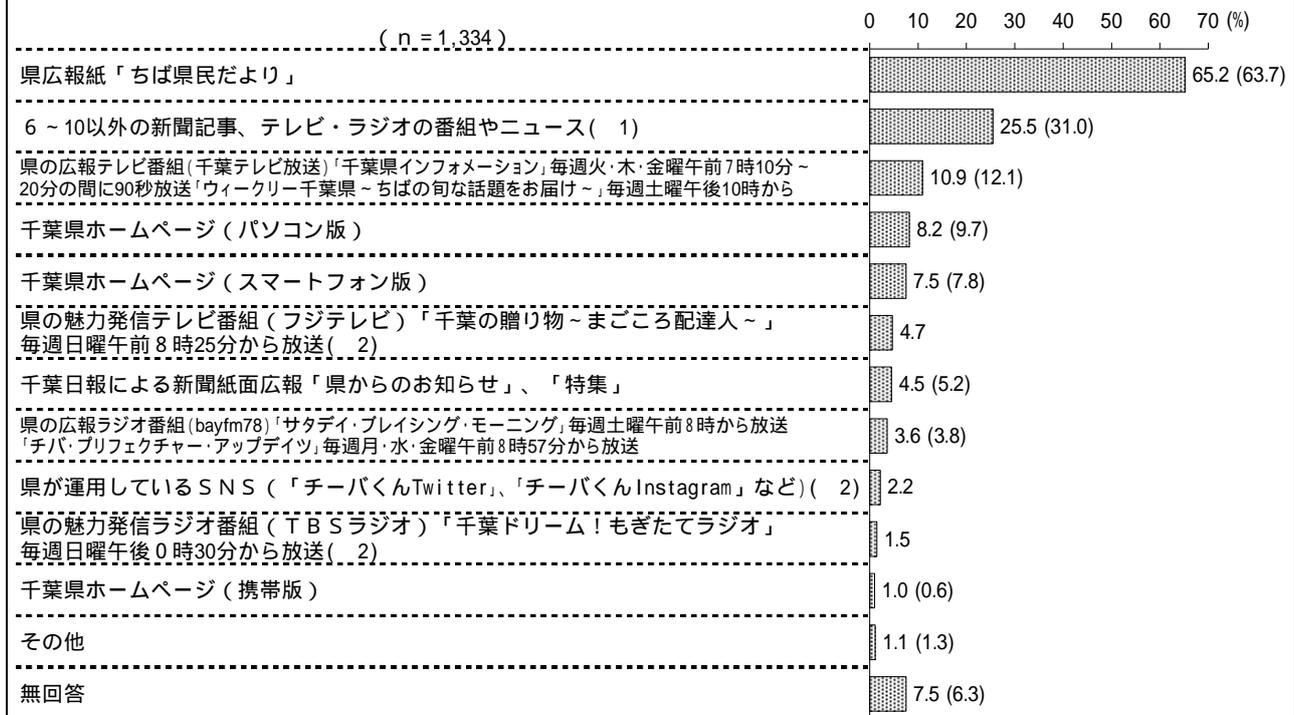


（2）県政に関する情報を得る手段

「県広報紙『ちば県民だより』」が6割台半ば

問40 あなたは、県政に関する情報をどのような手段で得ていますか。（はいくつでも）

<図表8-4> 県政に関する情報を得る手段（複数回答）



注) () の数字は平成29年度の同様の項目による調査結果 n=1,456

- (1) 「6～10以外の新聞記事、テレビ・ラジオの番組やニュース」における、6～10とは、「千葉日報による新聞紙面広報『県からのお知らせ』、『特集』」「県の広報テレビ番組(千葉テレビ放送)『千葉県インフォメーション』『ウィークリー千葉県～ちばの旬な話題をお届け～』」「県の広報ラジオ番組(bayfm78)『サタデー・ブレイシング・モーニング』『チバ・プリフェクチャー・アップデート』」「県の魅力発信テレビ番組(フジテレビ)『千葉の贈り物～まごころ配達人～』」「県の魅力発信ラジオ番組(TBSラジオ)『千葉ドリーム!もぎたてラジオ』」を指す。
- (2) 平成29年度調査では、「県の魅力発信テレビ番組(フジテレビ)『千葉の贈り物～まごころ配達人～』」、「県が運用しているSNS(『チーバくんTwitter』、『チーバくんInstagram』など)」、「県の魅力発信ラジオ番組(TBSラジオ)『千葉ドリーム!もぎたてラジオ』」の選択肢は設けていない。

県政に関する情報を得る手段を聞いたところ、「県広報紙『ちば県民だより』」(65.2%)が6割台半ばで最も高く、以下、「6～10以外の新聞記事、テレビ・ラジオの番組やニュース」(25.5%)、「県の広報テレビ番組(千葉テレビ放送)『千葉県インフォメーション』『ウィークリー千葉県～ちばの旬な話題をお届け～』」(10.9%)が続く。(図表8-4)

【地域別】

地域別にみると、「県広報紙『ちば県民だより』」は「千葉地域」(80.0%)が8割で高くなっている。

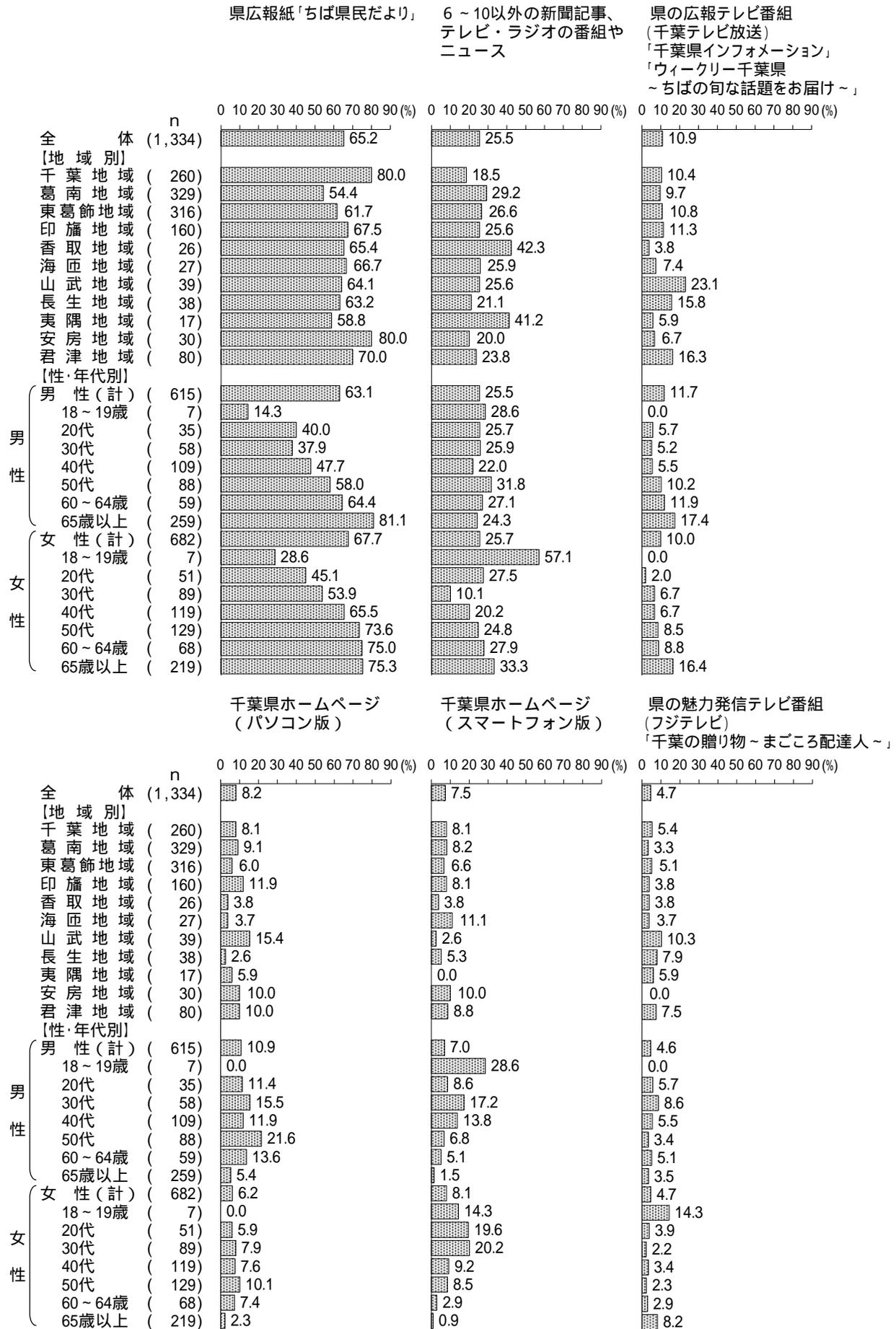
「6～10以外の新聞記事、テレビ・ラジオの番組やニュース」は「香取地域」(42.3%)が4割を超えて高くなっている。(図表8-5)

【性・年代別】

性・年代別にみると、「県広報紙『ちば県民だより』」は男性の65歳以上(81.1%)が8割を超え、女性の50代(73.6%)と女性の65歳以上(75.3%)が7割台半ばで高くなっている。

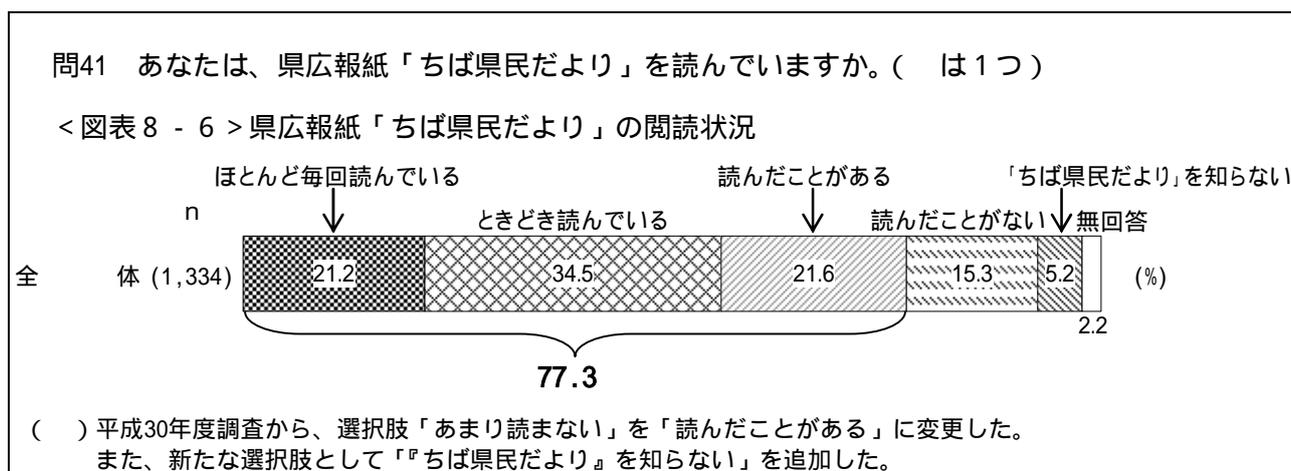
「6～10以外の新聞記事、テレビ・ラジオの番組やニュース」は女性の65歳以上(33.3%)が3割を超えて高くなっている。(図表8-5)

<図表8 - 5> 県政に関する情報を得る手段（複数回答）／地域別、性・年代別（上位6項目）



（3）県広報紙「ちば県民だより」の閲読状況

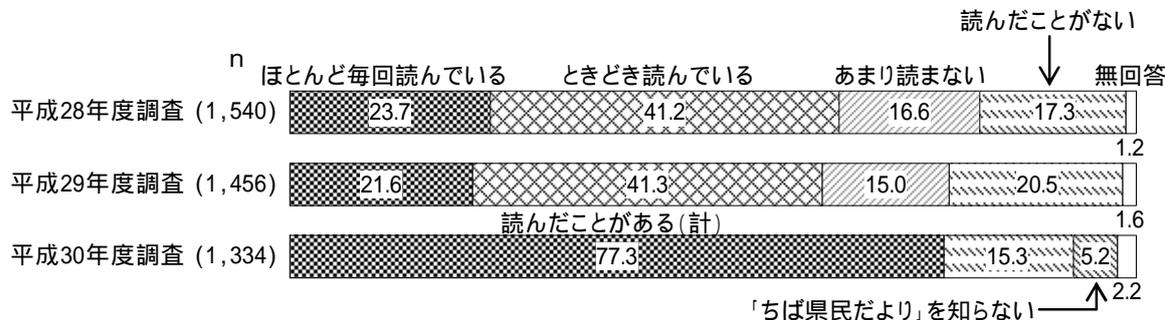
『読んだことがある（計）』が約8割



県広報紙「ちば県民だより」の閲読状況を聞いたところ、「ほとんど毎回読んでいる」（21.2%）と「ときどき読んでいる」（34.5%）、「読んだことがある」（21.6%）の3つを合わせた『読んだことがある（計）』（77.3%）が約8割で高くなっている。

一方、「読んだことがない」（15.3%）が1割台半ば、「『ちば県民だより』を知らない」（5.2%）は1割未満となっている。（図表8-6）

〔参考〕平成28年度・平成29年度の同様の項目による調査結果との比較（単位：%）



【地域別】

地域別にみると、『読んだことがある（計）』は“千葉地域”（88.8%）が約9割で高くなっている。

一方、「読んだことがない」は“葛南地域”（23.1%）が2割を超えて高くなっている。

（図表8-7）

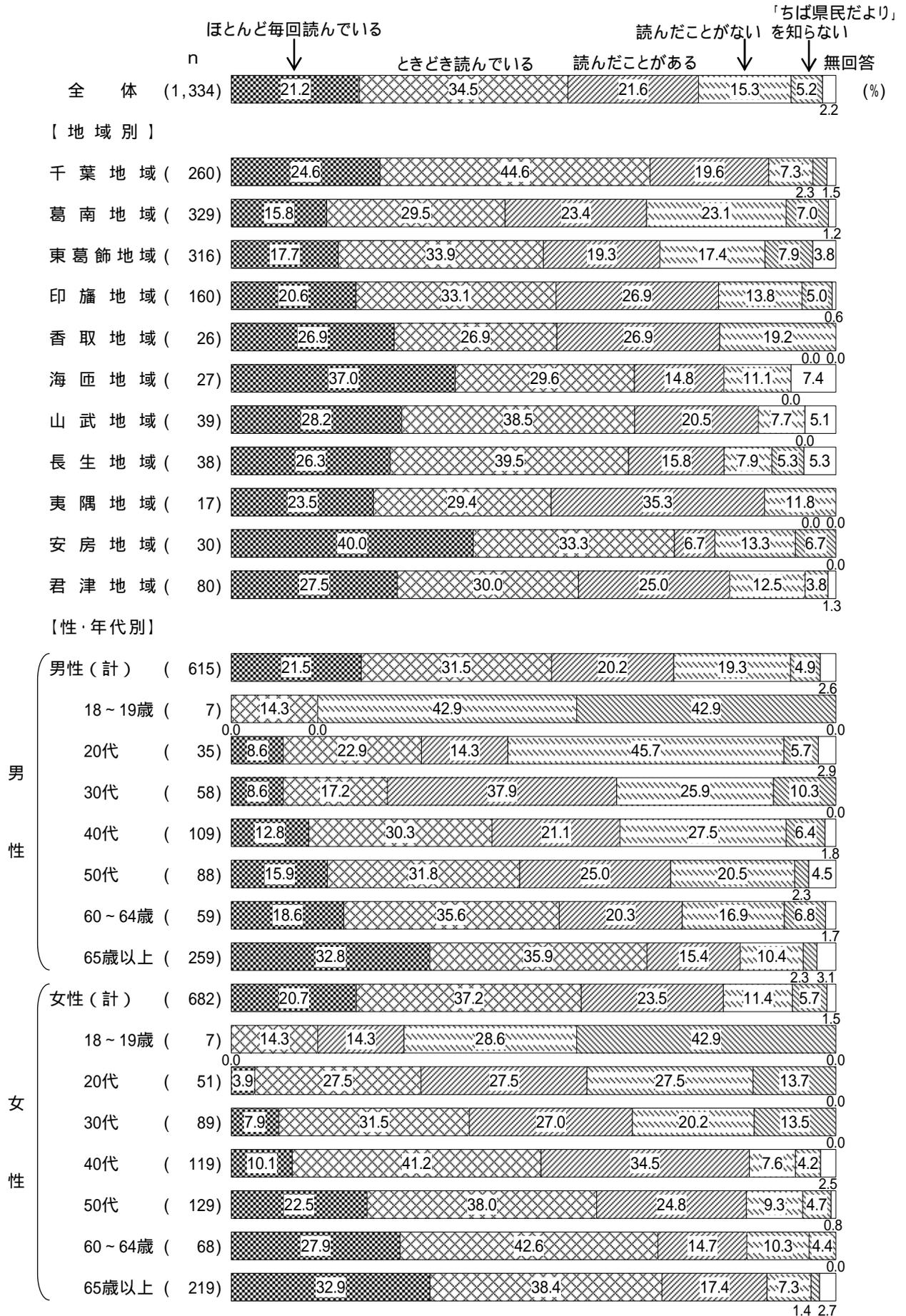
【性・年代別】

性・年代別にみると、『読んだことがある（計）』は女性の65歳以上（88.6%）が約9割、男性の65歳以上（84.2%）、女性の40代（85.7%）、女性の50代（85.3%）が8割台半ばで高くなっている。

一方、「読んだことがない」は男性の20代（45.7%）が4割台半ば、男性の40代（27.5%）と女性の20代（27.5%）が約3割、男性の30代（25.9%）が2割台半ばで高くなっている。

（図表8-7）

<図表8 - 7> 県広報紙「ちば県民だより」の閲読状況 / 地域別、性・年代別



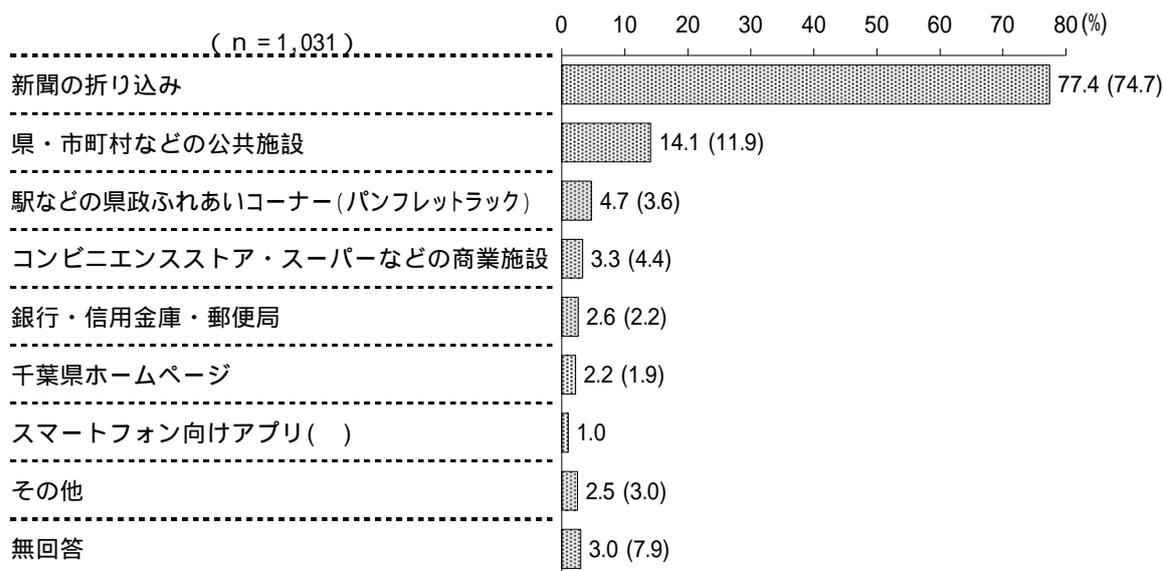
（3 - 1）「ちば県民だより」の入手場所について

「新聞の折り込み」が約8割

（問41で「ほとんど毎回読んでいる」、「ときどき読んでいる」、「読んだことがある」のいずれかをお答えの方に）

問41 - 1 県広報紙「ちば県民だより」をどこで入手していますか。（はいくつでも）

<図表8 - 8> 「ちば県民だより」の入手場所について（複数回答）



注) () の数字は平成29年度の同様の項目による調査結果 n = 1,133
 () 平成29年度調査では、「スマートフォン向けアプリ」の選択肢は設けていない。

県広報紙「ちば県民だより」を「ほとんど毎回読んでいる」、「ときどき読んでいる」、「読んだことがある」と回答した1,031人を対象に、「ちば県民だより」をどこで入手しているか聞いたところ、「新聞の折り込み」(77.4%)が約8割で最も高く、以下、「県・市町村などの公共施設」(14.1%)、「駅などの県政ふれあいコーナー（パンフレットラック）」(4.7%)が続く。(図表8 - 8)

【地域別】

地域別にみると、「新聞の折り込み」は“海匝地域”(95.5%)が9割台半ばで高くなっている。「県・市町村などの公共施設」は“安房地域”(29.2%)が約3割で高くなっている。

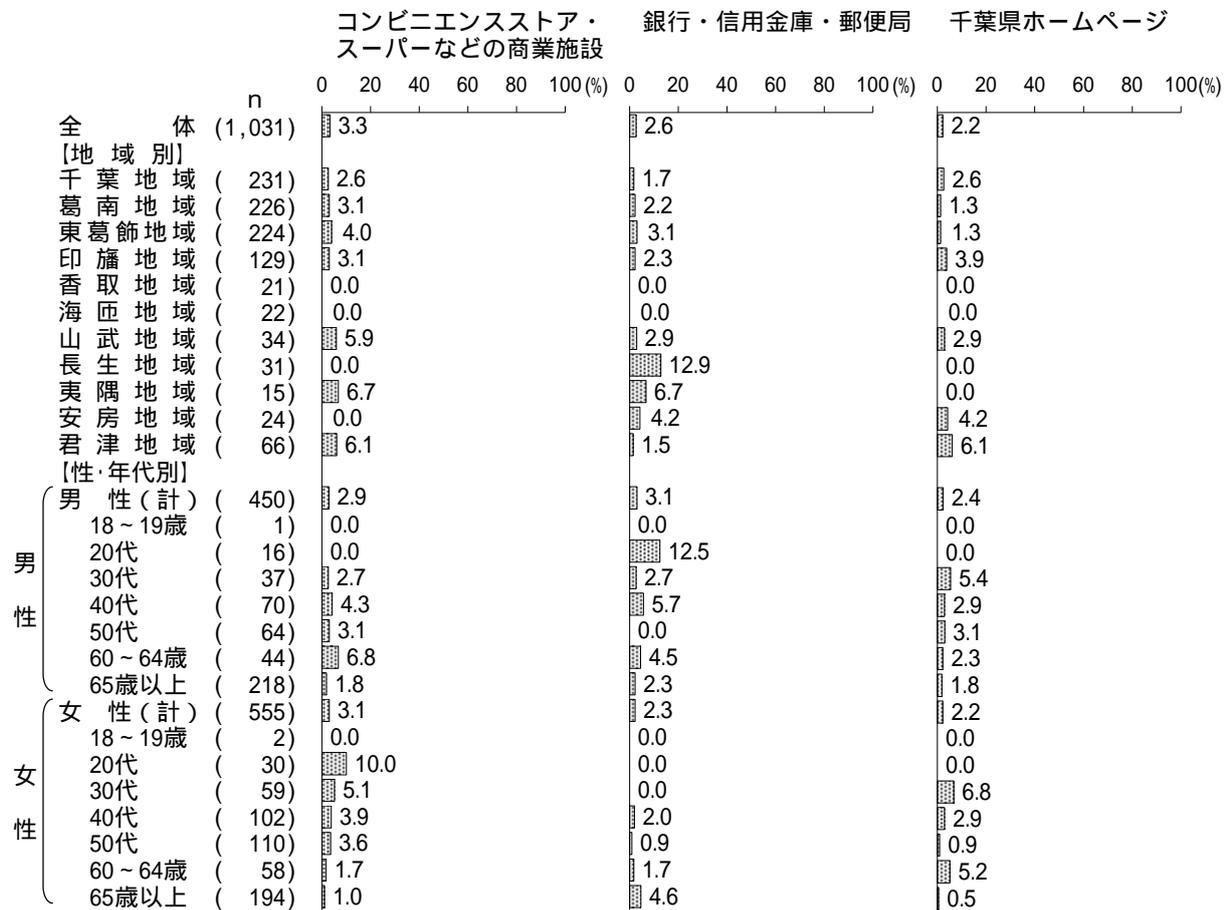
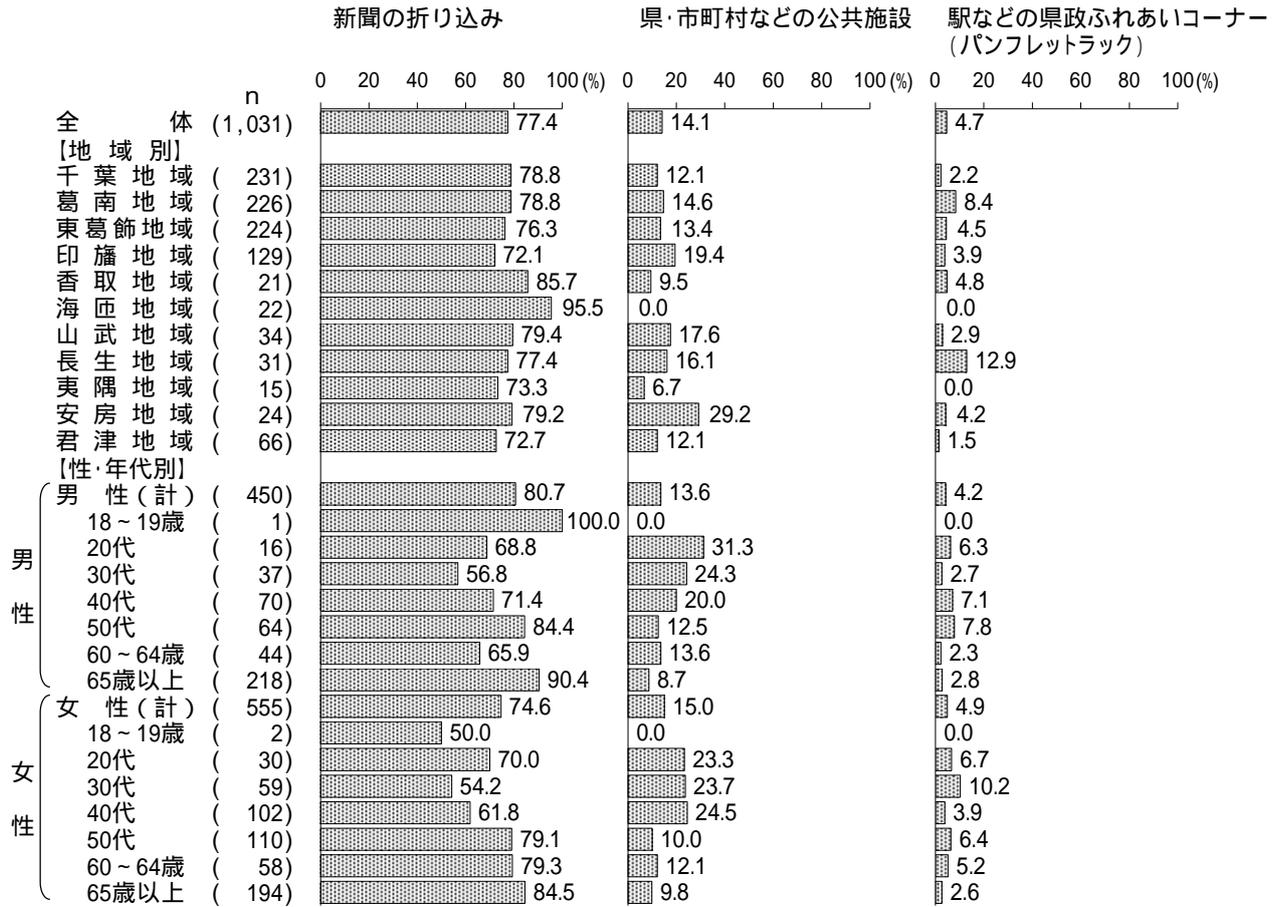
(図表8 - 9)

【性・年代別】

性・年代別にみると、「新聞の折り込み」は男性の65歳以上(90.4%)が9割、女性の65歳以上(84.5%)が8割台半ばで高くなっている。

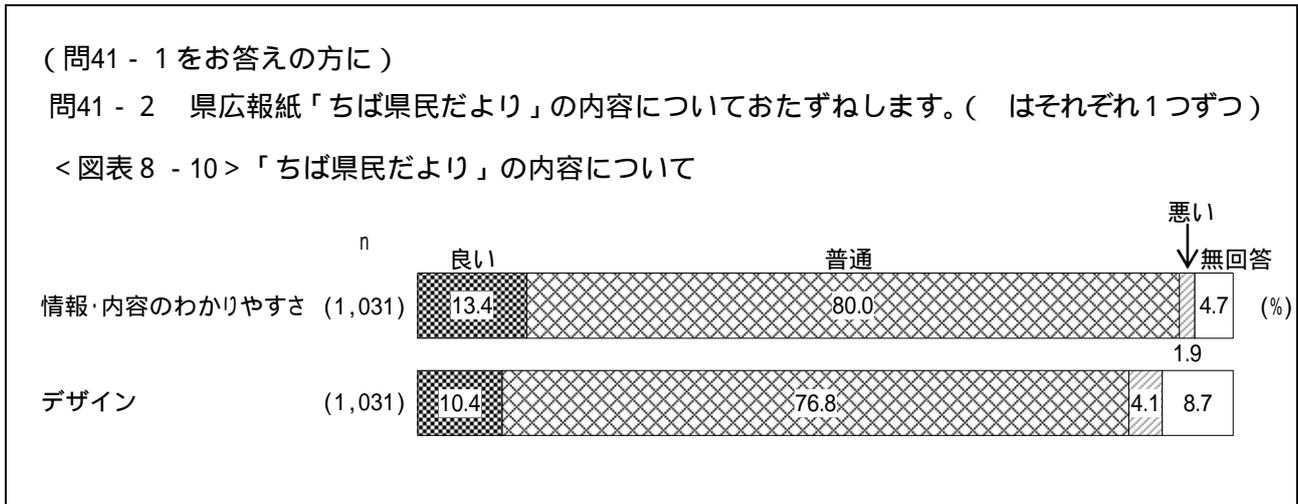
「県・市町村などの公共施設」は男性の20代(31.3%)が3割を超え、女性の30代(23.7%)と女性の40代(24.5%)が2割台半ばで高くなっている。(図表8 - 9)

<図表8 - 9> 「ちば県民だより」の入手場所について（複数回答）/地域別、性・年代別



（3 - 2）「ちば県民だより」の内容について

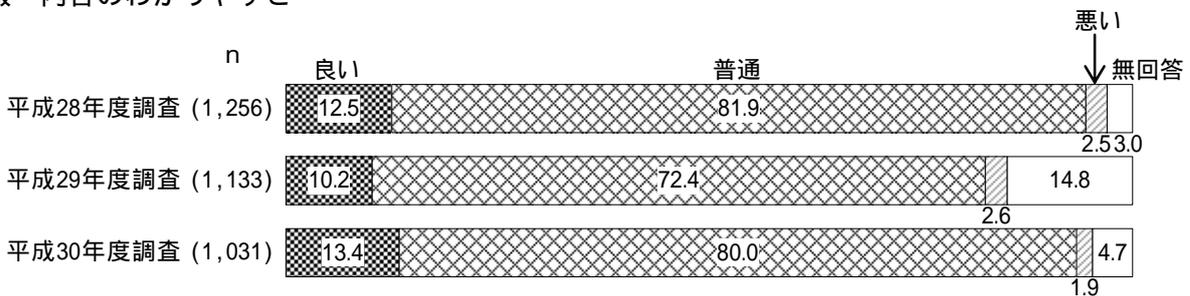
情報・内容のわかりやすさ、デザインともに「良い」が1割台



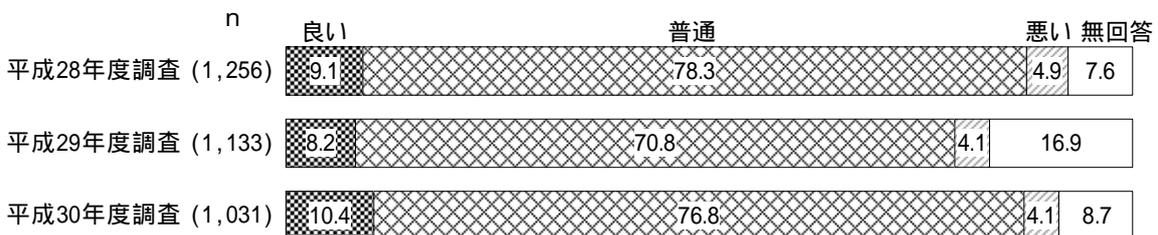
県広報紙「ちば県民だより」を「ほとんど毎回読んでいる」、「ときどき読んでいる」、「読んだことがある」と回答した1,031人を対象に、「ちば県民だより」の内容について聞いたところ、情報・内容のわかりやすさの「良い」(13.4%)が1割を超え、「普通」(80.0%)は8割となっている。また、デザインの「良い」(10.4%)が1割、「普通」(76.8%)は7割台半ばとなっている。(図表8 - 10)

〔参考〕平成28年度・平成29年度の同様の項目による調査結果との比較（単位：％）

情報・内容のわかりやすさ



デザイン



【地域別】

地域別にみると、情報・内容のわかりやすさの「良い」は「安房地域」(29.2%)が約3割、「長生地域」(25.8%)が2割台半ばで高くなっている。

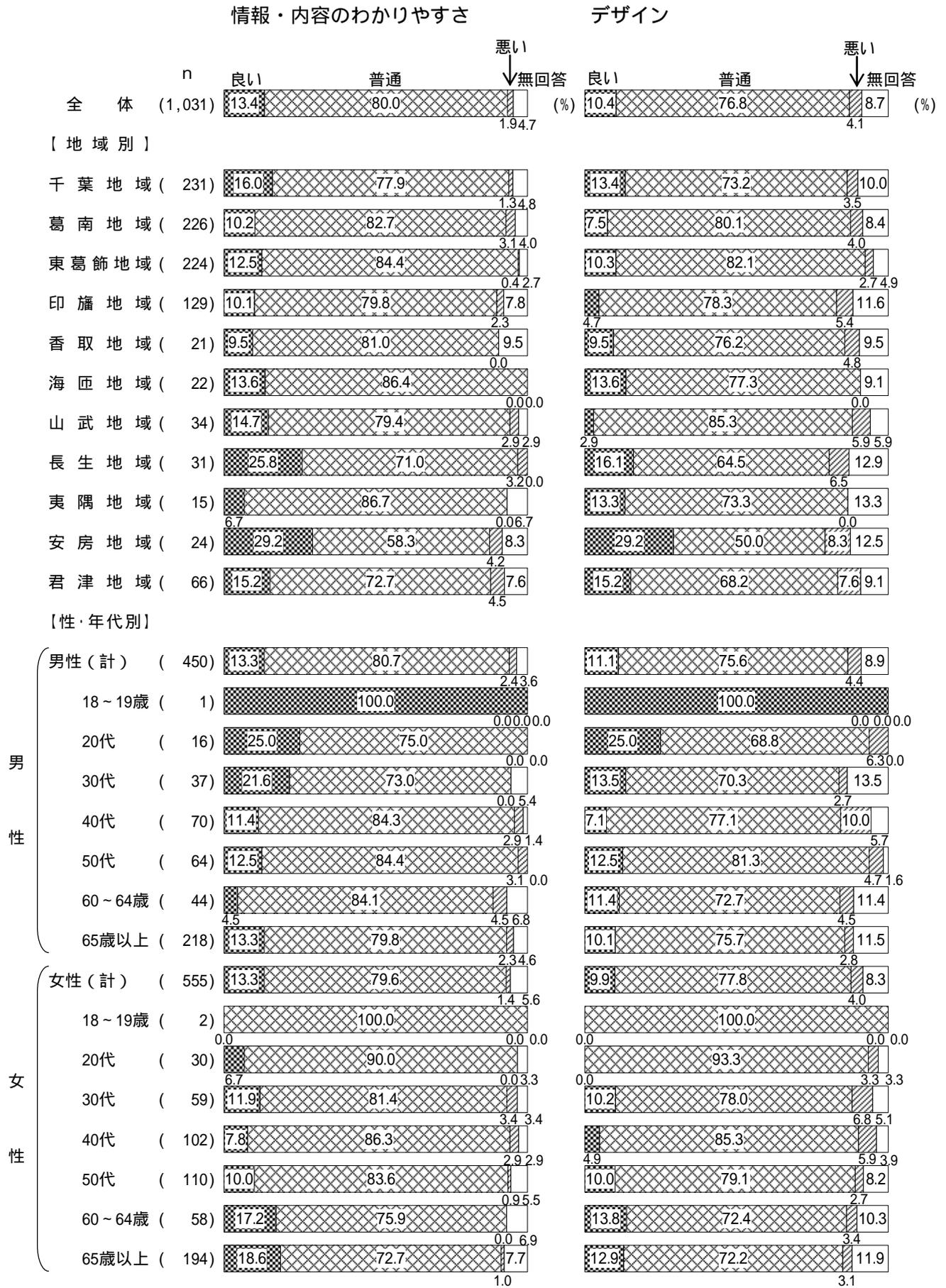
デザインの「良い」は「安房地域」(29.2%)が約3割で高くなっている。(図表8 - 11)

【性・年代別】

性・年代別にみると、情報・内容のわかりやすさの「良い」は女性の65歳以上(18.6%)が約2割となっている。

デザインの「普通」は女性の20代(93.3%)が9割を超え、女性の40代(85.3%)が8割台半ばで高くなっている。(図表8 - 11)

<図表8 - 11> 「ちば県民だより」の内容について / 地域別、性・年代別

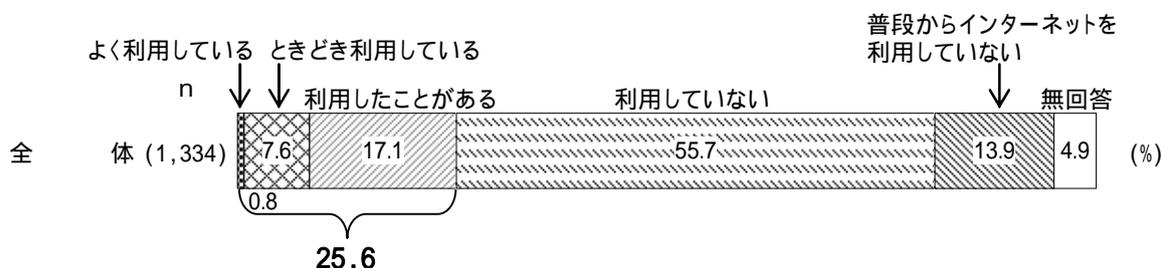


（４）千葉県ホームページの利用頻度

『利用したことがある（計）』が2割台半ば

問42 あなたは、千葉県ホームページを利用していますか。（ は1つ）

<図表8-12>千葉県ホームページの利用頻度

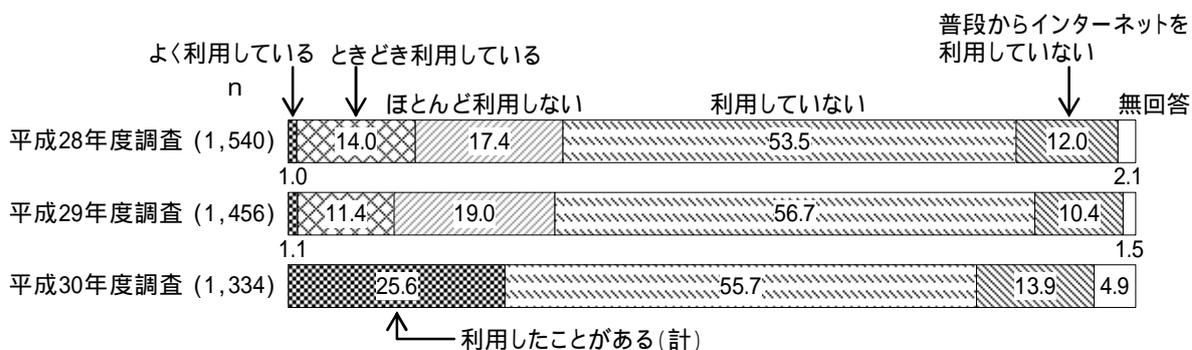


（ ）平成30年度調査から、選択肢「ほとんど利用しない」を、「利用したことがある」に変更した。

千葉県ホームページの利用頻度を聞いたところ、「よく利用している」(0.8%)と「ときどき利用している」(7.6%)、「利用したことがある」(17.1%)の3つを合わせた『利用したことがある(計)』(25.6%)が2割台半ばとなっている。

一方、「利用していない」(55.7%)が5割台半ば、「普段からインターネットを利用していない」(13.9%)は1割台半ばとなっている。(図表8-12)

〔参考〕平成28年度・平成29年度の同様の項目による調査結果との比較（単位：％）



【地域別】

地域別にみると、『利用したことがある（計）』は“千葉地域”(32.3%)が3割を超えて高くなっている。

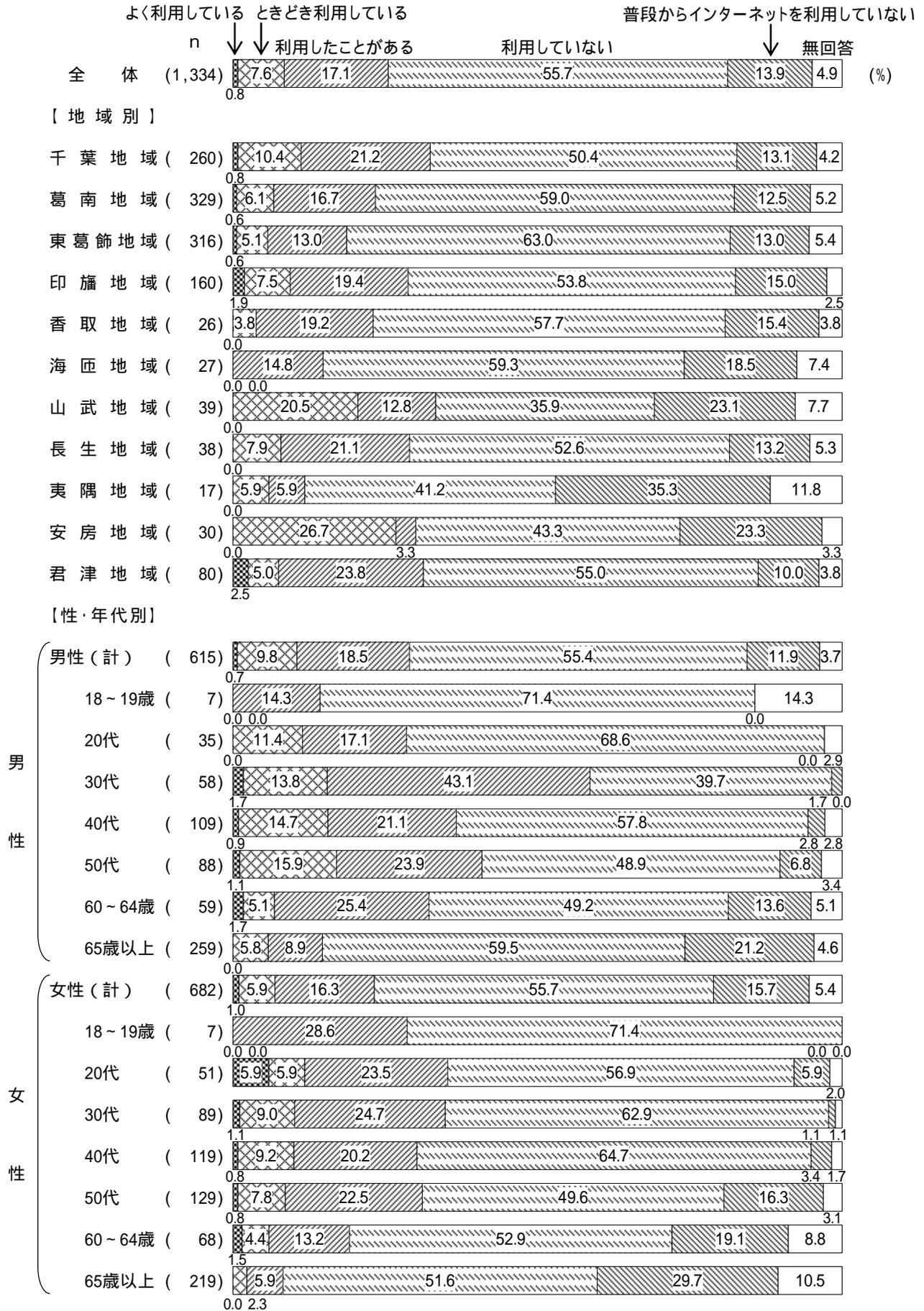
一方、「利用していない」は“東葛飾地域”(63.0%)が6割を超えて高くなっている。

(図表8-13)

【性・年代別】

性・年代別にみると、『利用したことがある（計）』は男性の30代(58.6%)が約6割、男性の50代(40.9%)が4割、男性の40代(36.7%)と女性の30代(34.8%)が3割台半ばで高くなっている。(図表8-13)

<図表8 - 13> 千葉県ホームページの利用頻度 / 地域別、性・年代別



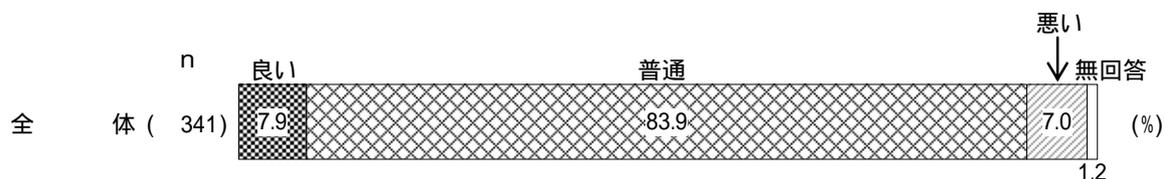
（４－１）千葉県ホームページの見やすさ・使いやすさ

「普通」が8割台半ば

（問42で「よく利用している」、「ときどき利用している」、「利用したことがある」のいずれかをお答えの方に）

問42 - 1 千葉県ホームページの全体構成の見やすさ・使いやすさはいかがですか。（は1つ）

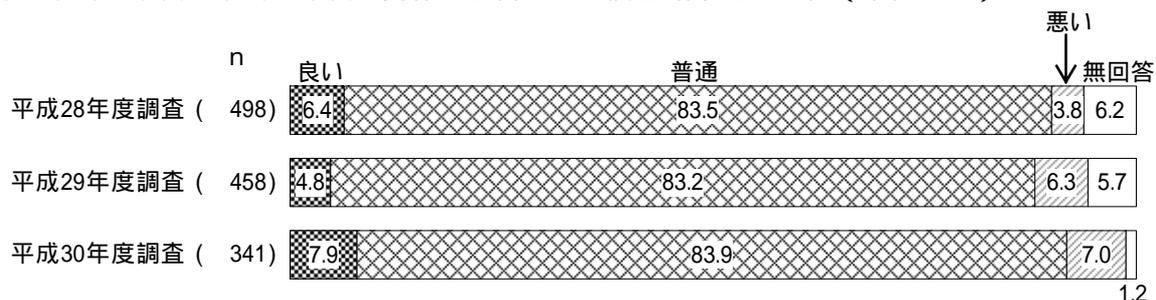
<図表8 - 14> 千葉県ホームページの見やすさ・使いやすさ



千葉県ホームページを「よく利用している」、「ときどき利用している」、「利用したことがある」と回答した341人を対象に、千葉県ホームページの全体構成の見やすさ・使いやすさについて聞いたところ、「良い」(7.9%)が約1割、「普通」(83.9%)が8割台半ばとなっている。

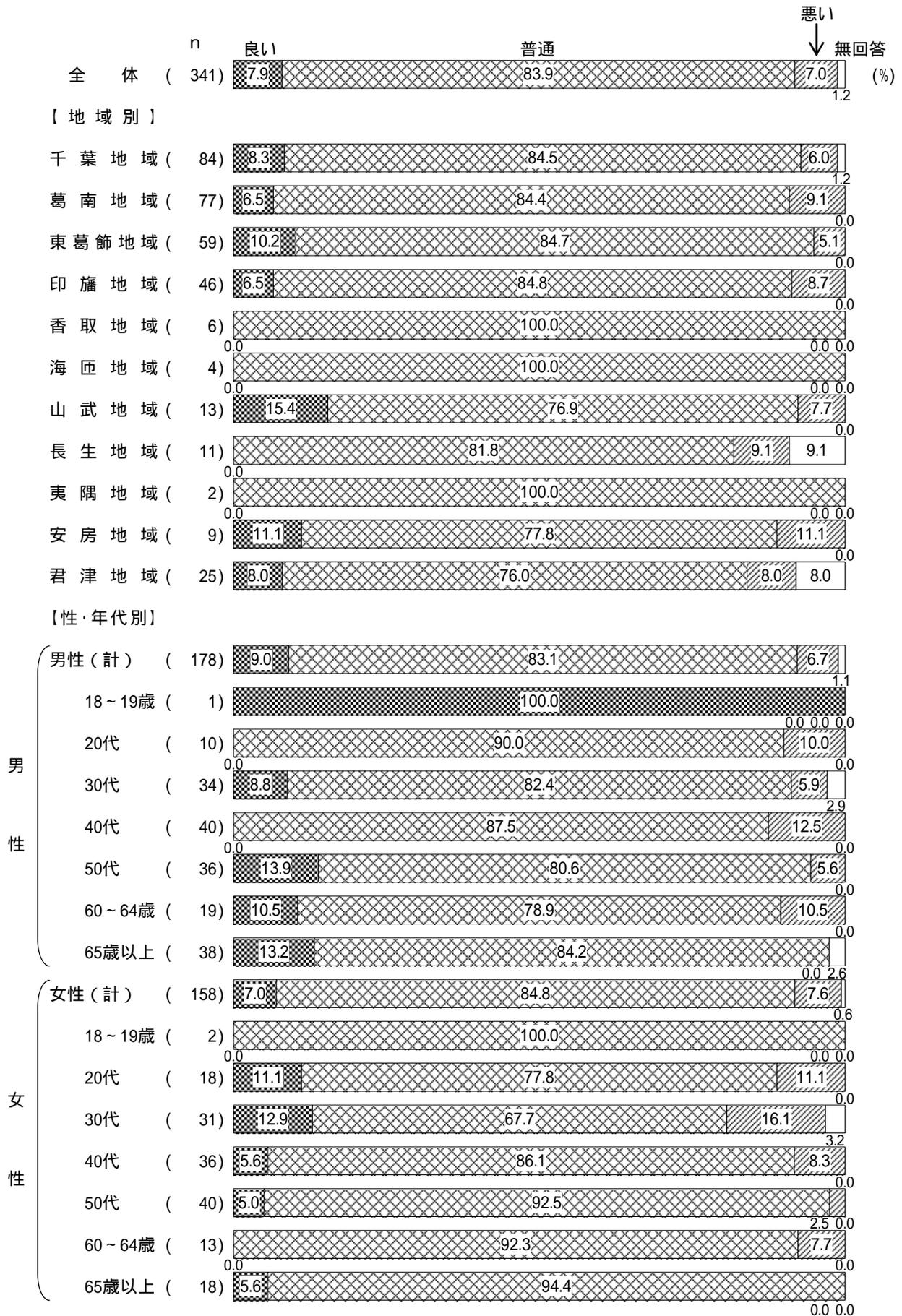
(図表8 - 14)

〔参考〕平成28年度・平成29年度の同様の項目による調査結果との比較（単位：％）



サンプル数が少ない（有意差がない）ため、【地域別】と【性・年代別】における属性の分析は触れていない。（10ページ「報告書の見方（6）」を参照）

<図表8 - 15> 千葉県ホームページの見やすさ・使いやすさ / 地域別、性・年代別

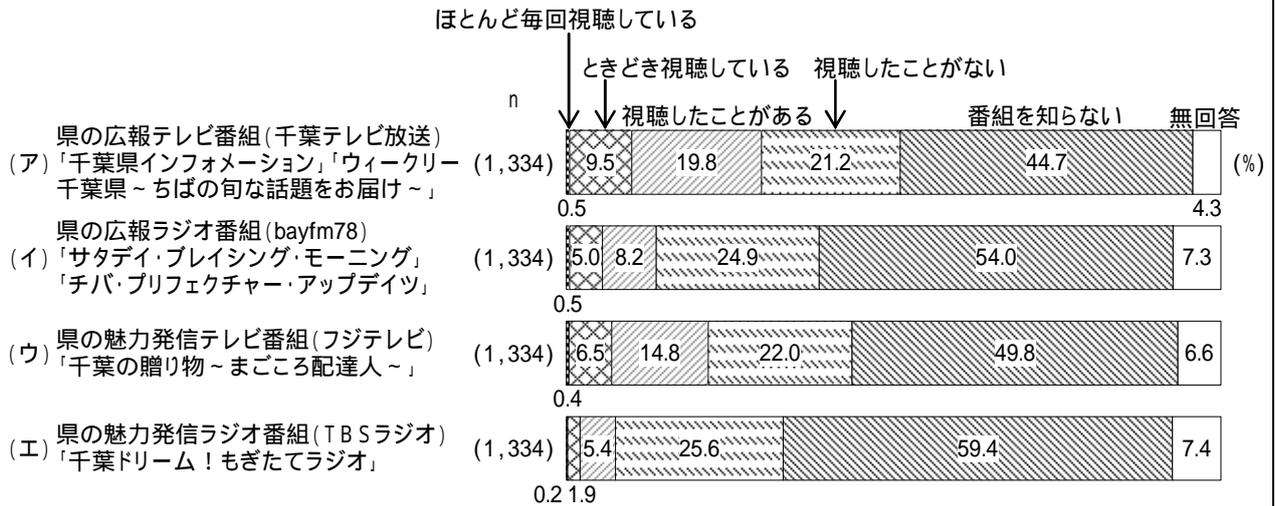


（5）県の広報・魅力発信番組の視聴状況

『視聴したことがある（計）』が最も高いのは 県の広報テレビ番組（千葉テレビ放送）『千葉県インフォメーション』『ウィークリー千葉県～ちばの旬な話題をお届け～』で約3割

問43 県では、県の広報や魅力発信のため、テレビやラジオで様々な番組を放送しています。
あなたは、これらの番組をどの程度ご覧になっていますか。（はそれぞれ1つずつ）

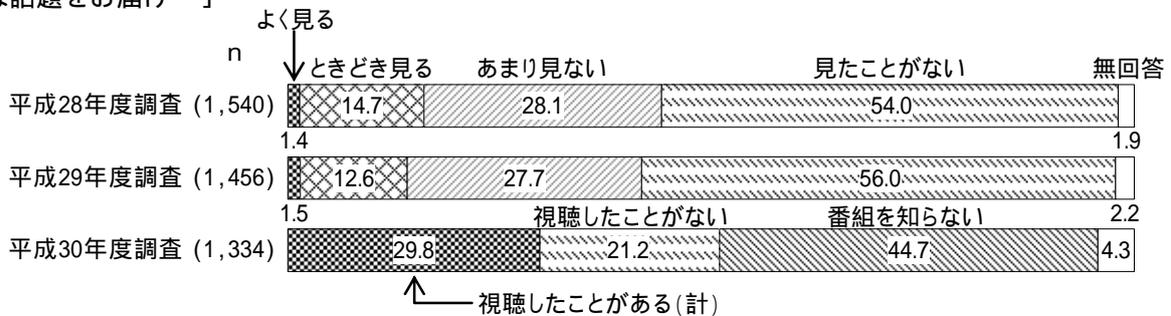
<図表8-16> 県の広報・魅力発信番組の視聴状況



県の4つ広報番組の視聴状況を聞いたところ、「ほとんど毎回視聴している」と「ときどき視聴している」、「視聴したことがある」の3つを合わせた『視聴したことがある（計）』が最も高いのは、「(ア) 県の広報テレビ番組（千葉テレビ放送）『千葉県インフォメーション』『ウィークリー千葉県～ちばの旬な話題をお届け～』」(29.8%)で約3割となっており、以下、「(ウ) 県の魅力発信テレビ番組（フジテレビ）『千葉の贈り物～まごころ配達人～』」(21.7%)が2割を超え、「(イ) 県の広報ラジオ番組(bayfm78)『サタデー・プレイング・モーニング』『チバ・プリフェクチャー・アップデート』」(13.7%)が1割台半ばで続く。(図表8-16)

〔参考〕平成28年度・平成29年度の同様の項目による調査結果との比較（単位：％）

(ア) 県の広報テレビ番組（千葉テレビ放送）『千葉県インフォメーション』『ウィークリー千葉県～ちばの旬な話題をお届け～』



【地域別】

地域別にみると、「(イ)県の広報ラジオ番組(bayfm78)『サタデイ・ブレイシング・モーニング』『チバ・プリフェクチャー・アップデート』」の『視聴したことがある(計)』は“長生地域”(26.3%)が2割台半ばで高くなっている。

「(ウ)県の魅力発信テレビ番組(フジテレビ)『千葉の贈り物～まごころ配達人～』」の『視聴したことがある(計)』は“君津地域”(31.3%)が3割を超えて高くなっている。(図表8-17)

【性・年代別】

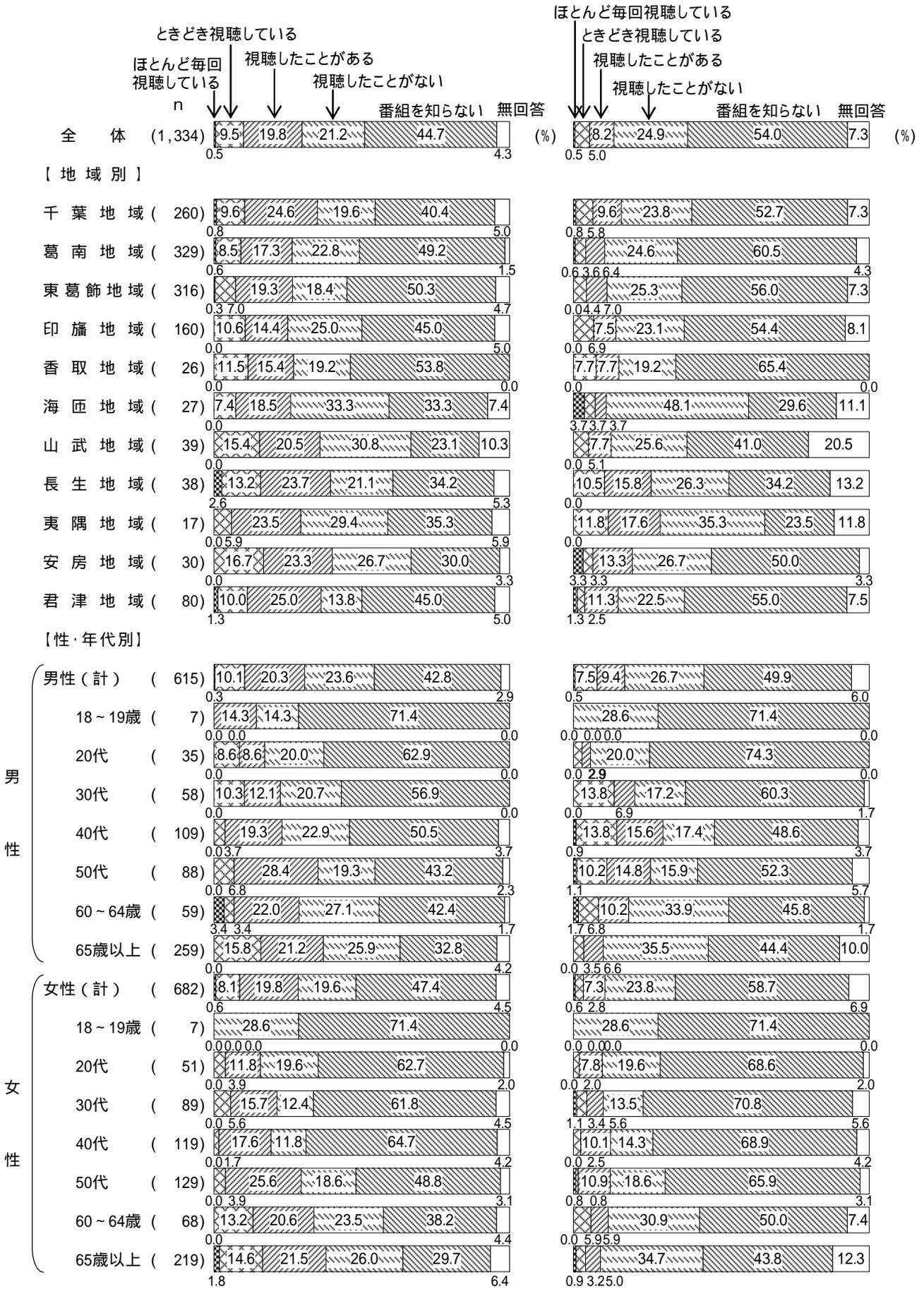
性・年代別にみると、「(ア)県の広報テレビ番組(千葉テレビ放送)『千葉県インフォメーション』『ウィークリー千葉県～ちばの旬な話題をお届け～』」の『視聴したことがある(計)』は男性の65歳以上(37.1%)と女性の65歳以上(37.9%)が約4割で高くなっている。

「(イ)県の広報ラジオ番組(bayfm78)『サタデイ・ブレイシング・モーニング』『チバ・プリフェクチャー・アップデート』」の『視聴したことがある(計)』は男性の40代(30.3%)が3割、男性の50代(26.1%)が2割台半ばで高くなっている。(図表8-17)

<図表8 - 17> 県の広報・魅力発信番組の視聴状況 / 地域別、性・年代別

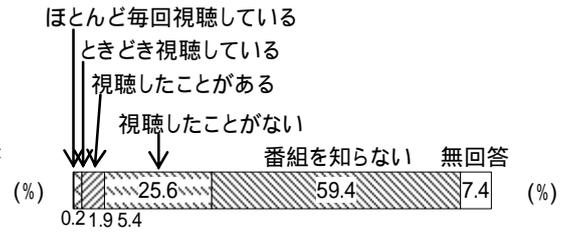
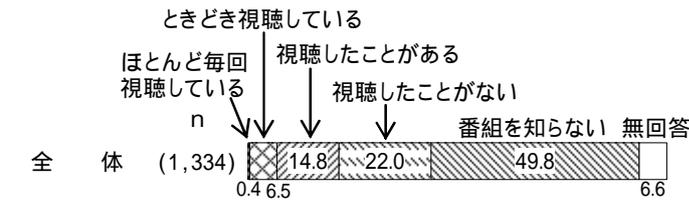
(ア) 県の広報テレビ番組（千葉テレビ放送）

(イ) 県の広報ラジオ番組（bayfm78）

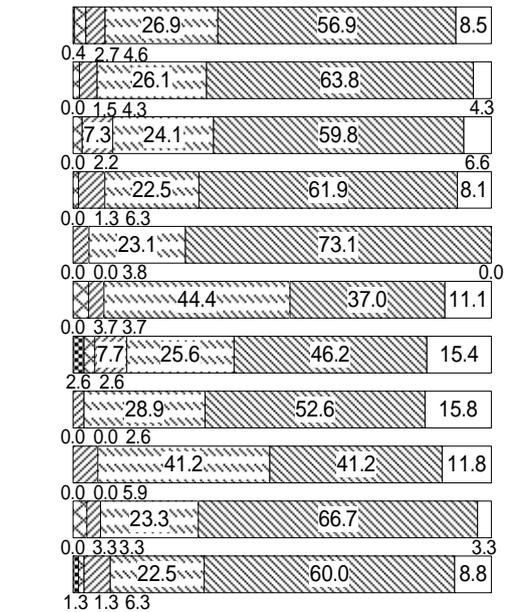
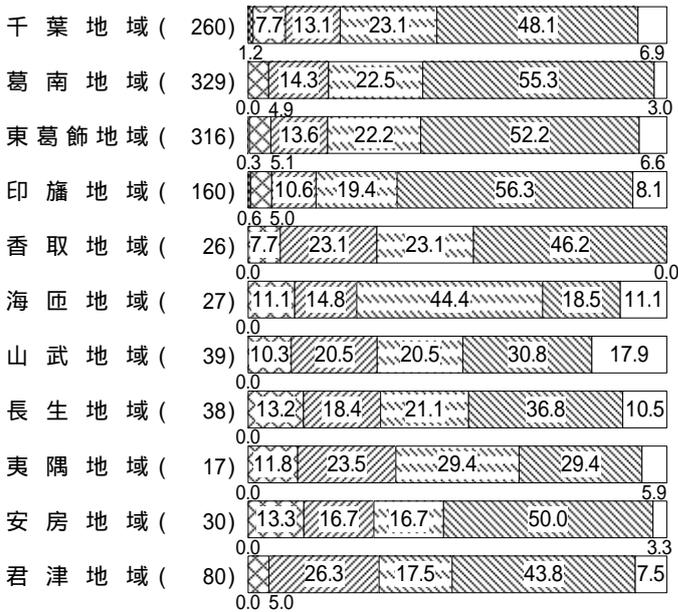


（ウ） 県の魅力発信テレビ番組（フジテレビ）

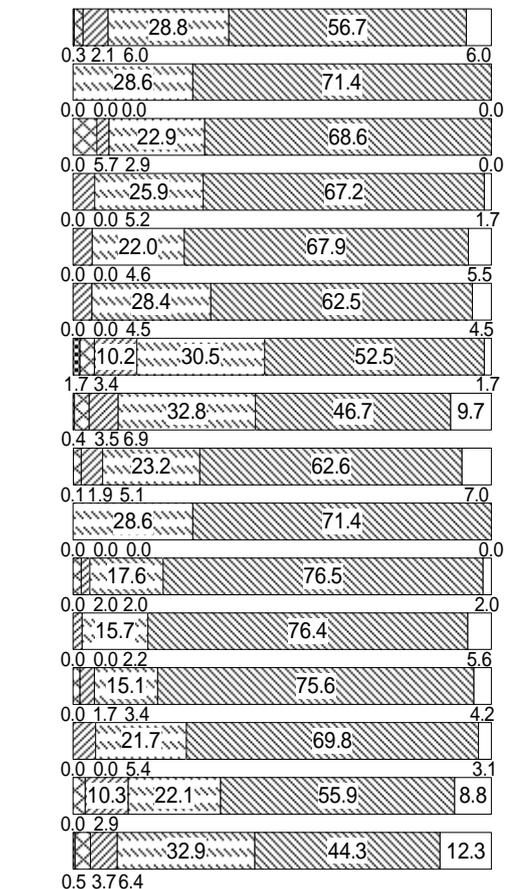
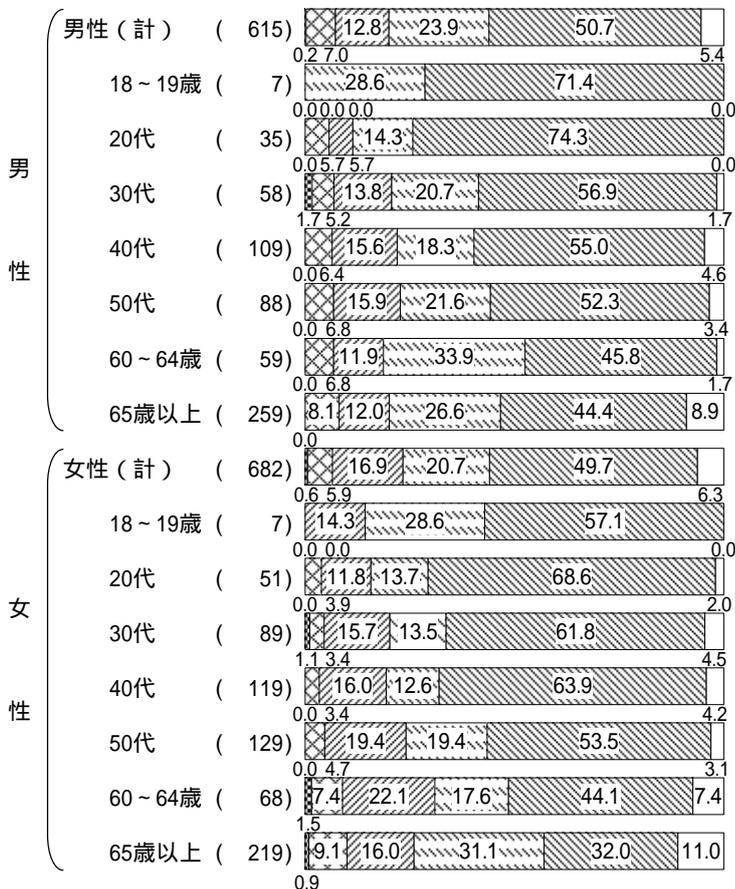
（エ） 県の魅力発信ラジオ番組（TBSラジオ）



【地域別】



【性・年代別】

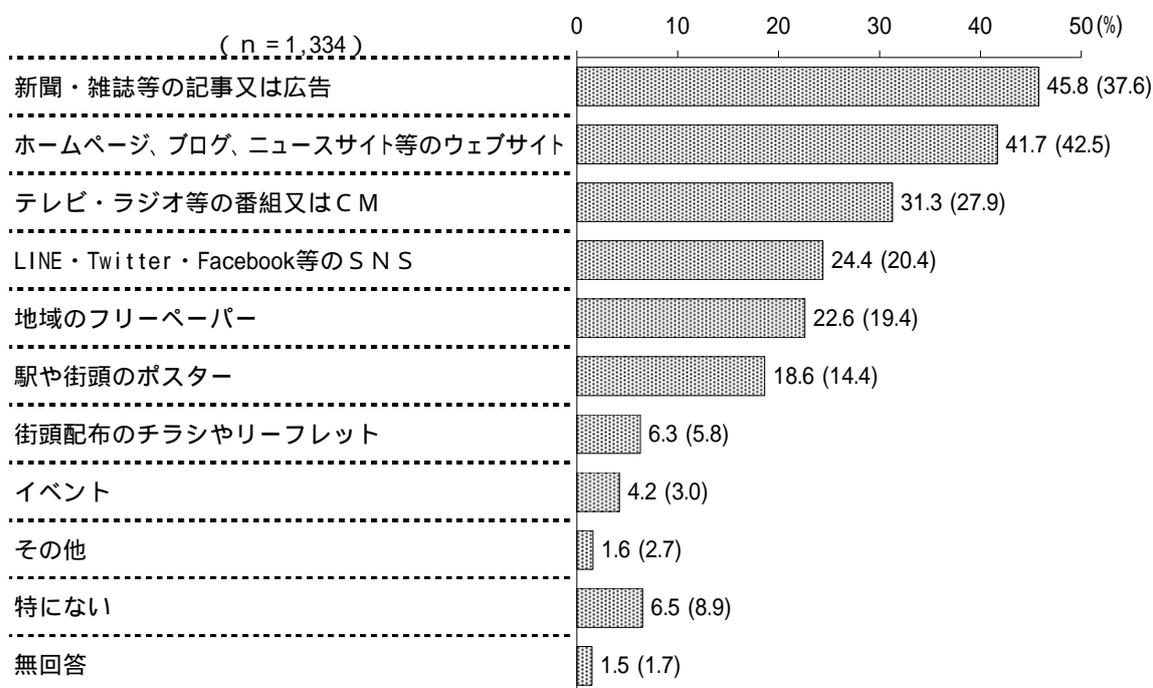


（6）情報の入手媒体

「新聞・雑誌等の記事又は広告」が4割台半ば

問44 あなたは、観光や食事、レジャーなどをする上で、どのような媒体を通じて情報収集をしていますか。（はいくつでも）

<図表8 - 18> 情報の入手媒体（複数回答）



注) () の数字は平成29年度の同様の項目による調査結果 n = 1,456

観光や食事、レジャーなどをする上で、どのような媒体を通じて情報収集をしているか聞いたところ、「新聞・雑誌等の記事又は広告」(45.8%)が4割台半ばで最も高く、以下、「ホームページ、ブログ、ニュースサイト等のウェブサイト」(41.7%)、「テレビ・ラジオ等の番組又はCM」(31.3%)、「LINE・Twitter・Facebook等のSNS」(24.4%)、「地域のフリーペーパー」(22.6%)が続く。

(図表8 - 18)

【地域別】

地域別にみると、「ホームページ、ブログ、ニュースサイト等のウェブサイト」は“葛南地域”(48.9%)が約5割で高くなっている。(図表8 - 19)

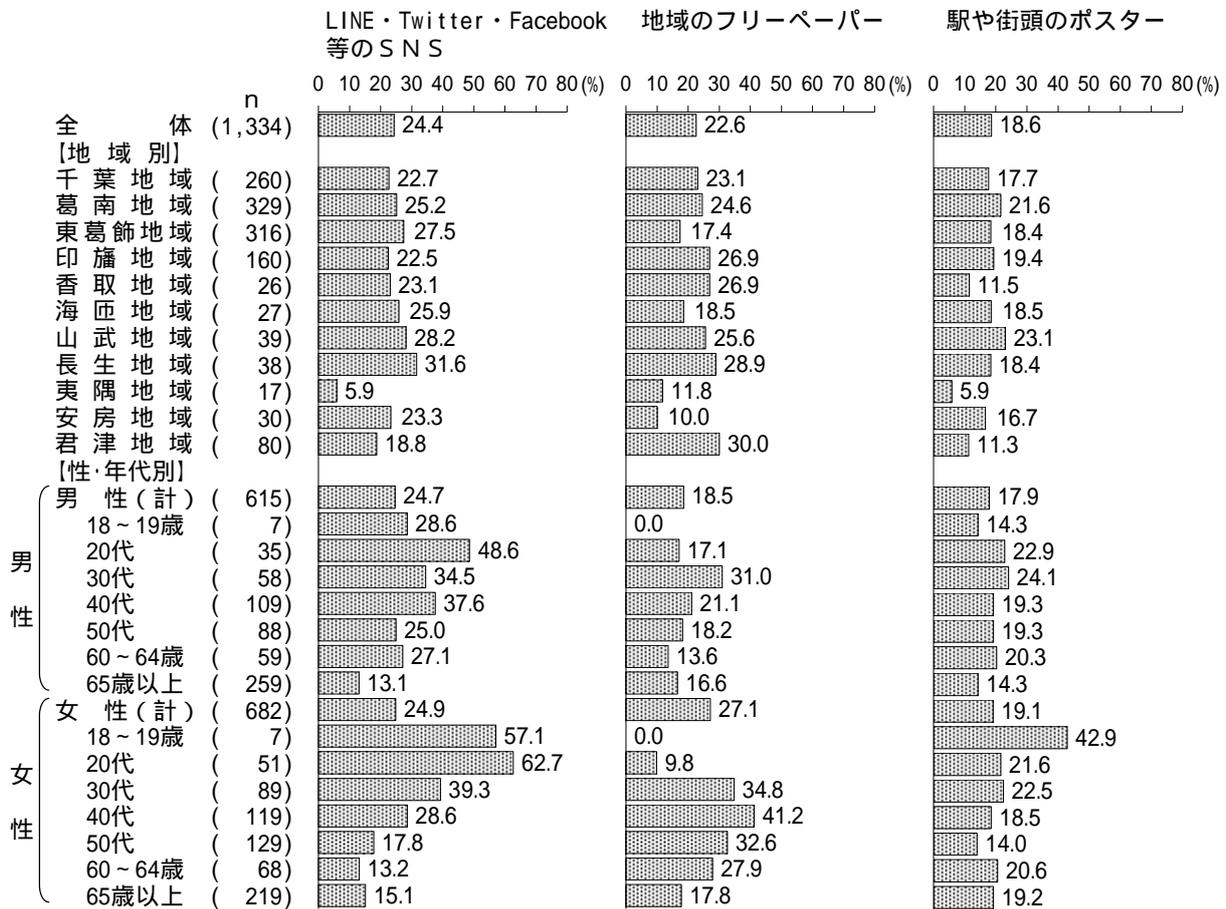
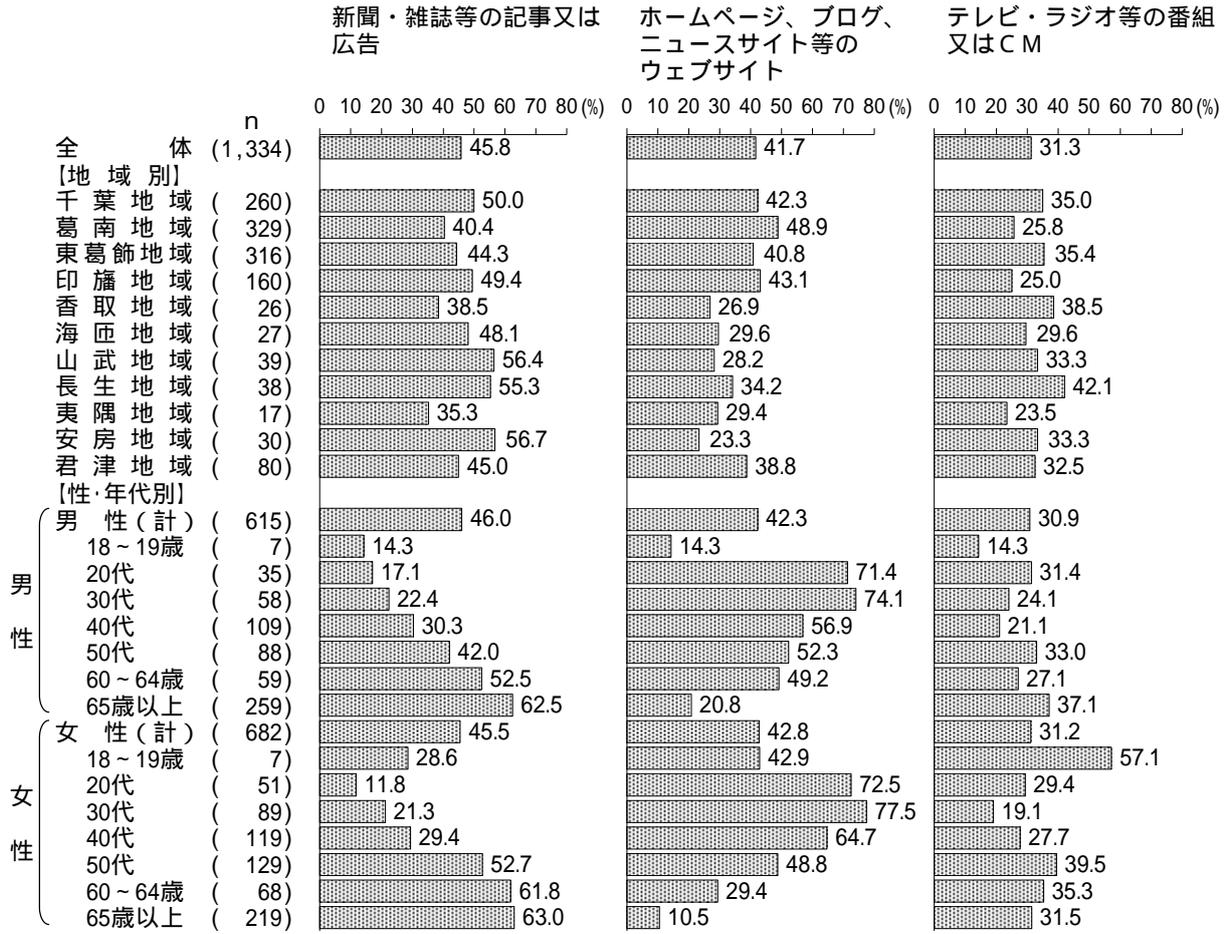
【性・年代別】

性・年代別にみると、「新聞・雑誌等の記事又は広告」は男性の65歳以上(62.5%)、女性の60～64歳(61.8%)、女性の65歳以上(63.0%)が6割を超えて高くなっている。

「ホームページ、ブログ、ニュースサイト等のウェブサイト」は女性の30代(77.5%)が約8割、男性の30代(74.1%)が7割台半ば、男性の20代(71.4%)と女性の20代(72.5%)が7割を超えて高くなっている。

「LINE・Twitter・Facebook等のSNS」は女性の20代(62.7%)が6割を超え、男性の20代(48.6%)が約5割で高くなっている。(図表8 - 19)

<図表8 - 19> 情報の入手媒体（複数回答） / 地域別、性・年代別（上位6項目）



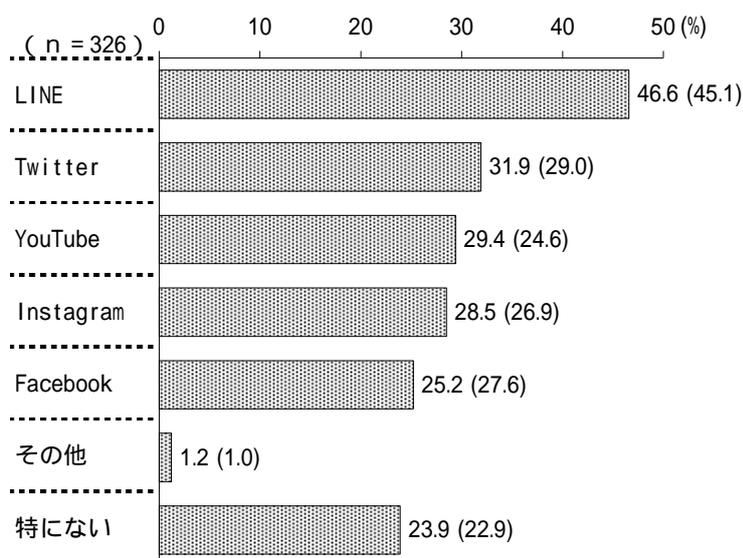
（6 - 1）SNSの種類

「LINE」が4割台半ば

（問44で「LINE・Twitter・Facebook等のSNS」をお答えの方に）

問44 - 1 どのようなSNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）を利用して情報収集をしていますか。（はいくつでも）

<図表 8 - 20> SNSの種類（複数回答）



注) () の数字は平成 29 年度の同様の項目による調査結果 n = 297

情報の入手媒体で「LINE・Twitter・Facebook等のSNS」と回答した326人を対象に、利用しているSNSの種類を聞いたところ、「LINE」(46.6%)が4割台半ばで最も高く、以下、「Twitter」(31.9%)、「YouTube」(29.4%)、「Instagram」(28.5%)、「Facebook」(25.2%)が続く。(図表 8 - 20)

【地域別】

地域別にみると、大きな傾向の違いはみられない。(図表 8 - 21)

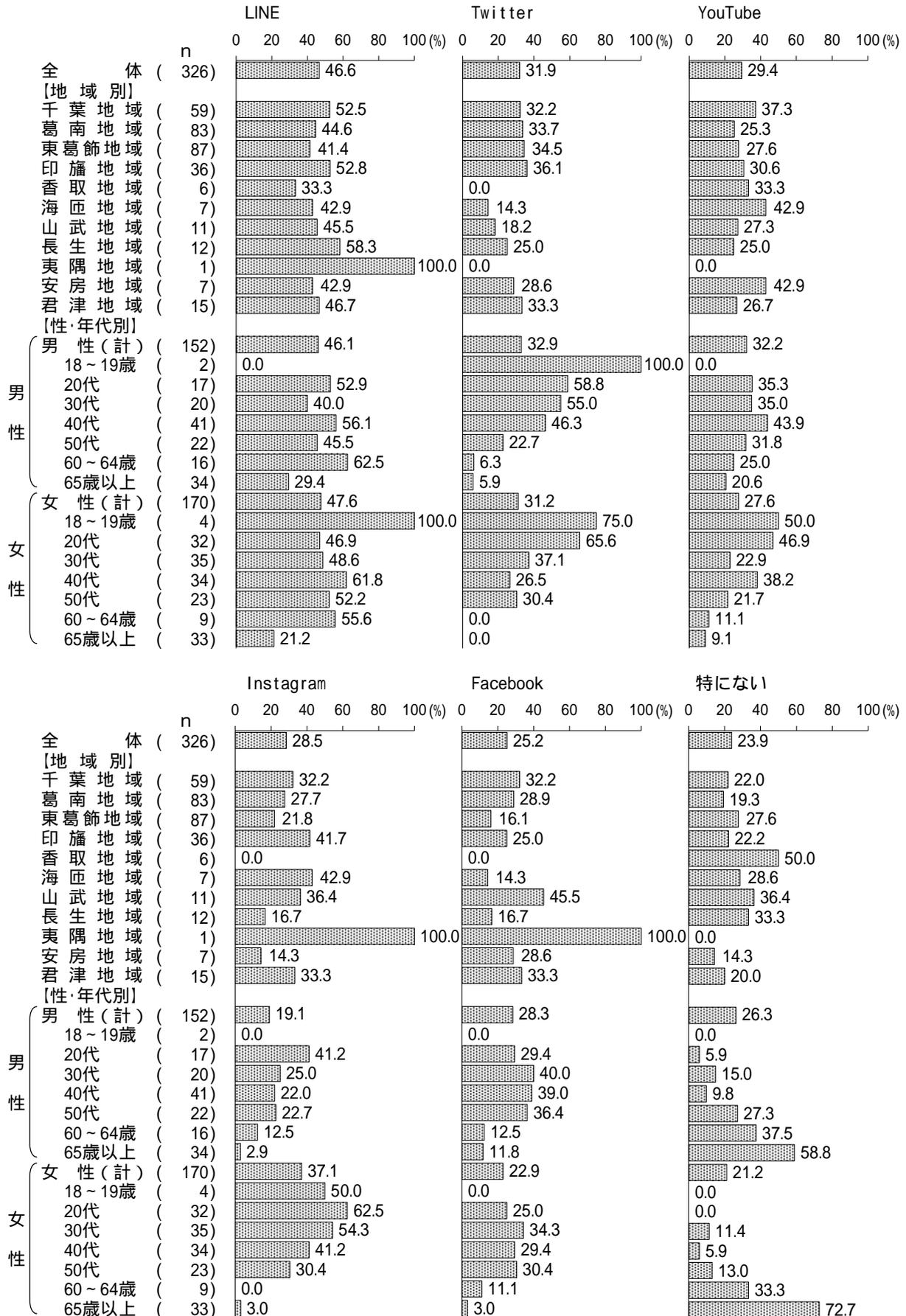
【性・年代別】

性・年代別にみると、「Twitter」は女性の20代(65.6%)が6割台半ばで高くなっている。

「YouTube」は男性の40代(43.9%)と女性の20代(46.9%)が4割台半ばで高くなっている。

「Instagram」は女性の20代(62.5%)が6割を超え、女性の30代(54.3%)が5割台半ばで高くなっている。(図表 8 - 21)

<図表8 - 21> SNSの種類（複数回答） / 地域別、性・年代別（上位6項目）

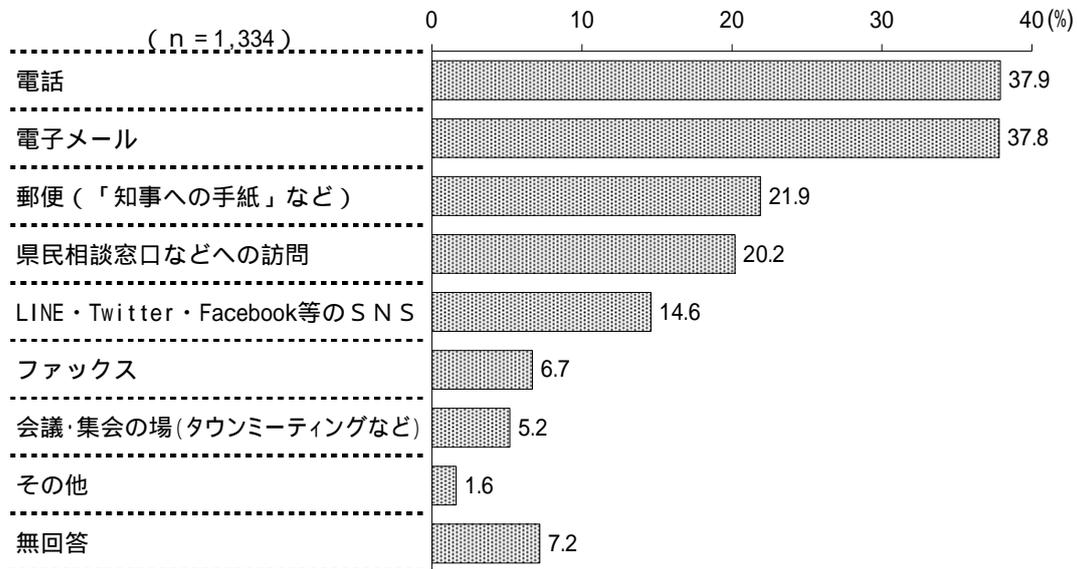


（7）県政への意見を述べる方法

「電話」と「電子メール」が約4割

問45 あなたは、県に対して意見（要望や相談、苦情など）を述べる場合、どのような方法で県に対するご意見を述べたいと思いますか。（は3つまで）

<図表8-22> 県政への意見を述べる方法（3つまでの複数回答）



県に対して意見（要望や相談、苦情など）を述べる場合、どのような方法で意見を述べたいか3つまで選んでもらったところ、「電話」（37.9%）と「電子メール」（37.8%）が約4割で最も高く、以下、「郵便（『知事への手紙』など）」（21.9%）、「県民相談窓口などへの訪問」（20.2%）、「LINE・Twitter・Facebook等のSNS」（14.6%）、「ファックス」（6.7%）が続く。（図表8-22）

【地域別】

地域別にみると、「電子メール」は“葛南地域”（47.1%）が約5割で高くなっている。

「郵便（『知事への手紙』など）」は“海匠地域”（48.1%）が約5割で高くなっている。

（図表8-23）

【性・年代別】

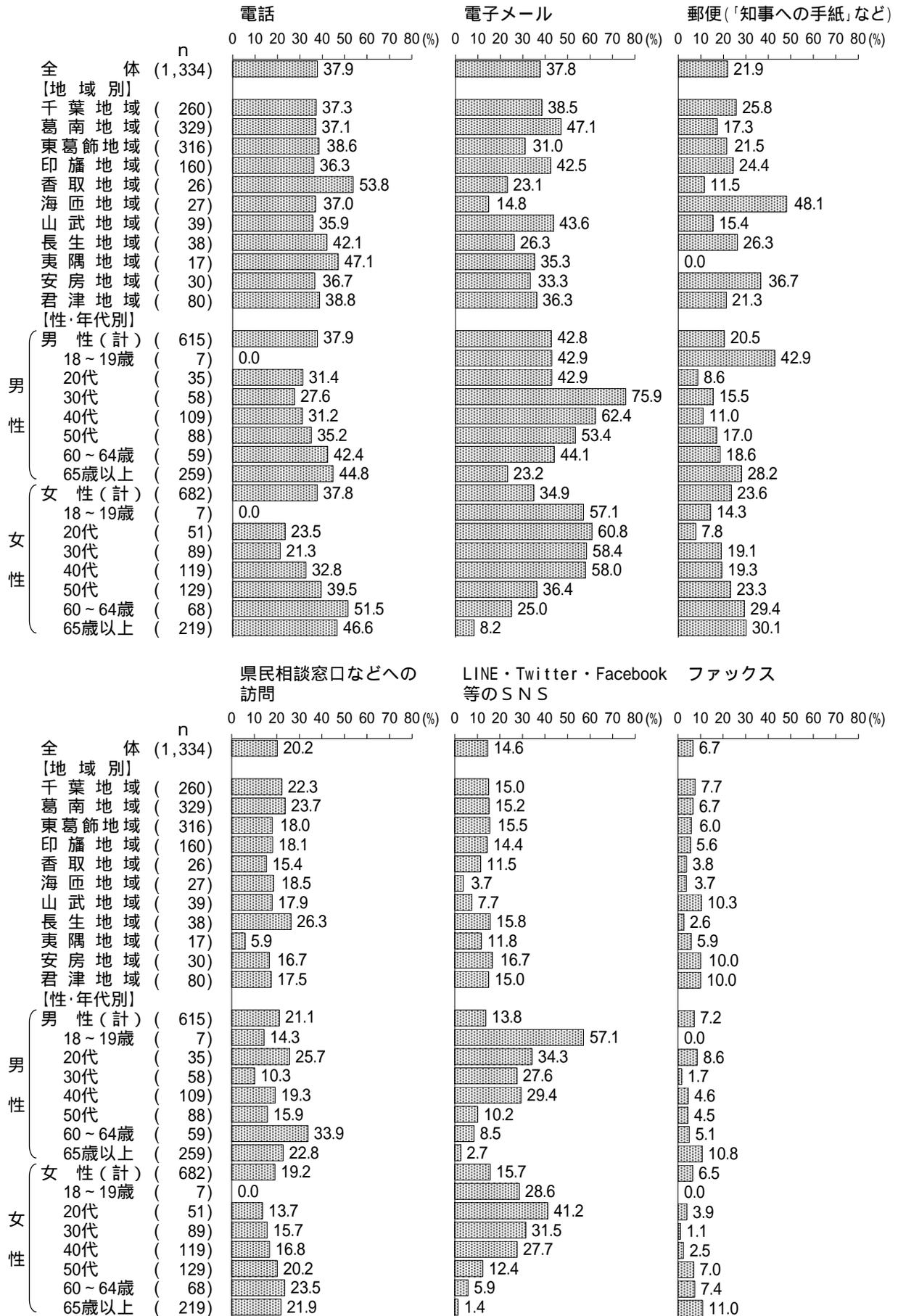
性・年代別にみると、「電話」は女性の60～64歳（51.5%）が5割を超え、男性の65歳以上（44.8%）と女性の65歳以上（46.6%）が4割台半ばで高くなっている。

「電子メール」は男性の30代（75.9%）が7割台半ば、男性の40代（62.4%）が6割を超え、女性の20代（60.8%）が6割で高くなっている。

「県民相談窓口などへの訪問」は男性の60～64歳（33.9%）が3割台半ばで高くなっている。

「LINE・Twitter・Facebook等のSNS」は女性の20代（41.2%）が4割を超え、男性の20代（34.3%）が3割台半ば、女性の30代（31.5%）が3割を超えて高くなっている。（図表8-23）

<図表8 - 23> 県政への意見を述べる方法（3つまでの複数回答） / 地域別、性・年代別（上位6項目）



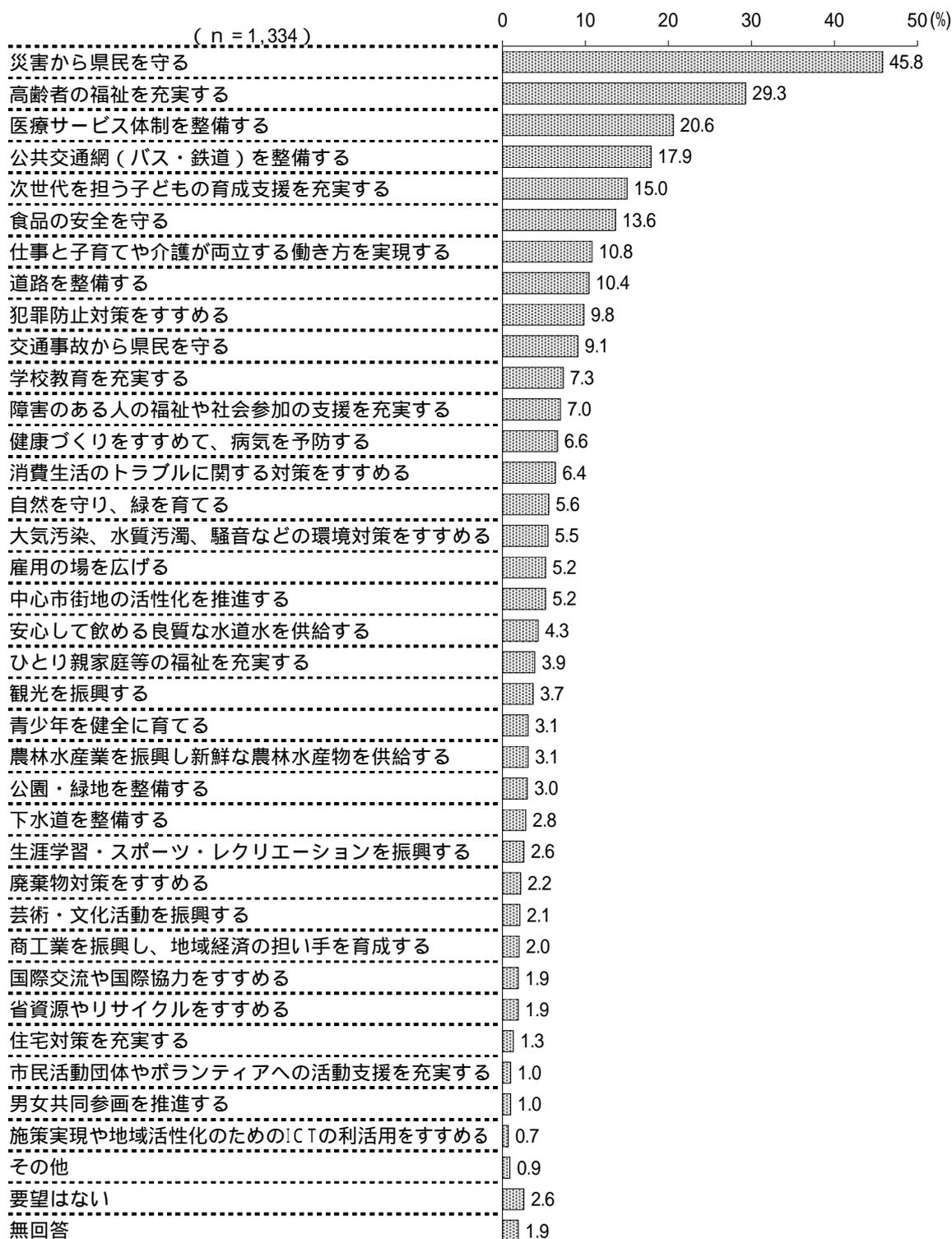
9 県政への要望

（1）県政への要望

「災害から県民を守る」が4割台半ば

問46 県政全般について、今後あなたが特に力をいれてほしいと思われることを、次の県政への要望項目の中から3つまで選んで番号にをつけてください。

<図表9-1> 県政への要望（3つまでの複数回答）



県政への要望を3つまで選んでもらったところ、「災害から県民を守る」（45.8%）が1位で、次いで「高齢者の福祉を充実する」（29.3%）が2位となっており、県民からの要望が特に高い。

以下、「医療サービス体制を整備する」（20.6%）が3位、「公共交通網（バス・鉄道）を整備する」（17.9%）が4位、「次世代を担う子どもの育成支援を充実する」（15.0%）が5位と続く。

（図表9 - 1）

【地域別】

地域別にみると、「災害から県民を守る」は“海匝地域”以外のすべての地域で同率も含めて1位となっている。

「高齢者の福祉を充実する」は“香取地域”、“海匝地域”、“安房地域”で同率も含めて1位となっている。

「医療サービス体制を整備する」は“香取地域”で同率も含めて1位、“海匝地域”で2位、“千葉地域”、“葛南地域”、“東葛飾地域”、“山武地域”で3位となっている。

（図表9 - 3 ~ 図表9 - 4）

【性別、性・年代別】

性別にみると、男女ともに上位4位までは「災害から県民を守る」、「高齢者の福祉を充実する」、「医療サービス体制を整備する」、「公共交通網（バス・鉄道）を整備する」の順となっている。

性・年代別にみると、「災害から県民を守る」は男性の65歳以上を除くすべての性・年代で同率も含めて1位となっている。

「高齢者の福祉を充実する」は男性の65歳以上と女性の60～64歳で同率も含めて1位となっている。（図表9 - 5 ~ 9 - 6）

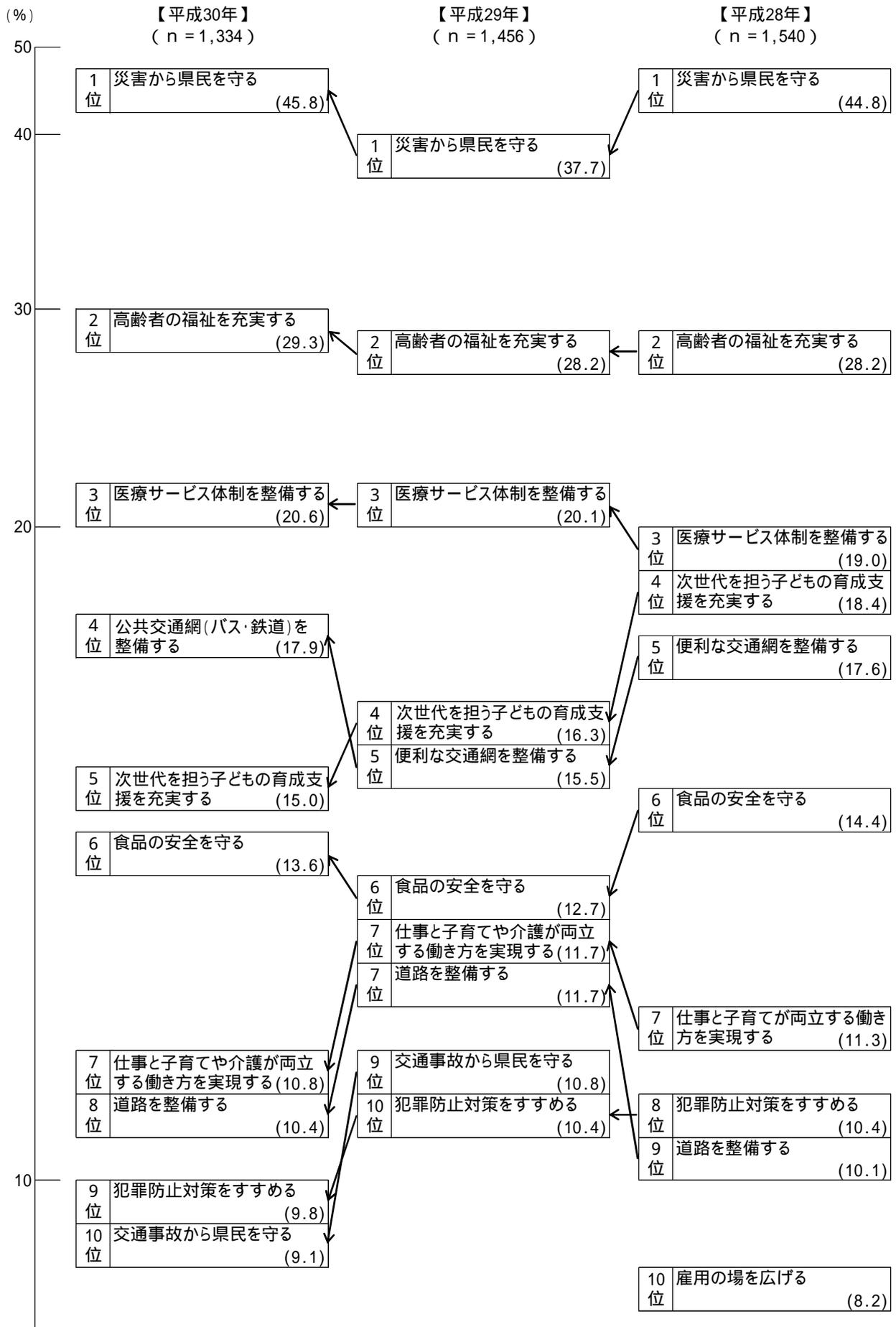
【参考】平成28年以降の同様の項目による調査結果との比較（上位10項目の推移）（図表9 - 2）

【経年変化の特徴】

1. 「災害から県民を守る」は平成29年度（37.7%）に引き続き1位（45.8%）で、8.1ポイント増加している。
2. 「高齢者の福祉を充実する」は平成29年度（28.2%）に引き続き2位（29.3%）、「医療サービス体制を整備する」は平成29年度（20.1%）に引き続き3位（20.6%）となっている。
3. 「公共交通網（バス・鉄道）を整備する」は平成29年度の5位（15.5%）から4位（17.9%）へ順位を上げている。一方、「次世代を担う子どもの育成支援を充実する」は平成29年度の4位（16.3%）から5位（15.0%）へ順位を下げている。
4. 「食品の安全を守る」は平成29年度（12.7%）に引き続き6位（13.6%）、「仕事と子育てや介護が両立する働き方を実現する」は平成29年度（11.7%）に引き続き7位（10.8%）となっている。

（ ）平成29年度までは「便利な交通網を整備する」で調査を実施。

<図表9 - 2> 県政への要望（3つまでの複数回答） / 上位10項目の推移



<図表9 - 3> 県政への要望（3つまでの複数回答）（上位1位～5位） / 地域別

属性		順位	n	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位
全 体			1,334	災害から県民を守る (45.8)	高齢者の福祉を充実する (29.3)	医療サービス体制を整備する (20.6)	公共交通網(バス・鉄道)を整備する (17.9)	次世代を担う子どもの育成支援を充実する (15.0)
【地 域 別】								
千 葉 地 域	260		災害から県民を守る (50.4)	高齢者の福祉を充実する (32.7)	医療サービス体制を整備する (21.5)	食品の安全を守る (15.4)	次世代を担う子どもの育成支援を充実する (14.6)	
葛 南 地 域	329		災害から県民を守る (47.7)	高齢者の福祉を充実する (27.1)	医療サービス体制を整備する (23.4)	公共交通網(バス・鉄道)を整備する (17.9)	仕事と子育てや介護が両立する働き方を実現する (14.3)	
東 葛 飾 地 域	316		災害から県民を守る (45.6)	高齢者の福祉を充実する (28.2)	医療サービス体制を整備する (19.0)	公共交通網(バス・鉄道)を整備する (17.4)	食品の安全を守る (15.2)	
印 旛 地 域	160		災害から県民を守る (45.0)	高齢者の福祉を充実する (31.3)	公共交通網(バス・鉄道)を整備する (26.3)	次世代を担う子どもの育成支援を充実する (20.0)	医療サービス体制を整備する (16.9)	
香 取 地 域	26		災害から県民を守る/高齢者の福祉を充実する/医療サービス体制を整備する (38.5)			公共交通網(バス・鉄道)を整備する (26.9)	次世代を担う子どもの育成支援を充実する (23.1)	
海 匝 地 域	27		高齢者の福祉を充実する (37.0)	医療サービス体制を整備する (25.9)	災害から県民を守る (18.5)	公共交通網(バス・鉄道)を整備する/障害のある人の福祉や社会参加の支援を充実する (14.8)		
山 武 地 域	39		災害から県民を守る (43.6)	高齢者の福祉を充実する (30.8)	医療サービス体制を整備する (28.2)	食品の安全を守る (17.9)	公共交通網(バス・鉄道)を整備する/健康づくりをすすめて、病気を予防する (12.8)	
長 生 地 域	38		災害から県民を守る (50.0)	高齢者の福祉を充実する (31.6)	公共交通網(バス・鉄道)を整備する (21.1)	医療サービス体制を整備する (18.4)	次世代を担う子どもの育成支援を充実する/消費生活のトラブルに関する対策をすすめる (13.2)	
夷 隅 地 域	17		災害から県民を守る (29.4)	食品の安全を守る/道路を整備する (23.5)		高齢者の福祉を充実する/次世代を担う子どもの育成支援を充実する/雇用の場を広げる/観光を振興する (17.6)		
安 房 地 域	30		災害から県民を守る/高齢者の福祉を充実する (33.3)		雇用の場を広げる (20.0)	医療サービス体制を整備する/公共交通網(バス・鉄道)を整備する/次世代を担う子どもの育成支援を充実する/道路を整備する (16.7)		
君 津 地 域	80		災害から県民を守る (43.8)	高齢者の福祉を充実する (23.8)	次世代を担う子どもの育成支援を充実する (20.0)	公共交通網(バス・鉄道)を整備する (18.8)	医療サービス体制を整備する (16.3)	

< 図表9 - 4 > 県政への要望（3つまでの複数回答）（上位6位～10位） / 地域別

属性		順位	n	6 位	7 位	8 位	9 位	10 位
全 体			1,334	食品の安全を守る (13.6)	仕事と子育てや介護が両立する働き方を実現する (10.8)	道路を整備する (10.4)	犯罪防止対策をすすめる (9.8)	交通事故から県民を守る (9.1)
【地域別】								
千葉地域			260	公共交通網(バス・鉄道)を整備する (13.8)	仕事と子育てや介護が両立する働き方を実現する/学校教育を充実する (8.8)	交通事故から県民を守る/障害のある人の福祉や社会参加の支援を充実する (8.5)		
葛南地域			329	犯罪防止対策をすすめる (13.7)	次世代を担う子どもの育成支援を充実する (13.1)	食品の安全を守る (12.8)	道路を整備する (11.6)	交通事故から県民を守る (10.3)
東葛飾地域			316	次世代を担う子どもの育成支援を充実する (14.2)	交通事故から県民を守る (11.7)	道路を整備する (11.4)	犯罪防止対策をすすめる (10.8)	仕事と子育てや介護が両立する働き方を実現する (9.5)
印旛地域			160	仕事と子育てや介護が両立する働き方を実現する (14.4)	障害のある人の福祉や社会参加の支援を充実する (11.9)	道路を整備する (11.3)	食品の安全を守る (10.0)	犯罪防止対策をすすめる/学校教育を充実する/健康づくりをすすめて、病気を予防する (7.5)
香取地域			26	仕事と子育てや介護が両立する働き方を実現する/道路を整備する/雇用の場を広げる/商工業を振興し、地域経済の担い手を育成する (11.5)			食品の安全を守る/交通事故から県民を守る/施策実現や地域活性化のためのICTの活用をすすめる (7.7)	
海匝地域			27	次世代を担う子どもの育成支援を充実する/道路を整備する/中心市街地の活性化を推進する/観光を振興する (11.1)			同率で10項目(7.4) (注)作表の便宜上 下部に注釈で示す	
山武地域			39	-	仕事と子育てや介護が両立する働き方を実現する/道路を整備する/学校教育を充実する/消費生活のトラブルに関する対策をすすめる/ひとり親家庭等の福祉を充実する/青少年を健全に育てる (7.7)			
長生地域			38	-	食品の安全を守る/犯罪防止対策をすすめる (10.5)			
夷隅地域			17	-	医療サービス体制を整備する/犯罪防止対策をすすめる/安心して飲める良質な水道水を供給する/農林水産業を振興し新鮮な農林水産物を供給する/商工業を振興し、地域経済の担い手を育成する (11.8)			
安房地域			30	-	健康づくりをすすめて、病気を予防する (13.3)		食品の安全を守る/観光を振興する/農林水産業を振興し新鮮な農林水産物を供給する/生涯学習・スポーツ・レクリエーションを振興する (10.0)	
君津地域			80	食品の安全を守る/大気汚染、水質汚濁、騒音などの環境対策をすすめる (13.8)		学校教育を充実する (12.5)	犯罪防止対策をすすめる (11.3)	仕事と子育てや介護が両立する働き方を実現する/道路を整備する/自然を守り、緑を育てる (10.0)

注) 海匝地域の同率10位の10項目は下記の通り。

「仕事と子育てや介護が両立する働き方を実現する/犯罪防止対策をすすめる/交通事故から県民を守る/健康づくりをすすめて、病気を予防する/自然を守り、緑を育てる/雇用の場を広げる/安心して飲める良質な水道水を供給する/ひとり親家庭等の福祉を充実する/公園・緑地を整備する/下水道を整備する」

<図表9 - 5> 県政への要望（3つまでの複数回答）（上位1位～5位）/ 性別、性・年代別

順位		属性					(%)
属性	n	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位	
全 体	1,334	災害から県民を守る (45.8)	高齢者の福祉を充実する (29.3)	医療サービス体制を整備する (20.6)	公共交通網(バス・鉄道)を整備する (17.9)	次世代を担う子どもの育成支援を充実する (15.0)	
【性・年代別】							
男性(計)	615	災害から県民を守る (45.9)	高齢者の福祉を充実する (29.9)	医療サービス体制を整備する (20.7)	公共交通網(バス・鉄道)を整備する (15.1)	道路を整備する (13.0)	
18～19歳	7	災害から県民を守る (42.9)	医療サービス体制を整備する/食品の安全を守る/交通事故から県民を守る/自然を守り、緑を育てる/雇用の場を広げる/中心市街地の活性化を推進する/廃棄物対策をすすめる/芸術・文化活動を振興する/男女共同参画を推進する (14.3)				
20 代	35	災害から県民を守る (34.3)	公共交通網(バス・鉄道)を整備する (28.6)	次世代を担う子どもの育成支援を充実する (22.9)	医療サービス体制を整備する/障害のある人の福祉や社会参加の支援を充実する (17.1)		
30 代	58	災害から県民を守る (48.3)	次世代を担う子どもの育成支援を充実する (22.4)	仕事と子育てや介護が両立する働き方を実現する (17.2)	道路を整備する (15.5)	公共交通網(バス・鉄道)を整備する/食品の安全を守る (13.8)	
40 代	109	災害から県民を守る (42.2)	医療サービス体制を整備する/公共交通網(バス・鉄道)を整備する (17.4)		高齢者の福祉を充実する (16.5)	次世代を担う子どもの育成支援を充実する (15.6)	
50 代	88	災害から県民を守る (50.0)	医療サービス体制を整備する (26.1)	高齢者の福祉を充実する (22.7)	道路を整備する (15.9)	食品の安全を守る (13.6)	
60～64歳	59	災害から県民を守る (54.2)	高齢者の福祉を充実する (30.5)	食品の安全を守る (25.4)	医療サービス体制を整備する (22.0)	道路を整備する (18.6)	
65歳以上	259	高齢者の福祉を充実する (46.3)	災害から県民を守る (45.2)	医療サービス体制を整備する (23.2)	公共交通網(バス・鉄道)を整備する (14.7)	食品の安全を守る (11.2)	
女性(計)	682	災害から県民を守る (46.0)	高齢者の福祉を充実する (29.0)	医療サービス体制を整備する (21.6)	公共交通網(バス・鉄道)を整備する (21.0)	次世代を担う子どもの育成支援を充実する (18.2)	
18～19歳	7	災害から県民を守る/公共交通網(バス・鉄道)を整備する/食品の安全を守る/仕事と子育てや介護が両立する働き方を実現する (28.6)				同率で7項目(14.3) (注)作表の便宜上6位～10位の欄に示す	
20 代	51	災害から県民を守る (47.1)	公共交通網(バス・鉄道)を整備する (41.2)	仕事と子育てや介護が両立する働き方を実現する (39.2)	次世代を担う子どもの育成支援を充実する (25.5)	学校教育を充実する (17.6)	
30 代	89	災害から県民を守る (49.4)	次世代を担う子どもの育成支援を充実する (41.6)	仕事と子育てや介護が両立する働き方を実現する (28.1)	学校教育を充実する (20.2)	医療サービス体制を整備する (18.0)	
40 代	119	災害から県民を守る (41.2)	高齢者の福祉を充実する (26.9)	医療サービス体制を整備する (22.7)	次世代を担う子どもの育成支援を充実する (21.8)	仕事と子育てや介護が両立する働き方を実現する (17.6)	
50 代	129	災害から県民を守る (48.8)	高齢者の福祉を充実する (31.8)	医療サービス体制を整備する (28.7)	公共交通網(バス・鉄道)を整備する (20.9)	犯罪防止対策をすすめる (14.7)	
60～64歳	68	災害から県民を守る/高齢者の福祉を充実する (47.1)	医療サービス体制を整備する (25.0)		公共交通網(バス・鉄道)を整備する (17.6)	次世代を担う子どもの育成支援を充実する (13.2)	
65歳以上	219	災害から県民を守る (45.7)	高齢者の福祉を充実する (37.4)	食品の安全を守る (22.4)	公共交通網(バス・鉄道)を整備する (21.9)	医療サービス体制を整備する (21.5)	

注) 女性18～19歳の同率5位の7項目は、作表の便宜上、6位～10位の欄に示している。

第56回県政に関する世論調査（H30年度）

< 図表9 - 6 > 県政への要望（3つまでの複数回答）（上位6位～10位）／性別、性・年代別

		（％）				
属性	順位 n	6 位	7 位	8 位	9 位	10 位
全 体	1,334	食品の安全を守る (13.6)	仕事と子育てや介護 が両立する働き方を 実現する (10.8)	道路を整備する (10.4)	犯罪防止対策をすす める (9.8)	交通事故から県民を 守る (9.1)
【性・年代別】						
男性（計）	615	食品の安全を守る (12.7)	次世代を担う子ども の育成支援を充実する (11.9)	交通事故から県民を 守る (10.4)	犯罪防止対策をすす める (9.3)	障害のある人の福祉や社 会参加の支援を充実する /消費生活のトラブルに関 する対策をすすめる (7.6)
18～19歳	7	-				
20 代	35	道路を整備する/雇用の場を広げる/観光を振興する (14.3)			高齢者の福祉を充実する/仕事と子育てや介 護が両立する働き方を実現する/学校教育を 充実する/商工業を振興し、地域経済の担い 手を育成する (8.6)	
30 代	58	-	犯罪防止対策をすすめる/学校教育を充実す る (12.1)	交通事故から県民を守る/中心市街地の活性 化を推進する (10.3)		
40 代	109	犯罪防止対策をすす める (13.8)	道路を整備する (11.9)	食品の安全を守る/交通事故から県民を守る/消費生活のトラブルに関 する対策をすすめる/雇用の場を広げる (10.1)		
50 代	88	公共交通網(バス・鉄道)を整備する/仕事と子育てや介護が両立する働き方を実現する/交通 事故から県民を守る/雇用の場を広げる (10.2)				次世代を担う子ども の育成支援を充実する (8.0)
60～64歳	59	公共交通網(バス・鉄 道)を整備する (15.3)	交通事故から県民を 守る (11.9)	障害のある人の福祉や社会参加の支援を充 実する/消費生活のトラブルに関する対策をす すめる (10.2)		次世代を担う子ども の育成支援を充実する/犯罪 防止対策をすすめる/自 然を守り、緑を育てる (8.5)
65歳以上	259	道路を整備する/交通事故から県民を守る (10.8)		健康づくりをすす め、病気を予防する (9.3)	次世代を担う子ども の育成支援を充実する (8.9)	犯罪防止対策をすす める (8.5)
女性（計）	682	食品の安全を守る/仕事と子育てや介護が両 立する働き方を実現する (14.5)		犯罪防止対策をすす める (10.6)	学校教育を充実する (9.4)	道路を整備する (8.2)
18～19歳	7	(注)作表の便宜上、同率で5位の7項目をこの欄に示す 高齢者の福祉を充実する/次世代を担う子ども の育成支援を充実する/道路を整備する/犯罪防止対策をすすめる/障 害のある人の福祉や社会参加の支援を充実する/自然を守り、緑を育てる/大気汚染、水質汚濁、騒音などの環境対策 をすすめる (14.3)				
20 代	51	道路を整備する (13.7)	交通事故から県民を 守る (9.8)	食品の安全を守る/犯罪防止対策をすすめる/障 害のある人の福祉や 社会参加の支援を充実する/健康づくりをすす めて、病気を予防する (7.8)		公園・緑地を整備する (7.8)
30 代	89	公共交通網(バス・ 鉄道)を整備する (16.9)	高齢者の福祉を充 実する (11.2)	道路を整備する (10.1)	犯罪防止対策をすす める (9.0)	交通事故から県民を守 る/ひとり親家庭等の福 祉を充実する/公園・緑 地を整備する (7.9)
40 代	119	学校教育を充実する (16.0)	公共交通網(バス・鉄 道)を整備する (15.1)	食品の安全を守る (13.4)	犯罪防止対策をすす める (12.6)	障害のある人の福祉 や社会参加の支援を 充実する (10.1)
50 代	129	食品の安全を守る (12.4)	自然を守り、緑を育 てる (11.6)	仕事と子育てや介 護が両立する働き方 を実現する (9.3)	大気汚染、水質汚 濁、騒音などの環境 対策をすすめる (8.5)	次世代を担う子ども の育成支援を充実する (7.8)
60～64歳	68	食品の安全を守る (11.8)	犯罪防止対策をすすめる/健康づくりをすす めて、病気を予防する (10.3)		障害のある人の福祉や社会参加の支援を充 実する/雇用の場を広げる (8.8)	
65歳以上	219	次世代を担う子ども の育成支援を充実する (12.8)	健康づくりをすす め、病気を予防する (11.4)	消費生活のトラブルに 関する対策をすすめる (10.0)	交通事故から県民を 守る (9.6)	犯罪防止対策をすす める (8.2)

（1 - 1）各政策への具体的な要望

問47 問46で選んでいただきました県政の要望について、具体的にどのようなことを望まれますか。問46で選んだ3項目についてのみ、具体的要望項目から1つずつ選んで番号に をつけてください。

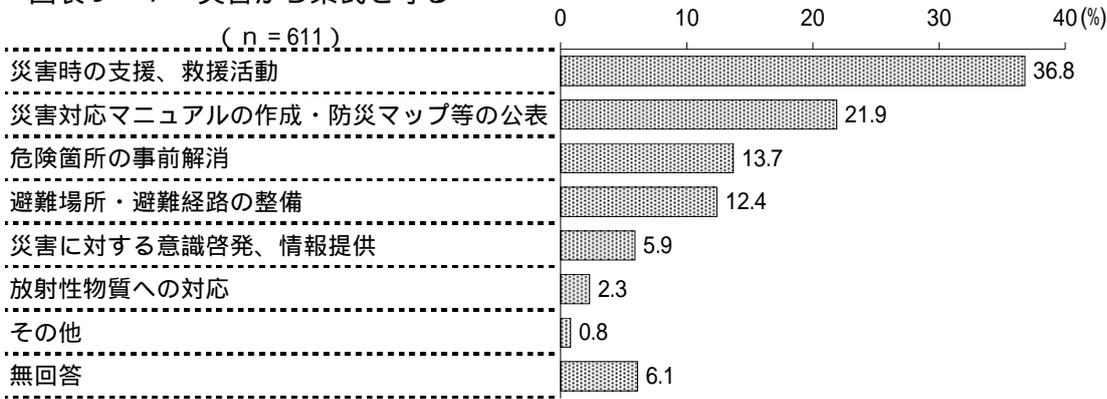
問46で県政への要望を3つまでたずね、その選んだ要望に関して、それぞれ具体的にどのようなことを望んでいるかを聞いた。

ここからは、それぞれの結果を図示していくが、問46の回答状況次第では、nの値が少なくなるものもあり、その場合は参考ということを示す。

1 災害から県民を守る（45.8%、1位）

「災害時の支援、救援活動」（36.8%）が3割台半ばで最も高く、以下、「災害対応マニュアルの作成・防災マップ等の公表」（21.9%）、「危険箇所の事前解消」（13.7%）が続く。

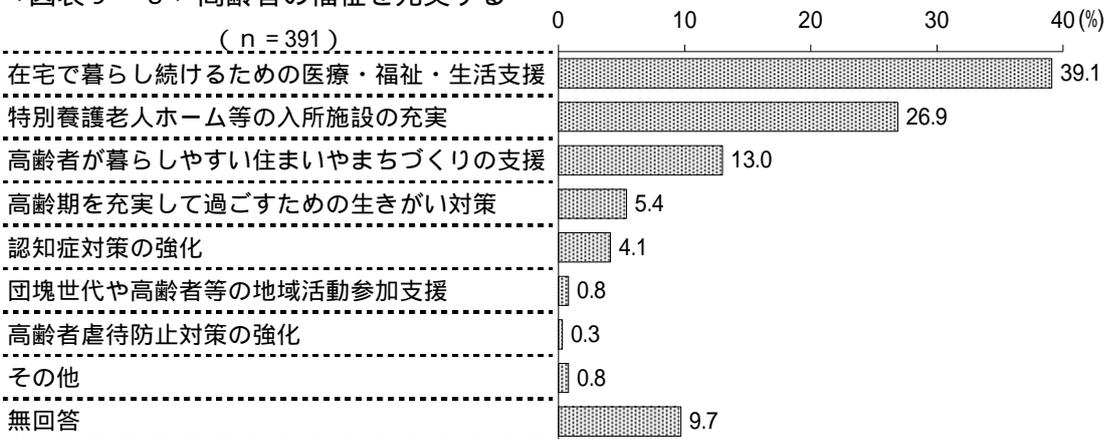
<図表9 - 7> 災害から県民を守る



2 高齢者の福祉を充実する（29.3%、2位）

「在宅で暮らし続けるための医療・福祉・生活支援」（39.1%）が約4割で最も高く、以下、「特別養護老人ホーム等の入所施設の充実」（26.9%）、「高齢者が暮らしやすい住まいやまちづくりの支援」（13.0%）が続く。

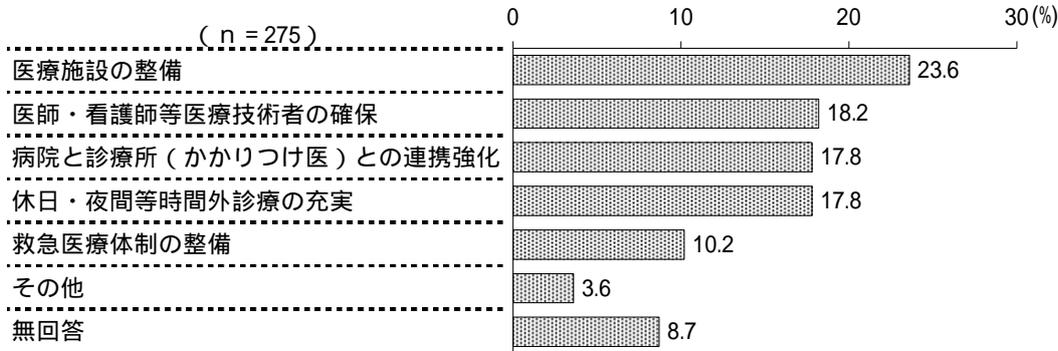
<図表9 - 8> 高齢者の福祉を充実する



3 医療サービス体制を整備する（20.6%、3位）

「医療施設の整備」（23.6%）が2割台半ばで最も高く、以下、「医師・看護師等医療技術者の確保」（18.2%）、「病院と診療所（かかりつけ医）との連携強化」（17.8%）、「休日・夜間等時間外診療の充実」（17.8%）が続く。

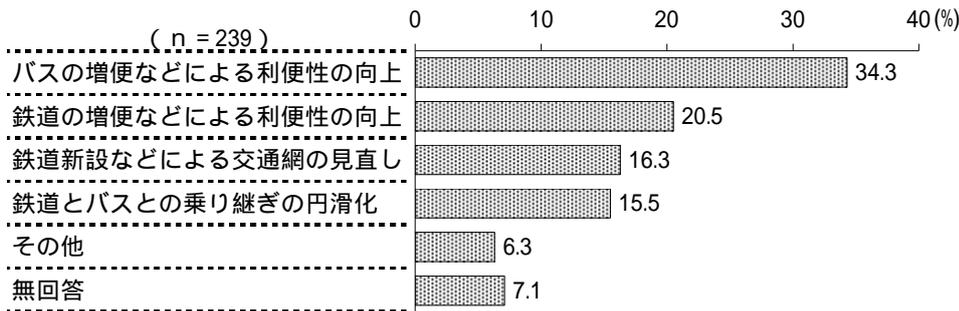
<図表9-9> 医療サービス体制を整備する



4 公共交通網（バス・鉄道）を整備する（17.9%、4位）

「バスの増便などによる利便性の向上」（34.3%）が3割台半ばで最も高く、以下、「鉄道の増便などによる利便性の向上」（20.5%）、「鉄道新設などによる交通網の見直し」（16.3%）が続く。

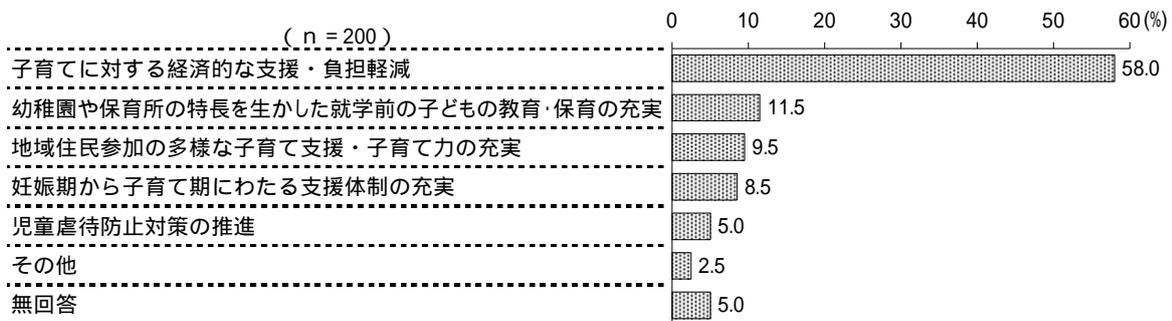
<図表9-10> 公共交通網（バス・鉄道）を整備する



5 次世代を担う子どもの育成支援を充実する（15.0%、5位）

「子育てに対する経済的な支援・負担軽減」（58.0%）が約6割で最も高く、以下、「幼稚園や保育所の特長を生かした就学前の子どもへの教育・保育の充実」（11.5%）、「地域住民参加の多様な子育て支援・子育て力の充実」（9.5%）が続く。

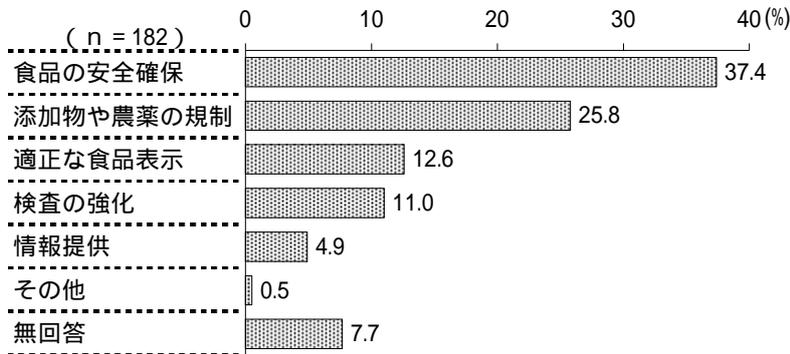
<図表9-11> 次世代を担う子どもの育成支援を充実する



6 食品の安全を守る（13.6%、6位）

「食品の安全確保」（37.4%）が約4割で最も高く、以下、「添加物や農薬の規制」（25.8%）、「適正な食品表示」（12.6%）が続く。

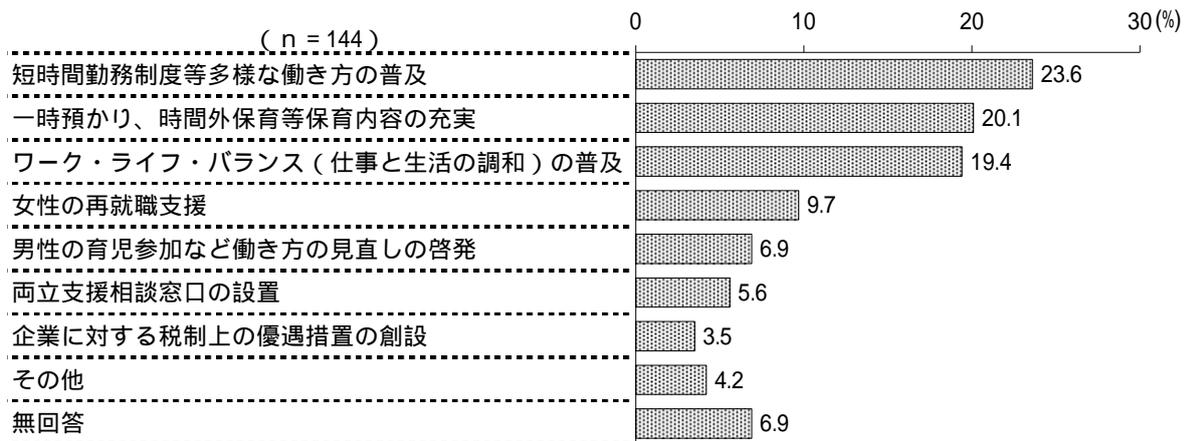
<図表9-12> 食品の安全を守る



7 仕事と子育てや介護が両立する働き方を実現する（10.8%、7位）

「短時間勤務制度等多様な働き方の普及」（23.6%）が2割台半ばで最も高く、以下、「一時預かり、時間外保育等保育内容の充実」（20.1%）、「ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の普及」（19.4%）が続く。

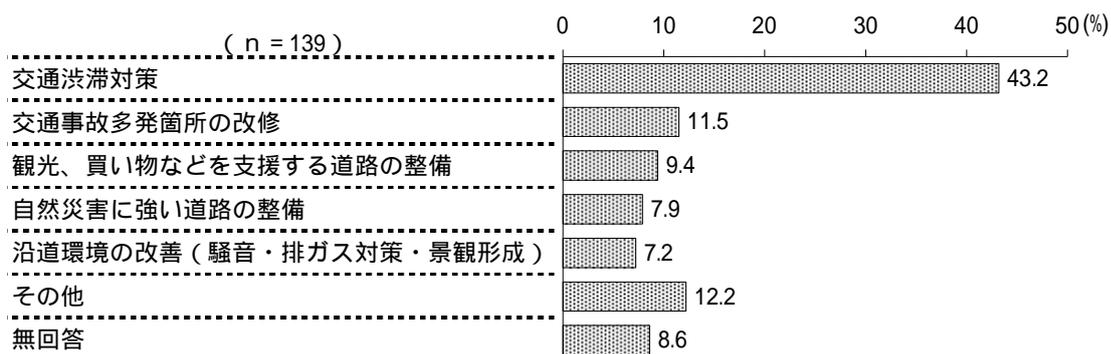
<図表9-13> 仕事と子育てや介護が両立する働き方を実現する



8 道路を整備する（10.4%、8位）

「交通渋滞対策」（43.2%）が4割を超えて最も高く、以下、「交通事故多発箇所の改修」（11.5%）、「観光、買い物などを支援する道路の整備」（9.4%）が続く。

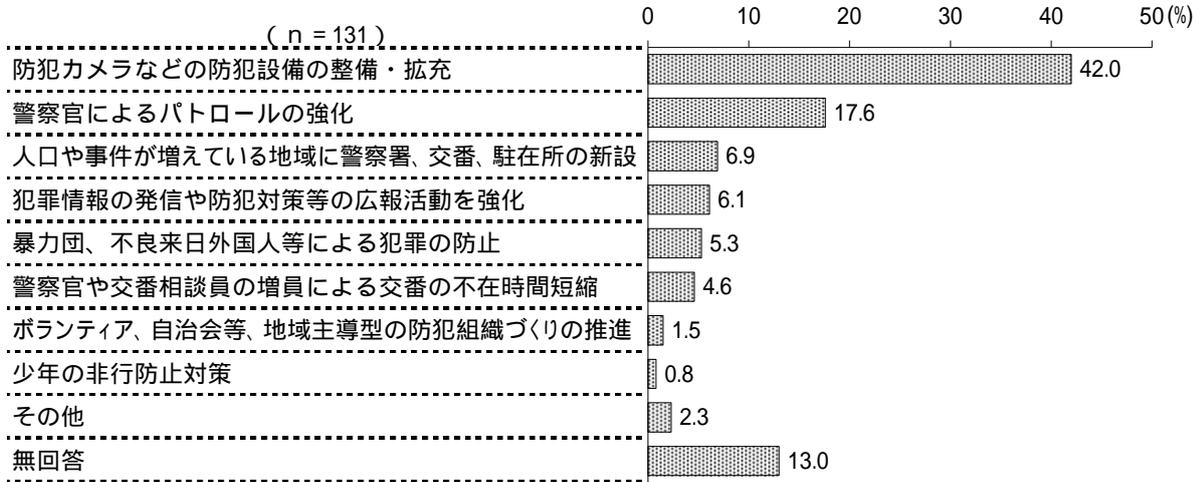
<図表9-14> 道路を整備する



9 犯罪防止対策をすすめる（9.8%、9位）

「防犯カメラなどの防犯設備の整備・拡充」（42.0%）が4割を超えて最も高く、以下、「警察官によるパトロールの強化」（17.6%）、「人口や事件が増えている地域に警察署、交番、駐在所の新設」（6.9%）が続く。

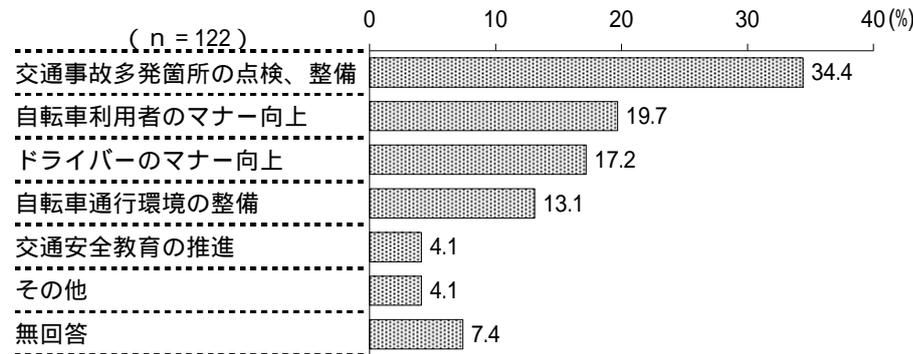
<図表9 - 15> 犯罪防止対策をすすめる



10 交通事故から県民を守る（9.1%、10位）

「交通事故多発箇所の点検、整備」（34.4%）が3割台半ばで最も高く、以下、「自転車利用者のマナー向上」（19.7%）、「ドライバーのマナー向上」（17.2%）が続く。

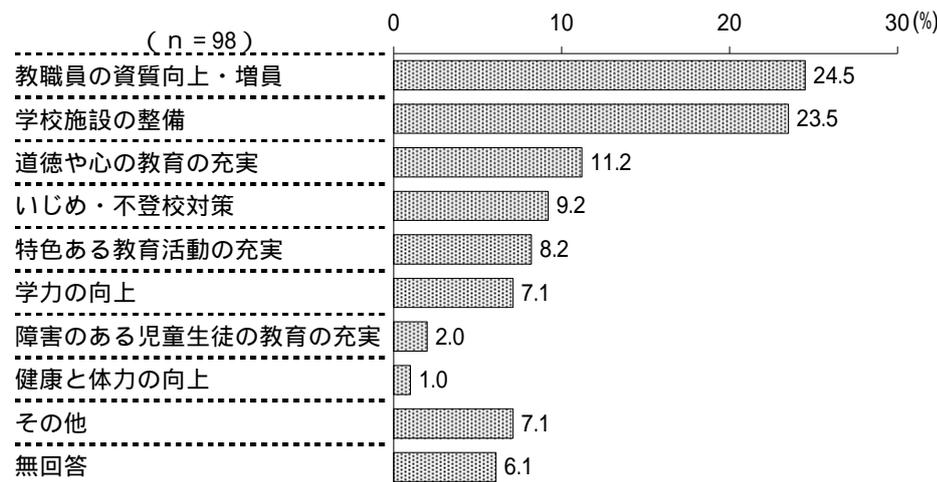
<図表9 - 16> 交通事故から県民を守る



11 学校教育を充実する（7.3%、11位）

「教職員の資質向上・増員」（24.5%）と「学校施設の整備」（23.5%）が2割台半ばで最も高く、以下、「道徳や心の教育の充実」（11.2%）が続く。

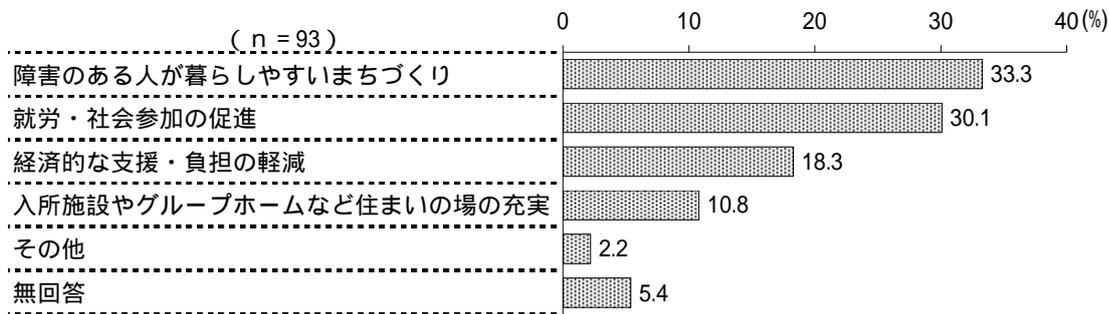
<図表9 - 17> 学校教育を充実する



12 障害のある人の福祉や社会参加の支援を充実する（7.0%、12位）

「障害のある人が暮らしやすいまちづくり」（33.3%）が3割を超えて最も高く、以下、「就労・社会参加の促進」（30.1%）、「経済的な支援・負担の軽減」（18.3%）が続く。

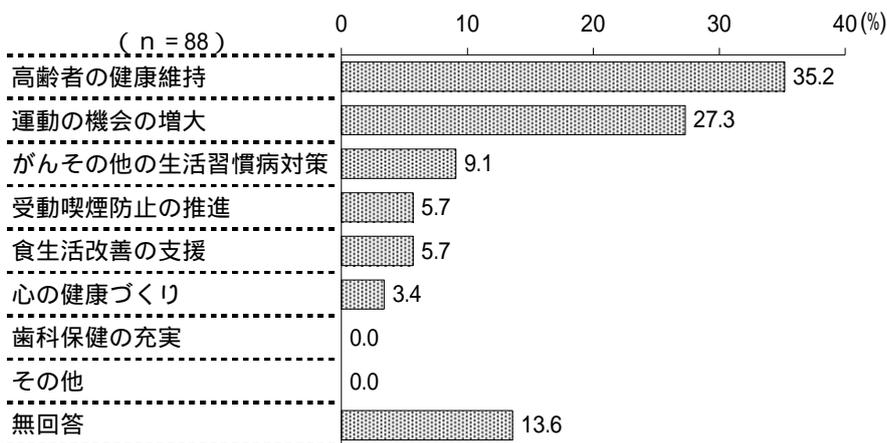
<図表9-18> 障害のある人の福祉や社会参加の支援を充実する



13 健康づくりをすすめて、病気を予防する（6.6%、13位）

「高齢者の健康維持」（35.2%）が3割台半ばで最も高く、以下、「運動の機会の増大」（27.3%）、「がんその他の生活習慣病対策」（9.1%）が続く。

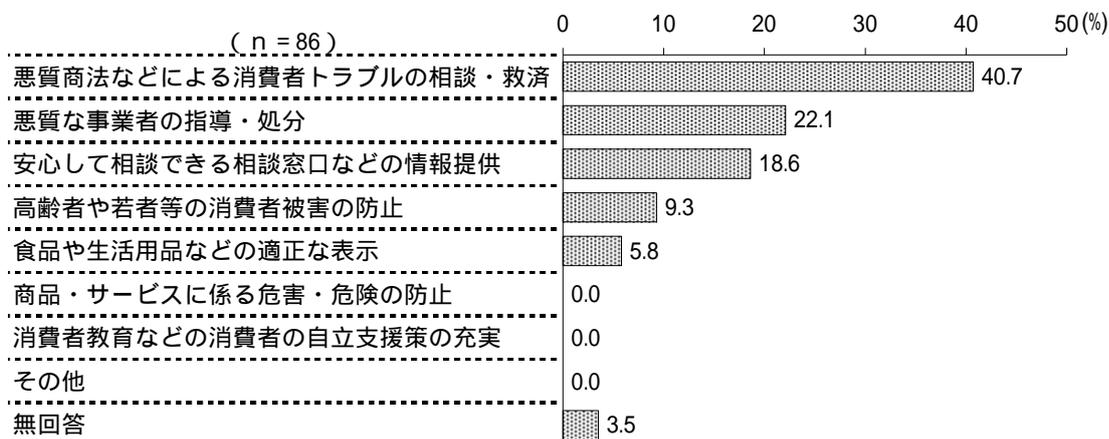
<図表9-19> 健康づくりをすすめて、病気を予防する



14 消費生活のトラブルに関する対策をすすめる（6.4%、14位）

「悪質商法などによる消費者トラブルの相談・救済」（40.7%）が4割で最も高く、以下、「悪質な事業者の指導・処分」（22.1%）、「安心して相談できる相談窓口などの情報提供」（18.6%）が続く。

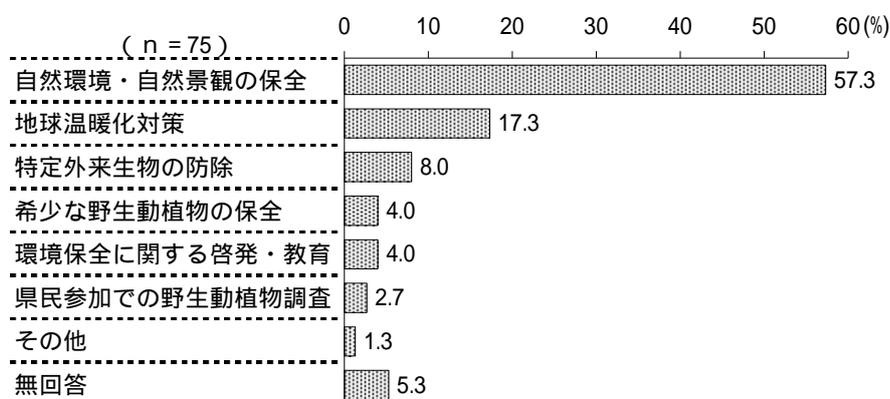
<図表9-20> 消費生活のトラブルに関する対策をすすめる



15 自然を守り、緑を育てる（5.6%、15位）

「自然環境・自然景観の保全」(57.3%)が約6割で最も高く、以下、「地球温暖化対策」(17.3%)、「特定外来生物の防除」(8.0%)が続く。

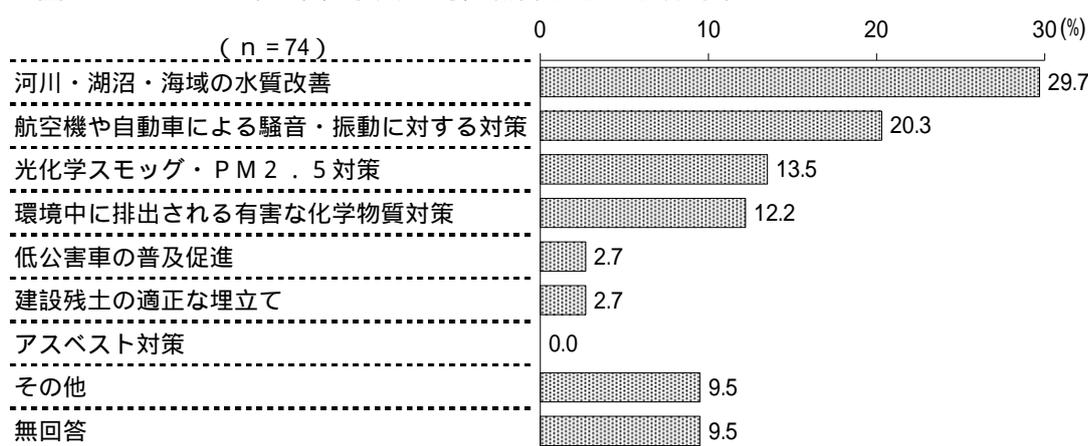
<図表9-21> 自然を守り、緑を育てる



16 大気汚染、水質汚濁、騒音などの環境対策をすすめる（5.5%、16位）

「河川・湖沼・海域の水質改善」(29.7%)が約3割で最も高く、以下、「航空機や自動車による騒音・振動に対する対策」(20.3%)、「光化学スモッグ・PM2.5対策」(13.5%)が続く。

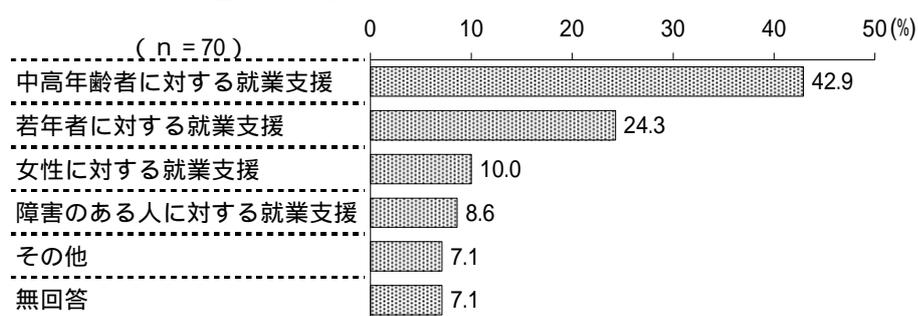
<図表9-22> 大気汚染、水質汚濁、騒音などの環境対策をすすめる



17 雇用を場を広げる（5.2%、17位）

「中高年齢者に対する就業支援」(42.9%)が4割を超えて最も高く、以下、「若年者に対する就業支援」(24.3%)、「女性に対する就業支援」(10.0%)が続く。

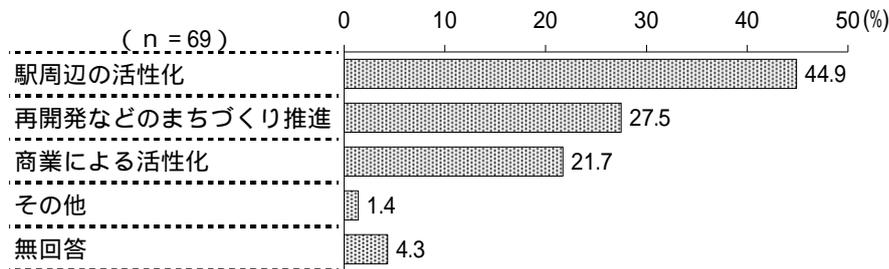
<図表9-23> 雇用を場を広げる



18 中心市街地の活性化を推進する（5.2%、18位）

「駅周辺の活性化」（44.9%）が4割台半ばで最も高く、以下、「再開発などのまちづくり推進」（27.5%）「商業による活性化」（21.7%）が続く。

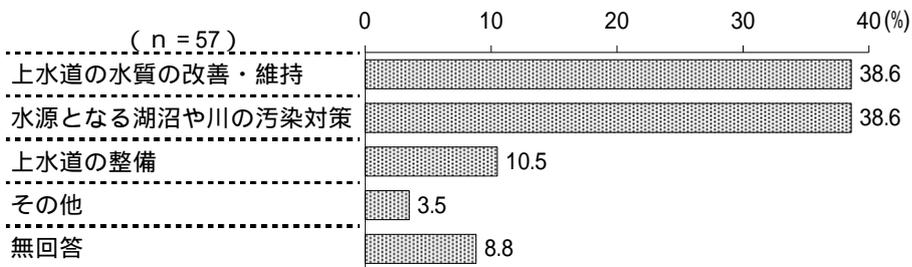
<図表9-24> 中心市街地の活性化を推進する



19 安心して飲める良質な水道水を供給する（4.3%、19位）

「上水道の水質の改善・維持」（38.6%）と「水源となる湖沼や川の汚染対策」（38.6%）が約4割で最も高く、以下、「上水道の整備」（10.5%）が続く。

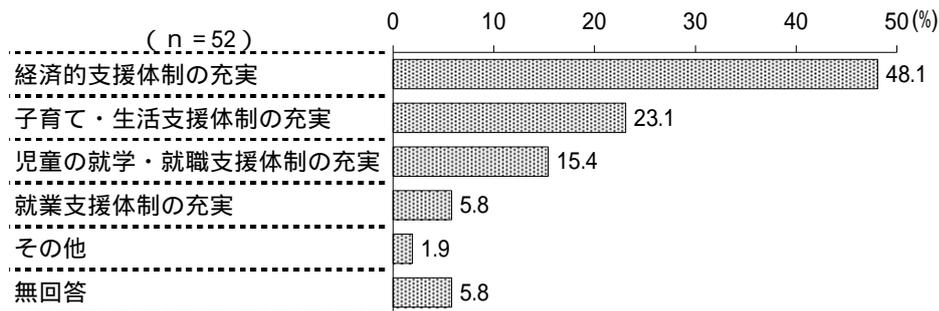
<図表9-25> 安心して飲める良質な水道水を供給する



20 ひとり親家庭等の福祉を充実する（3.9%、20位）

「経済的支援体制の充実」（48.1%）が約5割で最も高く、以下、「子育て・生活支援体制の充実」（23.1%）「児童の就学・就職支援体制の充実」（15.4%）が続く。（図表9-23）

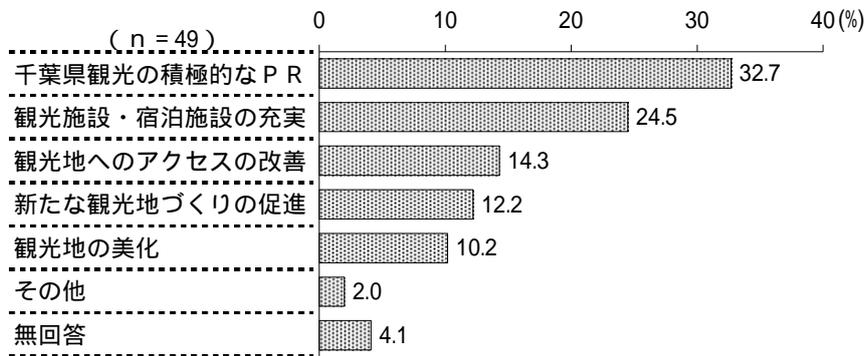
<図表9-26> ひとり親家庭等の福祉を充実する



21 観光を振興する（3.7%、21位）

「千葉県観光の積極的なPR」（32.7%）が3割を超えて最も高く、以下、「観光施設・宿泊施設の充実」（24.5%）、「観光地へのアクセスの改善」（14.3%）が続く。

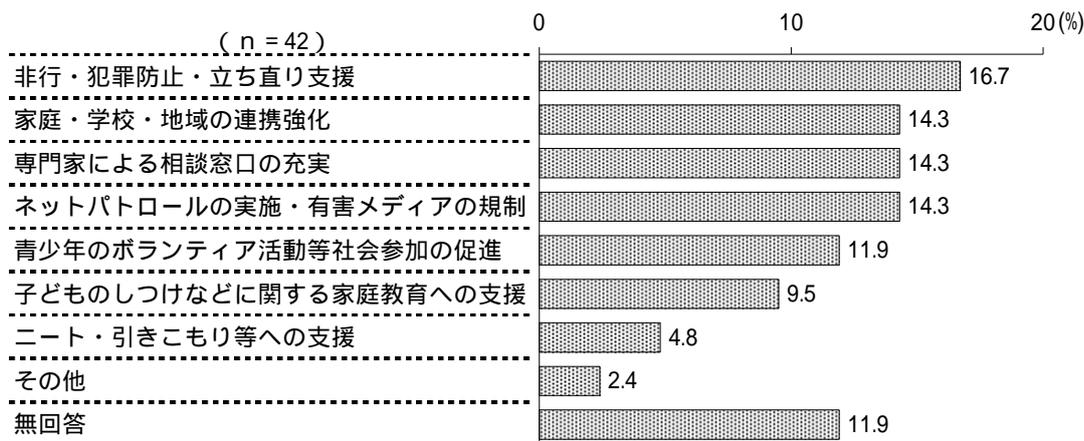
<図表9-27> 観光を振興する



22 青少年を健全に育てる（3.1%、22位）

「非行・犯罪防止・立ち直り支援」（16.7%）が1割台半ばで最も高く、以下、「家庭・学校・地域の連携強化」（14.3%）、「専門家による相談窓口の充実」（14.3%）、「ネットパトロールの実施・有害メディアの規制」（14.3%）が続く。

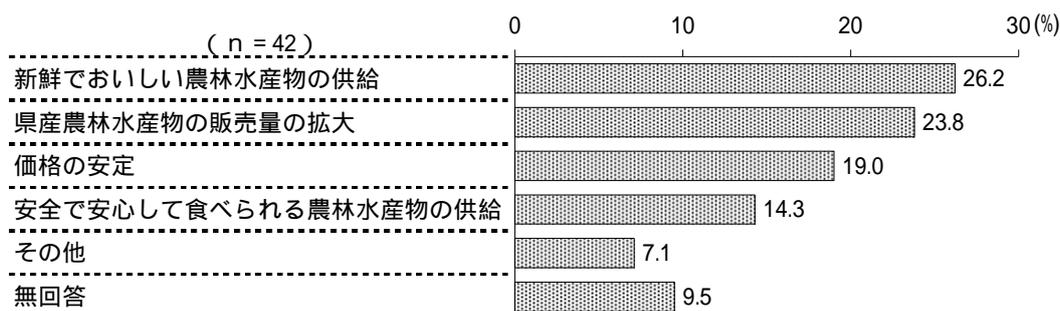
<図表9-28> 青少年を健全に育てる



23 農林水産業を振興し新鮮な農林水産物を供給する（3.1%、22位）

「新鮮でおいしい農林水産物の供給」（26.2%）が2割台半ばで最も高く、以下、「県産農林水産物の販売量の拡大」（23.8%）、「価格の安定」（19.0%）が続く。

<図表9-29> 農林水産業を振興し新鮮な農林水産物を供給する



24 公園・緑地を整備する（3.0%、24位）

「公園・緑地等の設置・管理」（35.0%）と「子どもの遊び場の整備」（35.0%）が3割台半ばで最も高く、以下、「公園等の緑化推進」（12.5%）が続く。

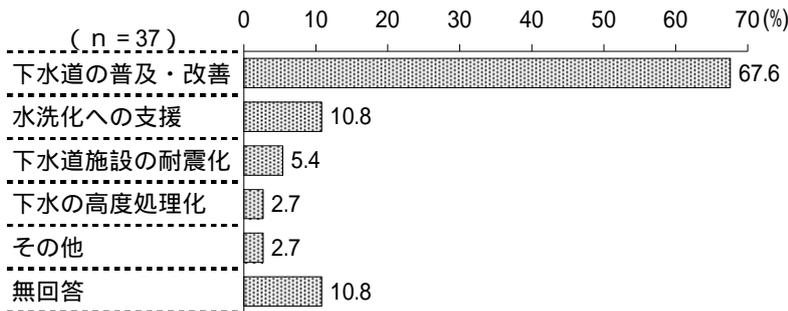
<図表9 - 30> 公園・緑地を整備する



25 下水道を整備する（2.8%、25位）

「下水道の普及・改善」（67.6%）が約7割で最も高く、以下、「水洗化への支援」（10.8%）、「下水道施設の耐震化」（5.4%）が続く。

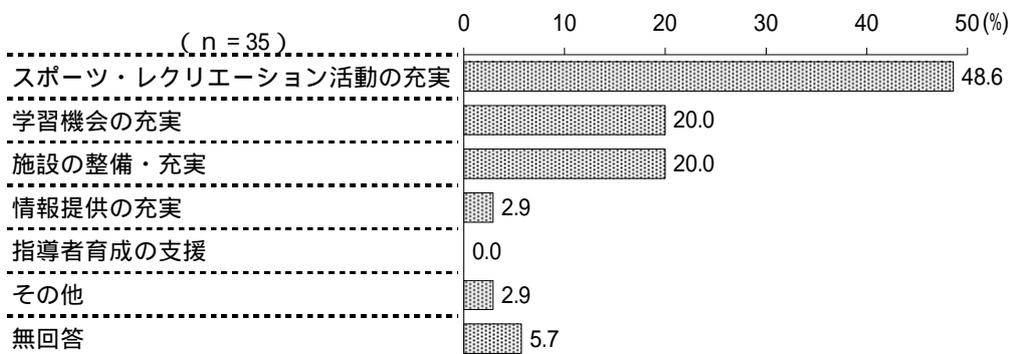
<図表9 - 31> 下水道を整備する



26 生涯学習・スポーツ・レクリエーションを振興する（2.6%、26位）

「スポーツ・レクリエーション活動の充実」（48.6%）が約5割で最も高く、以下、「学習機会の充実」（20.0%）、「施設の整備・充実」（20.0%）が続く。

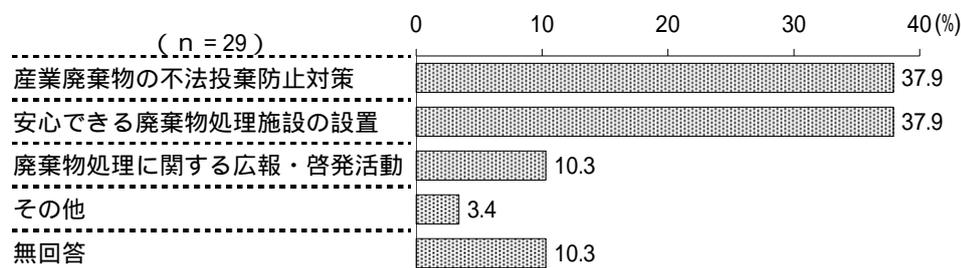
<図表9 - 32> 生涯学習・スポーツ・レクリエーションを振興する



27 廃棄物対策をすすめる（2.2%、27位）

「産業廃棄物の不法投棄防止対策」（37.9%）と「安心できる廃棄物処理施設の設置」（37.9%）が約4割で最も高く、以下、「廃棄物処理に関する広報・啓発活動」（10.3%）が続く。

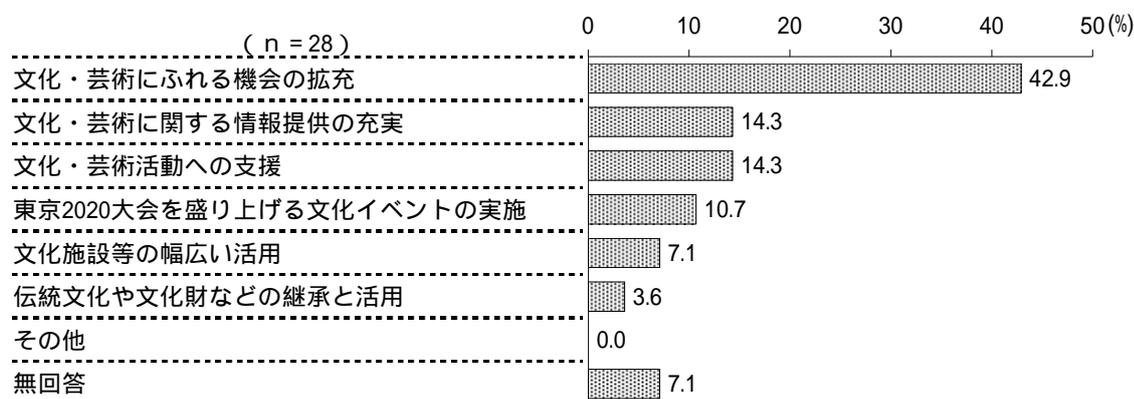
<図表9-33> 廃棄物対策をすすめる



28 芸術・文化活動を振興する（2.1%、28位）

「文化・芸術に触れる機会の拡充」（42.9%）が4割を超えて最も高く、以下、「文化・芸術に関する情報提供の充実」（14.3%）、「文化・芸術活動への支援」（14.3%）が続く。

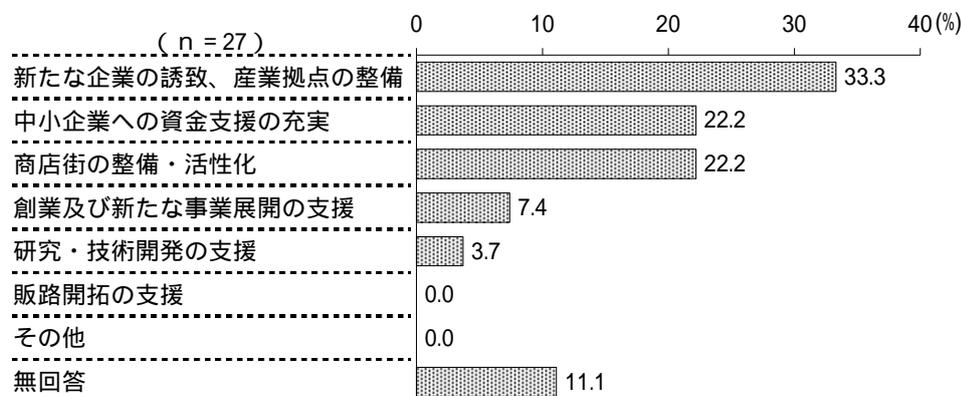
<図表9-34> 芸術・文化活動を振興する



29 商工業を振興し、地域経済の担い手を育成する（2.0%、29位）

「新たな企業の誘致、産業拠点の整備」（33.3%）が3割を超えて最も高く、以下、「中小企業への資金支援の充実」（22.2%）、「商店街の整備・活性化」（22.2%）が続く。

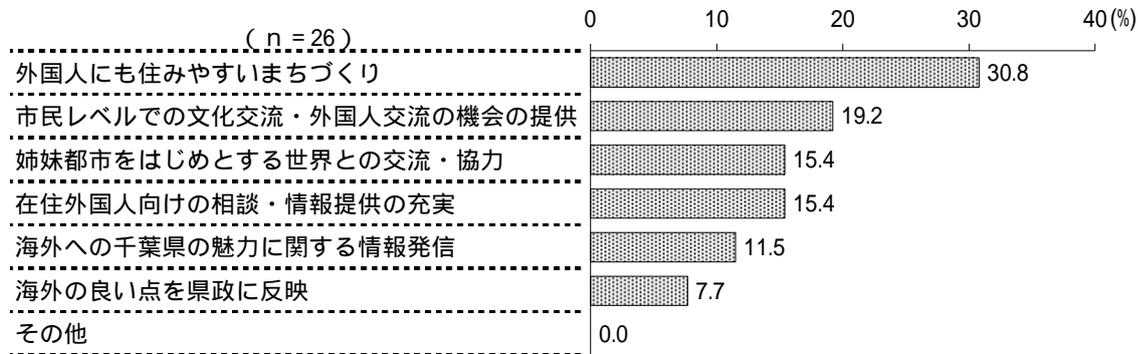
<図表9-35> 商工業を振興し、地域経済の担い手を育成する



30 国際交流や国際協力をすすめる（1.9%、30位）

「外国人にも住みやすいまちづくり」（30.8%）が3割で最も高く、以下、「市民レベルでの文化交流・外国人交流の機会の提供」（19.2%）、「姉妹都市をはじめとする世界との交流・協力」（15.4%）、「在住外国人向けの相談・情報提供の充実」（15.4%）が続く。

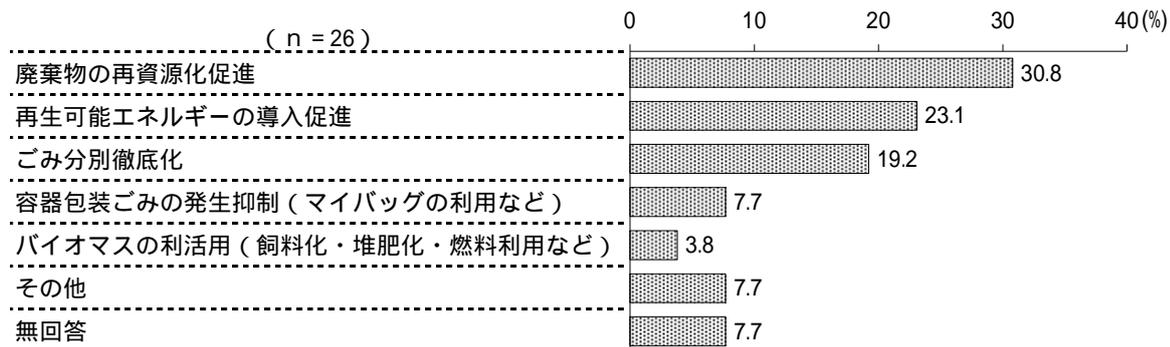
<図表9 - 36> 国際交流や国際協力をすすめる



31 省資源やリサイクルをすすめる（1.9%、30位）

「廃棄物の再資源化促進」（30.8%）が3割で最も高く、以下、「再生可能エネルギーの導入促進」（23.1%）、「ごみ分別徹底化」（19.2%）が続く。

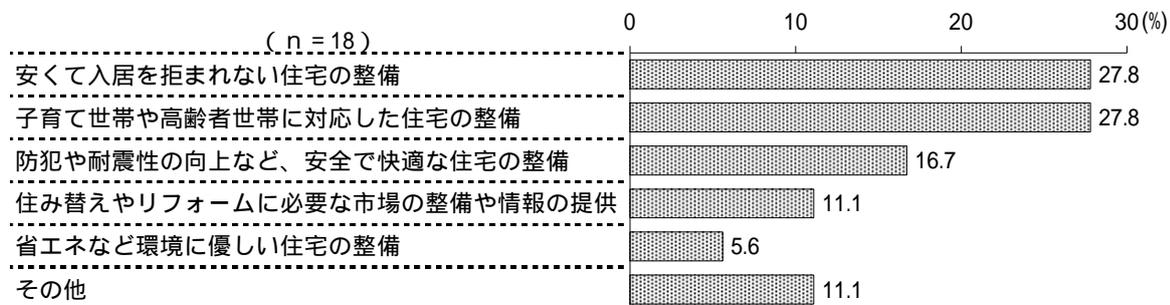
<図表9 - 37> 省資源やリサイクルをすすめる



32 住宅対策を充実する（1.3%、32位）

nが少ないため、参考までに図示するにとどめる。

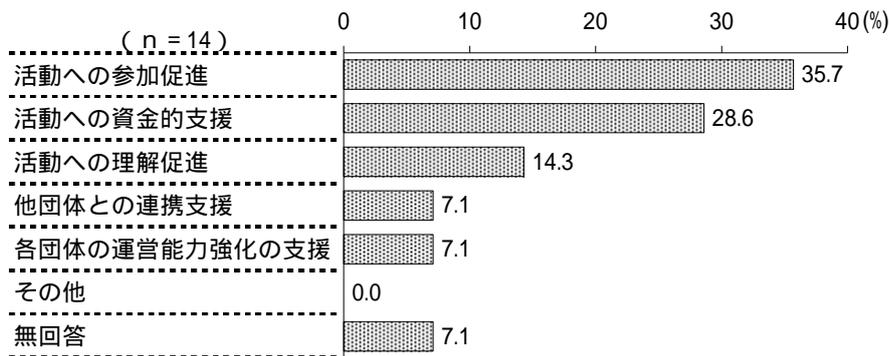
<図表9 - 38> 住宅対策を充実する



33 市民活動団体やボランティアへの活動支援を充実する（1.0%、33位）

nが少ないため、参考までに図示するにとどめる。

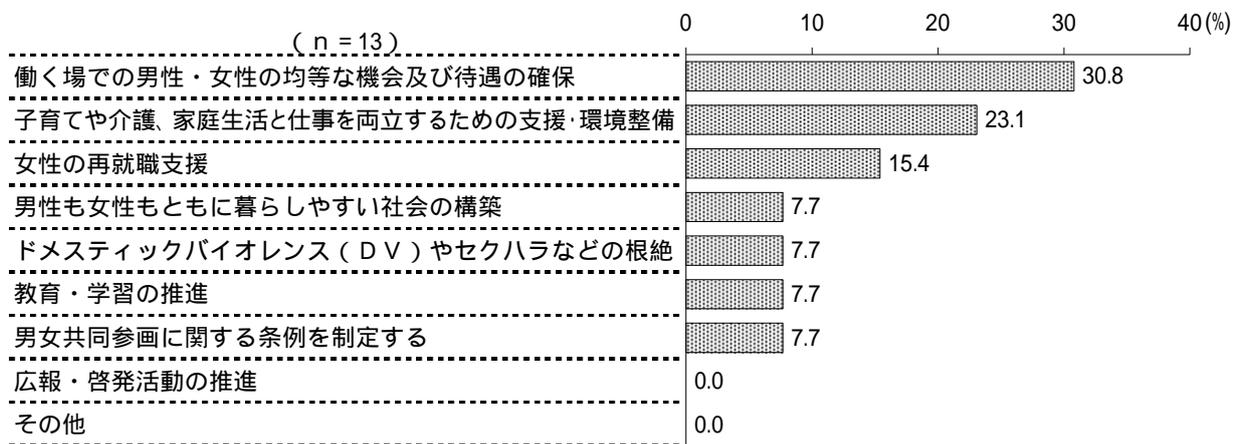
<図表9 - 39> 市民活動団体やボランティアへの活動支援を充実する



34 男女共同参画を推進する（1.0%、34位）

nが少ないため、参考までに図示するにとどめる。

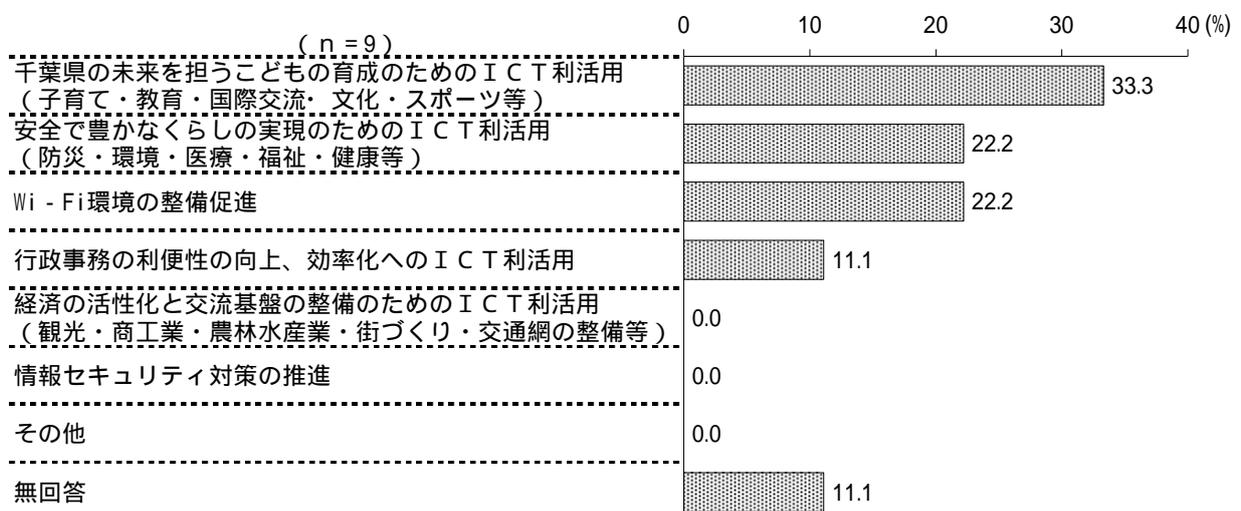
<図表9 - 40> 男女共同参画を推進する



35 施策実現や地域活性化のためのICTの利活用をすすめる（0.7%、35位）

nが少ないため、参考までに図示するにとどめる。

<図表9 - 41> 施策実現や地域活性化のためのICTの利活用をすすめる



10 自由回答

問 このほかにも、県や世論調査へのご意見やご提案があればご自由にお書きください。

県や世論調査への意見を自由に記述していただいたところ、214人から延べ264件の回答が寄せられた。

記述いただいた内容は多岐にわたり、県政の各施策におおむね沿った形（合計31項目）で整理した。なお、一人の回答が複数の内容にわたる場合には、原文の内容の趣旨をそこなわないよう回答を分け、それぞれの項目へ分類した。また、紙面の都合上、全ての意見を掲載することはできないが、意見の多い項目に関しては、意見の一部を抜粋して記載するものとする。

【自由回答の項目順位】

順位	項目	件数
第1位	世論調査について	49
第2位	県政全般に関する要望	39
第3位	公共交通網（バス・鉄道）を整備する	14
第4位	災害から県民を守る	13
第5位	道路を整備する	12
第6位	次世代を担う子どもの育成支援を充実する	11
〃	学校教育を充実する	11
第8位	高齢者の福祉を充実する	10
第9位	医療サービス体制を整備する	9
〃	県政の情報発信について	9
第11位	大気汚染、水質汚濁、騒音などの環境対策をすすめる	7
〃	東京湾アクアラインについて	7
第13位	交通事故から県民を守る	6
第14位	自然を守り、緑を育てる	5
第15位	廃棄物対策をすすめる	4
〃	観光を振興する	4
〃	雇用の場を広げる	4
〃	公園・緑地を整備する	4
〃	生涯学習・スポーツ・レクリエーションを振興する	4
〃	犯罪防止対策をすすめる	4
第21位	中心市街地の活性化を推進する	3
〃	商工業を振興し、地域経済の担い手を育成する	3
〃	農林水産業を振興し新鮮な農林水産物を供給する	3
〃	住宅対策を充実する	3
第25位	食品の安全を守る	2
〃	障害のある人の福祉や社会参加の支援を充実する	2
〃	施策実現や地域活性化のためのICTの利活用をすすめる	2
第28位	青少年を健全に育てる	1
〃	下水道を整備する	1
〃	安心して飲める良質な水道水を供給する	1
〃	芸術・文化活動を振興する	1
	その他	16
	その他 うち、国政への要望	(2)
	その他 うち、住んでいる市町村への要望	(6)
	合計（再掲分を含む 延べ数）	264

【自由回答の記述】（意見の多い項目の一部抜粋）

世論調査について

このような調査をしていることを今回初めて知りました。これがきっかけで県政にもっと興味が持てるようになるかもしれません。（女性、50代、葛南地域）

内容を細分化した世論調査を不定期で行っていただきたい。県が実施した公共工事や事業、自治体が単独で実施しようとしている（した）事業などについても意見を問うてみてはどうか。（男性、40代、安房地域）

本世論調査の結果を具体的にどのように活用できたか、公表していただけると、本世論調査の意義が県民にとって分かりやすくなる。街づくりに貢献できていると実感でき、街づくりへの意識も高まるので、より一層、本世論調査の結果を有効活用できると思いました。（男性、30代、印旛地域）

返信用の封筒を大きくして下さい。（女性、65歳以上、東葛飾地域）

もう少し提出するまでの日数がほしかったです。（女性、65歳以上、千葉地域）

謝礼はないのですか？謝礼があった方が回答率は高くなります。貴重な時間を使って回答しています。検討下さい。（男性、40代、葛南地域）

県政全般に関する要望

社会的弱者（障害者、貧困層、シングルマザー・ファザー等、高齢者）が住みやすいユニバーサルデザイン豊かな街作りをして頂けると嬉しいです。（男性、20代、千葉地域）

県所得、県民所得の向上（学術、観光、農水産物のブランド化など）を図り豊かな財政を確立して医療、介護、子育てを重点に予算配分を推進してください。誰も取り残さない県政を目指してください。（男性、65歳以上、君津地域）

役所での手続きの窓口時間が短いです。休日や、夜間でも手続きができる場所を増やして欲しいです。東京や他県にお勤めで、帰りが遅い人も多いと思うので。（女性、20代、葛南地域）

成田国際空港の利用者を増加させることを目指し、国及び関係機関への千葉県としての主張を強化してほしい。（男性、65歳以上、東葛飾地域）

施策を計画、実施をする際には、住民主体での提案を盛り込んでほしい。行政の方も忙しいと思いますが、よりよい運営のためがんばって下さい。（男性、20代、葛南地域）

公共交通網（バス・鉄道）を整備する

難しいと思いますが、各市町村に駅を設置してもらいたい。車がないと生活もできない状況であり、高齢者は免許返納などができない。
（男性、40代、長生地域）

私鉄の整備管理。具体的には、駅間が離れているので新駅を設置してほしい。
（男性、50代、葛南地域）

災害から県民を守る

避難勧告をしても、毛布、水、食料は持参する必要があるとのこと。緊急時に高齢者を抱えて毛布等を持って避難することは難しい。事前に避難場所に水や毛布、食料を準備できないものか。
（男性、60～64歳、君津地域）

ペット連れが増加する分、避難所の使い方や、ペットと一緒に受け入れ可能な場所を明確に提示してほしい。
（女性、20代、印旛地域）

道路を整備する

千葉県は、近隣県に比べて道路整備が進んでいない。渋滞も慢性化しており、道路の拡張や立体交差、踏切の削減など積極的な施策を期待する。
（男性、60～64歳、葛南地域）

市川～鎌ヶ谷の北千葉道路を早期開通してほしい。また、船橋・鎌ヶ谷周辺の渋滞を少しでも緩和してほしい。銚子や鴨川までの交通アクセスも良くしてほしい。
（男性、30代、東葛飾地域）

狭い土地だから仕方ないかもしれませんが、市内道路に歩道がなく極めて危険な場所が多い。出来るだけ歩道の充実を希望したい。
（男性、65歳以上、安房地域）

次世代を担う子どもの育成支援を充実する

経済的なことを考えずに子どもを産むことができる環境を作ってもらいたいです。
（男性、20代、東葛飾地域）

3人目の子供に対する手当や制度（保育料、授業料等）をさらに手厚くしてほしいです。現在2人の子供を育てており、年齢的にもあと1人（3人目）を産める状態ではあるものの、今後の経済力（学費等への不安）に不安があり、一步踏み出せない状況です。
（女性、30代、印旛地域）

児童虐待に対する意識を深め、予防していくための機関の充実。特に児相職員の意識強化・責任意識を高めていく措置を求める。（男性、65歳以上、千葉地域）

学校教育を充実する

近隣の小中学校のエアコン設置は、再来年の秋頃になるという事ですが、今すぐにも取り掛かって頂きたいです。昔と今とでは子供の環境が違う事は、真夏の授業を見学して頂ければ分かる事と存じます。子供の学力向上、そして命に関わる問題ですので、未来を担う子供達の為に、どうぞご検討をお願い致します。（男性、40代、印旛地域）

小・中・高校に冷房のある教室や塾に行けない子達への勉強など、お金で差がでない教育を望みます。（女性、30代、葛南地域）

次世代を担う子ども達の教育向上のために、指導者(教員)の生活向上のための給料アップ、生活の安定が必要。（女性、60～64歳、東葛飾地域）

高齢者の福祉を充実する

単身高齢者が安心して暮らせる施設がほしい。（男性、65歳以上、夷隅地域）

独り暮らしの高齢者への見回り強化。（女性、50代、山武地域）

医療サービス体制を整備する

認知症の高齢者が多くなってきており、認知症専門病院が必要と思われる。（男性、65歳以上、千葉地域）

医師不足を解消して下さい。特に県立・市立病院に。子ども医療費無料化を18歳まで行ってほしい。（男性、30代、海匝地域）

県政の情報発信について

「ちば県民だより」も市政だよりのようにポストに投函いただけると嬉しいです。（女性、50代、千葉地域）

県の広報紙は新聞とっていない人にも届くといいです。（女性、30代、葛南地域）

（付）調査票および単純集計結果

ちば

第56回 千葉県政に関する世論調査

ご記入にあたってのお願い

- 1 宛名のご本人様がお答えくださるようお願いいたします。
- 2 ご回答は、この調査票に黒か青のボールペンまたは鉛筆でお願いします。
- 3 回答は、原則としてあてはまる選択肢の番号に をつけてください。
質問の中に、（ は1つ）（ は3つまで）（ はいくつでも）などと表示
していますので、そちらに合わせて をつけてください。

また、質問によって回答していただく方が限られる場合がありますので、
ことわり書きや矢印にしたがってください。特にことわりのない場合は、
全ての方に回答していただく質問になります。
- 4 お答えが選択肢の中になく、「その他」を選んだ場合は、（ ）内に
その内容を具体的に記入してください。
- 5 ご回答いただきました調査票は、同封の返信用封筒に入れて、
10月5日（金）までに郵便ポストに投函してください。返信用封筒に
名前や住所を書いたり、切手を貼る必要はありません。
調査票は、折り目に合わせて三つ折でお願いします。
- 6 このアンケートをインターネットで回答される場合は、別添の「インター
ネット回答操作案内」をご利用ください。
- 7 このアンケートのご記入に当たってご不明な点等がございましたら、
お手数ですが下記までお問い合わせください。

【問い合わせ先】

千葉県 総合企画部
報道広報課広聴室
〒260-8667
千葉市中央区市場町1番1号
電話 043-223-2469
FAX 043-227-3613
アドレス kouchou@mz.pref.chiba.lg.jp

ネット回答者用
「申請者ID」
「パスワード」の
記載シール添付場所

【環境と生活について】

問1 あなたは、現在お住まいの地域に、ずっと住み続けたいと思いますか。n = 1,334(は1つ)

73.4 住み続けたい

6.2 千葉県内のよそへ移りたい

4.3 千葉県外に移りたい

4.6 千葉県内、県外どちらでもかまわないが移りたい

10.1 わからない → 次のページ問2へお進みください

1.3 無回答

→ (問1で「1」とお答えの方に)

問1-1 あなたが現在お住まいの地域に、ずっと住み続けたいと思う理由は何ですか。

n = 979 (は3つまで)

18.5 地域の人とのつながりを大切に考えているから

15.4 家族の思い出がつまっているから

35.8 生活環境に満足しているから

59.7 自分の土地や家があるから

32.2 通勤や通学、買い物、医療など、日常生活の利便性がよいから

5.9 公共施設（道路や上下水道、公園や図書館など）や教育・子育て、
文化の環境が整っているから

24.1 自然環境や気候に恵まれ暮らしやすいから

7.3 治安や風紀がよいから

33.1 住み慣れていて愛着があるから

20.0 家族や親族が近くににいるから

5.2 仕事や商売に都合がよいから

1.3 その他（具体的に

）

0.4 無回答

→ (問1で「2」～「4」のいずれかをお答えの方に)

問1-2 あなたが現在お住まいの地域から移りたいと思う理由は何ですか。

n = 202 (は3つまで)

35.1 そのときどきの家族の状況（子どもの成長、親の面倒を見るなど）にあった住ま
いを考えているから

37.6 生活環境をより良くしたいから

13.9 より良質で広い住宅に住みたいから

5.0 近所の人とのつきあいがうまくいっていないから

37.1 通勤や通学、買い物、医療など、日常生活の利便性が悪いから

16.3 公共施設（道路や上下水道、公園や図書館など）や教育・子育て、
文化の環境が整っていないから

9.4 自然環境に恵まれていないから

8.4 治安や風紀が悪いから

9.9 住み慣れておらず愛着を感じないから

10.4 家族や親族の近くに住みたいから

7.4 仕事や商売に都合が悪いから

14.4 その他（具体的に

）

1.0 無回答

問2 あなたは、現在お住まいの地域の生活についてどの程度満足していますか。

（ はそれぞれ1つずつ）

n = 1,334	大変満足している （よい状態だと思う）	まあ満足している （まあよい状態だと思う）	どちらともいえない	やや不満である （あまりよくないと思う）	大変不満である （悪い状態だと思う）	わからない	無回答
	（ア）ごみ処理などの環境衛生	16.9	59.7	11.2	7.6	1.7	0.3
（イ）騒音・振動の状態	18.7	47.1	16.6	10.5	4.0	0.5	2.6
（ウ）大気汚染の状態	15.7	45.8	21.7	8.1	2.5	2.4	3.7
（エ）悪臭の状態	20.5	48.2	16.1	8.5	2.1	1.2	3.4
（オ）海・川などの汚れの状態	6.4	30.4	28.6	15.3	5.2	9.6	4.5
（カ）緑の豊かさ	22.0	46.8	19.5	7.3	1.3	0.4	2.8
（キ）道路の整備	7.3	39.6	19.6	20.3	10.0	0.3	2.8
（ク）上水道の整備	19.8	49.9	16.6	5.2	3.2	2.2	3.0
（ケ）排水（下水道）の整備	17.2	45.1	17.8	8.2	6.4	2.4	3.0
（コ）通勤・通学の便	12.2	38.8	17.2	17.3	8.5	1.9	4.0

問3 あなたは、普段の生活の中で、生活必需品（食品、トイレットペーパーなど生活雑貨、衣料品など）の安定的な供給体制（消費者がいつでも購入できること）や安全性に不安を感じることがありますか。 n = 1,334（ は1つ）

3.7 不安を感じる	27.8	どちらかといえば不安を感じない
7.3 どちらかといえば不安を感じる	47.7	不安を感じない
10.9 どちらともいえない	1.6	わからない
	1.0	無回答

問4 あなたは、消費生活全般（消費者トラブルの相談体制、消費者教育の機会、悪質商法への対策、生活必需品の安定供給など）について、どう感じですか。 n = 1,334（ は1つ）

2.8 大変満足している	36.2	どちらともいえない	1.8 大変不満である
28.1 まあ満足している	9.0	やや不満である	20.8 わからない
			1.3 無回答

問5 あなたは、現在の住生活全般（住まい・環境・地域社会）についてどう感じですか。

n = 1,334（ は1つ）

7.0 大変満足している	16.8	どちらともいえない	2.8 大変不満である
60.0 まあ満足している	11.3	やや不満である	0.9 わからない
			1.1 無回答

問6 あなたは、普段の生活で環境に配慮した次のような取り組みを行っていますか。

（ はそれぞれ1つずつ ）

	実施している	ときどき実施している	あまり実施していない	実施していない	該当するものがない	無回答
n = 1,334						
(ア) 節電に努めている	35.0	46.0	14.5	2.5	0.2	1.6
(イ) 冷暖房の設定温度を控えめにする	49.6	32.2	12.4	2.9	1.0	1.8
(ウ) 省エネルギー性能の高い家電製品を選ぶ	32.3	35.8	21.4	5.7	2.3	2.5
(エ) レジ袋をもらわない	32.7	36.8	13.5	14.7	0.6	1.7
(オ) 車の急発進・急加速はしない	51.9	16.4	5.8	1.9	19.0	4.9
(カ) アイドリング・ストップを心掛けている	38.2	18.5	10.2	8.2	19.6	5.3

問7 あなたは、日常生活の中で環境に配慮して行動していますか。

n = 1,334 (は1つ)

24.2	いつも配慮している	5.4	特に配慮していない
55.5	時々配慮している	4.9	わからない
8.8	あまり配慮していない	1.1	無回答

問8 あなたは、これまでに県・市町村などの行政や民間団体などが実施する環境保全に関する講演やセミナー、あるいは植林や清掃活動などの環境ボランティア活動などに参加したことがありますか。

n = 1,334 (は1つ)

22.1	参加したことがある
28.5	参加したことはないが、機会があれば参加してみたい
29.9	参加したことはなく、あまり参加したいと思わない
17.5	参加したことはなく、今後も参加するつもりはない
1.0	その他（具体的に
1.0	無回答

問9 あなたは、市民活動団体の活動や、ボランティア活動に関心がありますか。

n = 1,334 (は1つ)

6.4	大変関心がある	46.3	あまり関心がない
38.7	まあ関心がある	7.6	まったく関心がない
		0.9	無回答

ここでいう「市民活動団体」とは、市民の自発性に基づき、福祉や子育て支援、まちづくり、環境等様々な分野の地域課題の解決のために、自立的・継続的に社会貢献活動を行う営利を目的としない団体（行政が認証したNPO法人やボランティア団体等任意団体）を指します。

問10 あなたは、市民活動団体の活動に参加したことがありますか。 n = 1,334(は1つ)

3.3 定期的に参加している	10.2 参加したことはないが、今後参加してみたいと思う
8.8 ときどき参加している	60.3 参加したことはない
16.2 参加したことがある	1.2 無回答

ここでいう「参加」とは、団体の会員やボランティアとしての参加のみならず、団体への資金・物品・技術・場所等の提供・寄付などの支援を通しての参加や、団体が提供するサービスの利用・イベントへの参加などを指します。

問11 あなたは、ボランティアとして活動したことがありますか。 n = 1,334(は1つ)

3.1 定期的に参加している	10.8 活動したことはないが、今後活動してみたいと思う
5.8 ときどき活動している	59.8 活動したことはない
19.3 活動したことがある	1.2 無回答

ここでいう「ボランティア活動」とは、市民の自発性に基づき地域や社会に貢献する活動のことであり、市民活動団体が行うボランティア活動への参加のみならず、個人として行うものを含むボランティア活動全般を指します。

問12 あなたは、県内の施設などでこの1年間に何回くらい文化芸術に触れましたか。 n = 1,334(は1つ)

18.8 年に1回	5.9 年に10回以上(おおよそ月に1回以上)
30.4 年に2～5回(3～6か月に1回程度)	38.8 文化芸術に触れなかった
4.7 年に6～9回(1～2か月に1回程度)	1.3 無回答

ここでいう「文化芸術」とは、映画(アニメ含む)、音楽(クラシックやポップス等)、美術、文芸(マンガ含む)、茶道・華道、芸能、文化財など幅広いジャンルの文化芸術を指します。「触れる」とは、映画・舞台公演・展覧会等の鑑賞、祭り等への参加、演奏・創作活動、史跡めぐり、読書などを指します。

【健康について】

問13 あなたは、自分が積極的に健康づくりに取り組むことができる環境にあると思いますか。 n = 1,334(は1つ)

23.5 そう思う	9.2 どちらかといえばそう思わない
34.4 どちらかといえばそう思う	8.7 そう思わない
18.4 どちらともいえない	4.7 わからない
	1.0 無回答

ここでいう「健康づくり」とは、適度な運動やバランスの取れた食事、禁煙等の県民一人ひとりによる主体的な取組を指します。

問14 あなたは、健康づくりなどのために1年間に何日くらい運動やスポーツを行いましたか。 n = 1,334(は1つ)

21.2 週に3日以上(年151日以上)	6.5 3か月に1～2日(年4日～11日)
13.9 週に2日(年101日～150日)	6.8 年に1～3日
13.9 週に1日(年51日～100日)	24.8 運動・スポーツは行わなかった
11.5 月に1～3日(年12日～50日)	1.3 無回答

ここでいう「運動やスポーツ」とは、比較的軽い運動やスポーツ(ウォーキングや軽い体操、ダンスなどのレクリエーション活動等)を含みます。

問15 あなたは、自分が住み慣れた地域で安心して受診できる医療体制にあると思いますか。

n = 1,334(は1つ)

29.8 そう思う	8.2 どちらかといえばそう思わない
35.2 どちらかといえばそう思う	7.9 そう思わない
14.5 どちらともいえない	2.5 わからない
	1.8 無回答

問16 あなたの過去の病歴や体質などを知っていて、気軽に相談に応じてくれるとともに、必要なときには他の専門機関等を紹介してくれる、身近な医師（歯科医、薬剤師・薬局）を、「かかりつけ医（歯科医、薬剤師・薬局）」と呼んでいます。

あなたは、「かかりつけ医（歯科医、薬剤師・薬局）」をお持ちですか。

n = 1,334(はそれぞれ1つずつ)

かかりつけ医	かかりつけ歯科医	かかりつけ薬剤師・薬局
55.5 持っている	60.8 持っている	35.8 持っている
34.3 持っていないが、必要性は強く感じている	24.9 持っていないが、必要性は強く感じている	35.5 持っていないが、必要性は強く感じている
8.5 持っていないし、必要性もあまり感じていない	9.3 持っていないし、必要性もあまり感じていない	23.1 持っていないし、必要性もあまり感じていない
1.6 無回答	5.0 無回答	5.6 無回答

【福祉について】

問17 あなたは、自分が安心して子育てできる環境にあると思いますか。子育て中の方は自身のことをお答えください。お子さんがいらっしゃる方や、すでに子育てを終えられた方は、ご家族や近所の方など、身の回りの子育て世代を想定してお答えください。n = 1,334(は1つ)

12.1 そう思う	10.6 どちらかといえばそう思わない
40.4 どちらかといえばそう思う	6.5 そう思わない
19.5 どちらともいえない	8.8 わからない
	2.2 無回答

この設問では、「子育て」をおおむね18歳までの子どもを育てることと定義しています。

問18 あなたは、お年寄りが安心して暮らせる高齢者施策についてどう感じですか。若年層の方は、ご家族や近所の方など、身の回り的高齢者を想定してお答えください。

n = 1,334(は1つ)

2.0 大変満足している	34.3 どちらともいえない	7.7 大変不満である
21.1 まあ満足している	19.3 やや不満である	13.9 わからない
		1.7 無回答

問19 あなたは、自分が介護の必要な状況になっても、現在お住まいの自宅や地域で暮らし続けられると思いますか。

n = 1,334(は1つ)

12.2 そう思う	15.6 どちらかといえばそう思わない
20.1 どちらかといえばそう思う	18.1 そう思わない
21.5 どちらともいえない	11.2 わからない
	1.3 無回答

問20 あなたは、千葉県に住む高齢者が多様な社会参加を通じ、社会と関わりを持ちながら生活を送っていると思いますか。若年層の方は、ご家族や近所の方など、身の回りの高齢者を想定してお答えください。 n = 1,334(は1つ)

5.2 そう思う	17.0 どちらかといえばそう思わない
23.4 どちらかといえばそう思う	10.3 そう思わない
27.2 どちらともいえない	15.2 わからない
	1.7 無回答

問21 あなたは、地域住民が互いに支え合い、安心して暮らせる地域社会づくりが進められていると思いますか。 n = 1,334(は1つ)

4.6 そう思う	18.0 どちらかといえばそう思わない
25.0 どちらかといえばそう思う	12.8 そう思わない
27.1 どちらともいえない	11.0 わからない
	1.6 無回答

問 22 あなたは、障害のある・なしにかかわらず、誰もが社会の一員としてお互いを尊重し、支え合って暮らすことを目指す「共生社会」という考え方を知っていますか。

n = 1,334 (は1つ)

34.3 知っている	39.4 言葉だけは聞いたことがある	24.8 知らない	1.6 無回答
------------	--------------------	-----------	---------

「共生社会」とは、具体的には、人々の生活や心において「障害者」という区切りのない社会です。

問 23 あなたは、男女共同参画社会を実現するための様々な取組のなかで、今後、県はどのようなことにより力を入れるべきと考えますか。 n = 1,334(はいくつでも)

64.4 子育てや介護中であっても仕事を続けられるよう支援する	
61.5 子育てや介護中でいったん仕事を辞めた人の再就職を支援する	
66.6 保育及び介護の施設やサービスを充実する	
41.7 労働時間短縮や在宅勤務の普及など男女ともに働き方の見直しを進める	
19.5 県の審議会委員や管理職に女性を積極的に登用するとともに、県内市町村の審議会など政策決定の場に女性を積極的に登用するよう働きかける	
14.1 女性の起業・創業が進むよう支援する	
17.4 企業や団体等の管理職に女性の登用が進むよう支援する	
17.3 従来女性が少なかった分野（研究者等）への女性の進出を支援する	
12.1 男女共同参画に関する条例を制定する	
19.4 女性・男性の生き方、悩みに関する相談窓口を充実する	
14.8 男女の平等と相互の理解や協力について学習機会を充実する	
15.4 男女の平等と相互の理解や協力について広報・PR をする	
18.7 施策を実施するにあたって企業や民間団体（NPO等）との連携を推進する	
3.7 その他（具体的に	）
3.0 無回答	

【観光について】

問24 千葉県の魅力は、次のどれだと思いますか。

n = 1,334 (はいいくつでも)

- 64.8 温暖で気候がよい
- 49.1 豊かな自然や景観が楽しめる
- 36.4 季節の花々や紅葉が楽しめる
- 6.5 温泉が楽しめる
- 42.2 魅力的なレジャー施設（テーマパーク・水族館等）がある
- 18.5 神社・仏閣やまち並みなど歴史を味わえる
- 16.2 祭りやスポーツなどイベントを楽しめる
- 9.1 ホテルや旅館、キャンプ場など魅力的な宿泊施設がある
- 24.6 ゴルフや自転車、マラソン、サーフィンなどのスポーツを体験できる
- 46.8 海水浴や潮干狩り、釣りなどで海を楽しめる
- 23.2 果物狩りや農林漁業体験などの自然体験ができる
- 24.9 ショッピングが楽しめる
- 35.2 新鮮な農林水産物を味わえる
- 9.3 郷土料理やご当地グルメを味わえる
- 7.6 特産品や地酒を入手できる
- 20.6 観光地までの交通アクセスがよい
- 34.1 首都圏をつなぐ東京湾アクアラインがある
- 44.2 成田国際空港がある
- 2.5 特にない
- 2.5 その他（具体的に
- 0.7 無回答

問25 あなたは、これから千葉県内を旅行するとしたら、どのエリアに行きたいですか。

n = 1,334 (はいいくつでも)

- 13.6 ベイ・東葛飾エリア（千葉市、八千代市、習志野市、四街道市、船橋市、市川市、浦安市、野田市、流山市、柏市、我孫子市、松戸市、鎌ヶ谷市）
- 12.6 かずさ・臨海エリア（市原市、袖ヶ浦市、木更津市、君津市、富津市）
- 19.0 北総エリア（銚子市、東庄町、香取市、多古町、神崎町、成田市、富里市、栄町、印西市、白井市、佐倉市、酒々井町、八街市、芝山町）
- 29.2 九十九里エリア（旭市、匝瑳市、横芝光町、山武市、東金市、大網白里市、九十九里町、茂原市、一宮町、睦沢町、長生村、白子町、長柄町、長南町）
- 74.5 南房総エリア（館山市、南房総市、鋸南町、鴨川市、勝浦市、いすみ市、大多喜町、御宿町）
- 12.2 特にない
- 0.7 無回答



千葉県マスコットキャラクター

「チーバくん」

問26 千葉県内を観光する際に、事前にどのような情報がほしいですか。n = 1,334(はいいくつでも)

52.6 観光施設	39.0 道の駅
49.9 宿泊施設	27.0 直売所（地場農水産物）
8.0 バリアフリーへの対応	3.3 観光ボランティアガイド
47.8 食事	8.5 体験プログラム
28.3 お土産・特産品	16.5 観光地の公衆トイレ
22.8 祭り・イベント	14.2 観光地の動画・写真
14.3 モデルルート	21.1 観光地の気象情報
42.1 観光地への交通アクセス	2.6 その他（具体的に)
	2.3 無回答

問27 この1年間で千葉県内を観光した際に、不満に感じた点を教えてください。

n = 1,334 (はいいくつでも)

4.3 観光施設	10.0 観光情報・案内の充実度
4.9 宿泊施設	14.5 観光地の公衆トイレが少ない
4.9 バリアフリーへの対応	17.2 観光地の公衆トイレが汚い
5.9 食事	16.6 観光地における駐車場
4.3 お土産・特産品	14.5 特に不満な点はない
4.6 接客サービス	31.9 この1年間は観光をしていない
15.9 観光地への交通アクセス	3.1 その他（具体的に)
3.4 まち並み・景観	3.1 無回答

問28 あなたは県産品をお土産や贈答品として使う場合、何を贈りますか。

n = 1,334 (は3つまで)

5.1 花	8.3 酒類
41.3 農産物・果物	5.2 しょうゆ・みそ
53.2 落花生・落花生加工品	2.2 乳製品
1.1 肉類	33.7 菓子・せんべい
13.8 生鮮魚介類	0.6 工芸品
27.4 海苔・水産加工品	5.6 チーバくんグッズ
3.7 漬物	1.6 その他（具体的に)
	1.6 無回答

【千葉県の農林水産物について】

問29 あなたは、千葉県産農林水産物を購入したいと思いますか。

n = 1,334 (は1つ)

46.9 そう思う	9.2 どちらかといえばそう思わない
39.1 どちらかといえばそう思う	3.4 そう思わない
	1.4 無回答

>(問29で「1」、「2」のいずれかをお答えの方に)

問29 - 1 その主な理由は何ですか。

n = 1,147 (は1つ)

19.4 千葉県に愛着があるから	2.4 価格が安いから
53.6 鮮度が良い(美味しい)から	1.7 その他（具体的に)
22.3 地元のものは安心だから	0.5 無回答

→ P10の問29-2へ

（問29で「どちらかといえばそう思わない」、「そう思わない」のいずれかをお答えの方に）

問29-2 その主な理由は何ですか。 n = 168（ は1つ）

29.2 産地にこだわらず価格で選ぶから	14.3 千葉県以外で買いたい産地があるから
45.2 産地にこだわらず旬や鮮度で決めるから	9.5 その他（具体的に）
	1.8 無回答

問30 あなたは、農薬や化学肥料の使用量の低減などにより、環境に配慮して生産される次の農産物や制度を聞いたことがありますか。 n = 1,334（ はいくつでも）

71.3 有機農産物	8.9 ちばエコ農産物
16.1 特別栽培農産物	21.7 どれも知らない
18.0 エコファーマー	2.9 無回答

「有機農産物」：JAS法に基づき化学肥料・農薬を使わず栽培し、登録機関で認定された農産物

「特別栽培農産物」：国のガイドラインに基づき化学肥料・農薬を通常の1/2以下で栽培し、生産者が定める責任者が確認した農産物

「エコファーマー」：持続性の高い農業生産方式の導入計画を作成し、県が認定した農業者

「ちばエコ農産物」：県の基準に基づき化学肥料・農薬を通常の1/2以下で栽培し、県が認証した農産物

ちばエコ農産物について、以下のURL・QRコードから紹介ホームページを参照できます。

<https://www.pref.chiba.lg.jp/annou/eco-jouhou/index.html>



問31 千葉県では、千葉のさかなの認知度を高め、広く県内外にアピールするため、「銚子つりきんめ」、「外房イセエビ」、「九十九里地はまぐり」などの優良な県産水産物を「千葉ブランド水産物」として認定しています。

あなたは、「千葉ブランド水産物」を知っていますか。 n = 1,334（ は1つ）

3.6 よく知っている（認定マークや品目までわかる）	55.1 知らない
39.4 多少は知っている（聞いたことがある）	1.9 無回答

千葉ブランド水産物について、以下のURL・QRコードから紹介ホームページを参照できます。

<https://www.pref.chiba.lg.jp/suisan/brand/index.html>



【防災に関する取り組みについて】

問32 平成23年3月11日に発生した東日本大震災では、千葉県内でも震度6弱を記録し、大きな被害が出ました。また、県外では平成28年熊本地震（震度7が2回発生）や、記録的な大雨や台風により浸水害や土砂災害なども発生しております。あなたは、自分の住んでいる地域で、大地震や風水害が起こるのではないかという不安を感じていますか。 n = 1,334（ は1つ）

49.6 強く感じている	6.6 ほとんど感じていない
41.6 少し感じている	0.6 わからない
	1.6 無回答

問33 市町村では、災害から住民を守るために「避難勧告」や「避難指示」を発令することがあります。あなたは、これらの意味や違いを知っていますか。 n = 1,334 (は1つ)

77.1 知っている	20.5 知らない	2.3 無回答
------------	-----------	---------

問34 大規模な災害が発生した場合、避難所に飲料水や食料などの支援物資が届くまで時間がかかることが予測されます。あなたは、災害に備えて、冷蔵庫にあるものを含めて、飲料水や食料をおよそ何日分、備蓄していますか。 n = 1,334 (は1つ)

16.9 4日分以上	22.9 2日分	15.4 備蓄していない
32.7 3日分	10.6 1日分	1.4 無回答

問35 固定電話や携帯電話（音声及びメール）は、災害が発生した際には利用が急増し、平常時のように使用できなくなります。実際に東日本大震災でも、使用できなくなりました。あなたは、災害時に利用できる災害伝言板や災害用伝言ダイヤルを知っていますか。

n = 1,334 (は1つ)

10.0 よく知っている（使い方や番号までわかる）	21.1 知らない
67.5 多少は知っている（聞いたことがある）	1.3 無回答

問36 あなたは、地震による被害を防ぐため、どのような対策を行っていますか（行う予定ですか）。 n = 1,334(はいいくつでも)

59.4 家具（冷蔵庫、食器棚、本棚、タンス、テレビなど）の固定化	
9.0 住宅（昭和56年以前に建築されたもの）の耐震化	
4.6 住宅（昭和56年以前に建築されたもの）の建替え	
5.0 家具や建築資材の不燃化・防災化	
1.6 液状化対策	
48.7 地震や津波が来た場合の避難所と避難経路の確認	
2.8 その他（具体的に	）
8.5 無回答	

【地方分権について】

問37 地域で抱える課題が多様化・複雑化する中、創意工夫により地域の実情に応じた課題解決を図り、住民サービスの向上につなげるため、県では、国に対して事務・権限や税財源の移譲を求めるとともに、「提案募集方式」（ ）を通じて地方の創意工夫による制度改革を提案するなど、地方分権改革の推進に取り組んでいます。

あなたは、この地方分権改革を進めることについて、どう思いますか。 n = 1,334(は1つ)

24.9 地方分権改革を進めたほうがいい	
28.4 どちらかといえば進めたほうがいい	
15.1 どちらともいえない	
0.8 どちらかといえば進めないほうがいい	
1.0 進めないほうがいい（現状の制度を維持するほうがよい）	
27.1 わからない	
0.8 その他（具体的に	）
1.8 無回答	

「提案募集方式」とは、国が個々の地方公共団体等から地方分権に関する制度改革の提案を広く募集し、それらの提案の実現に向けて検討を行う制度のことです。

問38 あなたは、県が進める地方分権改革の取組について、何を期待しますか。n = 1,334(は1つ)

28.7	規制緩和による実情に合わない過度の規制や不合理な規制の廃止・合理化
21.9	事務・権限の委譲による住民に身近な行政窓口での住民サービスの提供
4.3	県民による制度改正の提案
21.1	地方分権改革の取組に関するわかりやすい説明
18.4	特にない
1.3	その他(具体的に)
4.1	無回答

【広報・広聴活動について】

問39 あなたは、県のどのような施策や政策の分野について関心がありますか。

n = 1,334 (はいくつでも)

54.3	防災	47.2	福祉	27.7	教育	17.2	基盤整備
36.3	生活安全	27.1	子育て	16.2	観光	4.5	特に関心はない
57.8	医療	27.4	環境	17.7	雇用	0.4	その他(具体的に)
19.0	健康づくり	15.4	文化・スポーツ	9.1	農林水産業	1.8	無回答

問40 あなたは、県政に関する情報をどのような手段で得ていますか。n = 1,334(はいくつでも)

65.2	県広報紙「ちば県民だより」
8.2	千葉県ホームページ(パソコン版)
7.5	千葉県ホームページ(スマートフォン版)
1.0	千葉県ホームページ(携帯版)
2.2	県が運用しているSNS(「チーバくん Twitter」、「チーバくん Instagram」など)
4.5	千葉日報による新聞紙面広報「県からのお知らせ」、「特集」
10.9	県の広報テレビ番組(千葉テレビ放送) 「千葉県インフォメーション」毎週火・木・金曜午前7時10分～20分の間に90秒放送 「ウィークリー千葉県～ちばの旬な話題をお届け～」毎週土曜午後10時から放送
3.6	県の広報ラジオ番組(bayfm78) 「サタデー・プレイング・モーニング」毎週土曜午前8時から放送 「チバ・プリフェクチャー・アップデート」毎週月・水・金曜午前8時57分から放送
4.7	県の魅力発信テレビ番組(フジテレビ) 「千葉の贈り物～まごころ配達人～」毎週日曜午前8時25分から放送
1.5	県の魅力発信ラジオ番組(TBSラジオ) 「千葉ドリーム!もぎたてラジオ」毎週日曜午後0時30分から放送
25.5	6～10以外の新聞記事、テレビ・ラジオの番組やニュース
1.1	その他(具体的に)
7.5	無回答

問41 あなたは、県広報紙「ちば県民だより」を読んでいますか。

n = 1,334 (は1つ)

21.2	ほとんど毎回読んでいる	15.3	読んだことがない
34.5	ときどき読んでいる	5.2	「ちば県民だより」を知らない
21.6	読んだことがある	2.2	無回答

→ P13の問41 - 1へ

（問41で「1」～「3」のいずれかをお答えの方に）

問41-1 県広報紙「ちば県民だより」をどこで入手していますか。n=1,031（はいいくつでも）

77.4 新聞の折り込み	4.7 駅などの県政ふれあいコーナー （パンフレットラック）
3.3 コンビニエンスストア・スーパー などの商業施設	2.2 千葉県ホームページ
14.1 県・市町村などの公共施設	1.0 スマートフォン向けアプリ
2.6 銀行・信用金庫・郵便局	2.5 その他（具体的に）
	3.0 無回答

→（問41-1をお答えの方に）

問41-2 県広報紙「ちば県民だより」の内容についておたずねします。

n=1,031（はそれぞれ1つずつ）

情報・内容のわかりやすさ				デザイン							
13.4	良い	80.0	普通	1.9	悪い	10.4	良い	76.8	普通	4.1	悪い
				4.7	無回答					8.7	無回答

問42 あなたは、千葉県ホームページを利用していますか。

n=1,334（は1つ）

0.8 よく利用している	17.1 利用したことがある	13.9 普段からインターネットを 利用していない
7.6 とくとき利用している	55.7 利用していない	4.9 無回答

→（問42で「1」～「3」のいずれかをお答えの方に）

問42-1 千葉県ホームページの全体構成の見やすさ・使いやすさはいかがですか。

n=341（は1つ）

7.9	良い	83.9	普通	7.0	悪い	1.2	無回答
-----	----	------	----	-----	----	-----	-----

問43 県では、県の広報や魅力発信のため、テレビやラジオで様々な番組を放送しています。

あなたは、これらの番組をどの程度ご覧になっていますか。（はそれぞれ1つずつ）

	ほとんど毎 回視聴して いる	ときどき視 聴している	視聴した ことがある	視聴した ことがない	番組を知ら ない	無回 答
県の広報テレビ番組（千葉テレビ放送） 1 (ア) 「千葉県インフォメーション」 「ウィークリー千葉県～ちばの旬な話題をお届け～」	0.5	9.5	19.8	21.2	44.7	4.3
県の広報ラジオ番組（bayfm78） 2 (イ) 「サタデー・プレイング・モーニング」 「チバ・プリフェクチャー・アップデイツ」	0.5	5.0	8.2	24.9	54.0	7.3
県の魅力発信テレビ番組（フジテレビ） 1 (ウ) 「千葉の贈り物～まごころ配達人～」	0.4	6.5	14.8	22.0	49.8	6.6
県の魅力発信ラジオ番組（TBSラジオ） 2 (エ) 「千葉ドリーム！もぎたてラジオ」	0.2	1.9	5.4	25.6	59.4	7.4

1 テレビ番組のうち、「ウィークリー千葉県～ちばの旬な話題をお届け～」と、「千葉の贈り物～まごころ配達人～」は、県HPの「千葉県インターネット放送局」においても視聴できます。

2 各ラジオ番組は、「radiko」などインターネット上のサービスでも視聴できます。

問44 あなたは、観光や食事、レジャーなどをする上で、どのような媒体を通じて情報収集をしていますか。 n = 1,334 (__ はいくつでも)

45.8 新聞・雑誌等の記事又は広告	24.4 LINE・Twitter・Facebook等のSNS
31.3 テレビ・ラジオ等の番組又はCM	4.2 イベント
22.6 地域のフリーペーパー	6.5 特にない
18.6 駅や街頭のポスター	1.6 その他（具体的に)
6.3 街頭配布のチラシやリーフレット	1.5 無回答
41.7 ホームページ、ブログ、ニュースサイト等のウェブサイト	

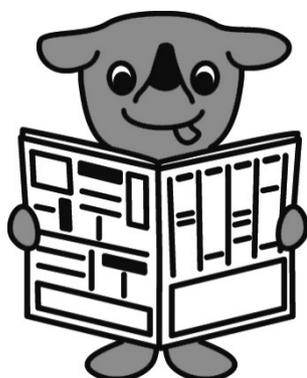
(問44で「7」をお答えの方に) ←

問44 - 1 どのようなSNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）を利用して情報収集をしていますか。 n = 326 (__ はいくつでも)

46.6 LINE	25.2 Facebook	29.4 YouTube	1.2 その他
31.9 Twitter	28.5 Instagram	23.9 特にない	(具体的に)

問45 あなたは、県に対して意見（要望や相談、苦情など）を述べる場合、どのような方法で県に対するご意見を述べたいと思いますか。 n = 1,334 (__ は3つまで)

37.8 電子メール	5.2 会議・集会の場（タウンミーティングなど）
21.9 郵便（「知事への手紙」など）	20.2 県民相談窓口などへの訪問
37.9 電話	14.6 LINE・Twitter・Facebook等のSNS
6.7 ファックス	1.6 その他（具体的に)
	7.2 無回答



【県政への要望】

問46 県政全般について、今後あなたが特に力をいれてほしいと思われることを、次の県政への要望項目の中から「3つまで」選んで番号にをつけてください。

なお、必ず「問47」の具体的要望項目欄（16～20ページ）をご覧ください。回答してください。各要望項目の内容について、例示を記載していますので参考にしてください。

n = 1,334

- 45.8 災害から県民を守る
- 6.4 消費生活のトラブルに関する対策をすすめる
- 13.6 食品の安全を守る
- 9.1 交通事故から県民を守る
- 5.2 中心市街地の活性化を推進する
- 1.9 国際交流や国際協力をすすめる
- 17.9 公共交通網（バス・鉄道）を整備する
- 7.0 障害のある人の福祉や社会参加の支援を充実する
- 3.9 ひとり親家庭等の福祉を充実する
- 29.3 高齢者の福祉を充実する
- 15.0 次世代を担う子どもの育成支援を充実する
- 3.1 青少年を健全に育てる
- 1.0 男女共同参画を推進する
- 1.0 市民活動団体やボランティアへの活動支援を充実する
- 6.6 健康づくりをすすめて、病気を予防する
- 20.6 医療サービス体制を整備する
- 5.5 大気汚染、水質汚濁、騒音などの環境対策をすすめる
- 5.6 自然を守り、緑を育てる
- 1.9 省資源やリサイクルをすすめる
- 2.2 廃棄物対策をすすめる
- 2.0 商工業を振興し、地域経済の担い手を育成する
- 3.7 観光を振興する
- 5.2 雇用の場を広げる
- 10.8 仕事と子育てや介護が両立する働き方を実現する
- 3.1 農林水産業を振興し新鮮な農林水産物を供給する
- 10.4 道路を整備する
- 2.8 下水道を整備する
- 1.3 住宅対策を充実する
- 3.0 公園・緑地を整備する
- 4.3 安心して飲める良質な水道水を供給する
- 7.3 学校教育を充実する
- 2.6 生涯学習・スポーツ・レクリエーションを振興する
- 2.1 芸術・文化活動を振興する
- 9.8 犯罪防止対策をすすめる
- 0.7 施策実現や地域活性化のためのICTの利活用をすすめる
- 2.6 要望はない
- 0.9 その他（具体的に
- 1.9 無回答

（問46で「1」～「35」のうち1つでもお答えの方は、次の問47にお進みください。

問46で「36」または「37」だけにお答えの方は、20ページのF 1にお進みください。）

→ 問47 問46で選んでいただきました県政の要望について、具体的にどのようなことを望まれますか。

問46で選んだ3項目についてのみ、具体的要望項目から1つずつ選んで番号をつけてください。

問46の番号及び項目	具体的要望項目（問46で選んだ項目についてのみお答えください）
1 n = 611 災害から県民を守る を選んだ方	21.9 災害対応マニュアルの作成・防災マップ等の公表 36.8 災害時の支援、救援活動 12.4 避難場所・避難経路の整備 13.7 危険箇所の事前解消 5.9 災害に対する意識啓発、情報提供 2.3 放射性物質への対応 0.8 その他（具体的に） 6.1 無回答
2 n = 86 消費生活のトラブルに 関する対策をすすめる を選んだ方	40.7 悪質商法などによる消費者トラブルの相談・救済 22.1 悪質な事業者の指導・処分 5.8 食品や生活用品などの適正な表示 0.0 商品・サービスに係る危害・危険の防止 0.0 消費者教育などの消費者の自立支援策の充実 9.3 高齢者や若者等の消費者被害の防止 18.6 安心して相談できる相談窓口などの情報提供 0.0 その他（具体的に） 3.5 無回答
3 n = 182 食品の安全を守る を選んだ方	37.4 食品の安全確保 12.6 適正な食品表示 11.0 検査の強化 4.9 情報提供 25.8 添加物や農薬の規制 0.5 その他（具体的に） 7.7 無回答
4 n = 122 交通事故から県民を 守る を選んだ方	34.4 交通事故多発箇所の点検、整備 4.1 交通安全教育の推進 13.1 自転車通行環境の整備 4.1 その他 19.7 自転車利用者のマナー向上 （具体的に） 17.2 ドライバーのマナー向上 7.4 無回答
5 n = 69 中心市街地の活性化を 推進する を選んだ方	27.5 再開発などのまちづくり推進 44.9 駅周辺の活性化 21.7 商業による活性化 1.4 その他（具体的に） 4.3 無回答
6 n = 26 国際交流や国際協力を すすめる を選んだ方	7.7 海外の良い点を県政に反映 30.8 外国人にも住みやすいまちづくり 15.4 姉妹都市をはじめとする世界との交流・協力 19.2 市民レベルでの文化交流・外国人交流の機会の提供 15.4 在住外国人向けの相談・情報提供の充実 11.5 海外への千葉県の魅力に関する情報発信 0.0 その他（具体的に）
7 n = 239 公共交通網（バス・鉄道） を整備する を選んだ方	20.5 鉄道の増便などによる利便性の向上 34.3 バスの増便などによる利便性の向上 16.3 鉄道新設などによる交通網の見直し 15.5 鉄道とバスとの乗り継ぎの円滑化 6.3 その他（具体的に） 7.1 無回答
8 n = 93 障害のある人の福祉や 社会参加の支援を充実 する を選んだ方	30.1 就労・社会参加の促進 10.8 入所施設やグループホームなど住まいの場の充実 33.3 障害のある人が暮らしやすいまちづくり 18.3 経済的な支援・負担の軽減 2.2 その他（具体的に） 5.4 無回答

問 46 の番号及び項目	具体的要望項目（問 46 で選んだ項目についてのみお答えください）
9 n = 52 ひとり親家庭等の福祉を充実する を選んだ方	23.1 子育て・生活支援体制の充実 5.8 就業支援体制の充実 48.1 経済的支援体制の充実 15.4 児童の就学・就職支援体制の充実 1.9 その他（具体的に）5.8 無回答
10 n = 391 高齢者の福祉を充実する を選んだ方	39.1 在宅で暮らし続けるための医療・福祉・生活支援 26.9 特別養護老人ホーム等の入所施設の充実 13.0 高齢者が暮らしやすい住まいやまちづくりの支援 5.4 高齢期を充実して過ごすための生きがい対策 0.8 団塊世代や高齢者等の地域活動参加支援 0.3 高齢者虐待防止対策の強化 4.1 認知症対策の強化 0.8 その他（具体的に）9.7 無回答
11 n = 200 次世代を担う子どもの育成支援を充実する を選んだ方	58.0 子育てに対する経済的な支援・負担軽減 9.5 地域住民参加の多様な子育て支援・子育て力の充実 11.5 幼稚園や保育所の特長を生かした就学前の子どもの教育・保育の充実 5.0 児童虐待防止対策の推進 8.5 妊娠期から子育て期にわたる支援体制の充実 2.5 その他（具体的に）5.0 無回答
12 n = 42 青少年を健全に育てる を選んだ方	11.9 青少年のボランティア活動等社会参加の促進 14.3 家庭・学校・地域の連携強化 9.5 子どものしつけなどに関する家庭教育への支援 14.3 専門家による相談窓口の充実 14.3 ネットパトロールの実施・有害メディアの規制 16.7 非行・犯罪防止・立ち直り支援 4.8 ニート・引きこもり等への支援 2.4 その他（具体的に）11.9 無回答
13 n = 13 男女共同参画を推進する を選んだ方	7.7 男性も女性もともに暮らしやすい社会の構築 7.7 ドメスティックバイオレンス（DV）やセクハラなどの根絶 23.1 子育てや介護、家庭生活と仕事を両立するための支援・環境整備 15.4 女性の再就職支援 30.8 働く場での男性・女性の均等な機会及び待遇の確保 7.7 教育・学習の推進 0.0 広報・啓発活動の推進 7.7 男女共同参画に関する条例を制定する 0.0 その他（具体的に）
14 n = 14 市民活動団体やボランティアへの活動支援を充実する を選んだ方	28.6 活動への資金的支援 7.1 各団体の運営能力強化の支援 14.3 活動への理解促進 0.0 その他 35.7 活動への参加促進（具体的に） 7.1 他団体との連携支援 7.1 無回答
15 n = 88 健康づくりをすすめて、病気を予防する を選んだ方	27.3 運動の機会の増大 3.4 心の健康づくり 35.2 高齢者の健康維持 0.0 歯科保健の充実 5.7 受動喫煙防止の推進 9.1 がんその他の生活習慣病対策 5.7 食生活改善の支援 0.0 その他（具体的に）13.6 無回答
16 n = 275 医療サービス体制を整備する を選んだ方	18.2 医師・看護師等医療技術者の確保 17.8 病院と診療所（かかりつけ医）との連携強化 23.6 医療施設の整備 17.8 休日・夜間等時間外診療の充実 10.2 救急医療体制の整備 3.6 その他（具体的に）8.7 無回答

第56回県政に関する世論調査（H30年度）

問 46 の番号及び項目	具体的要望項目（問 46 で選んだ項目についてのみお答えください）
17 n = 74 大気汚染、水質汚濁、 騒音などの環境対策を すすめる を選んだ方	2.7 低公害車の普及促進 13.5 光化学スモッグ・PM2.5対策 0.0 アスベスト対策 20.3 航空機や自動車による騒音・振動に対する対策 29.7 河川・湖沼・海域の水質改善 2.7 建設残土の適正な埋立て 12.2 環境中に排出される有害な化学物質対策 9.5 その他（具体的に）9.5 無回答
18 n = 75 自然を守り、緑を 育てる を選んだ方	57.3 自然環境・自然景観の保全 4.0 環境保全に関する啓発・教育 4.0 希少な野生動植物の保全 2.7 県民参加での野生動植物調査 8.0 特定外来生物の防除 1.3 その他（具体的に） 17.3 地球温暖化対策 5.3 無回答
19 n = 26 省資源やリサイクルを すすめる を選んだ方	19.2 ごみ分別徹底化 30.8 廃棄物の再資源化促進 7.7 容器包装ごみの発生抑制（マイバッグの利用など） 23.1 再生可能エネルギーの導入促進 3.8 バイオマスの利活用（飼料化・堆肥化・燃料利用など） 7.7 その他（具体的に）7.7 無回答
20 n = 29 廃棄物対策をすすめる を選んだ方	37.9 産業廃棄物の不法投棄防止対策 37.9 安心できる廃棄物処理施設の設置 10.3 廃棄物処理に関する広報・啓発活動 3.4 その他（具体的に）10.3 無回答
21 n = 27 商工業を振興し、地域 経済の担い手を育成 する を選んだ方	33.3 新たな企業の誘致、産業拠点の整備 22.2 中小企業への資金支援の充実 7.4 創業及び新たな事業展開の支援 3.7 研究・技術開発の支援 0.0 販路開拓の支援 22.2 商店街の整備・活性化 0.0 その他（具体的に）11.1 無回答
22 n = 49 観光を振興する を選んだ方	10.2 観光地の美化 14.3 観光地へのアクセスの改善 24.5 観光施設・宿泊施設の充実 2.0 その他 32.7 千葉県観光の積極的なPR（具体的に） 12.2 新たな観光地づくりの促進 4.1 無回答
23 n = 70 雇用の場を広げる を選んだ方	24.3 若年者に対する就業支援 8.6 障害のある人に対する就業支援 42.9 中高年齢者に対する就業支援 7.1 その他（具体的に） 10.0 女性に対する就業支援 7.1 無回答
24 n = 144 仕事と子育てや介護が 両立する働き方を実現 する を選んだ方	9.7 女性の再就職支援 5.6 両立支援相談窓口の設置 19.4 ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の普及 6.9 男性の育児参加など働き方の見直しの啓発 23.6 短時間勤務制度等多様な働き方の普及 3.5 企業に対する税制上の優遇措置の創設 20.1 一時預かり、時間外保育等保育内容の充実 4.2 その他（具体的に）6.9 無回答
25 n = 42 農林水産業を振興し 新鮮な農林水産物を供 給する を選んだ方	26.2 新鮮でおいしい農林水産物の供給 19.0 価格の安定 23.8 県産農林水産物の販売量の拡大 14.3 安全で安心して食べられる農林水産物の供給 7.1 その他（具体的に）9.5 無回答

問 46 の番号及び項目	具体的要望項目（問 46 で選んだ項目についてのみお答えください）
26 n = 139 道路を整備する を選んだ方	43.2 交通渋滞対策 11.5 交通事故多発箇所の改修 7.2 沿道環境の改善（騒音・排ガス対策・景観形成） 9.4 観光、買い物などを支援する道路の整備 7.9 自然災害に強い道路の整備 12.2 その他（具体的に） 8.6 無回答
27 n = 37 下水道を整備する を選んだ方	67.6 下水道の普及・改善 10.8 水洗化への支援 5.4 下水道施設の耐震化 2.7 その他（具体的に） 2.7 下水の高度処理化 10.8 無回答
28 n = 18 住宅対策を充実する を選んだ方	27.8 安くて入居を拒まれない住宅の整備 27.8 子育て世帯や高齢者世帯に対応した住宅の整備 16.7 防犯や耐震性の向上など、安全で快適な住宅の整備 11.1 住み替えやリフォームに必要な市場の整備や情報の提供 5.6 省エネなど環境に優しい住宅の整備 11.1 その他（具体的に）
29 n = 40 公園・緑地を整備する を選んだ方	35.0 公園・緑地等の設置・管理 12.5 公園等の緑化推進 35.0 子どもの遊び場の整備 0.0 公園・緑地等の管理への住民参加の機会充実 2.5 催物・講習会等の開催 5.0 その他（具体的に） 10.0 無回答
30 n = 57 安心して飲める良質な 水道水を供給する を選んだ方	38.6 上水道の水質の改善・維持 10.5 上水道の整備 38.6 水源となる湖沼や川の汚染対策 3.5 その他（具体的に） 8.8 無回答
31 n = 98 学校教育を充実する を選んだ方	24.5 教職員の資質向上・増員 2.0 障害のある児童生徒の教育の 7.1 学力の向上 充実 1.0 健康と体力の向上 23.5 学校施設の整備 8.2 特色ある教育活動の充実 7.1 その他 11.2 道徳や心の教育の充実 （具体的に） 9.2 いじめ・不登校対策 6.1 無回答
32 n = 35 生涯学習・スポーツ・ レクリエーションを 振興する を選んだ方	0.0 指導者育成の支援 20.0 学習機会の充実 48.6 スポーツ・レクリエーション活動の充実 2.9 情報提供の充実 20.0 施設の整備・充実 2.9 その他（具体的に） 5.7 無回答
33 n = 28 芸術・文化活動を振興 する を選んだ方	42.9 文化・芸術にふれる機会の拡充 14.3 文化・芸術に関する情報提供の充実 14.3 文化・芸術活動への支援 3.6 伝統文化や文化財などの継承と活用 7.1 文化施設等の幅広い活用 10.7 東京 2020 大会を盛り上げる文化イベントの実施 0.0 その他（具体的に） 7.1 無回答

問 46 の番号及び項目	具体的要望項目（問 46 で選んだ項目についてのみお答えください）
34 n = 131 犯罪防止対策を すすめる を選んだ方	17.6 警察官によるパトロールの強化 42.0 防犯カメラなどの防犯設備の整備・拡充 6.1 犯罪情報の発信や防犯対策等の広報活動を強化 4.6 警察官や交番相談員の増員による交番の不在時間短縮 6.9 人口や事件が増えている地域に警察署、交番、駐在所の新設 0.8 少年の非行防止対策 5.3 暴力団、不良来日外国人等による犯罪の防止 1.5 ボランティア、自治会等、地域主導型の防犯組織づくりの推進 2.3 その他（具体的に）13.0 無回答
35 n = 9 施策実現や地域活性化 のための I C T の 利活用を進める を選んだ方	22.2 安全で豊かなくらしの実現のための I C T 利活用 （防災・環境・医療・福祉・健康等） 33.3 千葉県の未来を担うこどもの育成のための I C T 利活用 （子育て・教育・国際交流・文化・スポーツ等） 0.0 経済の活性化と交流基盤の整備のための I C T 利活用 （観光・商工業・農林水産業・街づくり・交通網の整備等） 11.1 行政事務の利便性の向上、効率化への I C T 利活用 0.0 情報セキュリティ対策の推進 22.2 Wi-Fi 環境の整備促進 0.0 その他（具体的に）11.1 無回答

以上で質問は終わりですが、調査結果を統計的に分析するために必要なことからお聞かせください。

F 1 あなたの性別は。 n = 1,334 (は 1 つ)

46.1 男性	51.1 女性	0.0 その他	2.8 無回答
---------	---------	---------	---------

F 2 あなたは満何歳ですか。 n = 1,334 (は 1 つ)

1.0 18～19 歳	17.1 40～49 歳	35.8 65 歳以上
6.4 20～29 歳	16.3 50～59 歳	2.8 無回答
11.0 30～39 歳	9.5 60～64 歳	

F 3 あなたのご職業は何ですか。 n = 1,334 (は 1 つ)

自営業主	1.0 農林漁業 3.0 商工サービス業（商店、飲食店、工務店等の経営） 2.5 自由業（開業医、芸術家等）
家族従業者	0.3 農林漁業 0.7 商工サービス業 0.4 自由業
勤め人	6.1 管理職（会社や団体の役員や部長級以上、公務員の課長級以上） 23.5 専門技術・事務職（研究員、看護師、事務系会社員・公務員等） 6.5 販売・サービス職（商店の販売員、飲食店の調理師等） 6.1 労務職（大工、土木作業員、運転士等）
その他	22.0 主婦・主夫 2.4 学生 18.9 無職 2.8 その他（具体的に） 3.8 無回答

F 4 あなたは、主としてあなたのご家庭の家計を支えている方ですか。n = 1,334（ は1つ）

52.4 はい	44.3 いいえ	3.3 無回答
---------	----------	---------

→（F 4で「2」とお答えの方に）

F 4 - 1 あなたのご家庭の家計を主として支えている方のご職業は何ですか。n = 591（ は1つ）

自営業主	1.2 農林漁業 4.7 商工サービス業（商店、飲食店、工務店等の経営） 2.5 自由業（開業医、芸術家等）
家族従業者	0.3 農林漁業 0.7 商工サービス業 1.2 自由業
勤め人	13.0 管理職（会社や団体の役員や部長級以上、公務員の課長級以上） 27.6 専門技術・事務職（研究員、看護師、事務系会社員・公務員等） 8.1 販売・サービス職（商店の販売員、飲食店の調理師等） 9.5 労務職（大工、土木作業員、運転士等）
その他	22.5 無職 5.6 その他（具体的に ） 3.0 無回答

F 5 あなたは、結婚していらっしゃいますか。n = 1,334（ は1つ）

16.8 未婚	69.0 既婚（配偶者有）	11.1 既婚（配偶者離死別）	3.1 無回答
---------	---------------	-----------------	---------

F 6 あなたは、お子さんが何人いらっしゃいますか。同居、別居は問いません。

n = 1,334（ は1つ）

17.1 1人	12.0 3人	0.4 5人以上
41.5 2人	1.0 4人	23.5 子どもはいない
		4.5 無回答

→（F 6で「1」～「5」のいずれかをお答えの方に）

F 6 - 1 一緒にお住まいのあなたのお子さんで次の中にあげるような方はいらっしゃいますか。
n = 961（ はいくつでも）

7.1 0～2歳の子ども	5.8 大学・大学院在学中の子ども
7.8 3歳以上の未就学の子ども	26.2 学校を終えた未婚の子ども
18.4 小学校・中学校在学中の子ども	18.5 結婚した子ども
7.0 高校在学中の子ども	21.2 同居している子どもはいない
1.6 短大・高専・各種学校・専修学校に 在学中の子ども	6.9 無回答

F 7 あなたと一緒に暮らしのご家族の構成は次の中のどれに該当しますか。

n = 1,334（ は1つ）

10.6 単身	46.9 二世帯世帯（親と子）	1.9 その他（具体的に
27.1 夫婦のみ	8.2 三世帯世帯（親と子と孫）	5.3 無回答

F 8 お宅には65歳以上の方がいらっしゃいますか。 あなたご自身も含めてお答えください。

n = 1,334 (は1つ)

54.1 いる	45.1 いない	0.7 無回答
---------	----------	---------

F 9 あなたのお住まいは、次のどれにあたりますか。

n = 1,334 (は1つ)

66.9 持家（一戸建）	2.6 公社・UR都市機構・県市町村営住宅
16.0 分譲マンション	0.6 社宅などの給与住宅
2.5 民間の借家（一戸建）	0.1 住み込み・寮・寄宿舍
10.1 賃貸のアパート・マンション	0.1 その他（具体的に）
	1.0 無回答

F 10 あなたは、千葉県に通算して何年くらいお住まいですか。

n = 1,334 (は1つ)

1.1 1年未満	3.7 5年～10年未満	16.1 20年～30年未満
2.0 1年～3年未満	5.7 10年～15年未満	62.2 30年以上
1.6 3年～5年未満	6.4 15年～20年未満	0.1 わからない
		1.0 無回答

F 11 あなたは、次のどの市町村にお住まいですか。

n = 1,334 (は1つ)

15.2 千葉市	5.5 柏市	1.8 印西市	0.0 山武郡九十九里町
0.8 銚子市	0.6 勝浦市	1.2 白井市	0.4 山武郡芝山町
6.9 市川市	4.3 市原市	0.9 富里市	0.5 山武郡横芝光町
9.6 船橋市	2.8 流山市	1.1 南房総市	0.0 長生郡一宮町
0.7 館山市	2.6 八千代市	0.4 匝瑳市	0.0 長生郡睦沢町
2.2 木更津市	3.3 我孫子市	1.3 香取市	0.7 長生郡長生村
8.9 松戸市	0.4 鴨川市	0.7 山武市	0.0 長生郡白子町
2.1 野田市	1.0 鎌ヶ谷市	0.1 いすみ市	0.3 長生郡長柄町
1.8 茂原市	1.8 君津市	0.7 大網白里市	0.0 長生郡長南町
1.9 成田市	0.5 富津市	0.0 印旛郡酒々井町	0.0 夷隅郡大多喜町
3.3 佐倉市	2.0 浦安市	0.5 印旛郡栄町	0.5 夷隅郡御宿町
0.6 東金市	1.3 四街道市	0.0 香取郡神崎町	0.0 安房郡鋸南町
0.7 旭市	1.4 袖ヶ浦市	0.0 香取郡多古町	0.9 無回答
3.5 習志野市	1.0 八街市	0.7 香取郡東庄町	

以上で質問はすべて終わりです。

このほかにも、県や世論調査へのご意見やご提案があればご自由にお書きください。

<p>-----</p> <p>-----</p> <p>-----</p>
--

お忙しいところをご協力いただき、ありがとうございました。

ご記入いただいた調査用紙は、同封の返信用封筒に入れて、10月5日（金）までに、ポストにご投函ください。なお、名前や住所の記入、切手は不要です。

平成 30 年度

(第 56 回)

県 政 に 関 す る 世 論 調 査

平成 31 年 1 月発行

(平成 30 年 9 月実施)

千葉県総合企画部報道広報課

千葉市中央区市場町 1 番 1 号

(広聴室) 電話 0 4 3 - 2 2 3 - 2 4 6 9
